

中棚 I 遺跡

中棚 I 遺跡

八ッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 第62集

八ッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 第62集

二〇一九

国土交通省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



2019

国土交通省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

中 棚 I 遺 跡

八 ッ 場 ダ ム 建 設 工 事 に 伴 う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書 第62集

2019

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



1 遺跡全景(西から)



2 5区(真上から)

口絵 2



1 遺跡全景(東から)



2 遺跡全景(真上から)

序

本書は、八ッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書です。八ッ場ダムは、治水、利水、発電を行う多目的ダムとして計画され、吾妻郡長野原町を中心に工事が進められてきました。八ッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査は、当事業団が平成6年度から実施し、本年で25年目を迎えました。

中棚Ⅰ遺跡は、平成29年度に発掘調査を行った遺跡です。長野原町内の遺跡はほとんどが天明三年(1783)の浅間山大噴火に伴う泥流で被災していますが、中棚Ⅰ遺跡は標高が高かったため、泥流の被災を受けなかった数少ない遺跡です。

遺跡は平安時代の竪穴建物、中近世の掘立柱建物が主体です。他に土坑やピットが確認されています。他に遺構はありませんが崩落土が遺跡を覆い、縄文時代の土器が出土しています。

この調査成果は、長野原町を中心とした地域、ひいては群馬県における中・近世村落史を考える上でも重要な資料となるものと考えております。

発掘調査から報告書の刊行に至るまで、国土交通省八ッ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会および長野原町教育委員会をはじめとする関係機関や地元関係者の皆様には、多大なるご尽力を賜りました。

本報告書を上梓するにあたり、衷心より感謝申し上げます。

平成31年2月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 中野三智男

例 言

1. 本書は八ッ場ダム建設工事に伴い事前調査された中棚 I 遺跡の発掘調査報告書である。
2. 遺跡の呼称および所在地
中棚 I 遺跡(なかだないちいせき)は、群馬県吾妻郡長野原町大字林字中棚にある。
3. 事業主体 国土交通省関東地方整備局
4. 調査主体 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
5. 発掘調査及び整理事業の期間
 - (1) 発掘事業
調査期間 平成29年 4月 1日～平成29年12月31日
発掘調査担当者 関 俊明(主任調査研究員) 梅村唯斗(調査研究員)
調査面積 8,176㎡
遺跡掘削工事 シン技術・毛野・山下吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体
 - (2) 整理事業
整理期間 平成30年 4月 1日～平成30年 8月31日
整理担当 友廣哲也(専門調査役)
6. 本書作成の担当者は以下のとおりである。
編集 友廣哲也
遺構写真 発掘担当者
遺物写真 友廣哲也
遺物観察表・観察表執筆
縄文土器 石坂 茂(専門調査役)
土師器・須恵器・陶磁器 大西雅広(専門調査役)
石製品 津島秀章(資料第2課長)
金属製品 板垣泰之(専門員)
保存処理 板垣泰之・関 邦一(専門調査役)
7. 発掘調査及び整理事業での委託
遺構測量 (株)測研
8. 石材の同定は、飯島静男氏(群馬地質研究会)に依頼した。
9. 出土人骨の同定は、大妻女子大学博物館檜崎修一郎氏に依頼した。
10. 発掘調査および報告書の作成にあたり群馬県教育委員会事務局文化財保護課、長野原町教育委員会のご指導とご助言をいただいた。
11. 発掘調査の記録資料と出土遺物は、群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

凡 例

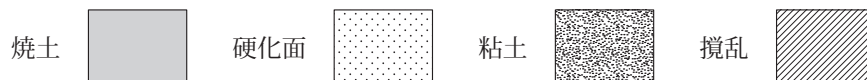
1. 本書で使用した座標値および方位は、日本測地系、平面直角座標系第IX系で示した。調査区はX = 613600～618400、Y = 100200～100800の範囲に収まる。
2. 等高線、遺構断面図等に記した数値は海拔標高を示す。
3. 遺構図、遺物図については、各挿図中にスケールを添付したが、原則下記の縮尺で掲載した。また、遺物写真の縮尺は、実測図と同一の縮尺を原則とした。

遺構図：各調査区の全体図1/500 竪穴建物1/60 竈1/30 掘立柱建物1/40・1/60・1/80 柵1/60

集石1/40・1/80 道1/80 土坑・小穴1/40

遺物図：縄文1/2・1/3 土師器・須恵器1/3 古銭1/1 石製品1/1・1/4 陶磁器1/2・1/3

4. 建物の掲載は、種別に限らず、遺構ごとに通し番号とし、出土遺物は●とした。
5. 本書の図版に使用したスクリーントーンは、次のことを示す。



6. 遺構の計測は全容が計測できない遺構については残存地()で表記してある。
7. 本遺跡で検出される浅間A軽石は、天明三年(1783)の浅間山噴出軽石の略である。
また「天明三年泥流」あるいは「天明泥流」は、天明三年新暦八月五日の浅間山噴火に伴う泥流堆積物の略称である。
8. 遺構観察表の表現及び記載法は、以下の通りである。
9. 本書で使用した地形図は以下の通りである。
国土地理院：地形図 1：50,000「草津」(平成11年発行)
国土地理院：地勢図 1：200,000「長野」(平成18年発行)

目 次

口絵

序

例言

凡例

目次

挿図目次

表目次

写真図版目次

第1章 調査の方法と経過	1
第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査経過・調査方法・調査概要・整理事業の経過	1
第3節 調査区の概要	2
第2章 遺跡の環境	7
第1節 地理的環境	7
第2節 歴史的環境	9
第3章 発見された遺構と遺物	14
第1節 竪穴建物	14
第2節 掘立柱建物・柵	23
第3節 集石	34
第4節 土坑	35
第5節 道	48
第6節 小穴	49
第7節 焼土	61
第8節 遺構外出土遺物(土師器・陶磁器)	62
第9節 遺構外出土遺物(縄文土器)	64
第4章 分析・同定	71
(1)中柵I遺跡出土人骨	71
第5章 調査成果のまとめ	73

写真図版

抄録

挿図目次

第1図	旧石器試掘トレンチ断面図	4	第28図	1～3号集石	34
第2図	中棚Ⅰ遺跡全体図	6	第29図	1～3号土坑	36
第3図	中棚Ⅰ遺跡周辺の地名	7	第30図	2号土坑出土遺物(1)	37
第4図	遺跡位置図	8	第31図	2号土坑出土遺物(2)	38
第5図	吾妻郡林村周辺の道と村(元禄国絵図「上野国」群馬県立文書館所蔵より修正して作成)	10	第32図	5～7号土坑・7号土坑出土遺物	38
第6図	中世及び天明泥流下の遺跡分布図(国土地理院1:50,000地形図「草津」使用)(中棚Ⅰ遺跡は泥流下ではない)	11	第33図	8～13号土坑・13号土坑出土遺物	39
第7図	1号竪穴建物・出土遺物	14	第34図	14～17号土坑・17号土坑出土遺物	40
第8図	2号竪穴建物(1)	15	第35図	18～23号土坑	41
第9図	2号竪穴建物(2)	16	第36図	24～26号土坑	42
第10図	2号竪穴建物出土遺物	17	第37図	28～34号土坑・34号土坑出土遺物	43
第11図	3号竪穴建物	18	第38図	35～41号土坑	44
第12図	3号竪穴建物出土遺物	19	第39図	42～49号土坑	45
第13図	4号竪穴建物	20	第40図	51・51号土坑・51号土坑出土遺物	46
第14図	4号竪穴建物・出土遺物	21	第41図	52～55号土坑	47
第15図	5号竪穴建物・出土遺物	22	第42図	1号道	48
第16図	1号掘立柱建物	23	第43図	小穴1～20	53
第17図	3号掘立柱建物(1)	24	第44図	小穴21～42	54
第18図	3号掘立柱建物(2)	25	第45図	小穴43～70	55
第19図	3号掘立柱建物(3)	26	第46図	小穴71～94	56
第20図	4号掘立柱建物(1)	26	第47図	小穴95～140	57
第21図	4号掘立柱建物(2)	27	第48図	小穴141～180	58
第22図	5号掘立柱建物(1)	28	第49図	小穴189～211	59
第23図	5号掘立柱建物(2)	29	第50図	小穴212～219	60
第24図	5号掘立柱建物(3)	30	第51図	2～5号焼土	61
第25図	5号掘立柱建物周溝(1)	31	第52図	遺構外出土遺物(須恵器・陶磁器・石)	62
第26図	5号掘立柱建物周溝(2)	32	第53図	遺構外出土縄文土器(1)	64
第27図	1号柵	33	第54図	遺構外出土縄文土器(2)	65
			第55図	遺構外出土縄文土器(3)	66

表目次

第1表	林村周辺における元禄16年(1703)の石高一覧	10	第10表	7号土坑(墓塚)出土遺物観察表	39
第2表	中近世周辺遺跡一覧	12	第11表	13号土坑出土遺物観察表	40
第3表	1号竪穴建物出土遺物観察表	14	第12表	17号土坑出土遺物観察表	41
第4表	2号竪穴建物出土遺物観察表	17	第13表	34号土坑出土遺物観察表	44
第5表	3号竪穴建物出土遺物観察表	19	第14表	51号土坑(墓塚)出土遺物観察表	46
第6表	4号竪穴建物出土遺物観察表	21	第15表	小穴一覧表	49
第7表	5号竪穴建物出土遺物観察表	22	第16表	遺構外出土遺物観察表(須恵器・陶磁器・石)	63
第8表	土坑一覧表	35	第17表	縄文土器の胎土分類	67
第9表	2号土坑出土遺物観察表	38	第18表	遺構外出土遺物(縄文土器)観察表	68

写真目次

口絵1	1 遺跡全景(西から)	6	3区2号竪穴建物1号床下土坑全景(西から)	6
	2 5区(真上から)	7	3区2号竪穴建物1号床下ピット全景(西から)	7
口絵2	1 遺跡全景(東から)	8	3区2号竪穴建物2号床下ピット全景(西から)	8
	2 遺跡全景(真上から)	PL. 3	1 3区2号竪穴建物3号床下ピット全景(西から)	1
PL. 1	1 2区1号竪穴建物竈全景(東から)	2	3区2号竪穴建物3号床下ピットセクションI-I'(西から)	2
	2 2区1号竪穴建物竈正面(西から)	3	3区2号竪穴建物掘り方セクションB-B'(西から)	3
	3 2区1号竪穴建物竈貯蔵穴全景(北から)	4	3区2号竪穴建物全景(西から)	4
	4 2区1号竪穴建物竈貯蔵穴東側(北から)	5	3区2号竪穴建物全景(南から)	5
	5 2区1号竪穴建物竈貯蔵穴全景(西から)	6	3区2号竪穴建物掘り方(西から)	6
	6 2区1号竪穴建物竈セクションA-A'(北から)	7	3区3号竪穴建物遺物出土状態(西から)	7
	7 2区1号竪穴建物掘り方(西から)	8	3区3号竪穴建物遺物出土状態(西から)	8
	8 3区2号竪穴建物全景(南から)	PL. 4	1 1区3号竪穴建物竈全景(西から)	1
PL. 2	1 3区2号竪穴建物東壁セクションB-B'(西から)	2	3区3号竪穴建物竈遺物出土状態(西から)	2
	2 3区2号竪穴建物遺物出土状態(西から)	3	3区3号竪穴建物全景(南から)	3
	3 3区2号竪穴建物1・2号カマド貯蔵穴(西から)	4	3区3号竪穴建物全景(西から)	4
	4 3区2号竪穴建物1号竈全景(西から)	5	3区4号竪穴建物竈掘り方セクションA-A'(東から)	5
	5 3区2号竪穴建物2号竈全景(西から)	6	3区4号竪穴建物床下3号ピットセクション(北から)	6

PL. 5	7	3区4号竪穴建物貯蔵穴掘り方(北西から)	PL. 13	1	4区4号掘立柱建物6柱穴全景(南から)
	8	3区4号竪穴建物南壁(北から)		2	3区4号掘立柱建物7柱穴全景(南から)
	1	3区4号竪穴建物調査風景(東から)		3	3区4号掘立柱建物8柱穴全景(南から)
	2	3区4号竪穴建物全景(北東から)		4	3区4号掘立柱建物10柱穴全景(南から)
	3	3区4号竪穴建物全景(南西から)		5	3区4号掘立柱建物11柱穴全景(南から)
	4	4区5号竪穴建物貯蔵穴(西から)		6	3区4号掘立柱建物12柱穴全景(南から)
	5	4区5号竪穴建物竈貯蔵穴セクションA-A'(西から)		7	3区4号掘立柱建物13柱穴全景(南から)
	6	4区5号竪穴建物竈焼土(西から)		8	3区4号掘立柱建物14柱穴全景(南から)
PL. 6	7	4区5号竪穴建物全景(西から)	PL. 14	1	3区4号掘立柱建物15柱穴全景(南から)
	8	3区3号竪穴建物調査風景(西から)		2	3区4号掘立柱建物16柱穴全景(南から)
	1	3区1号掘立柱建物全景(東から)		3	3区4号掘立柱建物17柱穴全景(南から)
	2	3区1号掘立柱建物全景(南から)		4	3区4号掘立柱建物18柱穴全景(南から)
	3	3区1号掘立柱建物1柱穴全景(南から)		5	5区5号掘立柱建物全景(南から)
	4	3区1号掘立柱建物2柱穴全景(南から)		6	5区5号掘立柱建物全景(北から)
	5	3区1号掘立柱建物4柱穴全景(南から)		7	5区5号掘立柱建物1柱穴セクション(南から)
	6	3区1号掘立柱建物3柱穴全景(南から)		8	5区5号掘立柱建物2柱穴セクション(南から)
PL. 7	7	3区1号掘立柱建物5柱穴全景(南から)	PL. 15	1	5区5号掘立柱建物3柱穴全景(南から)
	8	3区1号掘立柱建物6柱穴全景(南から)		2	5区5号掘立柱建物4柱穴全景(南から)
	1	3区1号掘立柱建物7柱穴全景(南から)		3	5区5号掘立柱建物5柱穴全景(南から)
	2	3区1号掘立柱建物8柱穴全景(南から)		4	5区5号掘立柱建物6柱穴全景(南から)
	3	3区1号掘立柱建物9柱穴全景(南から)		5	5区5号掘立柱建物7柱穴全景(南から)
	4	3区1号掘立柱建物11柱穴全景(南から)		6	5区5号掘立柱建物8柱穴全景(南から)
	5	3区1号掘立柱建物12柱穴全景(南から)		7	5区5号掘立柱建物9柱穴全景(南から)
	6	3区3号掘立柱建物全景(北東から)		8	5区5号掘立柱建物10柱穴全景(南から)
PL. 8	7	3区3号掘立柱建物全景(南東から)	PL. 16	1	5区5号掘立柱建物周溝中テラスセクション(西から)
	8	3区3号掘立柱建物1柱穴全景(南から)		2	5区5号掘立柱建物周溝中テラスセクション(南から)
	1	3区3号掘立柱建物2柱穴全景(南から)		3	5区1号柵全景(東から)
	2	3区3号掘立柱建物3柱穴全景(南から)		4	5区1号柵柵1全景(南から)
	3	3区3号掘立柱建物4柱穴全景(南から)		5	5区1号柵柵1セクション(南から)
	4	3区3号掘立柱建物5柱穴全景(南から)		6	5区1号柵柵2全景(南から)
	5	3区3号掘立柱建物6柱穴全景(西から)		7	5区1号柵柵2セクション(西から)
	6	3区3号掘立柱建物7柱穴遺物出土状態(西から)		8	5区1号柵柵4全景(西から)
PL. 9	7	3区3号掘立柱建物7柱穴全景(西から)	9	5区1号柵柵5全景(東から)	
	8	3区3号掘立柱建物8柱穴遺物出土状態(南から)	10	5区1号柵柵6全景(東から)	
	1	3区3号掘立柱建物8柱穴全景(南から)	11	5区1号柵柵7セクション(東から)	
	2	3区3号掘立柱建物9柱穴全景(南から)	12	5区1号柵柵7全景(東から)	
	3	3区3号掘立柱建物10柱穴全景(北から)	13	5区1号柵柵8全景(南から)	
	4	3区3号掘立柱建物11柱穴全景(南から)	14	2区1号集石全景(北から)	
	5	3区3号掘立柱建物12柱穴セクション(北から)	15	4区1号道全景(北から)	
	6	3区3号掘立柱建物13柱穴全景(西から)	PL. 17	1	4区1号道全景(南から)
7	3区3号掘立柱建物14柱穴全景(南から)	2		1区1号土坑全景(南から)	
8	3区3号掘立柱建物15柱穴全景(南から)	3		3区2・3号土坑掘り方(北から)	
PL. 10	1	3区3号掘立柱建物16柱穴全景(南から)		4	3区2号土坑全景(北から)
	2	3区3号掘立柱建物18柱穴全景(南から)		5	3区3号土坑全景(北から)
	3	3区3号掘立柱建物19柱穴全景(南から)		6	3区3号土坑遺物出土状態(北から)
	4	3区3号掘立柱建物20柱穴全景(南から)		7	3区3号土坑南壁セクション(北から)
	5	3区3号掘立柱建物21柱穴全景(南から)		8	3区4号土坑全景(北から)
	6	3区3号掘立柱建物22柱穴全景(南から)	9	3区5号土坑遺物出土状態(南から)	
	7	3区3号掘立柱建物23柱穴全景(南から)	10	3区5号土坑全景(南から)	
	8	3区3号掘立柱建物24柱穴全景(東から)	11	3区6号土坑全景(南から)	
PL. 11	1	3区3号掘立柱建物25柱穴全景(南から)	12	3区7号土坑(墓壇)遺物出土状態(南から)	
	2	3区3号掘立柱建物26柱穴全景(南から)	13	3区7号土坑(墓壇)全景(南から)	
	3	3区3号掘立柱建物27柱穴全景(南から)	14	3区8号土坑全景(南から)	
	4	3区3号掘立柱建物30柱穴全景(南から)	15	3区10号土坑全景(南から)	
	5	3区3号掘立柱建物31柱穴全景(南から)	PL. 18	1	3区9・10号土坑全景(南から)
	6	3区3号掘立柱建物32柱穴全景(南から)		2	3区11号土坑全景(南から)
	7	3区3号掘立柱建物33柱穴全景(南から)		3	3区12号土坑全景(西から)
	8	3区3号掘立柱建物34柱穴全景(南から)		4	3区13号土坑全景(西から)
PL. 12	1	3区3号掘立柱建物35柱穴全景(西から)		5	3区14号土坑全景(南から)
	2	3区3号掘立柱建物36柱穴全景(北から)		6	3区15号土坑全景(南から)
	3	3区4号掘立柱建物・1号柵全景(南西から)		7	3区16号土坑全景(南から)
	4	3区4号掘立柱建物1柱穴全景(東から)		8	3区17号土坑出土遺物(西から)
	5	3区4号掘立柱建物2柱穴全景(南から)	9	3区17号土坑遺物出土状態(西から)	
	6	3区4号掘立柱建物3柱穴全景(南から)	10	3区17号土坑全景(西から)	
	7	3区4号掘立柱建物4柱穴全景(南から)	11	3区18号土坑全景(西から)	
	8	3区4号掘立柱建物5柱穴全景(東から)	12	3区19号土坑全景(南から)	

	13	3区20号土坑全景(南から)		4	2区P 22全景(南から)
	14	3区21号土坑全景(西から)		5	2区P 23全景(南から)
	15	3区22号土坑全景(南から)		6	2区P 24・25全景(南から)
PL.19	1	3区23号土坑全景(南から)		7	2区P 26全景(南から)
	2	3区24号土坑全景(南から)		8	2区P 27全景(南から)
	3	3区25号土坑全景(南から)		9	2区P 28全景(南から)
	4	3区26号土坑全景(南から)		10	2区P 29全景(南から)
	5	3区27号土坑(南から)		11	2区P 30全景(南から)
	6	3区28号土坑全景(南から)		12	2区P 31全景(南西から)
	7	3区29号土坑全景(南から)		13	2区P 33全景(南西から)
	8	3区30号土坑全景(南から)		14	2区P 34・35全景(南から)
	9	3区31号土坑全景(南から)		15	2区P 36全景(南から)
	10	3区32号土坑全景(東から)	PL.24	1	2区P 37全景(南から)
	11	3区33号土坑全景(東から)		2	2区P 38全景(南から)
	12	3区33・34号土坑全景(南から)		3	2区P 39全景(南から)
	13	3区35号土坑全景(東から)		4	2区P 40全景(南から)
	14	3区36号土坑全景(東から)		5	2区P 41全景(南から)
PL.20	15	3区37号土坑全景(南から)		6	2区P 42全景(南から)
	1	3区38号土坑全景(西から)		7	2区P 44全景(南から)
	2	3区39号土坑全景(南から)		8	2区P 46全景(南西から)
	3	3区40号土坑全景(南から)		9	2区P 47全景(南西から)
	4	3区41号土坑全景(南から)		10	2区P 48・49全景(南から)
	5	3区42号土坑全景(南東から)		11	2区P 50全景(南西から)
	6	3区43号土坑全景(東から)		12	2区P 51全景(南西から)
	7	3区44号土坑全景(南西から)		13	2区P 52全景(南西から)
	8	3区45号土坑全景(東から)		14	2区P 53セクション(南から)
	9	4区46～49号土坑全景(西から)		15	2区P 55遺物出土状態(南西から)
	10	4区46号土坑全景(西から)	PL.25	1	2区P 55全景(南から)
	11	4区46号土坑セクション(西から)		2	2区P 56全景(南から)
	12	4区47号土坑セクション(西から)		3	2区P 54全景(南から)
	13	4区48・49号土坑全景(北から)		4	2区P 54・57全景(北西から)
	14	4区50号土坑全景(南から)		5	3区P 58全景(南から)
	15	4区51号土坑(墓壙)全景(東から)		6	3区P 59セクション(南から)
PL.21	1	4区51号土坑(墓壙)全景(北から)		7	3区P 59全景(南から)
	2	4区51号土坑(墓壙)出土人骨(東から)		8	3区P 60全景(南から)
	3	4区51号土坑(墓壙)出土人骨(北から)		9	3区P 61全景(南から)
	4	4区51号土坑(墓壙)出土人骨(北から)		10	3区P 62全景(南から)
	5	4区52号土坑全景(北から)		11	3区P 63全景(南から)
	6	4区53号土坑全景(北から)		12	3区P 64全景(南から)
	7	4区54号土坑全景(南から)		13	3区P 65全景(南から)
	8	4区55号土坑セクション(西から)		14	3区P 66全景(南から)
	9	4区55号土坑セクション上面(西から)		15	3区P 67全景(南から)
	10	5区2号集石全景(南西から)	PL.26	1	3区P 68全景(南から)
	11	5区2号集石全景(南西から)		2	3区P 69全景(南から)
	12	5区2号集石墓石(南西から)		3	3区P 70全景(南から)
	13	5区3号集石全景(南西から)		4	3区P 71全景(南から)
	14	1区P 1 全景(南から)		5	3区P 72・3号掘立1柱穴全景(南から)
	15	1区P 2 全景(南から)		6	3区P 73全景(南から)
PL.22	1	1区P 3 全景(南から)		7	3区P 74全景(東から)
	2	1区P 4 全景(南から)		8	3区P 74・75全景(南から)
	3	1区P 5 全景(南から)		9	3区P 76全景(南から)
	4	1区P 6 全景(南から)		10	3区P 77全景(南から)
	5	1区P 7 全景(南から)		11	3区P 79全景(南から)
	6	1区P 8 全景(南から)		12	3区P 81全景(南から)
	7	1区P 9 全景(南から)		13	3区P 82全景(南から)
	8	1区P 10 全景(南から)		14	3区P 83全景(南から)
	9	1区P 11 全景(南から)		15	3区P 85全景(南から)
	10	2区P 12セクション(南から)	PL.27	1	3区P 86全景(南から)
	11	2区P 12全景(南西から)		2	3区P 87全景(南から)
	12	2区P 54全景(南西から)		3	3区P 88全景(南から)
	13	2区P 13全景(南から)		4	3区P 89全景(南から)
	14	2区P 14全景(南西から)		5	3区P 90全景(南から)
	15	2区P 15全景(南から)		6	3区P 91全景(南から)
PL.23	1	2区P 16全景(南西から)		7	3区P 92全景(南から)
	2	2区P 18全景(南西から)		8	3区P 93全景(南から)
	3	2区P 20全景(南から)		9	3区P 94全景(西から)

	10	3区P95全景(南から)			
	11	3区P96全景(西から)			
	12	3区P97全景(南から)			
	13	3区P98全景(西から)			
	14	3区P99全景(西から)			
PL.28	15	3区P100全景(西から)			
	1	3区P101全景(南から)			
	2	3区P102全景(西から)			
	3	3区P103全景(南から)			
	4	3区P104全景(南から)			
	5	3区P105全景(南から)			
	6	3区P106全景(南から)			
	7	3区P107全景(南から)			
	8	3区P108全景(南から)			
	9	3区P109全景(南から)			
	10	3区P110全景(南から)			
	11	3区P111セクション(西から)			
	12	3区P116全景(南から)			
	13	3区P125全景(南から)			
	14	3区P126全景(南から)			
	15	3区P155全景(北から)			
PL.29	1	3区P156全景(南から)			
	2	3区P158全景(南から)			
	3	3区P159全景(西から)			
	4	3区P160全景(南から)			
	5	3区P161全景(南から)			
	6	3区P162セクション(南から)			
	7	3区P163全景(南から)			
	8	3区P164全景(南から)			
	9	3区P165全景(南から)			
	10	3区P166全景(西から)			
	11	3区P167全景(南から)			
	12	3区P170全景(南から)			
	13	3区P173全景(南から)			
	14	3区P174全景(南から)			
	15	3区P175全景(南から)			
PL.30	1	3区P177全景(南から)			
	2	3区P178全景(南から)			
	3	3区P179全景(南から)			
	4	3区P180全景(南から)			
	5	3区P189全景(南から)			
	6	3区P190全景(南から)			
	7	3区P191全景(南から)			
	8	3区P192全景(南から)			
	9	3区P193全景(南から)			
	10	3区P194全景(南から)			
	11	3区P195全景(南から)			
	12	3区P196全景(南から)			
	13	3区P197全景(南から)			
	14	3区P198全景(東から)			
	15	3区P199全景(東から)			
PL.31	1	3区P200全景(南から)			
	2	3区P201全景(南から)			
	3	3区P202全景(北から)			
	4	3区P203全景(南から)			
	5	3区P204全景(南から)			
	6	3区P205全景(南から)			
	7	3区P206全景(南から)			
	8	3区P207全景(南から)			
	9	3区P208全景(南から)			
	10	3区P209全景(南から)			
	11	3区P210全景(南から)			
	12	3区P211全景(南から)			
	13	3区P212全景(南から)			
	14	3区P213全景(南から)			
	15	3区P214全景(南から)			
			PL.32	1	3区P215全景(南から)
				2	3区P215・216全景(南から)
				3	3区P217全景(南から)
				4	3区P218全景(南から)
				5	3区P219全景(南から)
				6	3区2号焼土全景(南東から)
				7	3区2号焼土セクション(南東から)
				8	3区3号焼土(南から)
				9	3区3号焼土掘り方(南から)
				10	3区3号焼土掘り方(西から)
				11	3区4号焼土東壁セクション(西から)
				12	3区4号焼土西壁セクション(北から)
				13	3区4号焼土北壁セクション(南から)
				14	3区4号焼土北壁石除去後セクション(南から)
				15	3区4号焼土遺物出土状況(西から)
			PL.33	1	5区5号焼土セクション(南から)
				2	4区から5区を望む(西から)
				3	1区調査区全景(南から)
				4	2区調査区小穴、柱穴全景(東から)
				5	2区調査区小穴、柱穴全景(北から)
				6	3区調査区北部全景(北から)
				7	3区2面調査区東部全景(南から)
				8	3区2面調査区全景(東から)
				9	3区調査区追加部分全景(北東から)
				10	3区2面調査区全景(南から)
				11	3区調査区追加部分全景(北東から)
				12	3区2面調査区全景(南西から)
				13	3区調査区追加部分全景(南東から)
				14	3区調査区北西全景(南から)
				15	3区調査区北部全景(南西から)
			PL.34	1	4区調査区全景(東から)
				2	4区調査区全景(南東から)
				3	4区調査区全景(南西から)
				4	4区調査区全景(西から)
				5	5区調査区中テラス現況(北から)
				6	5区2面調査風景(北から)
				7	5区調査区中テラス全景(北から)
				8	5区調査区中テラス盛土部分(南から)
				9	5区調査区中テラス全景(東から)
				10	5区調査区中テラス盛土掘り方(北東から)
				11	5区調査区中テラス尾根上南壁セクション(西から)
				12	5区調査区中テラス尾根上南壁セクション(西から)
				13	5区調査区中テラス3号集石(東から)
				14	5区調査区中テラス盛土掘り方(東から)
				15	5区調査区中テラス南壁セクション(南から)

第1章 調査の方法と経過

第1節 調査に至る経過

吾妻川は、その源を群馬・長野県境にある鳥居峠に発し、浅間山・草津白根山の間を東流して万座川・熊川・白砂川等の支流を合わせ、途中吾妻峡と称される美観をつくりながら、温川・四万川・名久田川等の支流を合わせ、渋川市付近で利根川と合流する全長76.2kmの一級河川である。

八ッ場ダムは、その吾妻川の中流に建設され、①洪水調節、②流水の正常な機能維持、③水道及び工業用水の新たな確保並びに発電を供給する多目的ダムである。規模は天端標高586m、堤高116m、湛水面積約3.0km²、総貯水容量1.075億m³を図る重力式コンクリートダムである。ダムが所在するのは、左岸が群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字八ッ場、右岸が大字川原湯字金花山にあり、名勝「吾妻峡」東付近にあたる。

八ッ場ダム建設計画は、「昭和24年利根川改修改定計画」の一環として、昭和27年5月に調査着手後、平成4年7月「八ッ場ダムに建設事業に係る基本協定書」及び「用地補償調査に関する協定書」が締結されることにより本格着工となった。

八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査の実施に関しては、平成6年3月18日に建設省関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長との間で「八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」が締結され、埋蔵文化財発掘調査事業の実実施計画が決定した。これにより、委託者である建設省関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長とが年度区分ごとに発掘調査受委託契約を締結のうえ、以後発掘調査が実施されることが決定したのである。

この協定を踏まえて、平成6年4月1日に関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長により発掘調査受委託契約を、同日に群馬県教育委員会教育長と財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長により発掘調査受委託契約を締結し、八ッ場ダム侵入路関連遺跡を調査箇所とする八ッ場ダム埋蔵文化財発掘調査が開始された。

平成11年4月1日には、建設省関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長の間で「八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定の一部を変更する協定書(第1回変更)」が締結され、発掘調査受委託契約についての変更が行われた。これにより、受委託が群馬県教育委員会教育長から財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長へ変更となり、現在の調査体制に至っている。

また、平成17年4月1日、同協定書(第2回変更)の締結により、発掘調査の業務完了期日が「平成18年3月31日」から「平成23年3月31日」まで延長、平成20年3月31日、同協定書(第3回変更)の締結により、発掘調査の業務完了期日が「平成28年3月31日」まで延長、平成28年3月25日、同協定書(第4回変更)の締結により、発掘調査の業務完了期日が「平成29年3月31日」まで延長、平成29年3月29日、同協定書(第5回変更)の締結により、発掘調査の業務完了期日が「平成32年3月31日」まで延長された。

第2節 調査経過・調査方法・調査概要・整理事業の経過

1 調査経過

中棚Ⅰ遺跡は長野原町大字林字中棚に所在する。周辺では本遺跡の北に接した場所を平成23年度に長野原町教育委員会により発掘調査が行われている。平安時代住居跡等が確認された。中棚Ⅰ遺跡の調査はそれに続くものである。本調査は平成29年4月1日から12月31日に実施した。対象面積は8,176m²で、標高約600mを測る。同年4月1日から12月26日に南に接し、段丘下の中棚Ⅱ遺跡の発掘調査も並行して実施され、比高差は約40mある。また、遺跡内東端部は標高630mにあり、さらに丘のように高くなる。八ッ場ダム建設の事前調査では、多くの遺跡で天明の泥流が確認されているが、段丘の頂部にあるため、泥流は確認されていない。

2 調査方法

中柵 I 遺跡は吾妻川左岸河岸段丘の最頂部に位置するため、天明の泥流被害はない。調査は、バックホーで、調査面まで掘削をした。その後、発掘作業員により遺構確認作業を行った。遺構確認後は移植ごて等により遺構調査を行った。その際、出土した遺物は遺構に伴うものは遺構名を冠し、測量業者委託によりデジタル測量を基本として取り上げた。遺構の所属が明確でないものは遺構外として取り上げた。デジタル測量の縮率は1/10・1/20・1/40を基準とし、遺構に対し、適宜選択した。遺構断面測量も平面測量に準じた。

遺構写真は、現場担当者による地上写真、高所作業車による写真撮影を行った。他に委託業者による航空写真撮影(ラジコンヘリ使用)撮影を行った。現場担当者による撮影は、デジタルカメラ(Canon EOS Kiss Digital N)と6×7版モノクロネガフィルムを使用した。

3 調査概要

中柵 I 遺跡の調査は東西に長いので、西側から1～5区に分けた。調査面は2面を調査した。第1面では平安期の竪穴建物、掘立柱建物跡等、第2面では小穴、土坑を確認した。1面と2面との時期差はないものと考えられる。

1区1面は、現代の住宅造成のため、多くの部分が掘削されていた。遺構は土坑、小穴等を確認した。2区1面では、竪穴建物竈の残骸が確認されたが、ほとんどの部分は1区同様現代の住宅造成のためコンクリート基礎による攪乱を受けていた。他に小穴、集石が確認された。

3区第1面では竪穴建物が3棟検出された。竈は2棟が東壁、1棟は北壁に付設されていた。このうち1棟は竈が2ヶ所に確認された。3棟の住居跡は等間隔に同じ等高線上に確認された。掘立柱建物跡が3棟確認され、建て方は4間×5間、2間×3間が2棟である。1棟には柵が付設していた。他に土坑、小穴、焼土跡が確認された。土坑には陥し穴、中世の古銭を伴う土壇墓が確認された。第2面には土坑、焼土跡が確認された。4区には竪穴住居1棟、近現代の建物の基礎が確認され、尾根を走る道、陥し穴、古銭を伴う土壇墓が確認されている。

5区1面は雑木林と傾斜地のため重機が上がりず、手

掘りのトレンチを多数入れた。頂上部とその下の中断の平坦面を集中して遺構確認を行った。頂上部では遺構を確認することができなかったが、攪乱面から中世の内耳土器片が確認された。中段平坦部には掘立柱建物跡が1棟確認され、他に土坑、焼土、溝、墓等が確認された。掘立柱建物跡は傾斜面の高い面は削られ、低い面には盛り土がなされ、平らな面を作り出している。調査区内に7ヶ所の旧石器確認のため、トレンチを開けたが、検出はできなかった。

4 整理事業の経過

整理事業は平成30年4月1日から平成30年8月31日まで実施し完了した。作業は、遺構平面図から開始し、各遺構出土遺物の分類作業を行った。土器については接合が終わったものは復元し、近接写真撮影作業を行った。

土器は実測し、実測が終了したものはトレースを行い、観察表を作った。また出土人骨をクリーニングし、分析にかけた。遺構図と遺物等のトレースが終わると原稿執筆に入り、報告書のレイアウト、デジタル編集を行なった。平成31年2月には印刷、製本を行い、発掘調査報告書を刊行した。整理した遺物と写真は整理台帳を作成し、活用に向けて遺物の収納作業を行い、すべての整理作業を終了した。

第3節 調査区の概要

1 調査区の設定

平成6年度から始まった八ッ場ダム建設に伴う発掘調査においては、遺跡名称の略号やグリッドの設定などについて「八ッ場ダム関連埋蔵文化財発掘調査方法」に基づき進められている。以下、報告書でもそれに準拠し、必要部分について掲載する。

調査における遺跡番号は、八ッ場ダム建設に関わる長野原町の大字5地区(1:川原畑、2:川原湯、3:横壁、4:林、5:長野原)、東吾妻町の大字3地区(6:三島、7:大柏木、8:松谷)に番号を付し、八ッ場ダムの略号(YD)に続ける。ハイフン以下は各地区内に所在する遺跡に対して調査順に通し番号を付し、遺跡番号とする。中柵 I 遺跡は「YD 4-」である。

基準座標は、国家座標(2002年4月改正以前の日本測地系)に基づく平面直角座標第IX系(日本測地系)を使用し、東吾妻町大柏木付近を原点(座標値 X=+58000.0、Y=-97000.0)とした1km方眼を基点として60の区画を設定し、この大グリッドを「地区」と呼ぶ。本遺跡はこのNo.に所在する。さらに、1km方眼を南東隅から100m方眼の1～100に区画し、この中のグリッドを区とする。南東隅を1とし、東から西へ連続する10単位を南から北へ配列し、北西隅を100として完結するよう配置する。

区の100m方眼は、さらに4m方眼で625区画に分割され、その4m方眼の小グリッドを「グリッド」と呼ぶ。なお、小グリッド東西にはA～Yまでのアルファベットを、南北には1～25までの算用数字を用いながら、南東隅を基点とし、グリッドとする。

また、遺構図や本文中の記載において、特に混乱が予想されない場合は地区番号を略して用いている。

2 調査前の状況

調査区は、JR長野原線川原湯温泉駅周辺であり、駅の南側には国道が東西方向にあった。この駅から川原湯温泉まで歩いていける距離にあり、温泉客等によりにぎわっていた。調査段階では、駅舎は解体され、駅の陸橋と鉄道の路線が残されていた。国道南には国土交通省の住民センターの建物が残っただけであった。これらの建物は、調査が開始されると、すぐに解体された。

2 基本土層

中棚I遺跡は、吾妻川河岸段丘の最上段に所在する。標高は約600mを測り、天明の泥流を被覆しない遺跡である。基本土層は2・3区の3ヶ所で確認した。

以下に場所と土層を示す。

2区下位面確認トレンチ基本土層南壁SPA-A'

1. 黒褐色土(10YR2/3)粘性・縮りあり。黄色粒多量含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2)粘性・縮り多少あり。黄色粒少量含む。
3. 黄褐色土(10YR5/6)粘性・縮りなし。黄色粒若干あり。

3区西側北壁基本土層

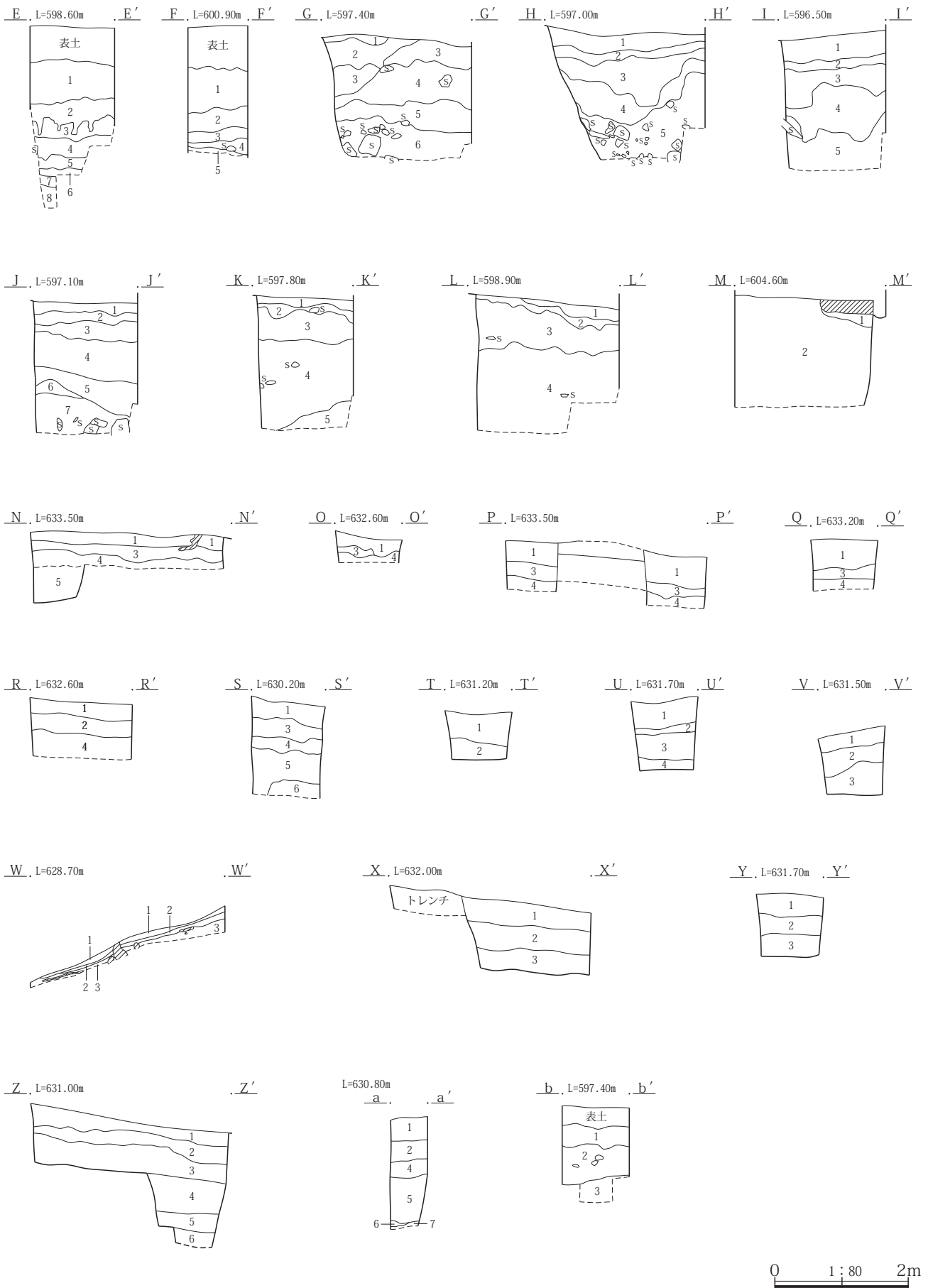
1. 黒色土(10YR2/1)粘性・縮りなし。

2. 黒色土(10YR2/1)粘性・縮りなし。黄色粒なし。5～10mm大の亜角粒多量に含む。
3. 黒褐色土(10YR2/3)粘性・縮りあり。黄色粒少量含む。
4. 黒褐色土(10YR2/3)粘性・縮りあり。黄色粒少量含む。
5. 黒褐色土(10YR2/2)粘性・縮りあり。黄色粒少量含む。
6. 漸移層
7. 黄褐色土(10YR5/6)粘性・縮りなし。黄色粒若干含む。
8. As-YPk層

3区東側北壁

1. 黒褐色土(10YR2/3)粘性・縮りあり。黄色粒少量含む。
2. 黒褐色土(10YR2/3)粘性・縮りあり。黄色粒多量含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2)粘性・縮りあり。黄色粒少量含む。
4. 漸移層
5. 黄褐色土(10YR5/6)粘性・縮りなし。黄褐色粒を若干含む。

第1章 調査の方法と経過



第1図 旧石器試掘トレンチ断面図

E-E'

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりあまりなし。
- 2、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりあまりなし。黄色粒を若干含む。5～10mm大の亜角礫を多量に含む。
- 3、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりあり。黄色粒を少量含む。
- 4、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりあり。黄色粒が2より多め。
- 5、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。黄色粒を少量含む。
- 6、漸移層
- 7、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、締まりなし。黄色粒を若干含む。
- 8、As-YP層

F-F'

- 1、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりあり。黄色粒を少量含む。
- 2、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりあり。黄色粒が2より多め。
- 3、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。黄色粒を少量含む。
- 4、漸移層
- 5、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、締まりなし。黄色粒を若干含む。

G-G'

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。2の土との漸移層にあたる。
- 2、黄褐色土(10YR5/6)粘性あり、締まりあり。YPK多量含む。
- 3、As-YPk純層
- 4、にぶい黄褐色土(10YR5/4)粘性あり、締まりあり。2～30cm大の礫を若干含むローム層。
- 5、褐色土(10YR4/6)粘性あり、締まりあり。1～20cm大の亜角礫やこぶし大の礫など雑多な礫を多量に含む。乱れた砂層ブロックも含む。
- 6、灰黄褐色土(10YR6/2)粘性あり、締まりあり。50cm大やこぶし大の礫を少量含む。均質な砂層と粘性があるシルト層との互層になっている。

H-H'・I-I'

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。YPK少量含む。
- 2、漸移層
- 3、黄褐色土(10YR5/6)粘性あり、締まりあり。YPK多量含む。
- 4、As-YPk純層
- 5、褐色土(10YR4/6)粘性あり、締まりあり。1～20cm大の亜角礫やこぶし大の礫など雑多な礫を多量に含む。乱れた砂層ブロックも含む。

J-J'

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。YPK少量含む。
- 2、漸移層
- 3、黄褐色土(10YR5/6)粘性あり、締まりあり。YPK多量含む。
- 4、にぶい黄褐色土(10YR5/4)締まりあり、粘性あり。
- 5、4の土とシルト層の互層
- 6、As-YPk純層。下面に火山灰層を含む。
- 7、褐色土(10YR4/6)粘性あり、締まりあり。1～20cm大の亜角礫やこぶし大の礫など雑多な礫を多量に含む。乱れた砂層ブロックも含む。

K-K'

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。YPK少量含む。
- 2、漸移層
- 3、黄褐色土(10YR5/6)粘性あり、締まりあり。YPK多量含む。
- 4、褐色土(10YR4/6)粘性あり、締まりあり。1～20cm大の亜角礫やこぶし大の礫など雑多な礫を多量に含む。乱れた砂層ブロックも含む。
- 5、にぶい黄褐色土(10YR5/3)締まりあり、粘性あり。

L-L'

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。
- 2、漸移層
- 3、黄褐色土(10YR5/6)粘性あり、締まりあり。
- 4、暗褐色土(10YR3/3)粘性あり、締まりあり。摩滅していない黒色の破碎岩片を少量含む。3～30mm大雑多な礫を多量に含む砂層と黄色ローム層との互層になっている。

M-M'

- 1、黄褐色土(10YR5/6)、粘性あり、締まりあり。YPK少量含む。
- 2、褐色土(10YR4/6)粘性あり、締まりあり。YPK多量含む。1～20cm大の亜角礫やこぶし大の礫など雑多な礫を多量に含む。乱れた砂層ブロックも含む。

N-N'・O-O'・P-P'・Q-Q'・R-R'

- 1、表土
- 3、暗褐色土(10YR3/4)粘性なし、締まりなし。
- 4、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、締まりあり。3の土がブロック状に大量に混じっている乱れた層。
- 5、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、締まりなし。

S-S'・U-U'・V-V'・X-X'・Y-Y'・Z-Z'・a-a'

- 1、表土
- 2、黒褐色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。
- 3、暗褐色土(10YR3/4)粘性なし、締まりなし。
- 4、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、締まりあり。3の土がブロック状に大量に混じっている乱れた層。
- 5、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、締まりなし。
- 6、細粒砂層の互層。粘性なし、締まりあり。
- 7、As-YPk純層。

T-T'

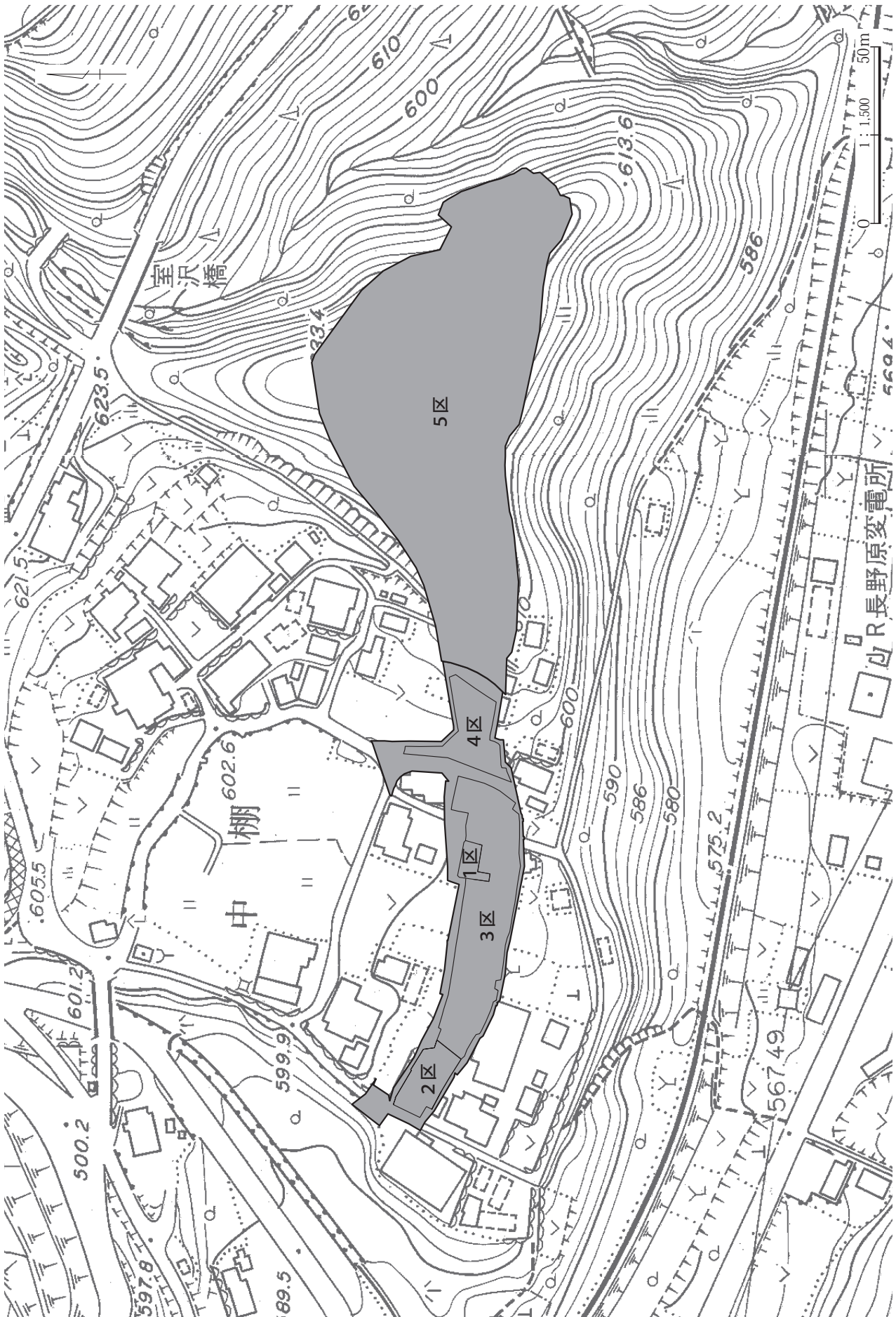
- 1、表土
- 2、暗褐色土(10YR3/4)粘性なし、締まりなし。

W-W'

- 1、表土(As-A軽石少量含む)
- 2、暗褐色土(10YR3/3)締まりなし、粘性なし。
- 3、黄褐色土(10YR5/6)締まりなし、粘性なし。10～20mm大の軽石粒を極少量含む。

b-b'

- 1、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりあり。黄色粒が2より多め。
- 2、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。黄色粒を少量含む。
- 3、黄褐色土(10YR5/6)粘性あまりなし、締まりあまりなし。黄色粒を若干含む。



第2図 中棚I遺跡全体図(長野原都市計画図1:2,500)

第2章 遺跡の環境

第1節 地理的環境

長野原町は群馬県北西部、吾妻郡の南西隅に位置する。町内の北部を吾妻川が東流し、川を挟んだ北西には草津白根山、南西には浅間山が位置する。町の東部には吾妻川の北に高間山(1342m)、王城山(1123m)、南には丸岩(1124m)、菅峰(1474m)、浅間隠山(1757m)、鼻曲山(1655m)などが南北に連なる。長野原町の地形の特徴から、高間山、白根山の両山系と菅峰に挟まれた吾妻川、吾妻川流域地帯の北部と浅間高原地帯の南部に大別される。

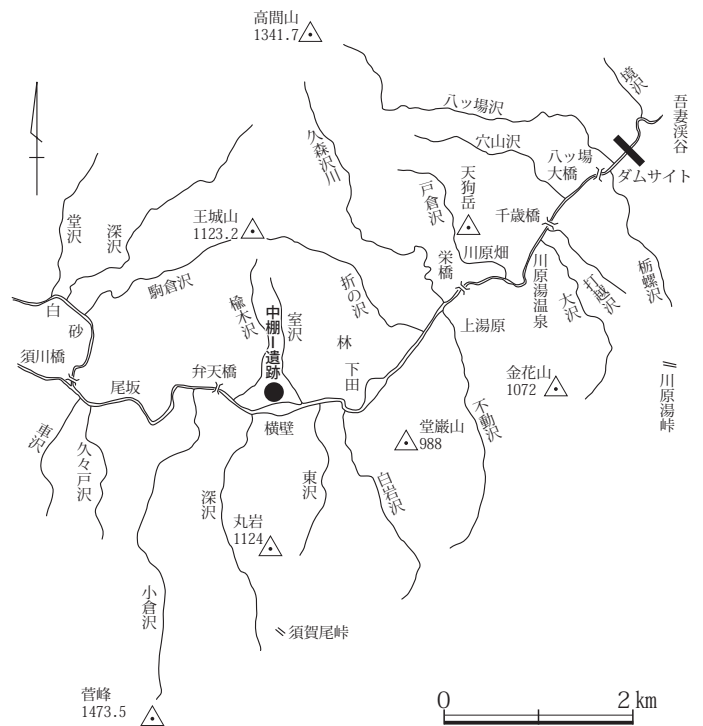
吾妻川は、長野県境の鳥居峠(1362m)付近に水源を発して東流し、町域の中央部では川幅をやや広くするものの、東端では第3紀層を刻んで吾妻渓谷を形成している。支流も数多く、兩岸の山地から発する河川や溪流が何条にも及んでいる。左岸には草津白根山麓から発する万座川や赤川、遅沢川、上信越国境白砂山麓から発する白砂川などが南流する。右岸には、浅間山麓から発する小宿川、鼻曲山麓から発する熊川などが北流する。流長76.2kmの吾妻川は、渋川市街地付近で、全長322kmの利根川に合流する。

長野原町は、地質構造上では那須火山帯と富士火山帯が接する付近にあるため、周囲の山地は火山活動により形成された火山性山地が多く、浅間山や白根山は現在も活動を続けている。高間山や王城山、菅峰も約100~90万年前頃活動していた火山であるが、現在は浸食が進みほとんど原形をとどめていない。菅峰火山から流出した溶岩が断層によって独立したものが「丸岩」である。丸岩は南側を除いた三方が100mにも達する垂直の崖に囲まれ、吾妻川方面から望むと巨大な円柱状に見える特徴的な岩峰である。長野原・横壁・林・川原湯・川原畑のハツ場ダム関連の5地区どこからでも望むことができるランドマークになっている。吾妻川兩岸には、吾妻川からの比高差を基準に、最上位、中位、下位の4段階の河岸段丘面が形成されている。

現在の吾妻川からの平均的な比高差は、最上位段丘で約80~90m、上位段丘で約60~65m、中位段丘で約30~

50m、下位段丘で約10~15mを測る。

長野原町の地質形成に大きな影響を与えた火山が浅間山である。町の南西部、長野県境に位置し、古い方から黒斑山、仏岩、前掛山、釜山の4つの火山帯で構成される標高2568mの成層火山である。約2.1万年前の黒斑火山の噴火では、山体崩壊によって「応桑泥流」が発生した。この泥流堆積物は、当時の河床を数十mの厚さで埋めており、その後の浸食によって吾妻川兩岸に最上位と上位の河岸段丘面が形成されたといわれている。浅間山はその後も多く火山噴出物を堆積させているが、特に浅間山草津黄色軽石(As-YPk:1.3~1.4万年前)の堆積が顕著である。また、浅間Bテフラ(As-B:1108年)や浅間粕川テフラ(As-Kk:1128年)も平安時代の黒色土中に数cmの厚さで確認することができる。天明三年(1783)の噴火により発生した泥流は、下位段丘面や中位段丘面を平均約1mの厚さで被覆している。中棚I遺跡は、標高約600mを測り、吾妻川左岸最上位段丘面に大字林字中棚に所在する。北に王城山、南に丸岩を望む。対岸には横壁中村遺跡がある。



第3図 中棚I遺跡周辺の地名

(『長野原の自然』長野原町1993 加徐筆引用)



第4図 遺跡位置図

(国土地理院1/200,000地勢図「長野」平成18年11月1日発行・1/50,000地形図「草津」平成11年1月1日発行を使用)

第2節 歴史的環境

中棚Ⅰ遺跡は、平安時代から中近世にわたる遺跡である。吾妻川最上段に所在するため天明の泥流の被害はない。東に位置する下湯原遺跡は中位段丘面に所在し、標高は最高で約545mを測り、遺跡全体は天明の泥流におおわれている。中棚Ⅰ遺跡は吾妻川最上位段丘とはいえ、ぎりぎりのところで被災を免れたわけである。ここで長野原町の遺跡、遺構の概略を説明する。

旧石器時代

長野原町では旧石器の遺物の検出確認例はない。

縄文時代

吾妻川およびその支流は沿岸の段丘面、特に中、上、最上位河岸段丘、丘陵部に遺跡が多く分布し、集落が展開する。早期前半の撚糸文土器や早期の押型文土器などが楡木Ⅱ遺跡(遺15)、立馬Ⅱ遺跡(遺14)等で出土している。前期の遺構数は少なく、上原Ⅰ遺跡(文44)で住居が確認されている。中期になると遺跡数、遺構量とも大幅に増加する。大きな遺跡として林中原Ⅱ遺跡(文45)、長野原一本松遺跡(遺22)、上ノ平Ⅰ遺跡(遺5)、横壁中村遺跡、林中原Ⅱ遺跡がある。晩期になると遺跡数は減少する。川原湯勝沼遺跡(遺7)では、氷Ⅱ式土器による再葬墓と思われる土坑が検出されている。

弥生時代

長野原町では、遺跡は非常に少ない。尾坂遺跡(遺25)では、前期の再葬墓や土坑、立馬Ⅰ遺跡(遺14)は中期の住居甕棺墓が確認されている。

古墳時代

長野原町では古墳が確認されていない。調査した住居も極めて少ない。上原Ⅰ遺跡(文44)では前期と考えられる住居が確認された。5～6世紀後半の住居は下原遺跡(遺18)、上原Ⅳ遺跡(遺16)で確認されている。

奈良・平安時代

奈良時代の集落は現在まで確認されていない。9世紀中ごろ平安時代になると町内多くの地域で大きな集落が確認される。上ノ平Ⅰ遺跡(遺5)では皇朝十二銭「貞観永寶」とともに多くの灰釉陶器が出土している。この時代になると多くの遺跡で県内外との交流網の存在が指摘できる。9～10世紀を主体とする規模の大きい遺跡は、横壁中村遺跡(遺9)、楡木Ⅱ遺跡(遺15)がある。

中近世

吾妻地域では1500年代後半になると真田氏が進出してくる。その時代の城は、羽根尾城、長野原城、原城、林城、丸岩城、柳沢城がある。永禄5年、1563年「長野原合戦」は長野原城を中心とした戦いである。同年に東吾妻町岩櫃城が真田の支配下にはいる。

中棚Ⅰ遺跡は平安の住居と中近世の遺跡である。他に土坑、小穴が確認されている。調査区中央部では中近世の掘立柱建物跡が確認されている。近世では吾妻川対岸に所在する東宮遺跡(遺2)、西宮遺跡(遺3)で集落を確認している。

これまで発掘された中近世の大きな遺跡は、中世林城の石垣の堀や石垣のほかに、掘立柱建物跡が68棟確認された林中原Ⅰ遺跡(文46)、下田遺跡(遺19)で11棟、横壁中村遺跡(遺9)で13棟、上郷岡原遺跡(遺26)で34棟である。近世屋敷を多く検出した石川原遺跡(遺36)、東宮遺跡、西宮遺跡、尾坂遺跡(遺25)、町遺跡(遺35)、下田遺跡、東吾妻町の上郷岡原遺跡がある。これら遺跡は一つの村落を構成し、集落内には、道、井戸、水路、石垣等が確認されることが多く、天明年段階での集落を村落の様子が明らかとなってきた。大規模な畑を検出した遺跡は、下湯原遺跡、尾坂遺跡、東吾妻町の岡原遺跡等がある。

江戸時代の林村は吾妻川左岸、高間山、王城山の南麓にあり、主体の集落は段丘上の平坦地に所在する。村の北側を信州に向かう信州道が東西に走っている。西は長野原村、南には吾妻川を挟んで横壁村、川原湯村がある。戦国時代、永禄3年(1560)上杉謙信の関東出陣の時、上杉方に属し、武田氏の家臣真田氏に攻略されその支配下になった。その時の戦いで林村が拠点となった場所である。この戦い以後、真田領となった。その後、天和元年(1681)沼田藩真田家の改易により、幕府領となった。

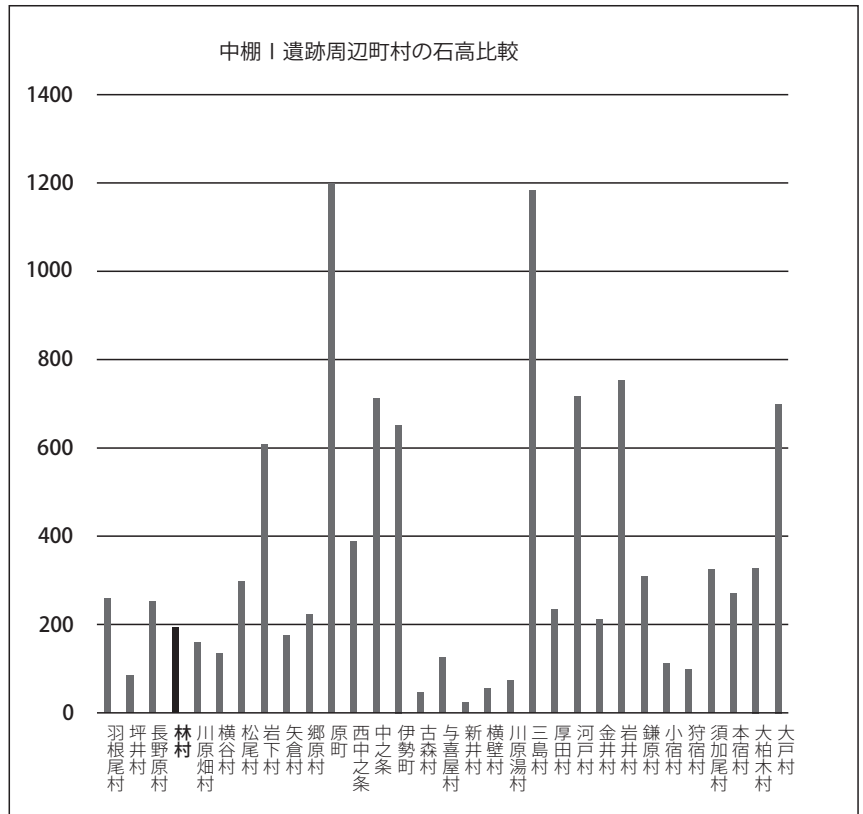
石高は万治元年(1659)の検地では120石、寛文3年(1663)564石、貞享2年(1685)95石、元禄15年(1702)195石とある(第1表)。寛文3年の検地では564石と高くなっているが、これは沼田藩5代藩主真田伊賀守信利が、真田松代本家の10万石に対抗するため、表高3万石に対して14万4000石と幕府に報告した結果である。真田家が改易されると、貞観2年の検地では95石に下がっている。

第2章 遺跡の環境

第1表 林村周辺における元禄16年(1703)の石高一覧

区域	町村名	石高
吾妻川左岸	羽根尾村	258.278
	坪井村	84.315
	長野原町	252.479
	林村	195.415
	川原畑村	159.913
	横谷村	134.357
	松尾村	296.733
	岩下村	607.95
	矢倉村	175.513
	郷原村	223.082
	原町	1198.732
	西中之条	387.862
	中之条	711.508
伊勢町	652.227	
吾妻川右岸	古森村	46.304
	与喜屋村	126.321
	新井村	24.049
	横壁村	55.272
	川原湯村	73.705
	三島村	1181.89
	厚田村	235.466
	河戸村	717.732
	金井村	210.377
	岩井村	752.884
	鎌原村	309.154
信州街道	小宿村	113.294
	狩宿村	99.919
	須加尾村	325.782
	本宿村	271.243
	大柏木村	327.401
	大戸村	699.55

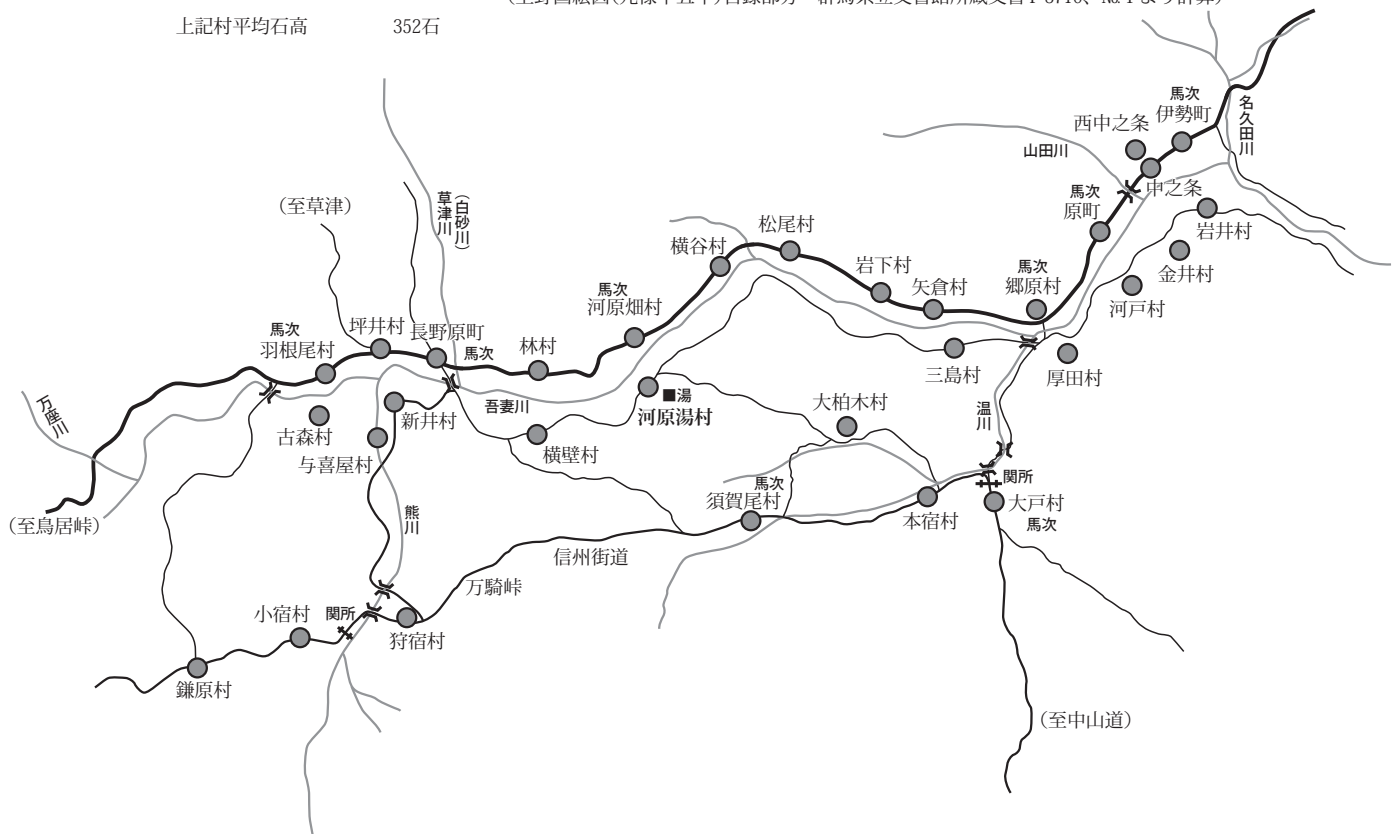
上記村平均石高 352石



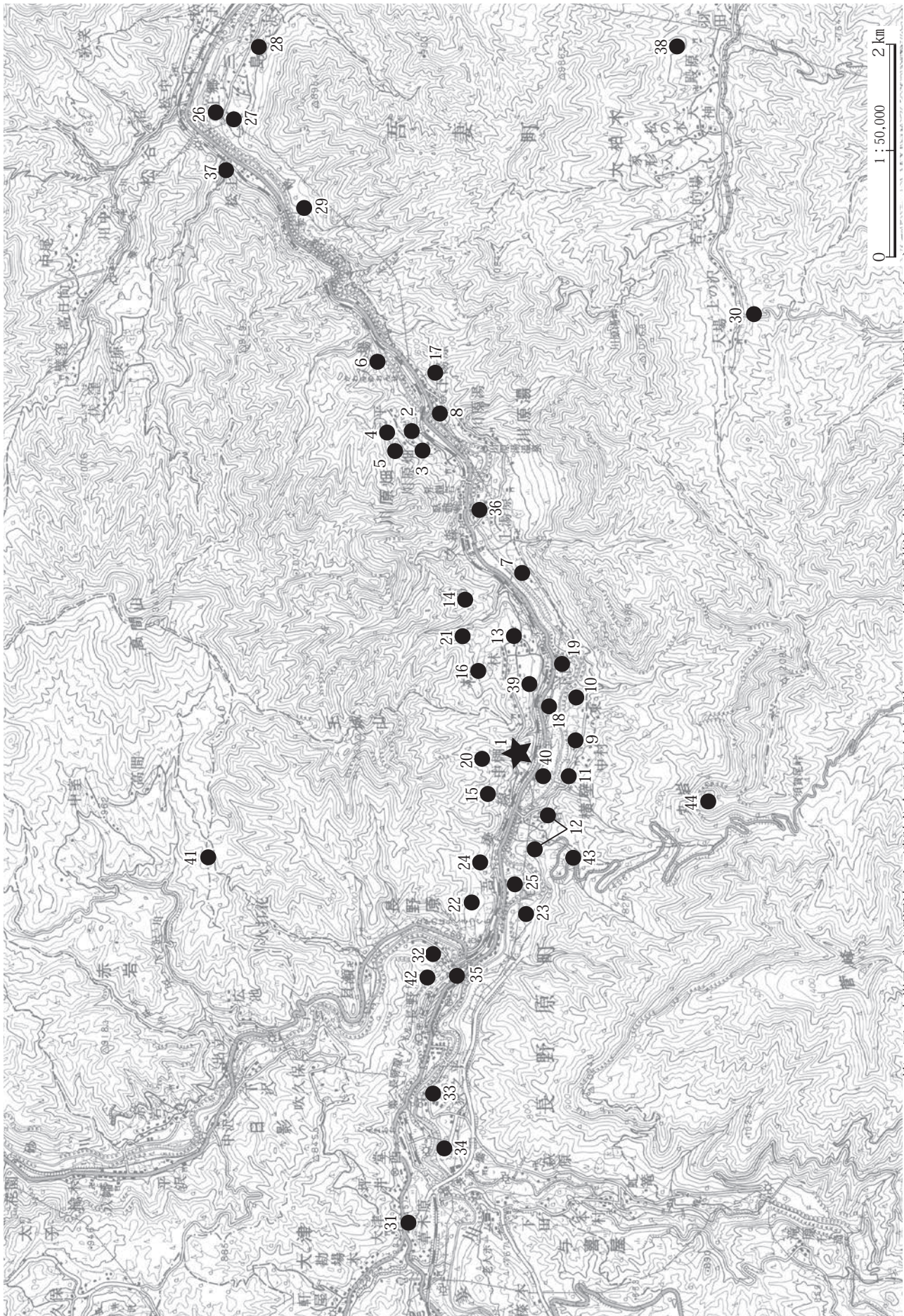
『群馬県史』資料編11付録郷村変遷の元禄16年の資料により作成

県内平均石高 404石

(上野国絵図(元禄十五年)目録部分 群馬県立文書館所蔵文書P8710、No.1より計算)



第5図 吾妻郡林村周辺の道と村(元禄国絵図「上野国」群馬県立文書館所蔵より修正して作成)



第6図 中世及び天明泥流下の遺跡分布図(国土地理院1:50,000地形図「草津」使用)(中棚I遺跡は泥流下ではない)

第2章 遺跡の環境

第2表 中近世周辺遺跡一覧

遺跡 No.	遺跡名(所在地)	遺構内容	文献 No.
1	中棚 I (林)	本報告書参照	本報告書
2	東宮(川原畑)	(中世)集石1、土坑(墓坑)2 (近世)家15、畑29、平坦面10、石垣19、道5、溝9、溜池1、集石1、井戸1、土坑6、炬燵1、礎石多数、石段1	2・30・31
3	西宮(川原畑)	畑、屋敷3棟、井戸、道、建物内に板間の痕跡がのこる	38
4	三平 I・II (川原畑)	(中近世)掘立柱建物10、土坑63、焼土2、集石3、柱穴列1、礎石2、溝1	12
5	上ノ平 I (川原畑)	(近世)墓坑17、土坑11	21
6	石畑(川原畑)	畑2	2
7	川原湯勝沼(川原湯)	(中近世)溝3、畑14、平坦面30、ヤックラ19、道5	2・5
8	西ノ上(川原湯)	(近世)畑12、円形平坦面3、道3	4
9	横壁中村(横壁)	(中近世)掘立柱建物13、竪穴遺構1、土坑473、石垣19、列石2、石列4、石組遺構7、配石8、集石3、石囲い遺構3、溝4、焼土42、礎石建物1、鍛冶跡1、ヤックラ4、墓坑(人)23、墓坑(獣)8、畑1等	3・6・9・18・20・28
10	横壁勝沼(横壁)	(中近世)土坑墓3	2
11	山根Ⅲ(横壁)	(中近世)土坑墓3 (近世)土坑5等	2
12	西久保 I・IV(横壁)	(中近世)土坑3 (近世)畑等	32
13	東原 I・II・III(林)	掘立柱建物7、礎石建物1、土坑27、柱穴列1、溝7、焼土2等	29
14	立馬 I・II・III(林)	掘立柱建物2、ピット群2、土坑8、溝状遺構15等	10・7・24
15	楡木 I・II・III(林)	掘立柱建物20、礎石建物1、石垣3、集石5、石列3、礎石1、テラス3、土坑墓1、土坑206、溝17、焼土20、湧水2、畑1、陥穴42等	2・16・32
16	上原Ⅳ(林)	溝5、旧河道跡2、土坑6等	15
17	下湯原(川原湯)	畑41、平坦面39、ヤックラ70、道10、石垣23、墓2等	48
18	下原(林)	掘立柱建物3、畑30、平坦面31、溝23、土坑88、石垣22、焼土23、ヤックラ17、石列5、石組5、柵列2、土坑墓2、集石34、水田1、道10等	3・11
19	下田(林)	(近世)家1、畑2	2
20	二反沢(林)	(中世)造成3、石垣4 (近世)溝1、畑2等	8
21	花畑(林)	なし	2
22	長野原一本松(長野原)	土坑65、溝5、暗渠1、道路跡1、集石土坑2、竪穴状遺構6、柵列1、集石5、掘立柱建物2、焼土20、石列1等	1・13・17・22・25・33
23	久々戸(長野原)	畑29、平坦面32、ヤックラ32、石垣7、道6、土盛り1、掘立柱建物2等	3・4
24	幸神(長野原)	畑2	15
25	尾坂(長野原)	畑1、溝1、石垣B1	2・47
26	上郷岡原(東吾妻町三島)	家3、掘立柱建物34、竪穴状遺構13、礎石建物3、土坑780、土坑墓19、石組遺構3、集石3、焼土62、井戸2、畑95、平坦面73、水田7、道19、溝43、積石12、石列1、馬屋跡1、便槽13、火葬跡1、土坑墓1等	14・19・26
27	上郷 A(東吾妻町三島)	溝1、	4・27
28	上郷 B(東吾妻町三島)	土坑1、溝2、井戸2	8
29	上郷西(東吾妻町三島)	畑2、道1、溝1	23
30	廣石 A(東吾妻町大柏木)	土坑3、墓坑1	8
31	坪井(大津)	配石遺構1、集石遺構2	34
32	嶋木 I(長野原)	畑1、平坦面2	36
33	小林家住宅(長野原)	吾妻の分限者小林助左衛門屋敷の一部を検出、土蔵跡1棟、礎石建物1棟、屋敷の背後の石垣、石製I搗臼、固定臼、石臼、鉄銅製品、陶磁器等出土	35
34	旧新井村跡(与喜屋)	石臼(餅つき用)、米碾用石臼、五輪塔、鉈、秤	39・40
35	町遺跡(長野原)	母屋と思われる建物から大量の建築部材や、多くの下駄等の木製品出土、遺跡北側は畑	41
36	石川原遺跡(川原湯)	お堂、寺院、道、用水、畑、寺院から出土した密教用具等、寺院は天台宗不動院と考えられる	42

周辺の中世城館跡

遺跡 No.	遺跡名(所在地)	①立地 ②現況 ③遺存状況 ④存続期間(推定伝承) ⑤築・在城者(推定・伝承) ⑥文献 ⑦関連地名 ⑧遺構・遺物等 ⑨備考	
37	雁の沢の砦(東吾妻町松谷)	①山・平地 ②山林・畠 ③中等 ④16世紀 ⑤横谷氏 ⑥加沢記、横谷文書 ⑦雁ヶ沢、萱刈場 ⑧掘切、腰郭 ⑨上野志には横谷となっている	37
38	羽田城(大柏木城)(芳の城)(東吾妻町大柏木)	①傾斜地 ②山林・畠 ③良 ④16世紀 ⑤羽田氏、浦野氏 ⑥関東幕注文、下屋文書、浦野文書、長純寺文書、高崎近郷百姓由来書、佐藤文書 ⑦羽田 ⑧堀、掘切、土橋、戸口、竪堀、土居、腰郭、帯郭 ⑨-	37
39	林城(林)	①崖端 ②山林 ③不良 ④不明 ⑤- ⑥- ⑦城 ⑧- ⑨-	37
40	中棚の砦(林中棚)	①段丘上 ②宅地・畠 ③不良 ④不明 ⑤- ⑥- ⑦- ⑧- ⑨-	37
41	長野原館(六合村火打花、赤岩)	①高原 ②山林 ③良 ④不明 ⑤- ⑥- ⑦字新左衛門 ⑧- ⑨長野氏隠棲地と伝える	37
42	長野原城(長野原)	①山 ②山林、墓地、社地 ③良 ④16世紀 ⑤湯本氏、常田氏 ⑥熊谷文書、生島足島起請文、加沢記 ⑦城山、箱岩、字古城址 ⑧堀切、土居、腰郭、竪堀 ⑨畑2枚	37
43	横壁城(柳沢城)(横壁)	①丘と山 ②山林、畠 ③中等 ④16世紀 ⑤横壁玄蕃 ⑥加沢記 ⑦字地蔵台、ジョウヒラ ⑧郭面、堀、土居 ⑨-	37
44	丸屋城(丸岩城)(横壁)	①山 ②山林 ③良 ④16世紀 ⑤- ⑥歴代古案 ⑦字堂石丸山 ⑧堀切、土居、戸口 ⑨頭状山容を示す	37

文献

- 1 『長野原一本松遺跡(1)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第1集2002
- 2 『ハッ場ダム発掘調査集成(1)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第2集2002
- 3 『久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡・下原遺跡・横壁中村遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集2003
- 4 『久々戸遺跡・中棚Ⅱ(2)遺跡・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第4集2005
- 5 『川原湯勝沼遺跡(2)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第6集2005
- 6 『横壁中村遺跡(3)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第7集2006
- 7 『立馬Ⅱ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第8集2006
- 8 『上郷B遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第9集2006
- 9 『横壁中村遺跡(4)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第10集2006
- 10 『立馬Ⅰ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第11集2006
- 11 『下原遺跡Ⅱ』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第12集2007
- 12 『三平Ⅰ・Ⅱ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第13集2007
- 13 『長野原一本松遺跡(2)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第15集2007
- 14 『上郷岡原遺跡(1)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第16集2007
- 15 『山根Ⅲ遺跡(2)・上原Ⅳ遺跡・幸神遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第17集2008
- 16 『榎木Ⅱ遺跡(1)(平安時代・中近世編)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第18集2008
- 17 『長野原一本松遺跡(3)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第19集2008
- 18 『横壁中村(6)―土坑編―』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第20集2008
- 19 『上郷岡原遺跡(2)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第21集2008
- 20 『横壁中村遺跡(7)―土器埋設遺構・掘立柱建物・環状柱穴列・柱穴列・集石・焼土編―』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第22集2008
- 21 『上ノ平Ⅰ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第23集2008
- 22 『長野原一本松遺跡(4)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第24集2008
- 23 『上郷西遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第25集2008
- 24 『立馬Ⅲ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第26集2009
- 25 『長野原一本松遺跡(5)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第28集2009
- 26 『上郷岡原遺跡(3)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第31集2009
- 27 『上郷A遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第32集2009
- 28 『横壁中村遺跡(10)―古代・中世・近世編1―』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第33集2010
- 29 『東原Ⅰ遺跡・東原Ⅱ遺跡・東原Ⅲ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第35集2010
- 30 『東宮遺跡(2)―遺構・建築部材編―』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第36集2011
- 31 『東宮遺跡(2)―遺物編―』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第38集2012
- 32 『榎木Ⅰ遺跡・上原Ⅳ遺跡・西久保Ⅳ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第39集2012
- 33 『長野原一本松遺跡(6)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第40集2013
- 34 『坪井遺跡Ⅱ』長野原町埋蔵文化財調査報告第7集 長野原町教育委員会2000
- 35 『小林家屋敷跡』長野原町埋蔵文化財調査報告第12集 長野原町教育委員会2005
- 36 『町内遺跡Ⅴ』長野原町埋蔵文化財調査報告第15集 長野原町教育委員会2005
- 37 『群馬県の中世城館跡』群馬県教育委員会1988
- 38 『西宮(1)・西宮岩陰遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第54集2017
- 39 『長野原町の遺跡』長野原町埋蔵文化財調査報告第1集 長野原町教育委員会1990
- 40 『緑よみがえった町鎌原』あさを社 1928 上州路文庫⑥
- 41 『町遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第45集2015
- 42 『遺跡は今(24)』(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2016
- 43 『下田遺跡(2)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第52集2017
- 44 『上原Ⅰ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第46集2015
- 45 『林中原Ⅱ遺跡(1)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第47集2016
- 46 『林中原Ⅰ遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第43集2014
- 47 『尾坂遺跡(2)』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第618集2016
- 48 『下湯原遺跡』ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第641集2017

第3章 検出された遺構と遺物

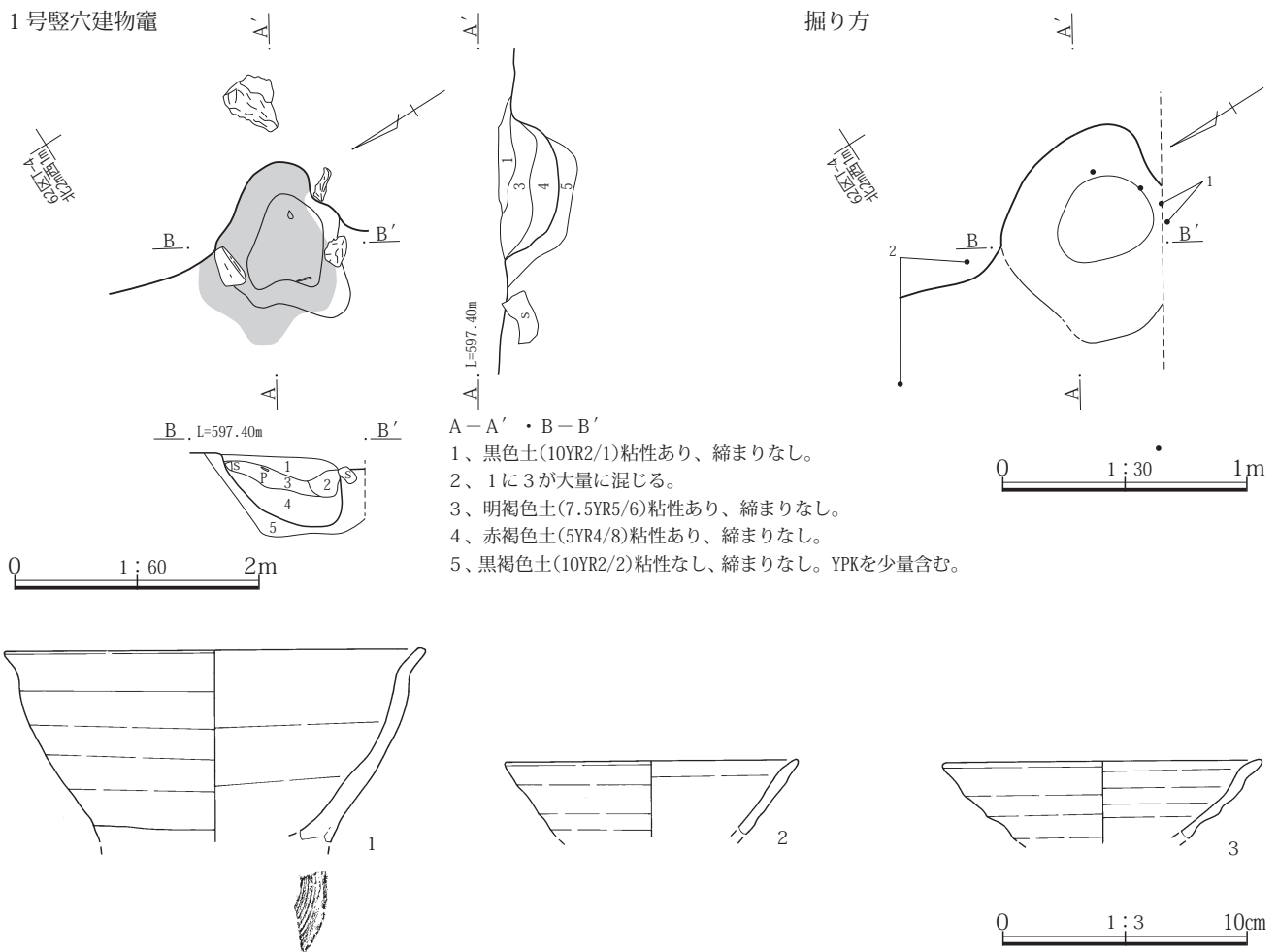
第1節 竪穴建物

中棚Ⅰ遺跡は平安時代～中近世の遺跡である。平安時代以前の遺構は確認されていない。吾妻川左岸最上段に位置し、このため天明の泥流の被害は受けていない。

住居跡は5軒検出された。1号竪穴建物は2区、2号竪穴建物は3区、3・4号竪穴建物は3区、5号竪穴建物は4区で検出された。

1号竪穴建物(第7図、PL. 7・35)

2区で確認された。2区は現代の建物があった場所で、コンクリートの基礎や建物の建築等でほぼ全面攪乱を受けていた。このため検出された1号竪穴建物は竈焼土の一部が確認されたのみであった。確認された焼土の範囲は80cm×50cmである。位置はX=613~614、Y=-177にあり、他の遺構との重複はない。建物の形態、方位は不明である。出土遺物は竈内から2点、竈外側で1点、3点の須恵器碗が確認された。



第7図 1号竪穴建物・出土遺物

第3表 1号竪穴建物出土遺物観察表

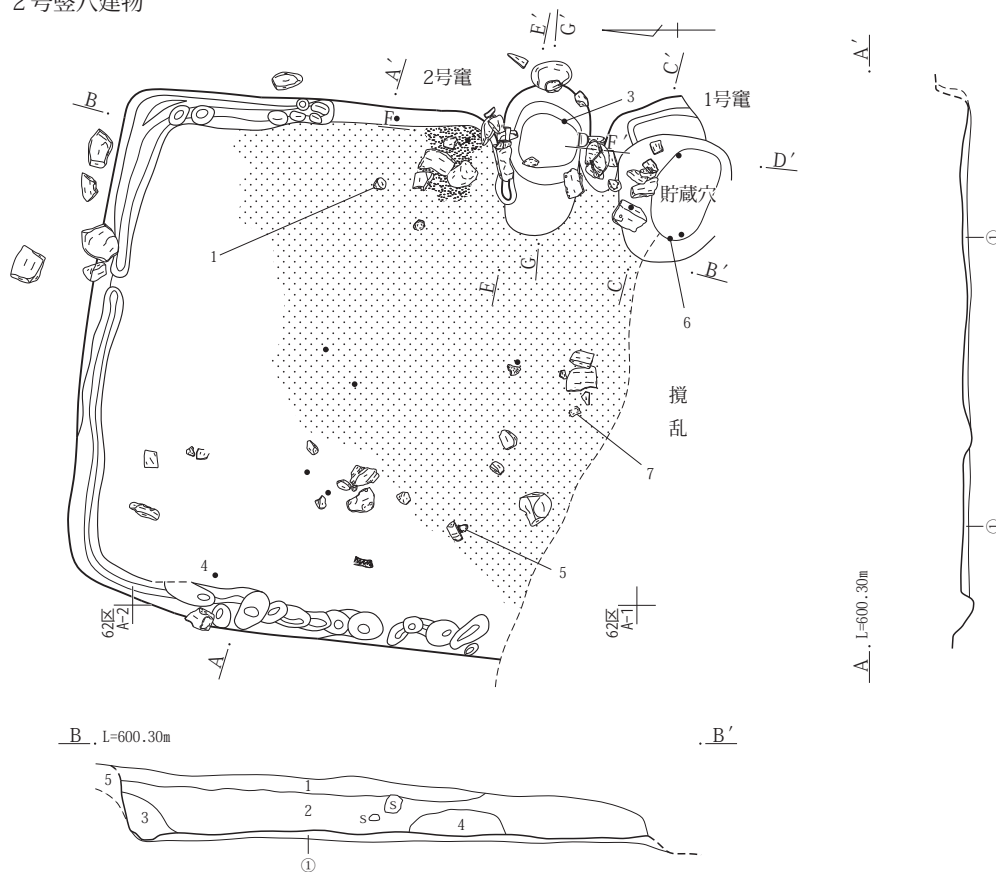
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	—			
第7図 PL.35	1	須恵器 碗	竈 口縁部～体部下 位1/8	17.0	高	—	白色・黒色鈹 物/にぶい黄橙 10YR7/3/酸化炎	口縁部は小さく外反。外面はロクロ目残る。口縁部は外反。高台は貼付部で剥がれる。高台欠損部に回転糸切り痕残る。	
第7図 PL.—	2	須恵器 碗か	口縁部片	11.8	高	—	白色鈹物/灰 7.5Y5/1/還元炎	口縁部は小さく外反。外面はロクロ目残る。	
第7図 PL.—	3	須恵器 碗	竈 口縁部～体部 中位1/7	12.9	高	—	白色鈹物等/灰白 5Y8/2/還元炎	断面中央は酸化気味。外面はロクロ目顕著、内面はロクロ目残る。口縁部は外反。	

2号竪穴建物(第8～10図、PL. 1～3・35)

3区で検出された。南部は攪乱により壊されている。位置はX=599～604、Y=-095～100の範囲にあり、重複遺構はない。形状は南部の一部が攪乱を受けているが方形を呈すると考えられる。主軸方位はN-93°-Wである。規模は北壁で4mを測り、壁高は約40～45cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴等は確認されていない。竈は東壁南部に確認された。竈の長軸70cm、袖幅50cmを測る。竈の煙道付近、両袖部付近の壁からは石が確認され、構築材と考えられる。竈の両袖部を補強する石は北側の袖の断面を見ると外側(北側)に粘土が崩落しており、石と粘土を使って作られたことがわかる。竈が作られる前に一度竈が南部に作られ使用され、再度作り直されたこ

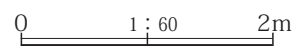
とがわかる。このため旧竈を1号、新しいものを2号とした。貯蔵穴は竈南に接して確認されているが、上面と南半部は攪乱を受けるが、下辺が確認された。貯蔵穴の規模は残存部で東西長1.2m、深さ約25cmを測る。壁周溝が東・西・北壁の3壁で確認されている。幅約10～15cmで、深さは数cm～5cmである。また東壁の一部と西壁に小穴が並んでいる。規模は20cm～30cm、深さ約5cmを測り、壁の構造材の付設のための小穴の可能性が考えられる。床下から土坑が1基と小穴が3基確認されている。出土遺物は黒色土器と須恵器、灰釉陶器が出土している。羽釜が3点出土し、3個体とも鏢の直下には縦のヘラ削りが認められ、月夜野型羽釜である。

2号竪穴建物



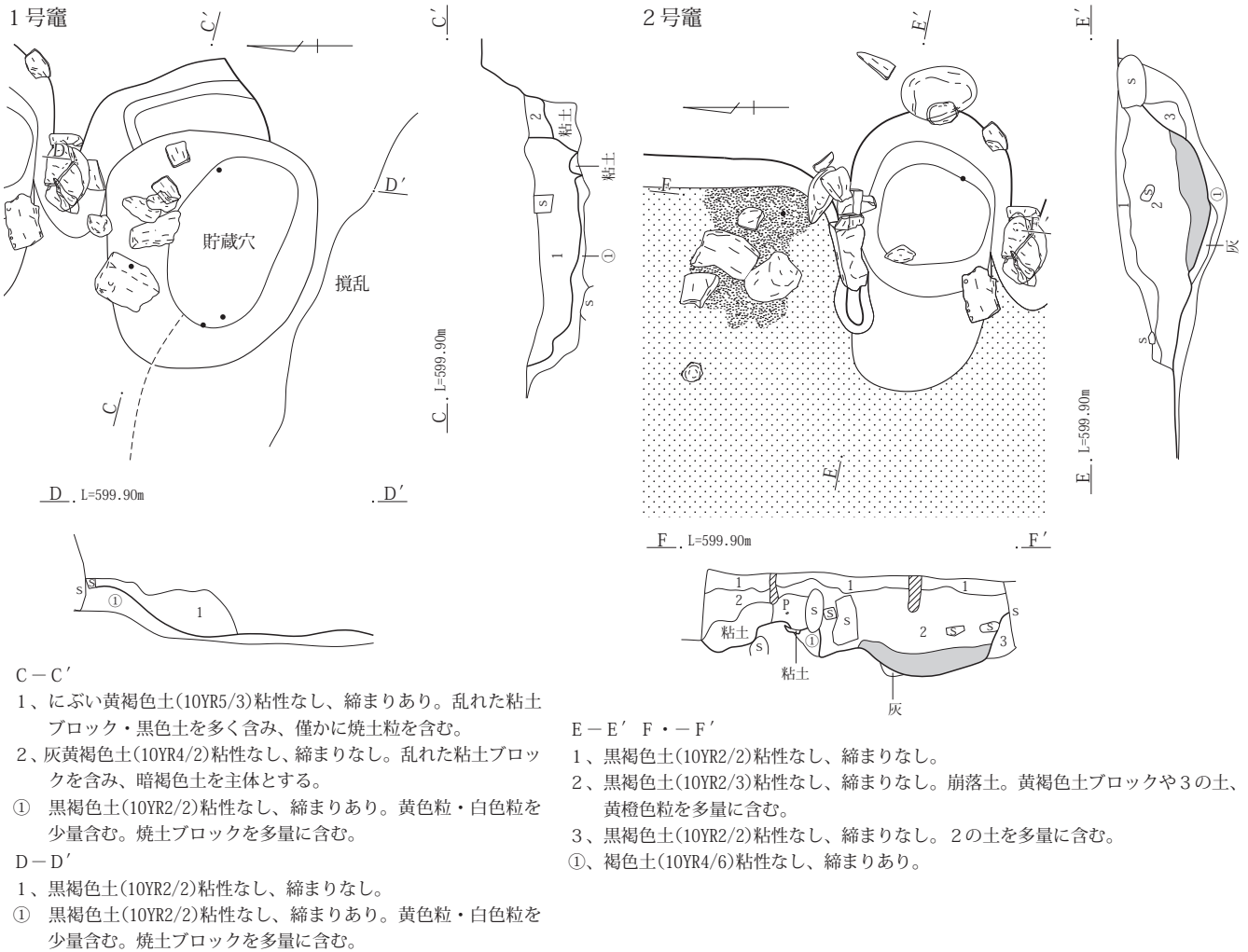
A-A'・B-B'

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりなし。
- 2、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒を若干含む
- 3、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 4、2の層に焼土が大量に混じる
- 5、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりあり。黄色粒を多量に含む。
- ①、黒褐色土(10YR2/2)締まりあり、粘性なし。黄色粒・白色粒を少量含む。



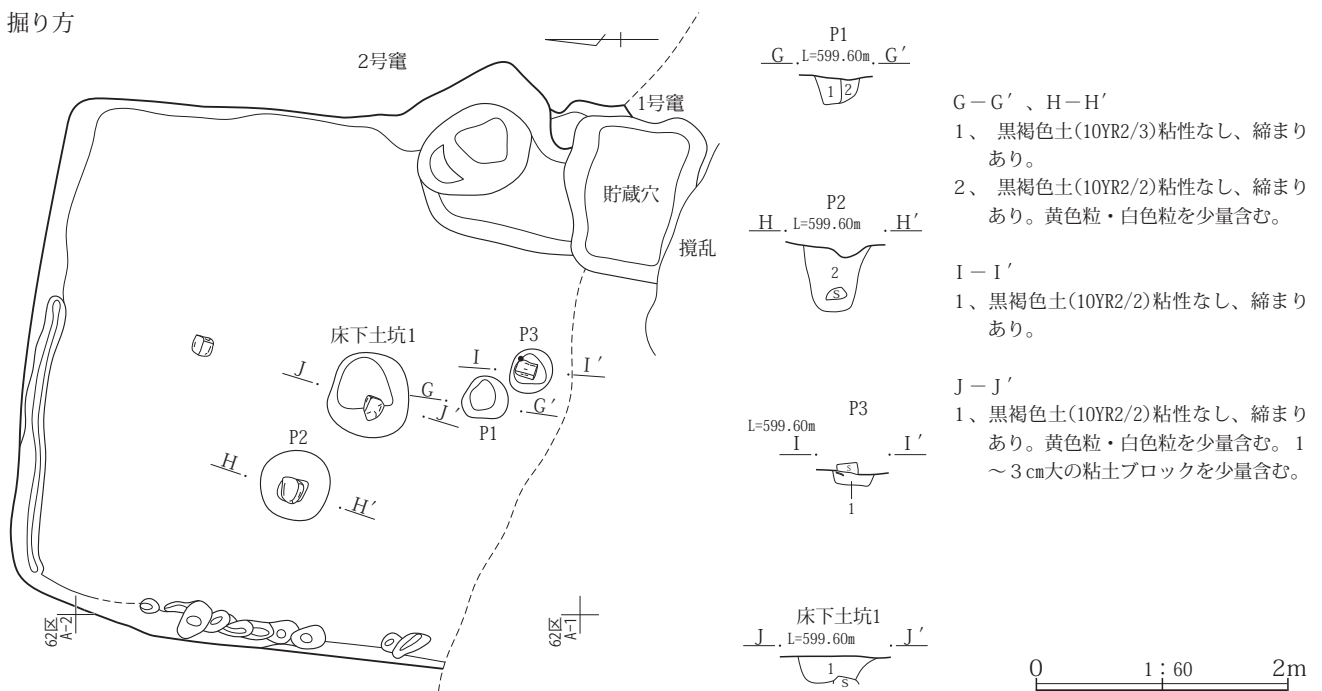
第8図 2号竪穴建物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



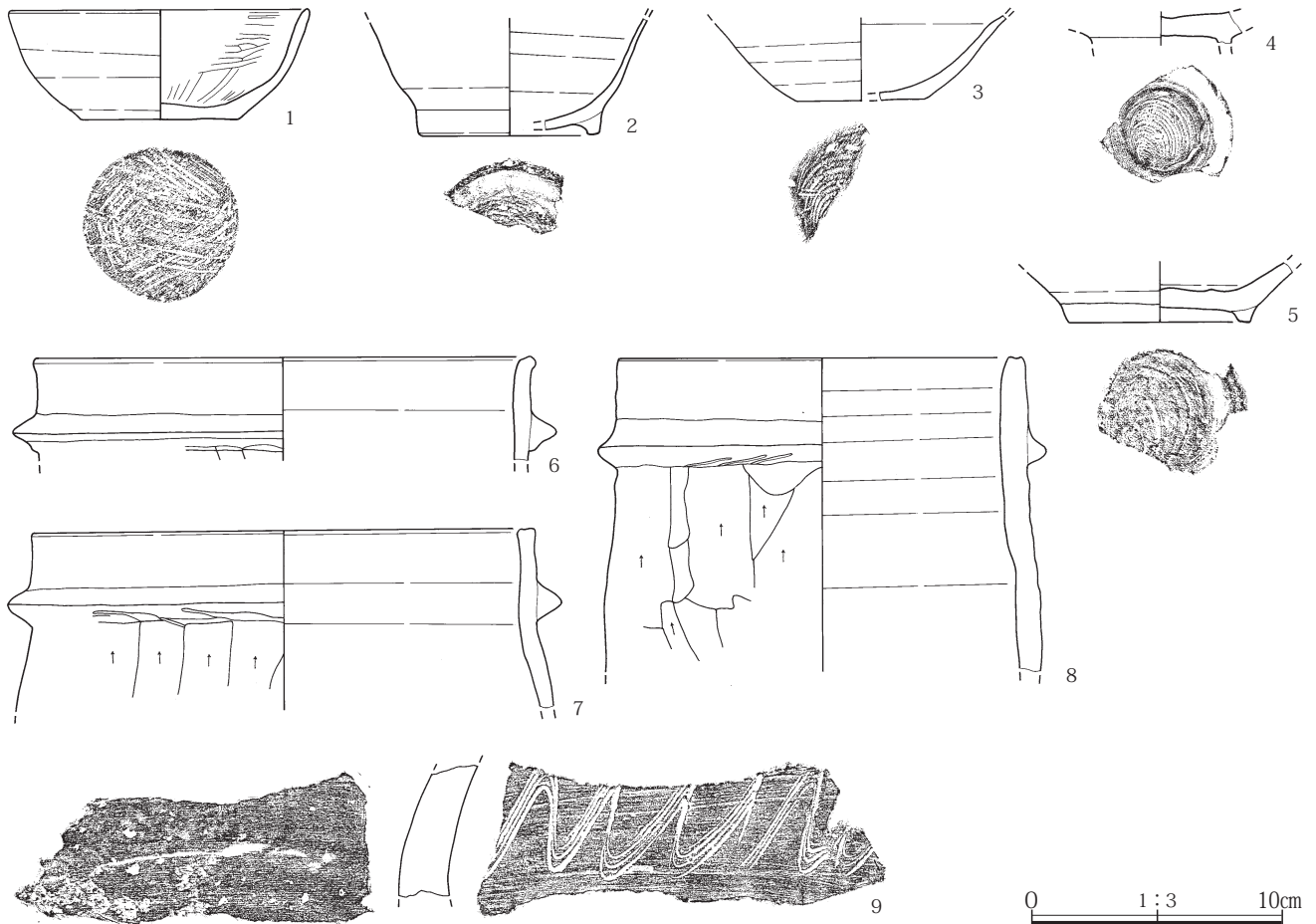
0 1:30 1m

掘り方



第9図 2号竈穴建物(2)

第1節 竪穴建物



第10図 2号竪穴建物出土遺物

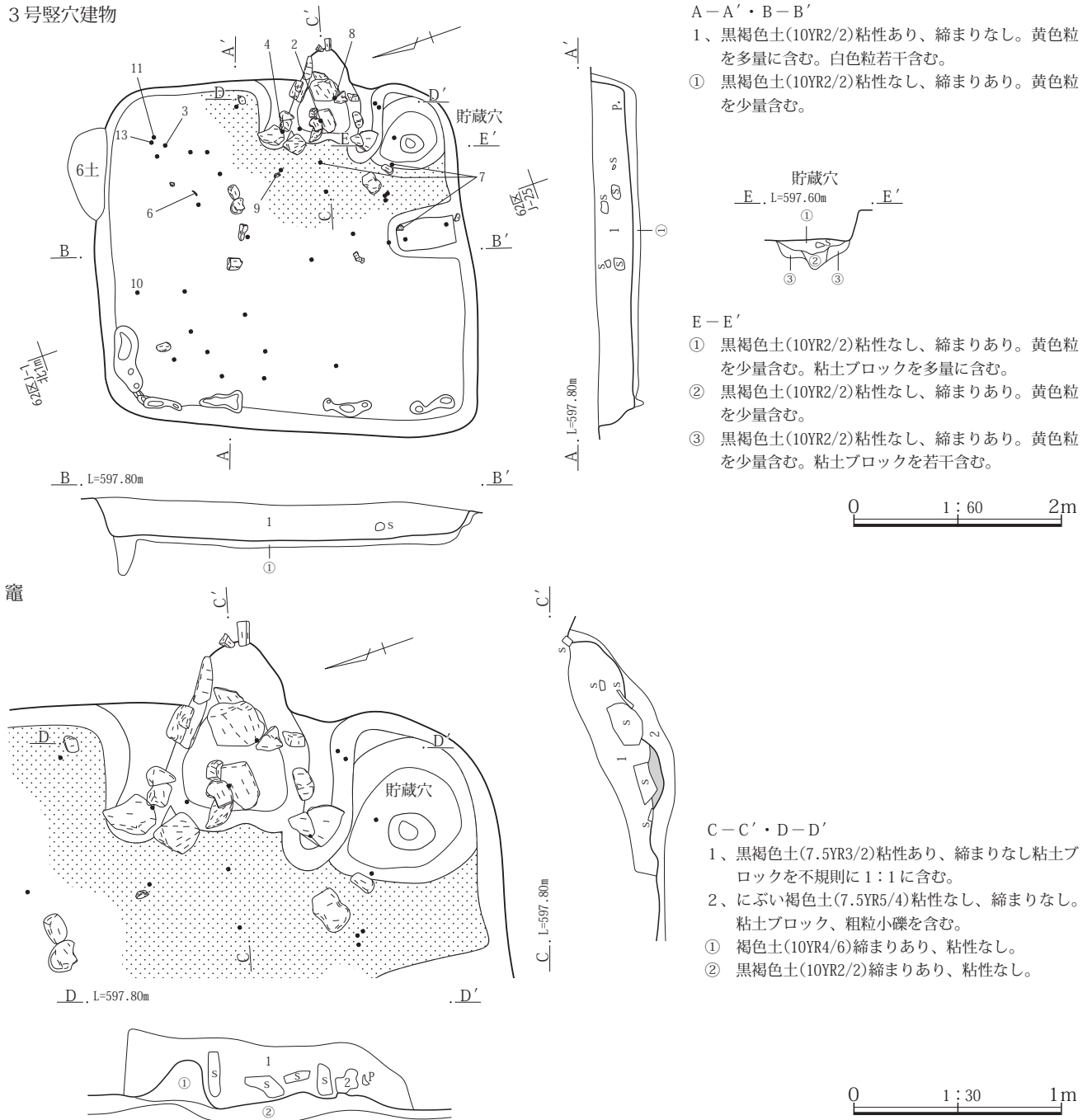
第4表 2号竪穴建物出土遺物観察表

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第10図 PL.35	1	黒色土器 杯	1/3	口底 11.8 6.2	高 4.3	白色鈹物、赤色物 少量/にぶい黄橙 10YR7/3/酸化炎	口縁部外面から内面器表は燻しにより黒色。底部から体部 内面のミガキは放射状。口縁部内面のミガキは横位。底部 外面は木口状工具によるケズリ。		
第10図 PL.35	2	須恵器 椀	体部中位～底部 片	口底 6.6	高 -	白色鈹物等含む。 礫含む。/オリ ブ黒5Y3/1/還元炎	燻し焼成に近い。器壁はやや薄い。高台は貼付で高台内に 右回転糸切り痕残る。		
第10図 PL.35	3	須恵器 杯	甕 1/4	口底 5.0	高 -	白色鈹物、赤 色物少量/灰黄 2.5Y7/2/酸化炎	焼き締まりなく軟質で器表摩滅。体部は緩く内湾。底部は 回転糸切り無調整。		
第10図 PL.一	4	灰釉陶器 瓶	底部片	口底 -	高 -	白色鈹物、黒色物 /灰白10YR7/1/や や不良	底部内面は丁寧な整形で中央は盛り上がる。貼付高台は欠 損し、高台内に右回転糸切り痕残る。		
第10図 PL.35	5	須恵器 椀	体部下位～底部 片	口底 7.2	高 -	白色・黒色鈹物/ 灰黄2.5Y6/2/還元 炎	外面器表は酸化気味。底部内面のロクロ目は顕著。高台の ほとんどは貼付部から剥離。高台内に右回転糸切り痕残る。		
第10図 PL.35	6	須恵器 羽釜	貯蔵穴 口縁部～鈹部 1/10	口底 19.7 -	高 -	白色・黒色鈹物、 石英少量/灰白 5Y7/1/還元炎	外面口縁部下に鈹貼付。外面は鈹下まで縦位ケズリ。	月夜野型	
第10図 PL.35	7	須恵器 羽釜	口縁部～胴部上 位1/8	口底 19.8 -	高 -	白色・黒色鈹物、 石英少量/暗灰黄 2.5y5/2/酸化炎	体部の張りは弱く口縁部下外面に鈹貼付。体部外面は鈹下 まで縦位ケズリ。	月夜野型	
第10図 PL.35	8	須恵器 羽釜	口縁部～胴部上 位1/10	口底 15.3 -	高 -	白色・黒色鈹物、 石英少量/灰黄褐 10YR6/2/酸化炎	口縁部から体部は直立気味で口縁部下外面に鈹貼付。体部 外面は鈹下まで縦位ケズリ。	月夜野型	
第10図 PL.35	9	須恵器 甕	口縁部下位片	口底 -	高 -	白色鈹物等/灰黄 2.5Y6/2/還元炎	下部外面の推定直径は約41cm。酸化部分と還元部分が混じ る。焼き締まりなく軟質。外面に波状文。内面に接合痕残る。		

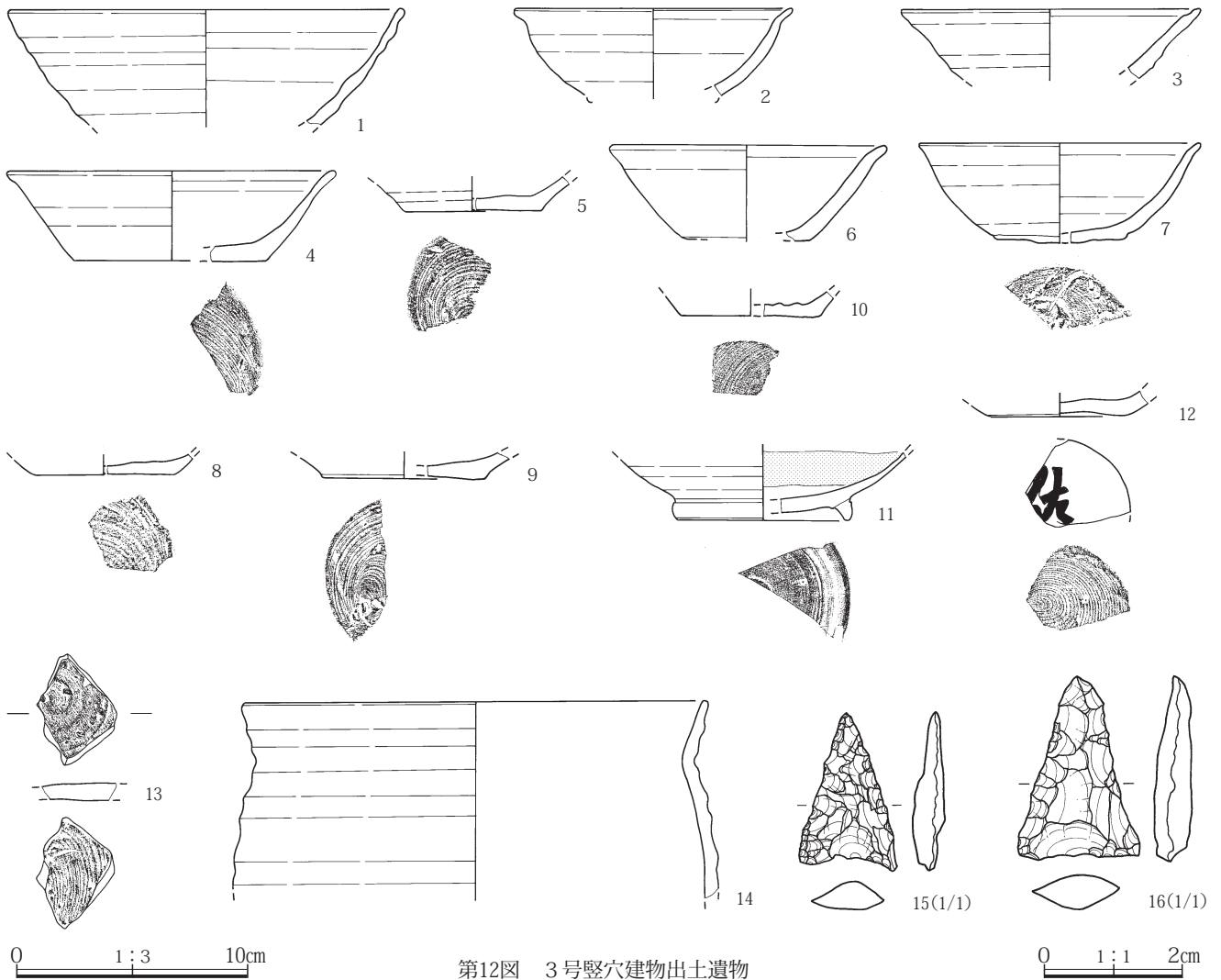
3号竪穴建物(第11・12図、PL. 3・4・35)

3区で確認された。位置はX=596~600、Y=-133~-137の範囲にあり、他の遺構との重複は北壁東寄り
で6号土坑と重複している。新旧関係は土坑が新しい。
形態は方形を呈し、方位はN-86°-E、規模は東西長
3.3m、南北長3.6m、壁高は約20cmを測る。床面は平坦
をなし、柱穴等は確認されていない。竈は東壁南寄りに
確認されている。規模は長軸90cm、袖幅1mを測る。煙
道部や両袖部には石が確認され、竈使用面直上、焼土面
に接して石が確認された。竈の廃棄時に人為的に壊され
たものと考えられる。竈の南に貯蔵穴が確認さ

3号竪穴建物



第11図 3号竪穴建物



第12図 3号竪穴建物出土遺物

第5表 3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	底径				
第12図	1	須恵器 碗か	口縁部～体部下 位1/8	口底 -	16.9	高	-	白色鈹物等/灰白 5Y8/1/還元炎	やや軟質。口縁部から体部は直立気味で口縁部下外面に鈹貼付。体部外面は鈹下まで縦位ケズリ。緩く内湾。	
第12図 PL.35	2	須恵器 杯か	竈 口縁部～体部下 位1/3	口底 -	11.9	高	-	白色鈹物等、石英 微量/灰白5Y7/2/ 還元炎	口縁部は外反。体部は内湾。	
第12図	3	須恵器 杯	口縁部～体部中 位1/6	口底 -	12.8	高	-	白色・黒色鈹物/ 灰5Y6/1/還元炎	体部外面のロクロ目顕著。口縁端部内面に浅い凹線1条。	
第12図 PL.35	4	須恵器 杯	1/4	口底 13.9 8.3	高	4.8	-	白色鈹物、黒色物 /灰5Y6/1/還元炎	焼き締まる。口縁部は外反。底部は右回転糸切り無調整。	
第12図	5	須恵器 杯	体部下位～底部 片1/4	口底 -	6.0	高	-	白色・黒色鈹物/ 灰5Y7/1/還元炎	焼き締まりは弱い	
第12図	6	須恵器 杯	1/5	口底 11.8 5.4	高	4.0	-	白色鈹物等/灰白 2.5Y7/1/還元炎	整形時のロクロ回転は右。口縁部は緩く外反。	
第12図 PL.35	7	須恵器 杯	1/3	口底 12.0 5.5	高	4.3	-	白色鈹物、黒色物 /灰白5Y7/1/還元 炎	口縁部は小さく外反。体部は緩く内湾。底部は右回転糸切り無調整。底部外面の器表剥離部にも糸切り痕が認められる。	
第12図	8	須恵器 杯	竈 体部下位～底部 片	口底 -	6.0	高	-	白色鈹物粒/灰黄 2.5Y7/2/還元炎	底部右回転糸切り無調整。	
第12図	9	須恵器 杯	底部1/2	口底 -	7.0	高	-	白色鈹物、黒色物 /灰白5Y7/1/還元 炎	断面中央は浅黄橙色に近く、酸化炎。底部は右回転糸切り無調整。	
第12図	10	灰釉陶器 小瓶	体部下位～底部 片	口底 -	6.0	高	-	白色鈹物微量/灰 白5Y7/1/不良	内面はロクロ目顕著で中央付近に薄く釉かかる。底部回転糸切り無調整。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第12図 PL.35	11	灰釉陶器 椀	体部中位～高台 部片	口底 7.5	高 -	厚 -	白色鈹物微量/灰 白10YR7/1/良好	高台は三日月状であるがやや厚い。体部内面に灰釉。	
第12図	12	須恵器 杯	体部下位～底部 片	口底 5.7	高 -	厚 -	白色、透明鈹物粒 /灰黄2.5Y6/2/還元 炎	内面は燻し。底部右回転糸切り無調整。	底部外面に 「佐」墨書。
第12図	13	須恵器 杯	底部片	口底 -	高 -	厚 -	白色鈹物粒/灰 7.5Y4/1/還元炎	器表燻し気味で灰黒色。底部回転糸切り無調整。	
第12図	14	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口底 19.9	高 -	厚 -	白色・黒色鈹物 等/にぶい赤褐 5YR5/4/良好	外面の整形痕はロクロ目状を呈する。内面はヨコナゲで器 表は平坦。	
第12図 PL.35	15	石鏃	フク土 完形	長 2.3	厚 0.4	重 0.9	黒曜石	表裏面全体に面的な二次加工が認められる。	凹基無茎鏃
第12図 PL.35	16	石鏃	完形	長 2.6	厚 0.6	重 1.9	流紋岩	表裏面全体に面的な二次加工が認められる。	平基無茎鏃

4号竪穴建物(第13・14図、PL. 4・5・35)

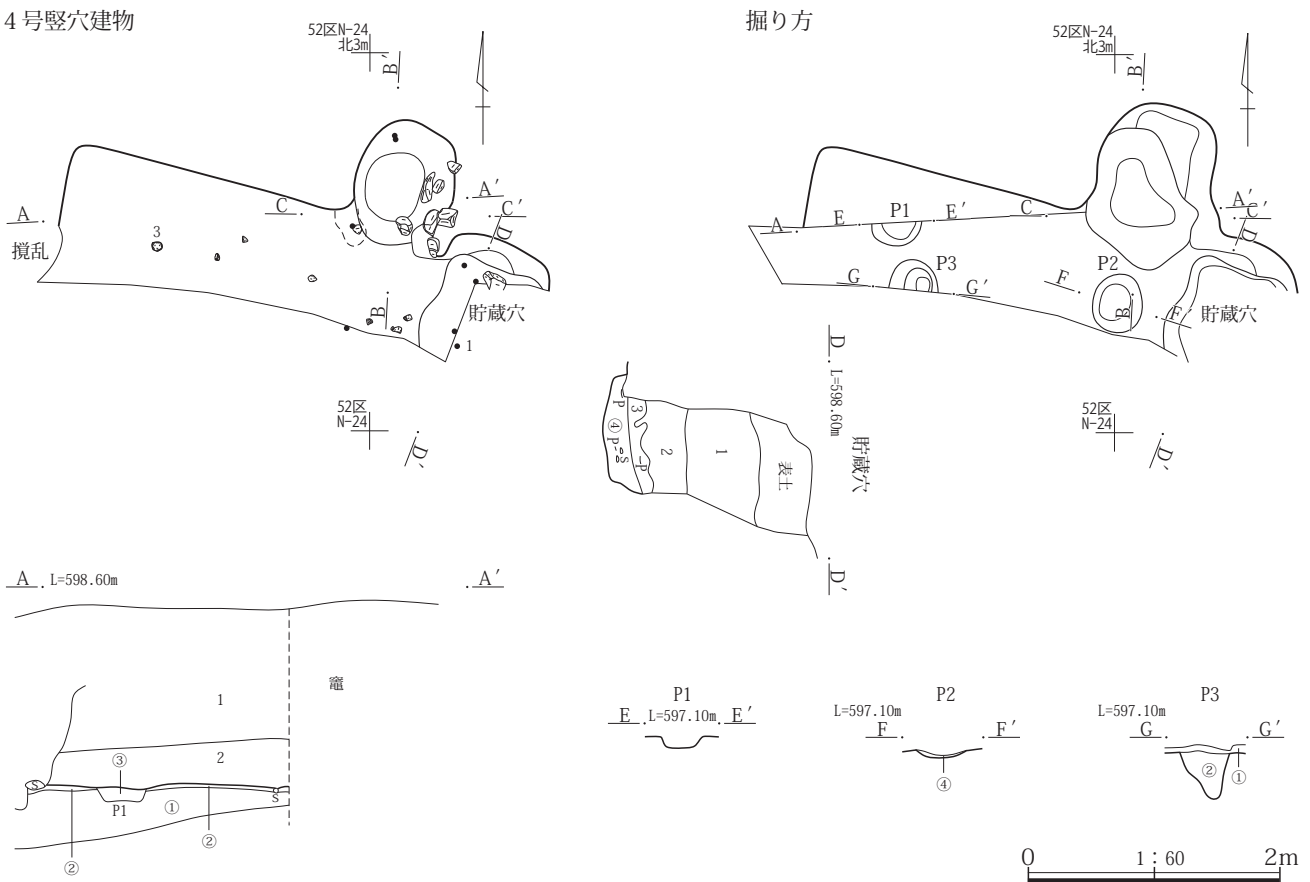
3区1面南端部に位置する。南側の大半は調査区外に伸びる壁際では試掘トレンチにより壊されている。

位置はX=593~594、Y=-150~154の範囲にある。重複遺構はない。形状は方形を呈すると考えられ、竈方位はN-70°-Eを測る。規模は北壁で約4mを測る。床面を確認したが、竈より西側の壁は確認できなかった。床面は平坦ではなく、約15~20cmの凹凸を確認した。竈

は北壁東寄りに付設され、規模は長軸50cm、袖幅50cmを測る。竈の東側には構築材と思われる石が散乱している。人的に壊された可能性より、山の崩落により壊されていると考えられる。

出土遺物は須恵器の椀、杯、土師器甕が出土している。(1)の須恵器椀は器の内面に「表」墨書が確認され、底面の文字は判読できなかった。

4号竪穴建物



第13図 4号竪穴建物

A-A'・D-D'・F-F'

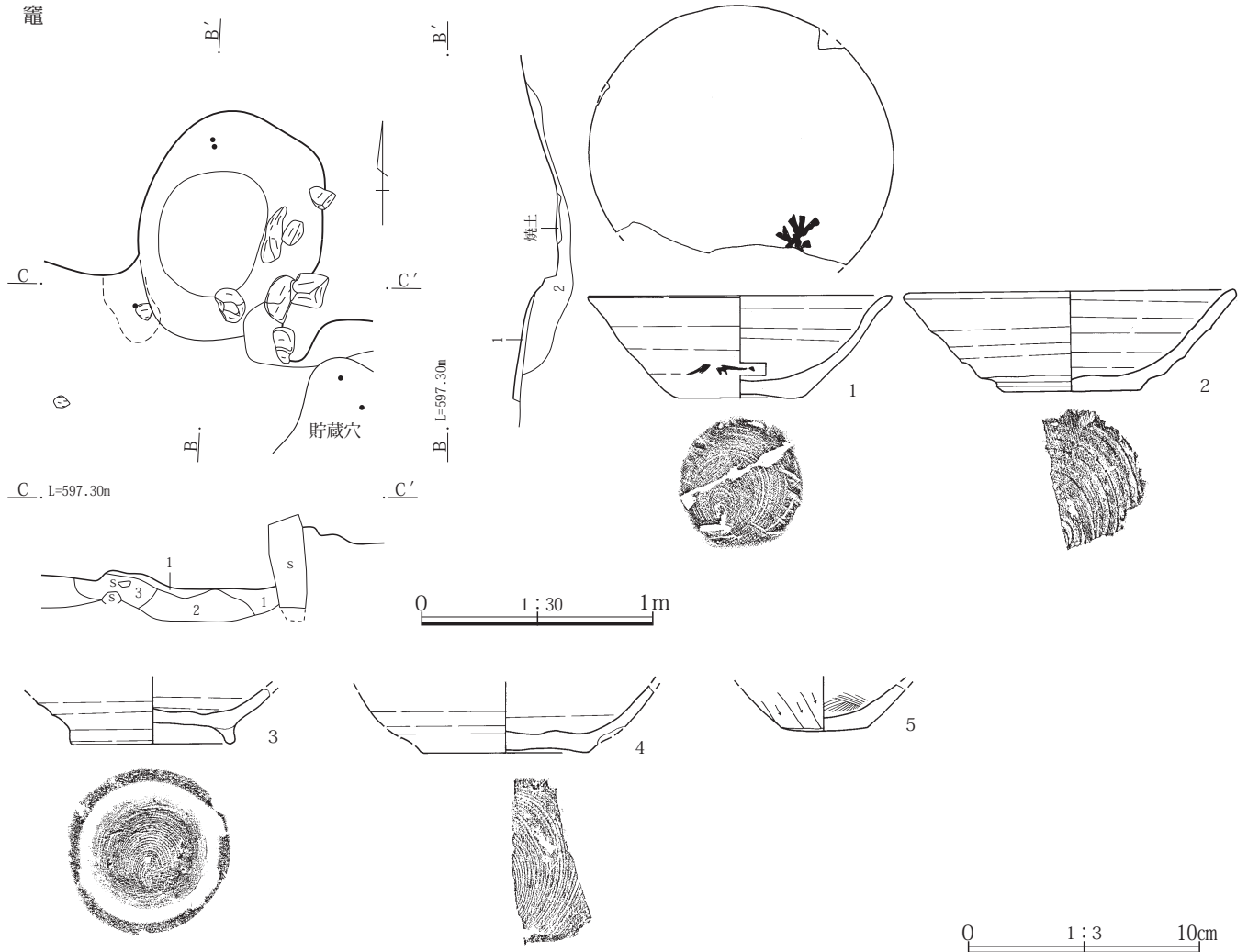
- 1、黒色土(10YR2/1)粘性なし、縮まりなし。
 - 2、黒色土(10YR2/1)粘性なし、縮まりなし。黄色粒を若干含む。
5～10mm大の亜角礫を多量に含む。
 - 3、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、縮まりあり。黄褐色土ブロックが大量に混じる。この上面が硬化面。
- ① 灰褐色土(7.5YR5/2)粘性あり、縮まりなし。不均質な粘土。
 - ② 褐色土(7.5YR4/3)粘性なし、縮まりあり。不均質。YPK粒を僅かに含む。
 - ③ 褐色土(7.5YR4/3)③層に比して粘性強い。
 - ④ 黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、縮まりあり。黄褐色土ブロックを大量に含む。YPK粒を僅かに含む。

B-B'・C-C'

- 1、灰褐色土(7.5YR4/2)粘性あり、縮まりなし。焼土粒を多く含む不均質な灰層。
- 2、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、縮まりあり。黄色粒を少量含む。
- 3、黄褐色土(10YR5/6)粘性なし、縮まりなし。

G-G'

- ① 黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、縮まりあり。
黄褐色土ブロックを大量に含む。黄褐色粒を少量含む。



第14図 4号竪穴建物・出土遺物

第6表 4号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	底			
第14図 PL.35	1	須恵器 杯	貯蔵穴 3/4	口底 12.9 5.4	高 4.4	底	黒色鈹物微量/灰 白5Y7/1/還元炎	焼き縮まりなく軟質。口縁部は外反。体部内外面下位に墨書。底部は右回転糸切り無調整。	体部内面に「表」、外面に不明墨書。
第14図 PL.35	2	須恵器 杯	口縁部一部、底 部1/3	口底 14.0 6.0	高 4.2	底	白色鈹物、黒色鈹 物微量/オリブ 灰2.5G5/1/還元炎	焼き縮まりなく軟質。外面のロクロ目は顕著。底部は高台状に高く作る。底部は右回転糸切り無調整。	
第14図 PL.35	3	須恵器 椀	体部下位～底部	口底 6.8	高 -	底	白色鈹物、黒色 鈹物微量/褐灰 10YR4/1/還元炎	断面は灰白色で仕上げ時は燻し焼成に近い。焼き縮まりなく軟質。底部は右回転糸切りの後高台を貼付。	

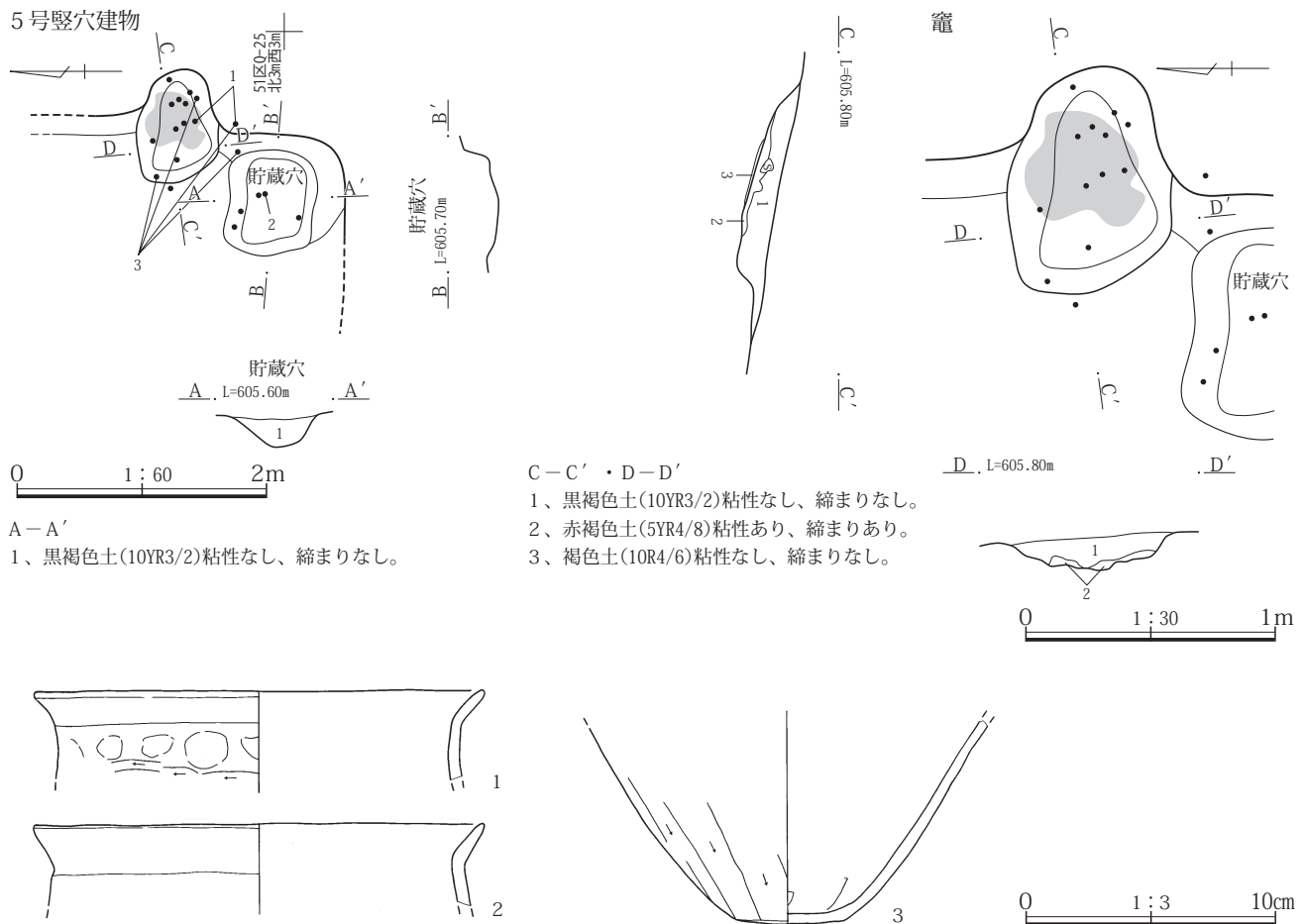
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第14図 PL.35	4	須恵器 杯	体部下位～底部 片	口底 7.2	高 -	白色鈹物、黒色鈹物 微量/黄灰 2.5Y6/1/還元炎	焼き締まりなく軟質。底部は右回転糸切り無調整。	
第14図 PL.35	5	土師器 甕	底部	口底 3.3	高 -	白色・黒色鈹物、 赤色物/にぶい橙 7.5YR6/4/良好	底部内面はハケ目。体部外面はケズリ。底部外面は砂底。	

5号竪穴建物(第15図、PL. 5・35)

4区東部に位置し、竈周辺の一部を確認した。形状は不明である。方位は東壁でN-80°-Wを測る。位置はX=58~61、Y=-67~69の範囲にある。建物の大半は崩れている。床面は約10cmの凹凸を持つ。竈は東壁南寄

りに付設され、規模は長軸90cm、袖幅80cmを測る。竈の右袖部南、南東コーナー部に貯蔵穴を確認した。形状は長方形を呈し、長辺85cm、短辺70cm、深さ約10cmを測る。

出土遺物は土師器の甕片(3)が竈内、周辺から2点出土した。



第15図 5号竪穴建物と出土遺物

第7表 5号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第15図	1	土師器 甕	口縁部1/4	口底 18.0	高 -	白色・黒色鈹物、 赤色物/明赤褐 2.5YR5/6/良好	内面から外反部外面はヨコナデ。外面中位のヨコナデは弱く、窪んだ無調整部分が残る。	
第15図	2	土師器 甕	口縁部1/7	口底 18.9	高 -	白色・黒色鈹物、 赤色物/明赤褐 5YR5/6/良好	「コ」の字状口縁の上半部。内面と外反部外面はヨコナデ。口縁部外面中位は弱いヨコナデ。	
第15図 PL.35	3	土師器 甕	竈 胴部下位～底部	口底 4.2	高 -	白色・黒色鈹物、 赤色物/明赤褐 5YR5/8/良好	内面の器表は摩滅。体部外面と底部外面はケズリ。	

第2節 掘立柱建物・柵

中柵 I 遺跡では 1～5 号の掘立柱建物が検出された。このうち 2 号掘立柱建物は欠番である。このため 4 基の掘立柱建物が確認されている。

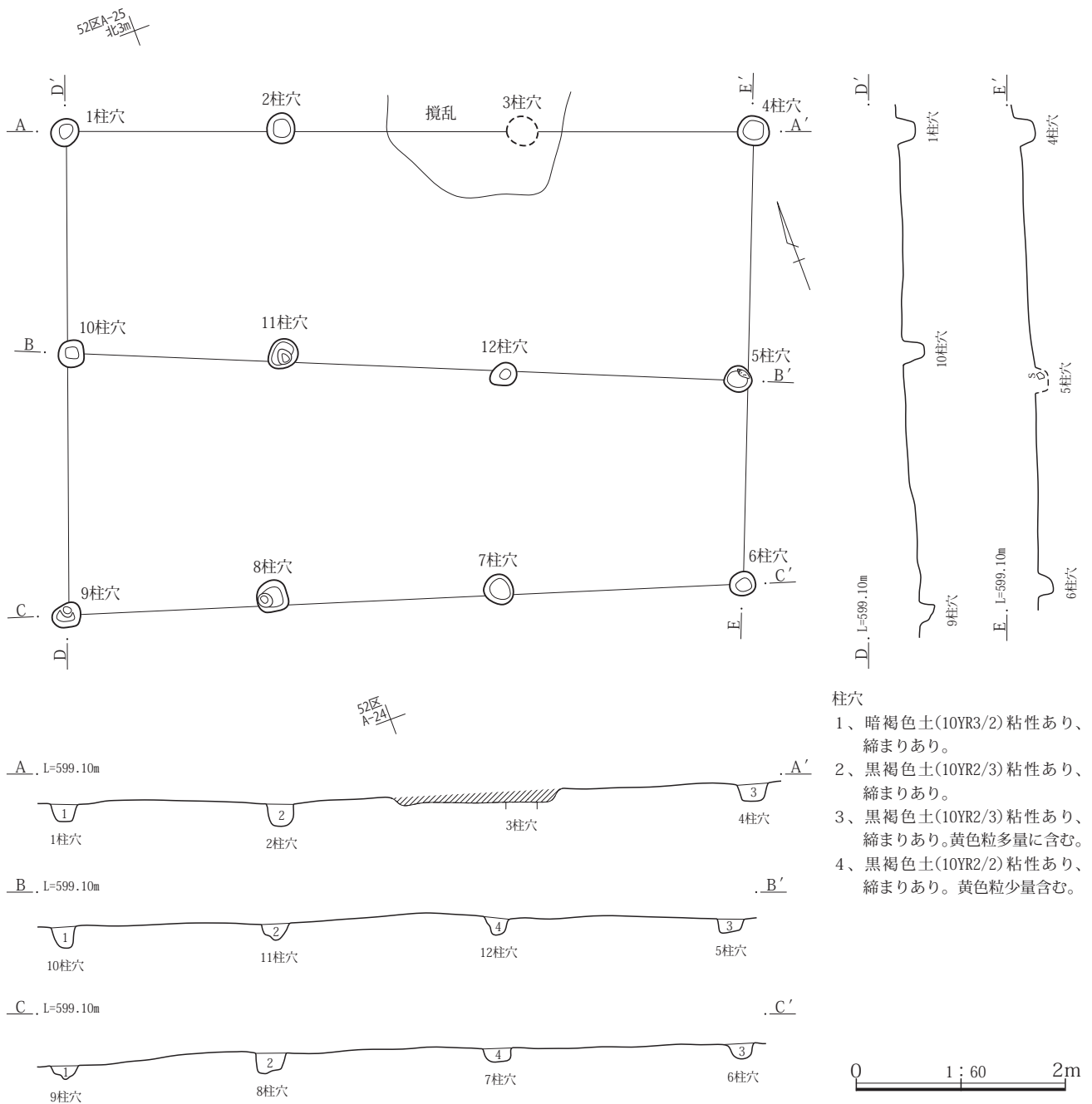
1 号掘立柱建物(第16図、PL. 6・7)

3 区に確認され、2 間 3 間の建物である。規模は北側桁間で 6 m50cm、南側桁間は 6 m50cm を測る。西側梁間

は 4 m50cm、東側梁間は 4 m30cm とややゆがんだ構造となっている。柱は総柱である。桁間はほぼ 2 m～2m30 cm を測り、梁間は 2 m～2m50cm を測る。

時期は中世と考えられ、本建物は農家の一部と考えられる。周辺の集落等からこの遺跡は交易や交流の中に存在していた可能性が高い。現在でもそうであるが、長野原地域は新潟や信州との交流が深い。構造が南側の桁間が狭くなるのは地形的な影響と考えられる。

時期は中世と考えられる。



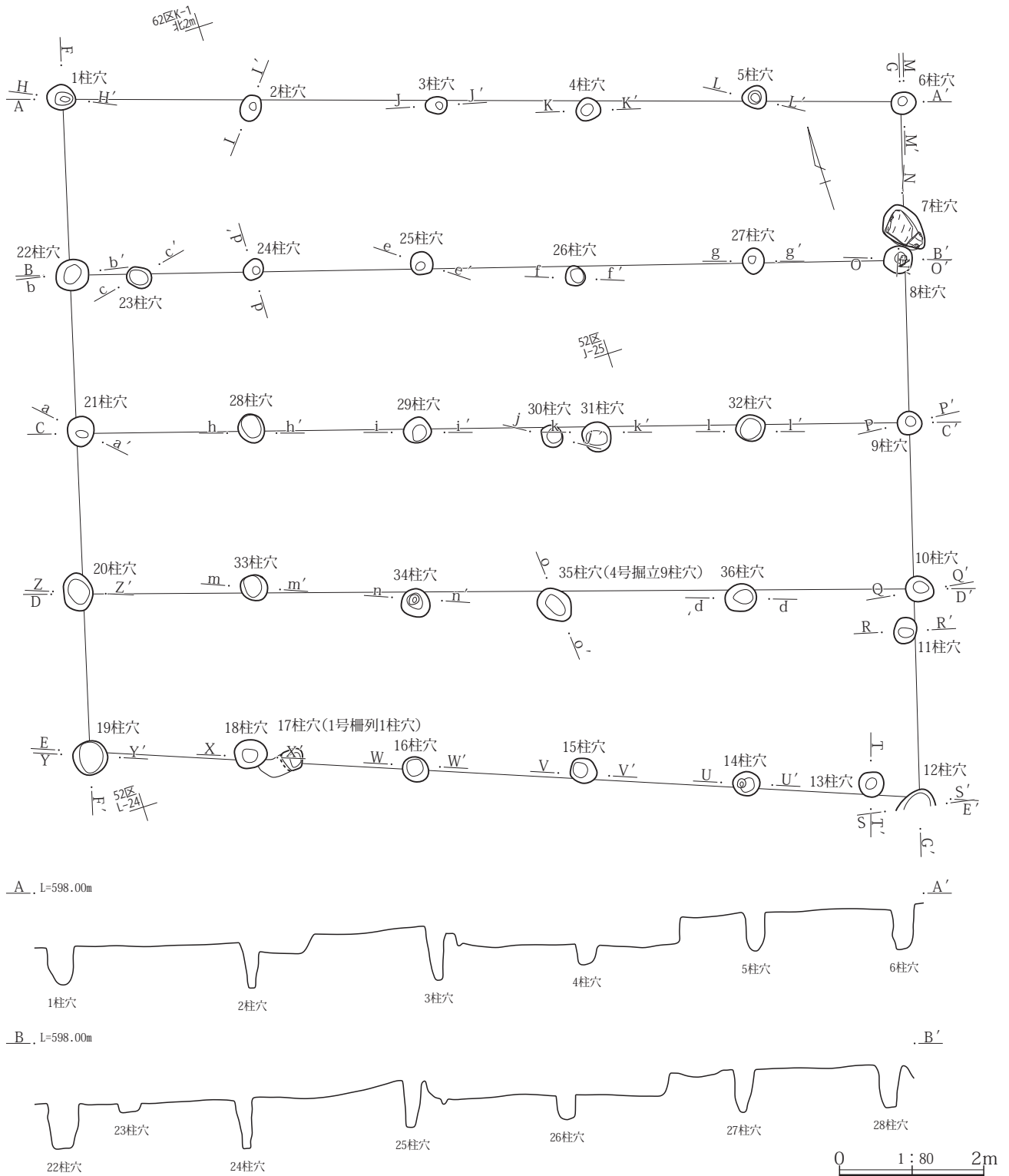
第16図 1号掘立柱建物

3号掘立柱建物(第17~19図、PL. 7~12)

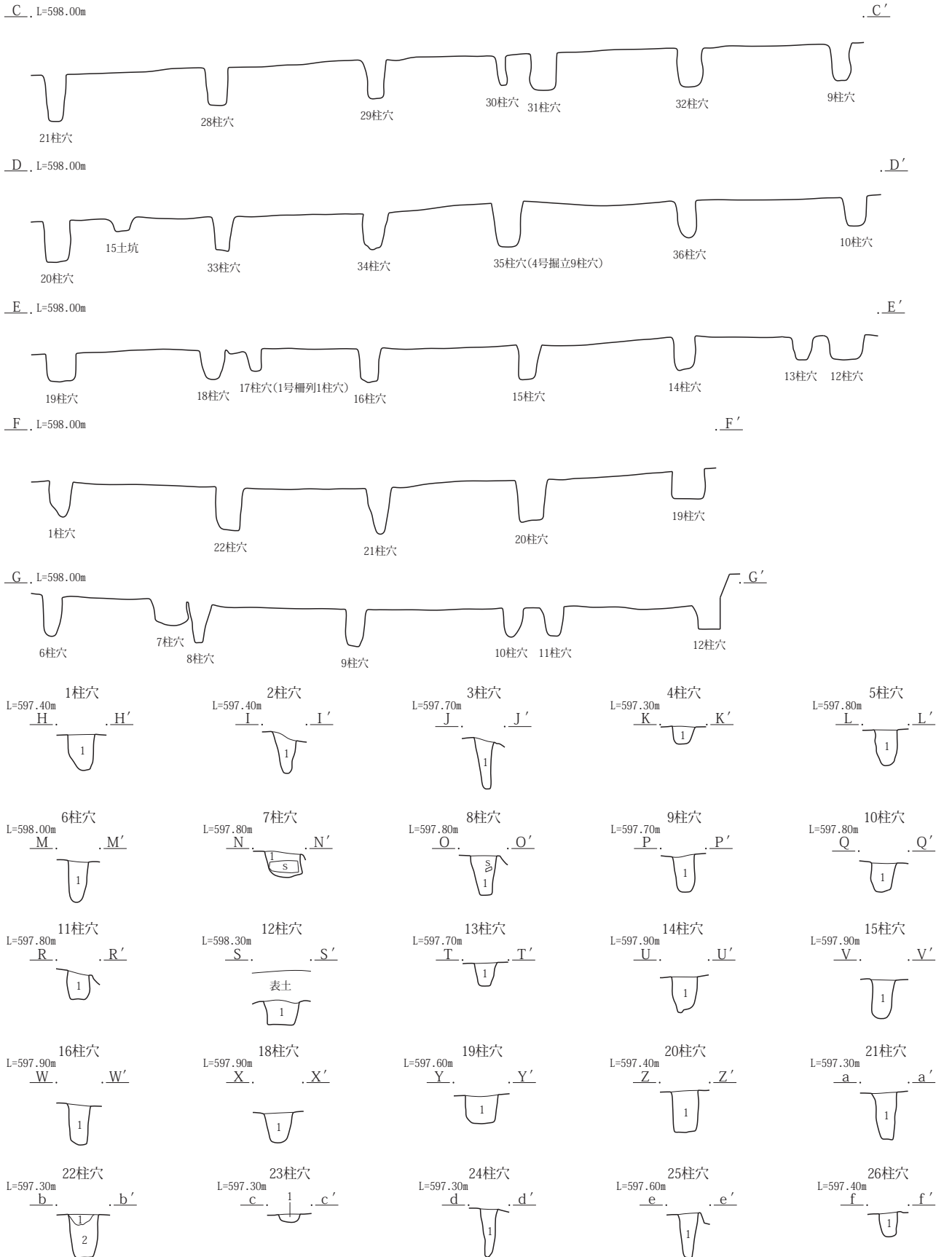
3区に位置し、4間5間の建物である。規模は北側の桁間は8 m50cm、南側の桁間は8 m50cmを測る。東側梁間は7 m30cm、西側梁間は7 mを測り、本建物もややゆがんでいる総柱建物である。大型の建物であり、農家の母屋等の可能性が考えられる。桁間は1 m50cm~2 mで

あり、狭い部分は入口等の施設と考えられる。また並んで確認される柱穴が確認され、補修かあるいは複数の棟があった可能性がある。

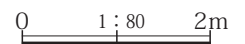
1号掘立柱建物と同様同じ南側の桁間が狭まるのは1号掘立柱建物同様地形の影響が表れていると考えられる。時期は中世と考えられる。



第17図 3号掘立柱建物(1)

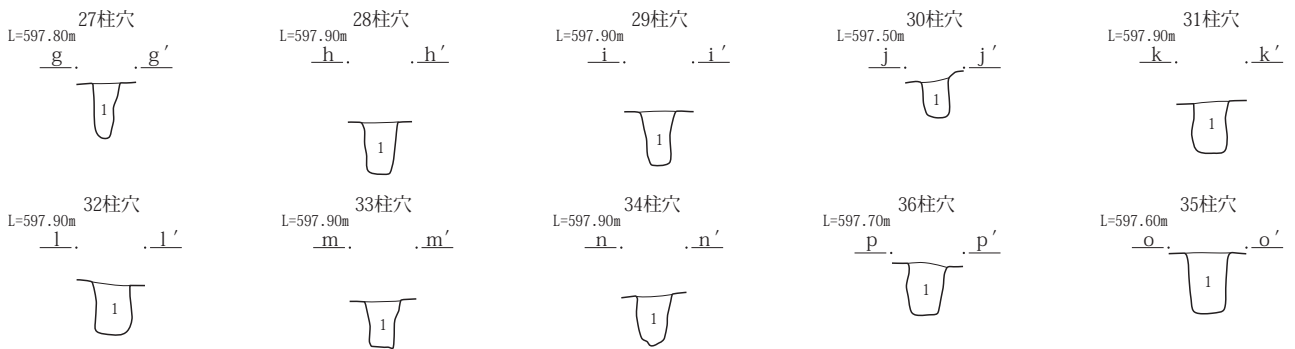


1・2・5・8・9・12・19～21・24・25・27・30柱穴
 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。



第18図 3号掘立柱建物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



3・4・6・13・26・23柱穴

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。

7・9・35柱穴

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

22柱穴

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。

2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

10・11柱穴

1、褐色土(7.5YR4/3)粘性なし、締まりなし。Ypkブロックを含む。

14・15・18・28・31・32・34柱穴

1、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒・炭化物粒を若干含む。

16柱穴

1、黒褐色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒・炭化物粒を若干含む。

29・33柱穴

1、黒褐色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒・白色粒・炭化物粒を若干含む。

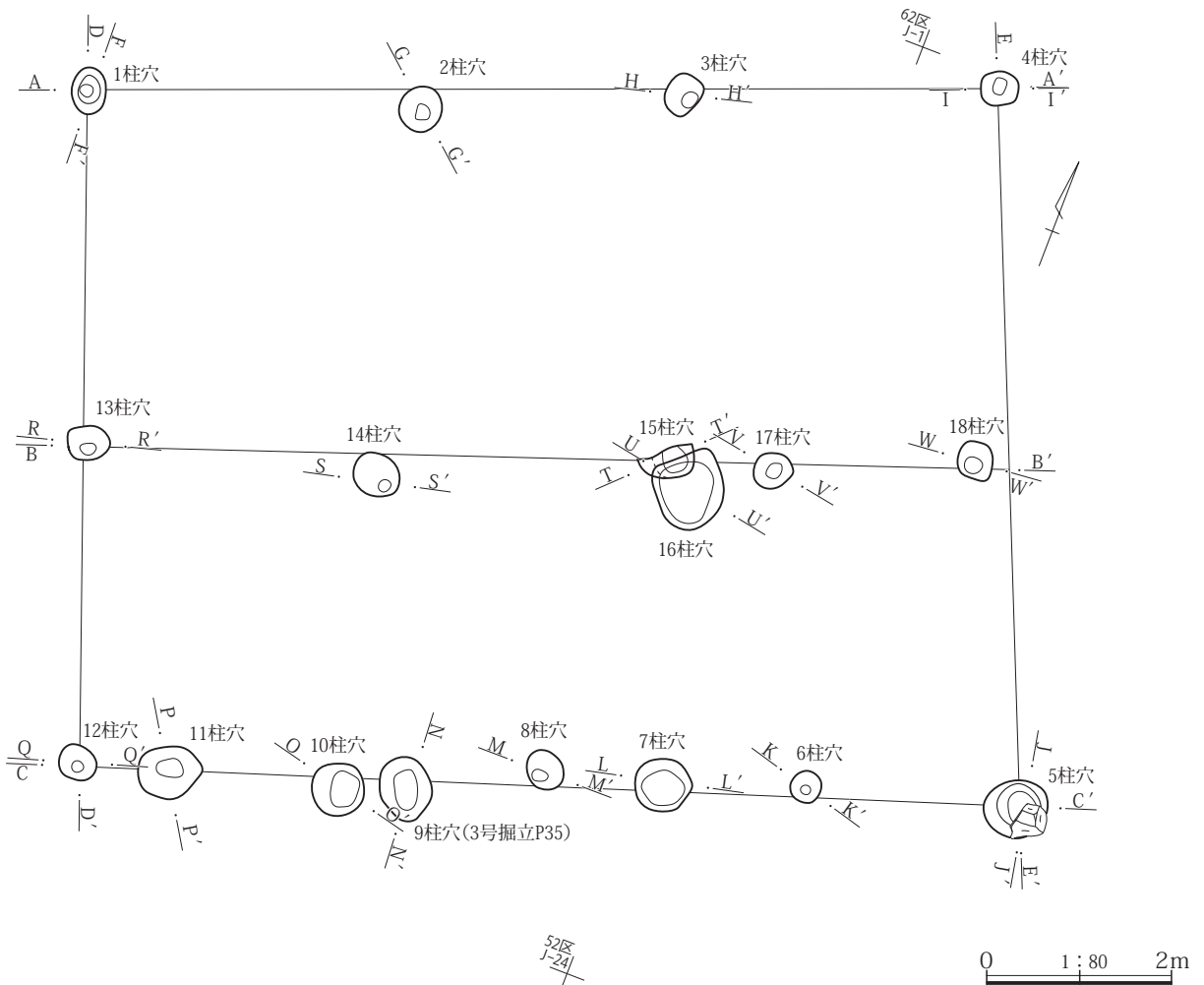
第19図 3号掘立柱建物(3)

2 m ~ 2 m50cmを測り、桁間は2 m50cm ~ 3 mを測る。

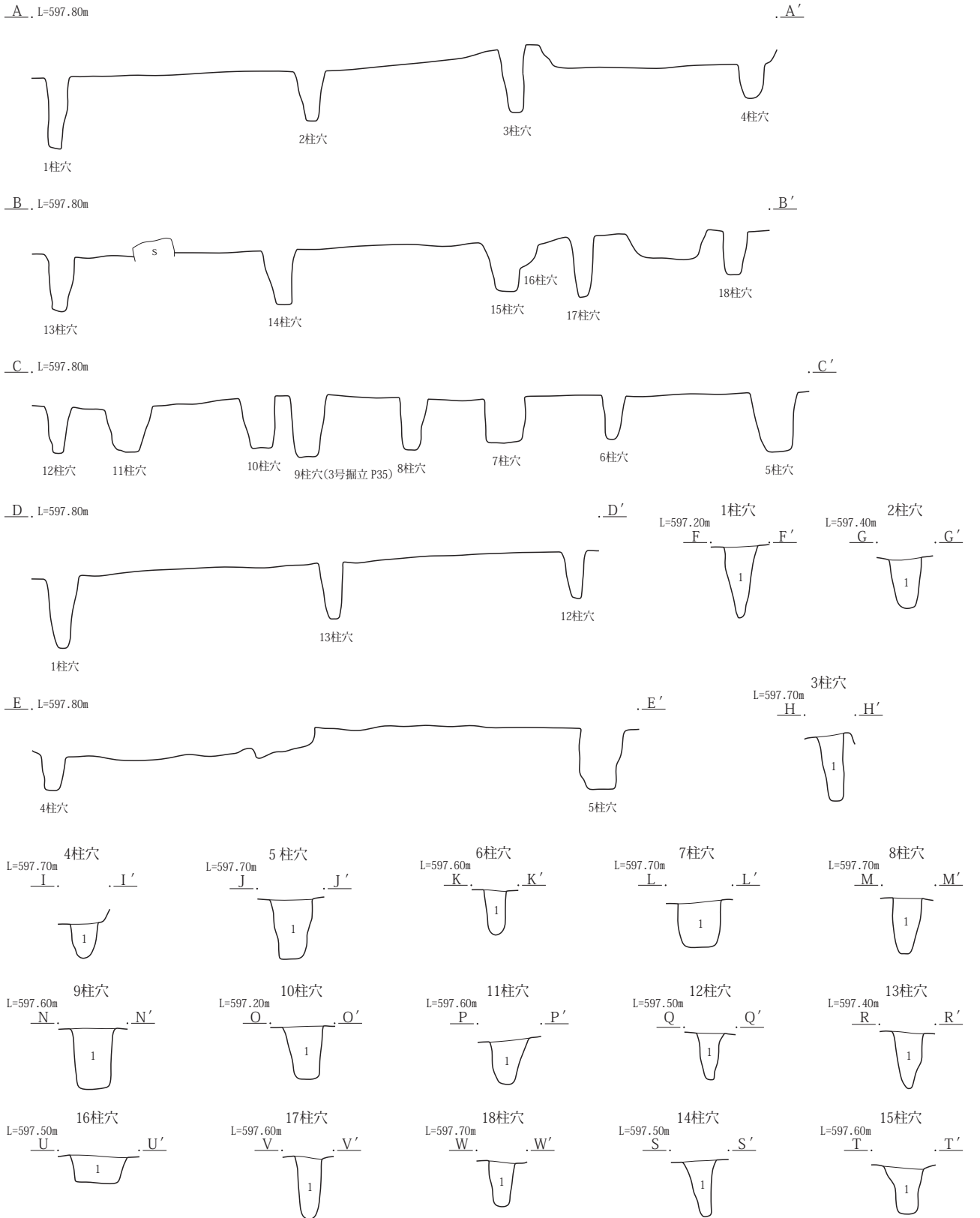
桁間はほぼ安定した長さを保ち、桁間が南側の小穴は何度か補修をしていることが考えられ、南面の入口等の施設が想定される。時期は中世と考えられる。

4号掘立柱建物(第20・21図、PL.12~14)

3区に位置し、2間3間の建物である。規模は北側桁間は7 m30cm、南側桁間は7 m50cmを測り、東側梁間は6 m、西側梁間は5 mを測る総柱建物である。桁間は



第20図 4号掘立柱建物(1)



1～7・9～12・15～18柱穴

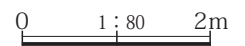
1、黒褐色土(10YR2/3)粘性なし、締まりあり。

8柱穴

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。

13・14柱穴

1、黒色土(10YR2/2)粘性あり、締まりなし。黄色粒を少量含む。



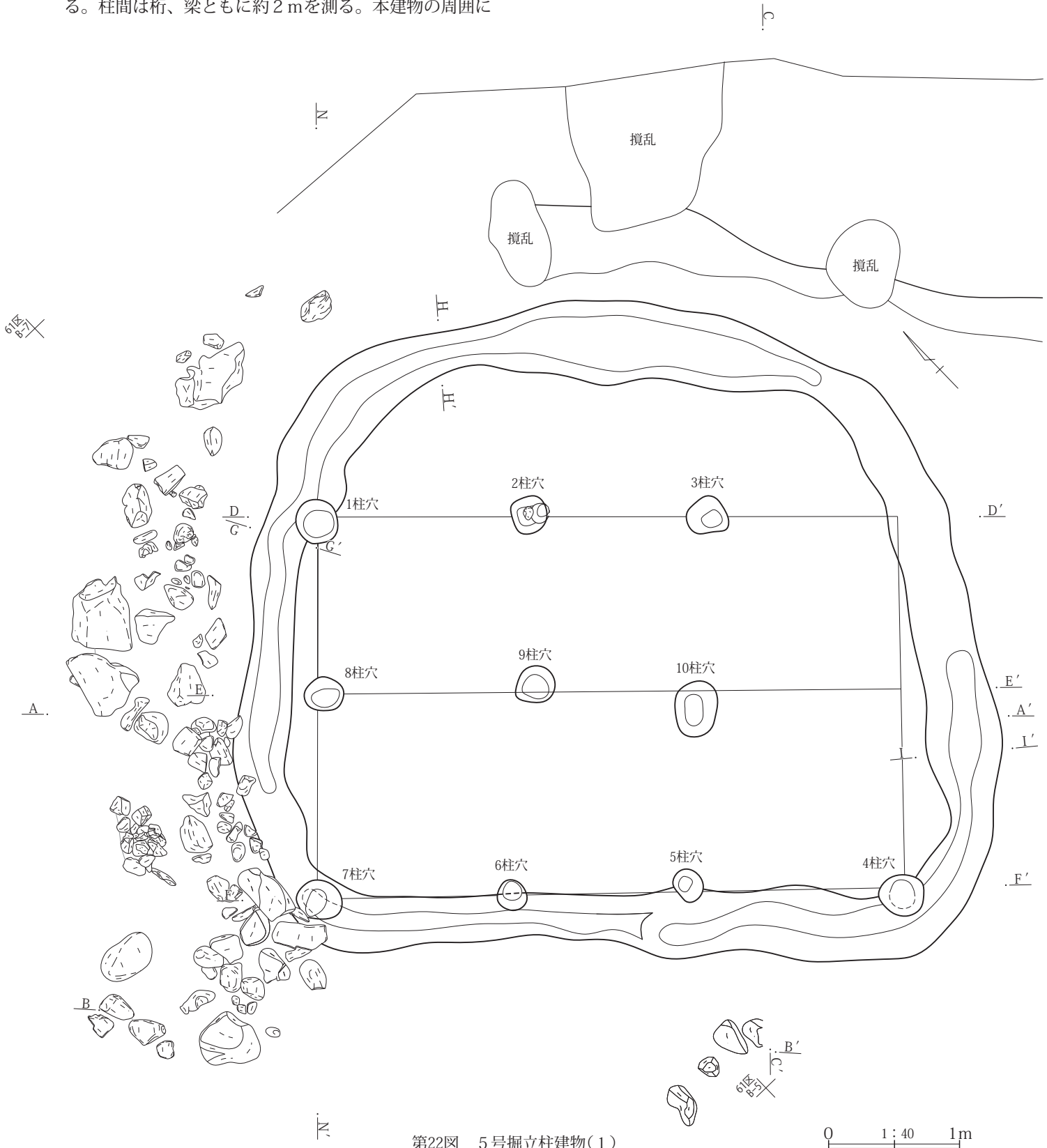
第21図 4号掘立柱建物(2)

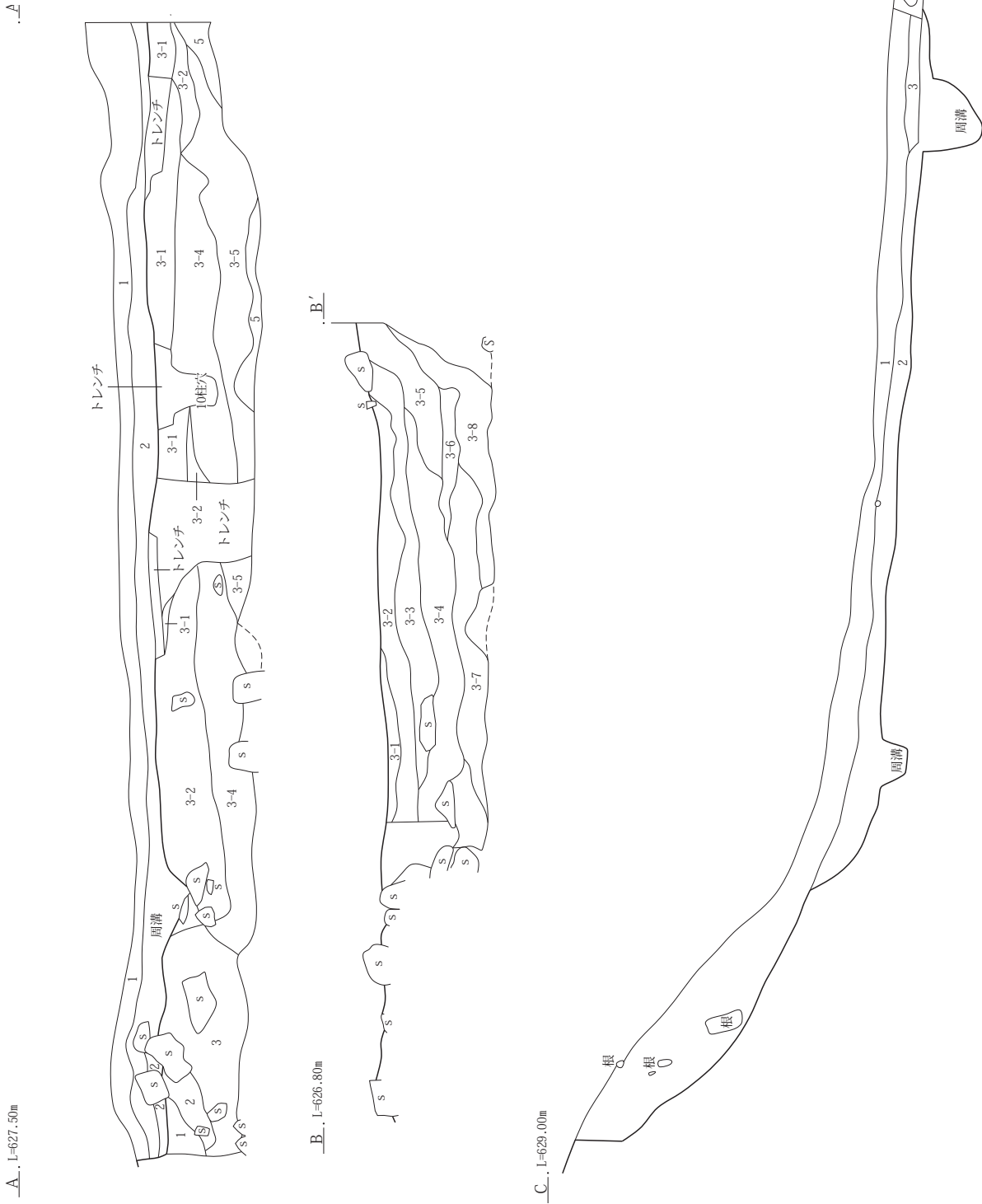
5号掘立柱建物(第22～26図、PL.14・15)

5区に位置し、2間3間の総柱建物である。規模は北側桁間で6m70cm、ただ北側北東コーナーの小穴は確認できなかった。南側桁間は6m70cmを測る。東側梁間は約4m50cm、西側梁間は4m40cmを測る総柱建物である。柱間は桁、梁ともに約2mを測る。本建物の周囲に

は溝が巡り、建物の一部である可能性が高い。西側には石が散乱し、本建物のものかは不明であるが、石垣等の可能性が指摘できる。溝の幅は50cm～1mを測り、深さは10cm～60cmを測る。

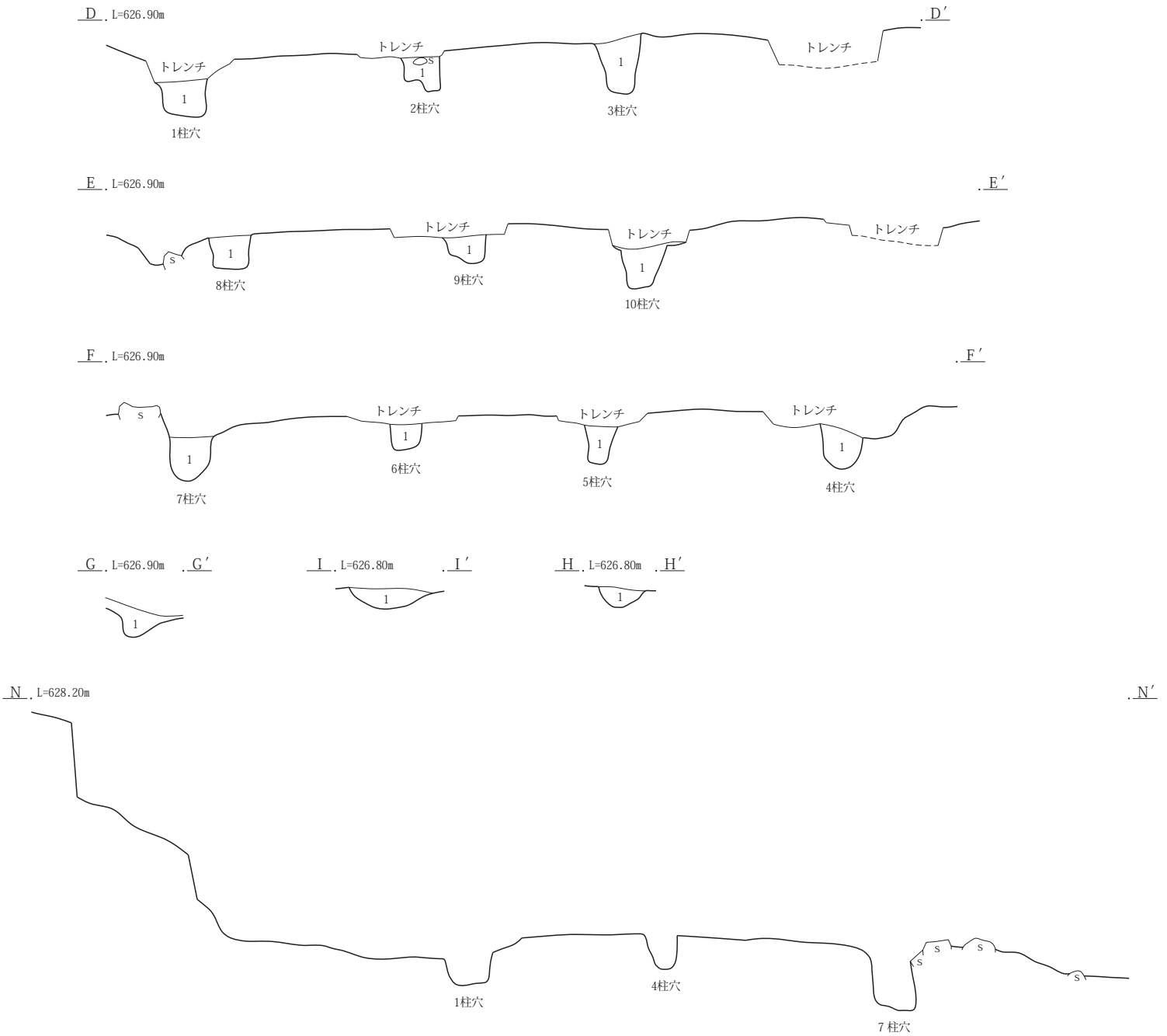
時期は中世と考えられる。





第23図 5号掘立柱建物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



1・7・8柱穴

1、暗褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりなし。

2柱穴

1、灰黄褐色土(10YR4/3)粘性あり、締まりなし。黄色軽石を多量に含む。

3柱穴

1、灰黄褐色土(10YR4/3)粘性あり、締まりなし。黄色軽石を少量含む。

4柱穴

1、灰黄褐色土(10YR4/2)粘性あり、締まりなし。不均質に黄色軽石ブロックを少量含む。

5・6柱穴

1、にぶい黄褐色土(10YR4/3)粘性なし、締まりなし。黄色軽石を多量に含む。

9柱穴

1、暗褐色土(10YR3/3)粘性なし、締まりなし。黄色軽石を多量に含む。

10柱穴

1、暗褐色土(10YR3/3)粘性なし、締まりなし。黄色軽石を少量含む。

G-G'

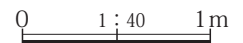
1、灰黄褐色土(10YR4/2)粘性あり、締まりなし。黄色軽石混入する。

H-H'

1、黒褐色土(10YR3/2)粘性あり、締まりなし。

I-I'

1、灰黄褐色土(10YR4/2)粘性なし、締まりなし。黄色軽石主体に黒褐色土含む。

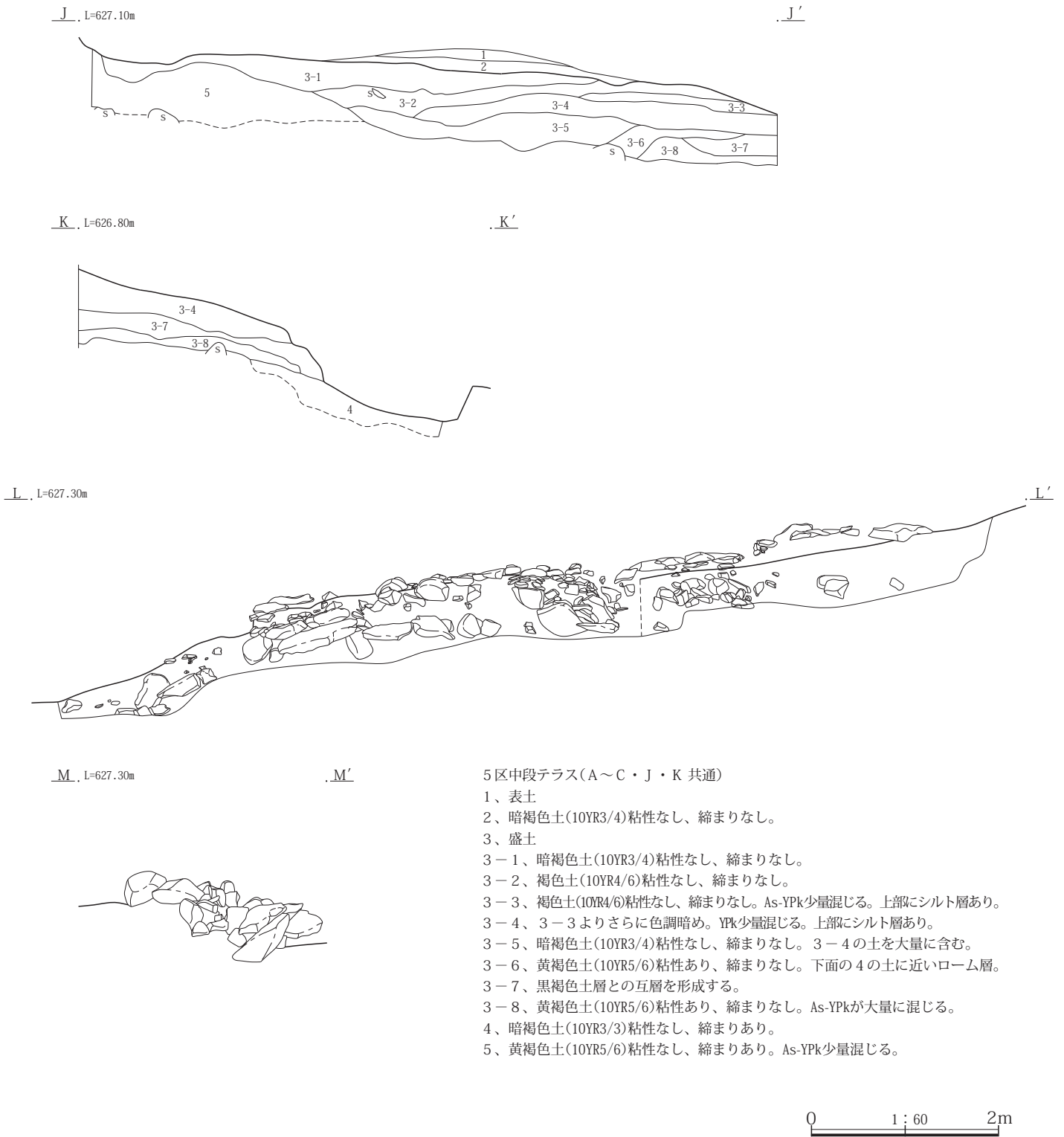


第24図 5号掘立柱建物(3)



第25図 5号掘立柱建物周溝(1)

第3章 検出された遺構と遺物

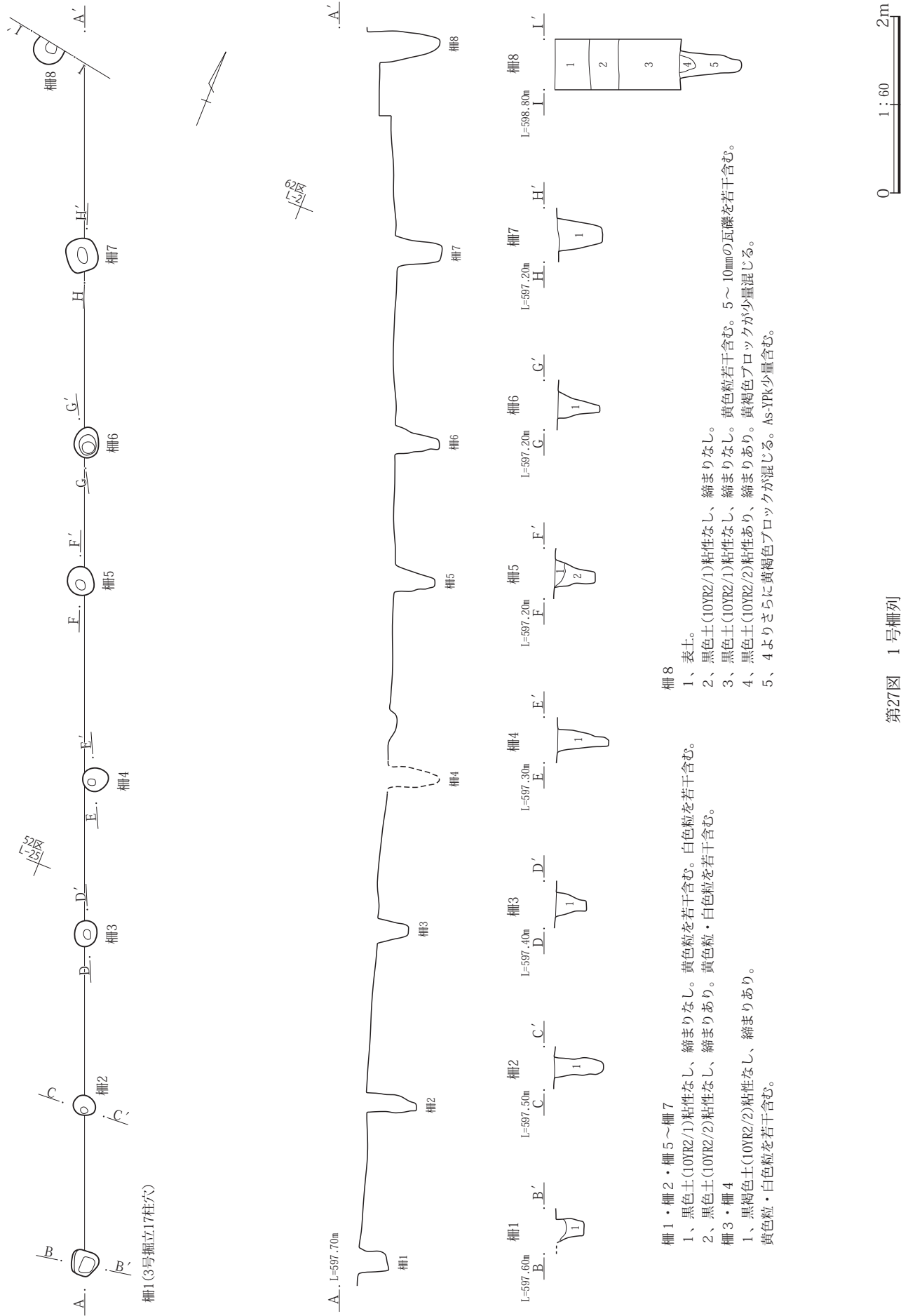


第26図 5号掘立柱建物周溝(2)

1号柵(第27図、PL.16)

柵は3区中央部3・4号掘立柱建物の西側にかくにんされた。南北方向のやや北西に向かい3区内をほぼ直線に走っている。方向は4号掘立柱建物の西側の柱列にほ

ぼ並行するため、4号掘立柱建物の柵の可能性が考えられる。長さ約27m、柱穴は8基確認され、柱間は3.5~4mを測る。



第27図 1号柵列

柵1・柵2・柵5～柵7

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒を若干含む。白色粒を若干含む。
- 2、黒色土(10YR2/2)粘性なし、締まりあり。黄色粒・白色粒を若干含む。

柵3・柵4

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりあり。黄色粒・白色粒を若干含む。

柵8

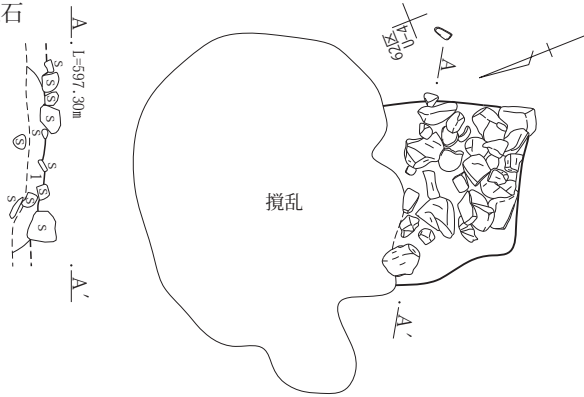
- 1、表土。
- 2、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。
- 3、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒若干含む。5～10mmの瓦礫を若干含む。
- 4、黒色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。黄褐色ブロックが少量混じる。
- 5、4よりさらに黄褐色ブロックが混じる。As-YPK少量含む。

第3節 集石(第28図、PL.16・21)

中棚 I 遺跡東端は 5 区と呼ばれ、西側で 4 区と接する。4 区の東から 5 区に向かい傾斜がきつく 5 区は南北に延びる尾根の頂部にあたる。4 区との比高差は約 30m である。5 区の西側に集石が確認されている。東に向かう

傾斜の始まり部に明らかに人間が手を入れた医師が確認されている。四角いものもあり、墓石の可能性もあるが、用途はわかっていない。しかし、人が手を入れた石が集中して確認された。かつて中棚砦とも呼ばれていたが、砦を想起する遺構は確認できていない。尾根の南北の方向の頂部には南北の道が確認され、林村に向かうものと考えられる。

1号集石

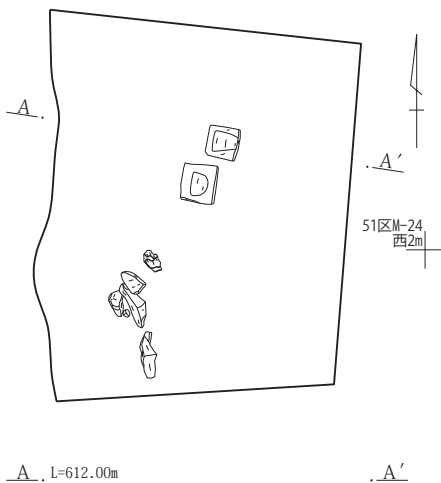


1号集石

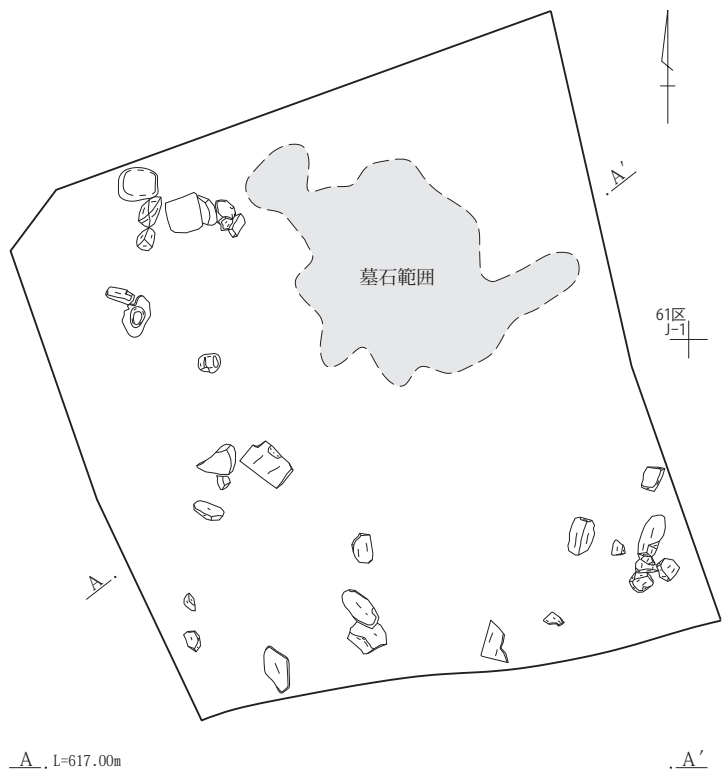
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。

0 1:40 1m

2号集石



3号集石



A, L=617.00m

0 1:80 2m

第28図 1～3号集石

第4節 土坑(第29~41図、PL.17~21・35・36)

土坑は全部で55基確認された。このうち7号・51号土坑は墓壙と確認されている。7号土坑からは人骨に伴って、銭貨が2枚出土している。1枚は大観通宝と読めるがもう一枚は不明である。51号土坑からは人骨がほぼ全身出土している。遺体は膝を曲げ片側を向いた状態で出

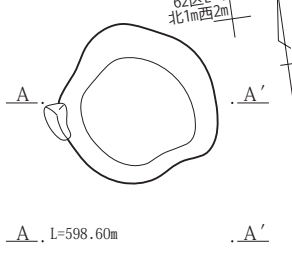
土した。銭貨の出土も確認できるが、布のようなものにくるまれている。このため銭貨が重なって固まっているため、一枚一枚を分離することはできなかった。このため文字は不明である。時期は中近世である。他の土坑の多くから縄文土器が出土したが覆土からの判断では縄文時代の土坑とは認められなかった。2基の墓壙については第4章の(1)に詳述している。

第8表 土坑一覧表

調査区	遺構名	位置		平面図形状	規模			長軸方位	重複関係	備考
		グリッド	座標値		長軸	短軸	深さ			
1区1面	1号土坑	62-E-1 西1m	X=60600 Y=-104118	楕円形	0.84	0.80	0.14	N-8°-W		
3区1面	2号土坑	52-G-24 西2m	X=60592 Y=-104126	隅丸長方形	2.20	0.76	0.62	N-4°-E		
3区1面	3号土坑	52-G-24	X=60592 Y=-104124	隅丸長方形	2.60	0.74	0.59	N-6°-E		
2区1面	4号土坑									1号集石に変更
2区1面	5号土坑	62-T-5 西1m	X=60616 Y=-104177	楕円形	0.92	0.60	0.47	N-62°-W		
3区1面	6号土坑	52-I-25 北3m西2m	X=60599 Y=-104134	楕円形	0.92	0.66	0.35	N-87°-W	3号住居	
3区1面	7号土坑	52-C-24 北1m	X=60593 Y=-104108	隅丸長方形	1.02	0.57	0.22	N-11°-E		人骨
3区1面	8号土坑	52-B-24 北1m西3m	X=60593 Y=-104107	隅丸長方形	1.22	0.52	0.25	N-14°-E		
3区1面	9号土坑	52-C-24 西3m	X=60592 Y=-104111	不整形	2.10	0.82	0.35	N-8°-E	10号土坑	
3区1面	10号土坑	52-C-24 北2m西3m	X=60594 Y=-104111	不整形	1.40	0.33	0.27	N-8°-E	9号土坑	
3区1面	11号土坑	52-D-24 北3m	X=60595 Y=-104112	隅丸長方形	1.16	0.56	0.20	N-17°-E		
3区1面	12号土坑	52-L-24 西2m	X=60592 Y=-104146	不整形	1.16	0.48	0.17	N-79°-W		
3区1面	13号土坑	62-L-1 北1m西2m	X=60601 Y=-104146	楕円形	2.00	1.06	0.59	N-84°-E		
3区1面	14号土坑	52-L-25	X=60596 Y=-104144	不整形	0.80	0.58	0.26	N-24°-W		
3区1面	15号土坑	52-K-25 北2m西2m	X=60594 Y=-104142	楕円形	0.96	0.76	0.56	N-63°-E		
3区1面	16号土坑	52-L-24 北3m西2m	X=60595 Y=-104146	楕円形	1.58	1.17	1.24	N-4°-E	27号土坑	
3区1面	17号土坑	62-J-1 西2m	X=60600 Y=-104138	楕円形	1.22	0.94	0.26	N-77°-W	P120	
3区1面	18号土坑	52-J-24 北2m	X=60594 Y=-104136	楕円形	1.20	0.78	0.25	N-63°-E	P112	
3区1面	19号土坑	52-I-23 北2m西2m	X=60590 Y=-104134	楕円形	0.64	0.60	0.30	N-18°-E		
3区1面	20号土坑	52-H-24 北3m西2m	X=60595 Y=-104130	楕円形	1.54	1.04	0.44	N-19°-E	P161・P188	
3区1面	21号土坑	52-D-25 北3m西1m	X=60599 Y=-104129	楕円形	0.94	0.70	0.23	N-76°-W		
3区1面	22号土坑	52-G-25 北1m西2m	X=60597 Y=-104126	楕円形	0.80	0.58	0.70	N-82°-W		
3区1面	23号土坑	52-H-23 北2m西1m	X=60590 Y=-104129	隅丸長方形	4.20	0.50	0.29	N-16°-E		
3区1面	24号土坑	52-G-23 北3m西2m	X=60591 Y=-104126	不整形	1.94	1.03	1.50	N-49°-W	25号土坑	
3区1面	25号土坑	52-G-22 北3m西2m	X=60587 Y=-104126	隅丸長方形	(4.18)	0.53	0.28	N-5°-E	24号土坑	
3区1面	26号土坑	52-F-24 北2m西2m	X=60594 Y=-104122	楕円形	1.38	1.00	0.61	N-12°-E		
3区1面	27号土坑	52-L-24 北3m西2m	X=60595 Y=-104146	楕円形	(0.80)	0.60	1.21	N-12°-W	16号土坑	
3区1面	28号土坑	52-F-25 北1m西3m	X=60597 Y=-104123	楕円形	1.34	1.00	0.69	N-10°-E	29号土坑	
3区1面	29号土坑	52-F-25 西2m	X=60596 Y=-104122	楕円形	1.62	(1.04)	0.46	N-11°-E	28号土坑	
3区1面	30号土坑	52-F-24 北2m西1m	X=60594 Y=-104121	楕円形	(1.30)	0.64	0.18	N-12°-E	31号土坑	
3区1面	31号土坑	52-F-24 北1m西1m	X=60593 Y=-104121	楕円形	1.55	1.13	0.49	N-21°-E	30号土坑	
3区1面	32号土坑	52-D-24 北2m西3m	X=60594 Y=-104115	隅丸長方形	1.22	0.60	0.31	N-84°-W		
3区1面	33号土坑	52-E-23 北3m	X=60591 Y=-104116	不整形	0.94	0.60	0.48	N-8°-W	34号土坑	
3区1面	34号土坑	52-E-23 北2m	X=60590 Y=-104116	隅丸長方形	(2.60)	0.46	0.16	N-11°-E	33号土坑	
3区1面	35号土坑	52-E-22 北3m	X=60587 Y=-104116	不整形	1.70	0.72	0.32	N-81°-W		
3区1面	36号土坑	52-F-22 北2m	X=60586 Y=-104120	隅丸長方形	(2.40)	0.62	0.66	N-3°-W		
3区1面	37号土坑	52-J-25 北1m西2m	X=60597 Y=-104138	楕円形	0.85	0.64	0.31	N-63°-E		
3区1面	38号土坑	52-B-23 北1m	X=60589 Y=-104104	楕円形	1.15	0.84	0.34	N-66°-W		
3区1面	39号土坑	61-G-1 西1m	X=60600 Y=-104125	楕円形	0.82	0.42	0.42	N-84°-E		
3区1面	40号土坑	62-H-1 北1m西1m	X=60601 Y=-104129	楕円形	0.86	0.75	0.24	N-15°-E		
3区1面	41号土坑	62-I-1 北2m西3m	X=60602 Y=-104135	楕円形	(0.60)	(0.36)	0.36	N-70°-E		
3区2面	42号土坑	52-K-25 西1m	X=60596 Y=-104141	楕円形	0.90	0.76	0.31	N-44°-W		
3区2面	44号土坑	52-I-25	X=60596 Y=-104132	楕円形	1.16	1.10	0.49	N-38°-E		
3区2面	45号土坑	52-I-24 北2m西2m	X=60594 Y=-104134	楕円形	1.25	1.06	0.39	N-38°-W		
4区1面	46号土坑	61-Q-1 北2m	X=60602 Y=-104064	楕円形	1.20	0.96	0.33	N-63°-W		
4区1面	47号土坑	61-Q-1 北1m西1m	X=60601 Y=-104065	不整形	1.30	1.14	0.34	N-58°-W	49号土坑	
4区1面	48号土坑	61-Q-1 西2m	X=60600 Y=-104066	不整形	0.84	0.70	0.33	N-21°-E	49号土坑	
4区1面	49号土坑	61-Q-1 西2m	X=60600 Y=-104066	楕円形	1.38	0.92	0.28	N-72°-E	47号土坑・48号土坑	
4区1面	50号土坑	51-Q-25 西3m	X=60598 Y=-104067	不整形	1.80	(0.94)	1.00	N-25°-E		
4区1面	51号土坑	51-S-24 北1m西3m	X=60593 Y=-104075	方形	1.25	(1.10)	1.45	N-8°-E		人骨
4区1面	52号土坑	61-T-24 北2m西3m	X=60594 Y=-104079	不整形	1.06	0.80	0.53	N-33°-E	53号土坑	
4区1面	53号土坑	51-I-24 北2m西2m	X=60594 Y=-104078	不整形	0.86	(0.68)	0.32	N-65°-W	52号土坑	
4区1面	54号土坑	51-T-25 北3m西1m	X=60599 Y=-104077	楕円形	1.72	0.86	0.58	N-24°-E		
5区1面	55号土坑	51-R-9 西2m	X=60633 Y=-104970	不整形	(2.40)	1.36	1.16	N-80°-E		

第3章 検出された遺構と遺物

1号土坑

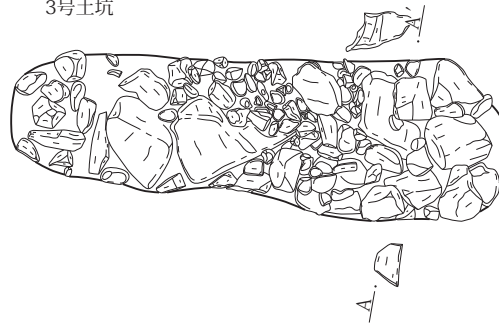


1号土坑

1、黒色土(10YR2/3)粘性あり、
縮まりなし。

2・3号土坑

3号土坑



2号土坑



2号土坑

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、縮まりなし。

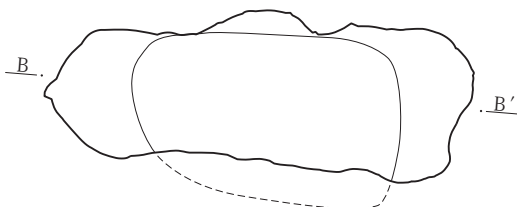
3号土坑

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、縮まりなし。黄色粒
多量に含む。白色粒若干含む。
2、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、縮まりなし。
3、黒色土(10YR2/1)粘性あり、縮まりあり。

3号土坑



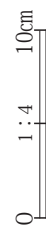
2号土坑



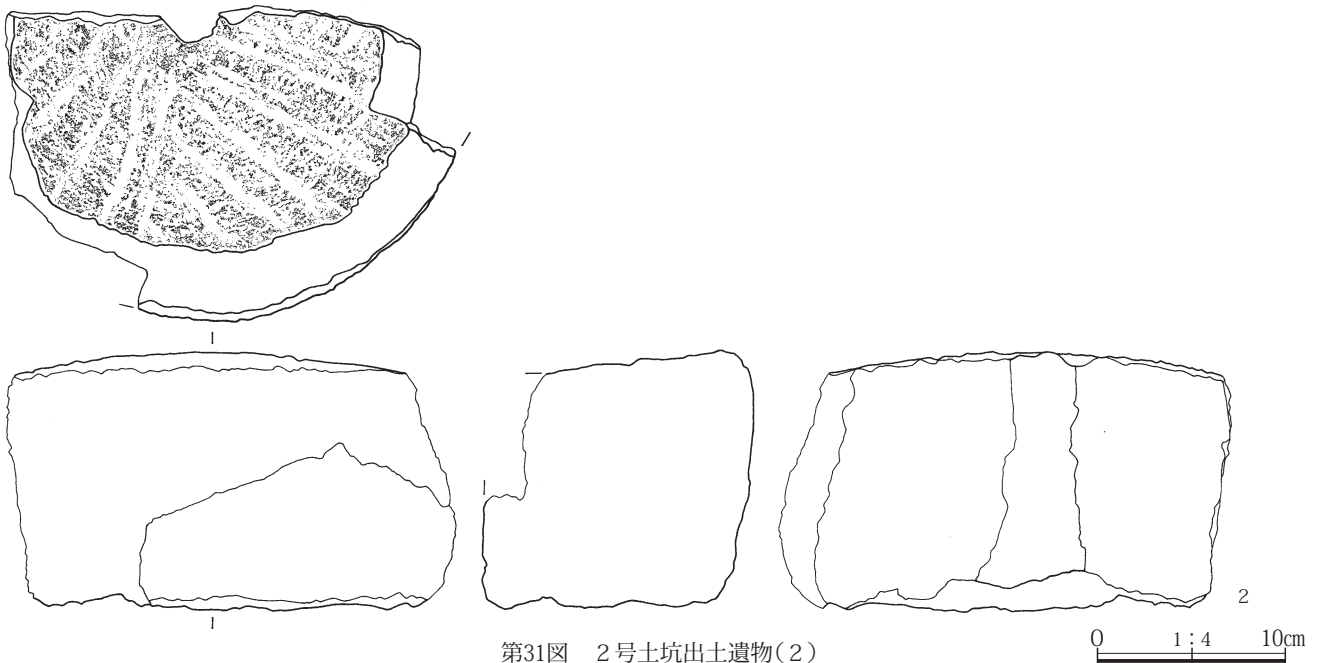
52区
H-25

0 1:40 1m

第29図 1～3号土坑



第30図 2号土坑出土遺物(1)

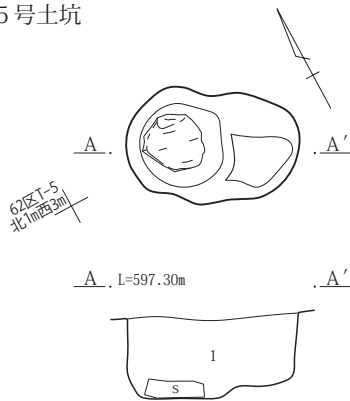


第31図 2号土坑出土遺物(2)

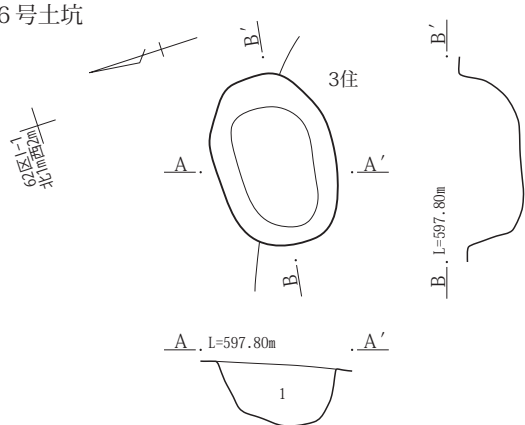
第9表 2号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				径	厚	重			
第30図 PL.35	1	石白(上)	1/2	(30.0)	14.4	9060.0	粗粒輝石安山岩	底面のすり合わせ面には挽き目の痕跡が明瞭に認められる。側面に矩形的挽き手孔が認められる。底面に円錐形の軸受孔が認められる。供給孔の一部が残存し隅丸の矩形と考へらる。供給孔の内面には断面U字形の溝状痕跡が認められ棒状工具による加工痕と考へられる。	
第31図 PL.35	2	石白(下)	1/3	長 (16.6) 幅 (23.7)	厚 13.7	重 6250.0	粗粒輝石安山岩	表面のすり合わせ面には挽き目の痕跡が比較的明瞭に認められる。軸孔は中央付近がわずかに狭くなっており両面穿孔と考へられる。	

5号土坑



6号土坑



5号土坑

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒・黄褐色土ブロックを少量含む。

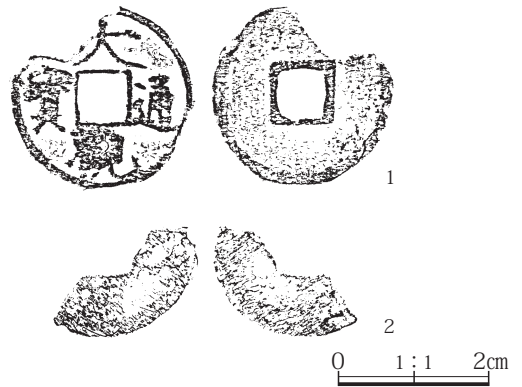
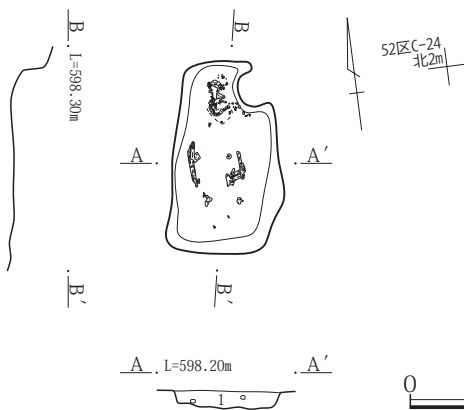
6号土坑

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりなし。黄色粒多量に含む。白色粒若干含む。

7号土坑

1、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりなし。
5~10mm大の黄色粒、白色粒を少量含む。

7号土坑(墓壙)

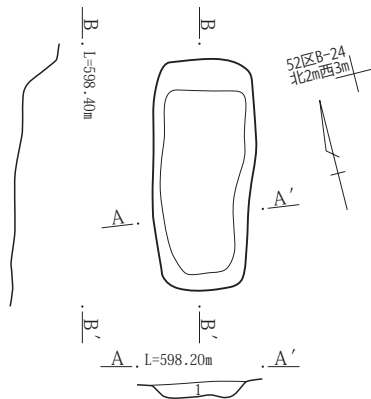


第32図 5~7号土坑・7号土坑出土遺物

第10表 7号土坑(墓壙)出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				縦 横	厚 重	0.114 0.6			
第32図 PL.35	1	銭貨 大観通寶	3/4	縦 2.423 横 2.438	厚 0.114 重 0.6		面の彫は深く、字、輪、郭が明瞭。背は彫が浅く、やや輪、郭が見えづらい。若干郭にゆがみが見られる。		
第32図 PL.35	2	銭貨 不明	1/3	縦 - 横 -	厚 0.130 重 1.9		全体の劣化が激しく、詳細不明。銭種も摩滅しており、不明。かろうじて、輪と郭は判別できる。背は彫が浅く、輪、郭が不明瞭。		

8号土坑



8号土坑

1、黒褐色土(10YR2/3)粘性ややあり、締まりあまりなし。
5~10mm大の黄色粒、白色粒を少量に含む。

9~11号土坑

1、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりなし。
5~10mm大の黄色粒、白色粒を少量に含む。

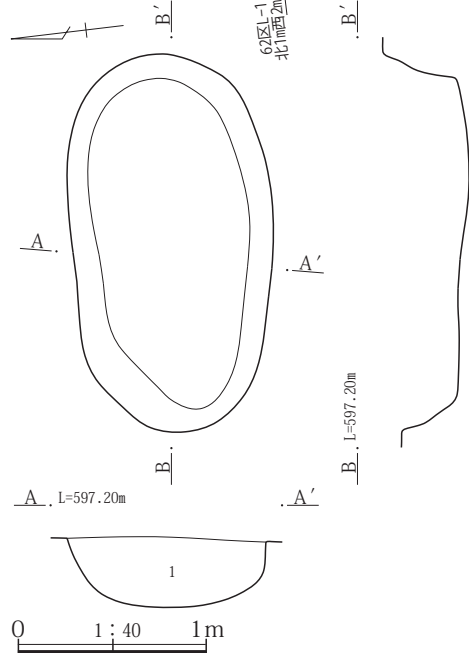
12号土坑

1、褐色土(10YR4/6)粘性あり、締まりあり。
1~5mm大の亜角礫を若干に含む。黄橙色粒・白色粒を少量に含む。粘土層を充填。

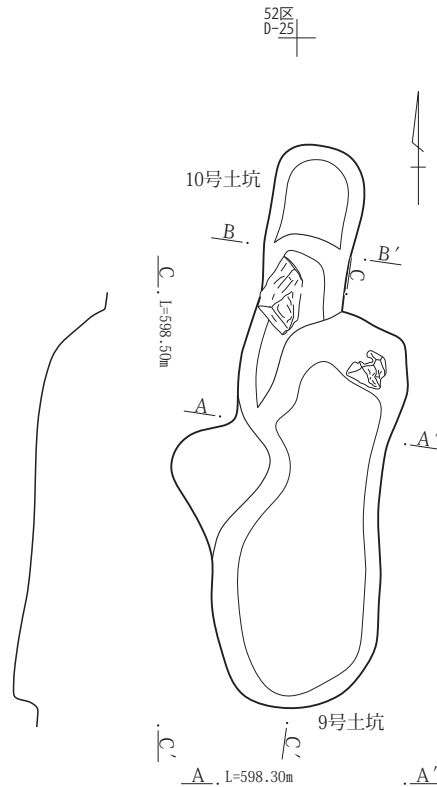
13号土坑

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。
黄色粒少量含む。

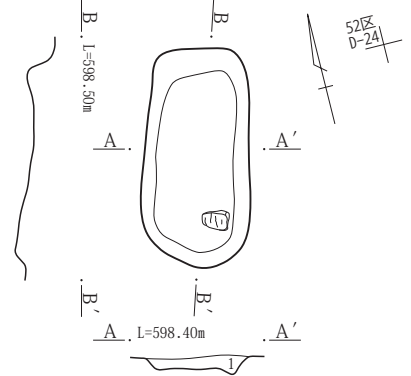
13号土坑



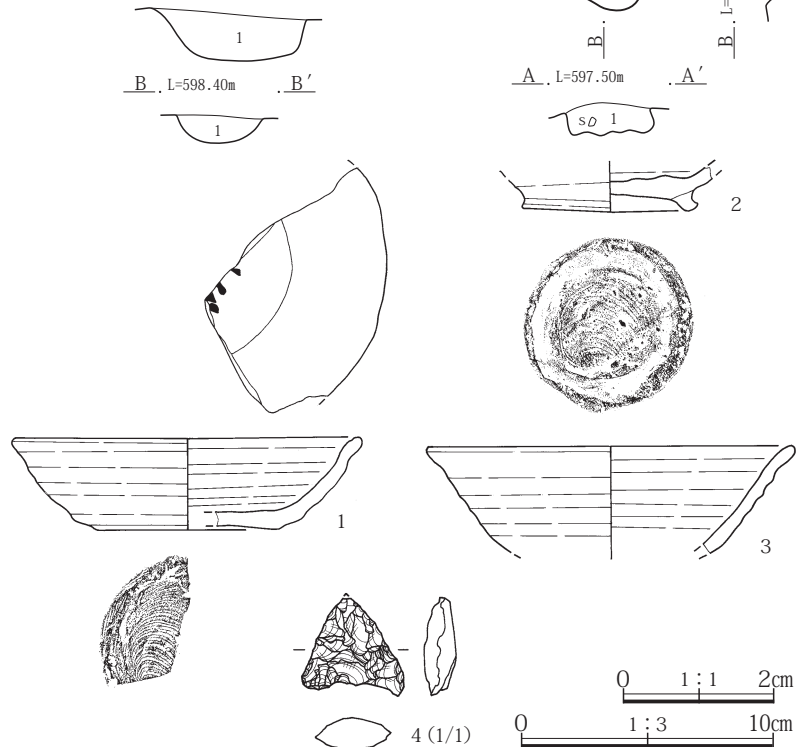
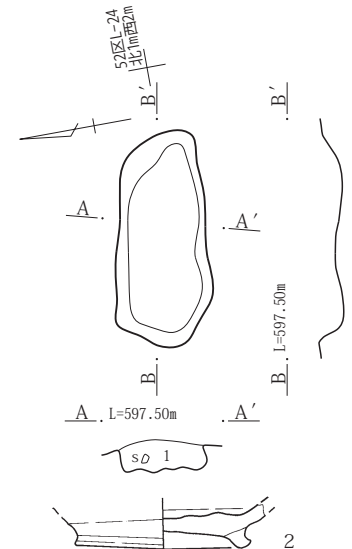
9・10号土坑



11号土坑



12号土坑



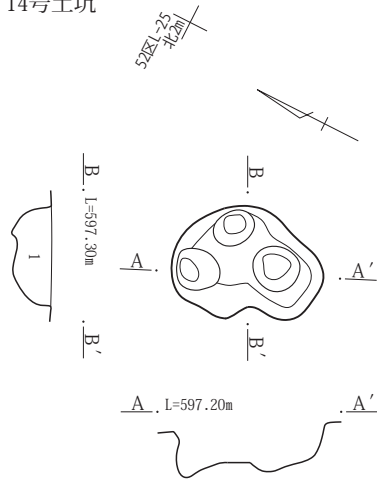
第40図 8~13号土坑・13号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

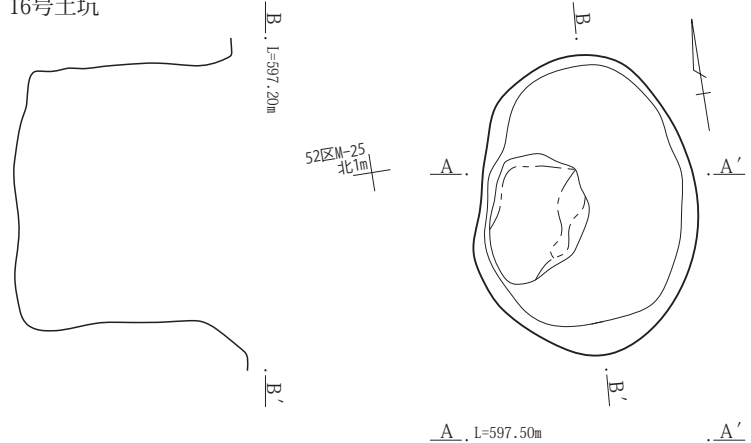
第11表 13号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第33図 PL.36	1	須恵器 坏	1/4	口底 7.0	高 3.6	3.6	白色・黒色鈹物、 赤色物/灰黄2.5Y7/2	石はぜ目立つ。底部外面は右回転糸切り無調整。焼成は酸化気味。	
第33図 PL.36	2	須恵器 椀	底部	口底 6.9	高 -	-	白色鈹物、黒色物/ 灰7.5Y5/1/還元炎	焼き締まり硬質。高台の貼付は雑で場所により形状が異なる。高台内に右回転糸切り痕残る。	
第33図	3	須恵器 杯	口縁部~体部下 位片	口底 14.4	高 -	-	白色・黒色鈹物、 赤色物/にぶい黄 橙10YR7/2/酸化炎	内外面のロクロ目顕著。石はぜあり。	
第33図 PL.36	4	石鏃	フク土 ほぼ完形	長 幅 1.4	(1.3) 厚 重 0.4 0.6		黒曜石	表裏面全体に面的な二次加工が認められる。	凹基無茎鏃

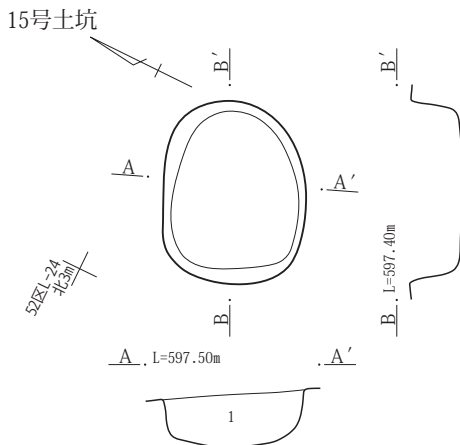
14号土坑



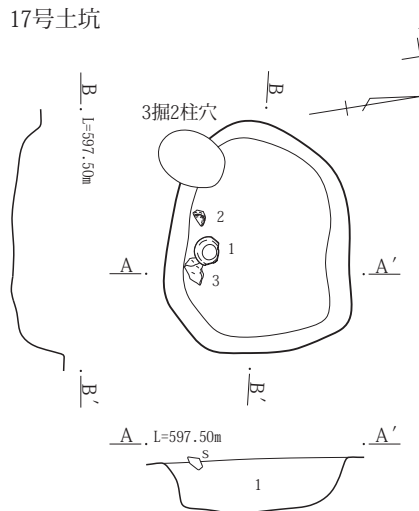
16号土坑



15号土坑



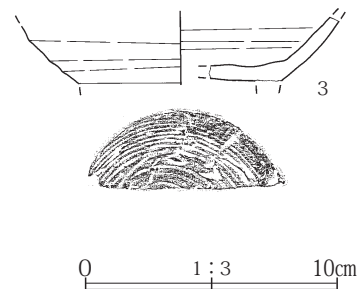
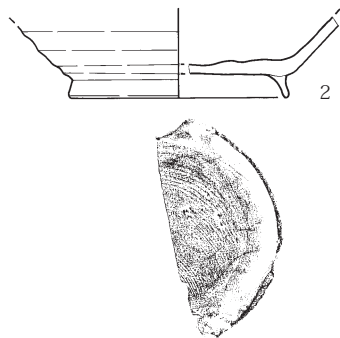
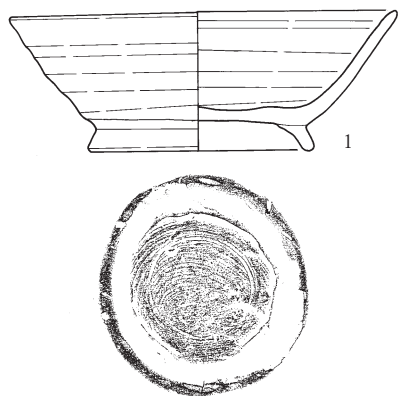
17号土坑



14~17号土坑

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

0 1:40 1m

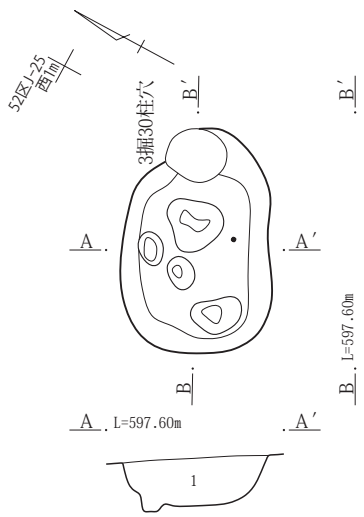


第34図 14~17号土坑・17号土坑出土遺物

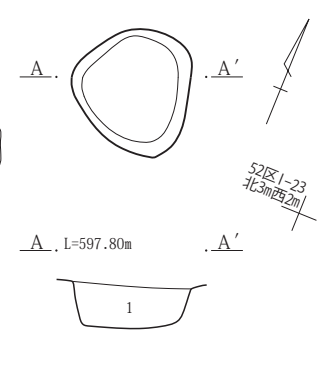
第12表 17号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高	高			
第34図 PL.36	1	須恵器 椀	3/4	口底 15.2 8.6	高 5.5	高	鈳物等含む、礫含 む/灰白2.5Y7/1/ 還元炎	断面中央は酸化気味。礫を含み、器表の凹凸や石はざあり。 高台の貼付はやや雑。高台内に右回転糸切り痕残る。	
第34図 PL.36	2	須恵器 椀	体部下位～底部 1/2	口底 -	高 8.5	高	白色鈳物、黒色物/ 褐灰10YR6/1/還元炎	内外面ロクロ目残る。貼付高台は薄くやや高い。高台内に 右回転糸切り痕残る。	
第34図 PL.36	3	須恵器 椀	体部下位～底部 1/2	口底 -	高 -	高	白色鈳物、黒 色物微量/灰白 2.5Y8/1/還元炎	断面中央部は酸化気味。内外面にロクロ目。高台は接合部 で剥がれる。底部外面に右回転糸切り痕残る。	

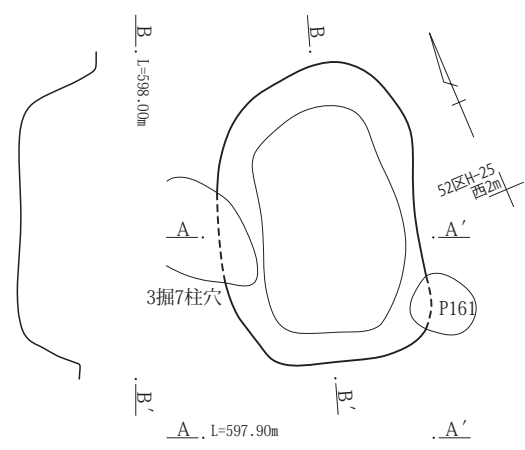
18号土坑



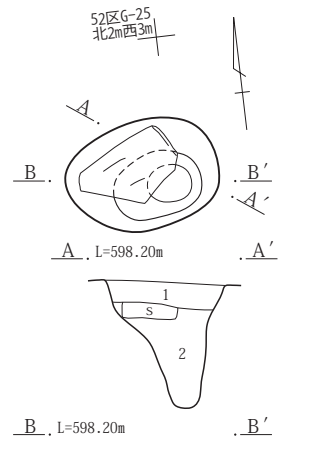
19号土坑



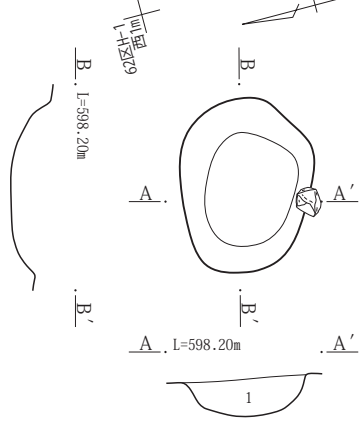
20号土坑



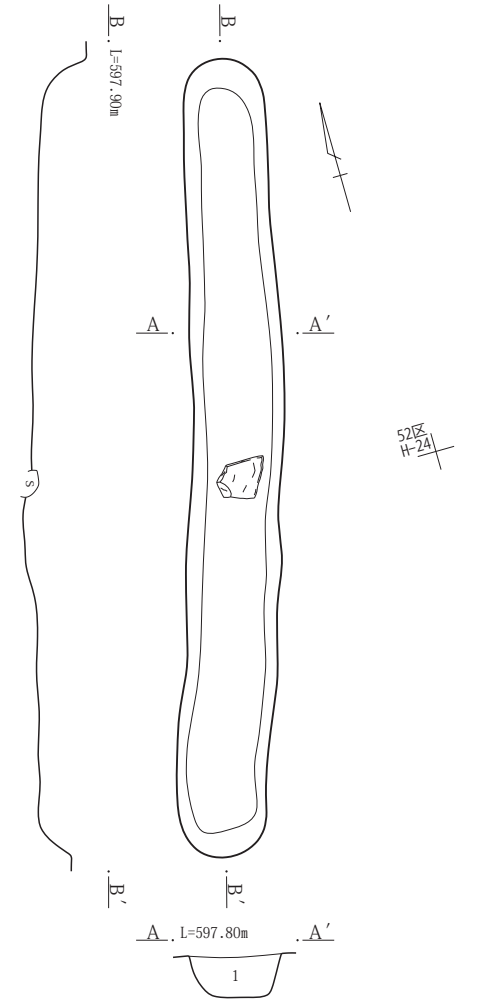
22号土坑



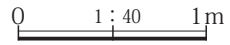
21号土坑



23号土坑



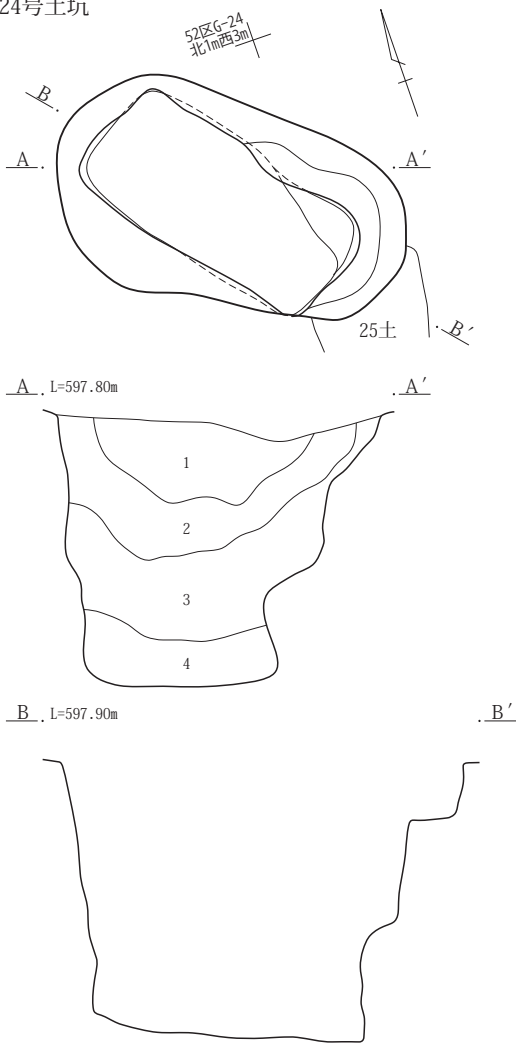
- 18・19・20号土坑
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 21・23号土坑
1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。
- 22号土坑
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。



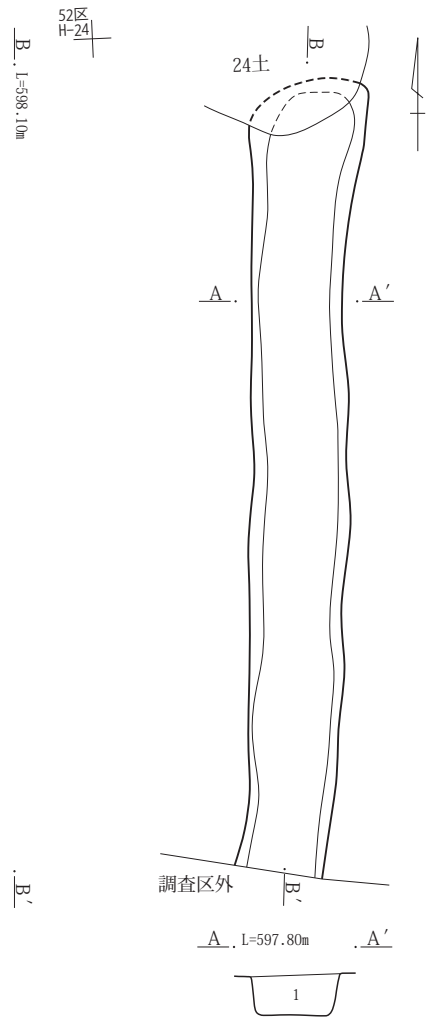
第35図 18～23号土坑

第3章 検出された遺構と遺物

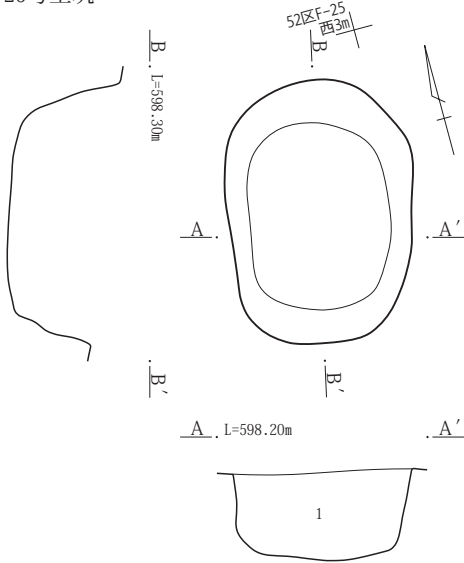
24号土坑



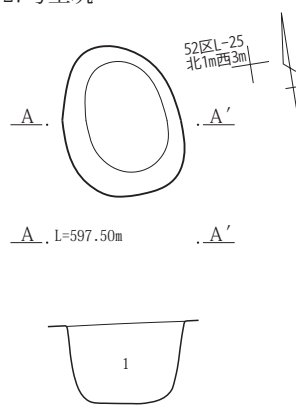
25号土坑



26号土坑



27号土坑



24・27号土坑

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。炭化物粒を若干含む。
- 2、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 3、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。
- 4、褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。黄色土ブロックを大量に含む。

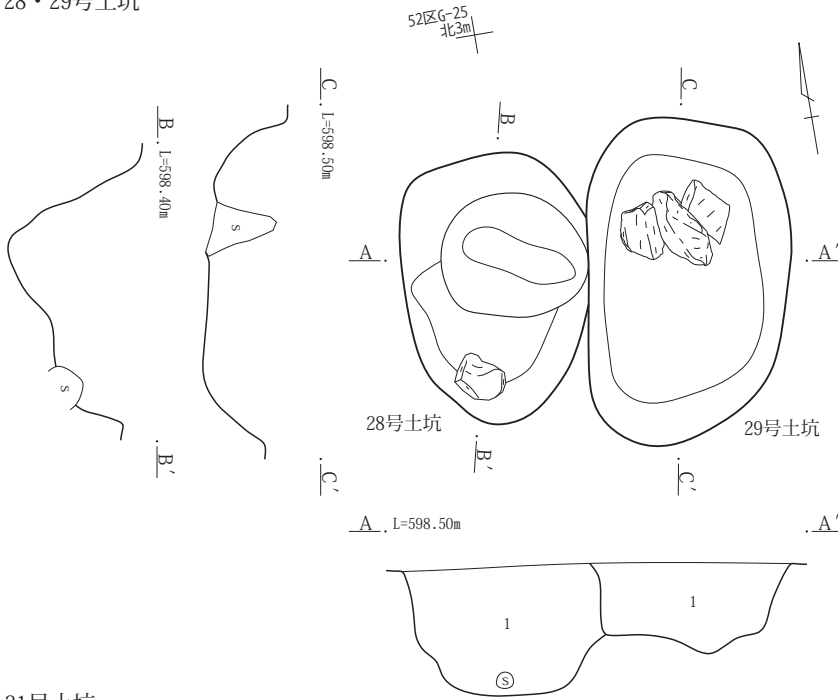
25・26号土坑

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

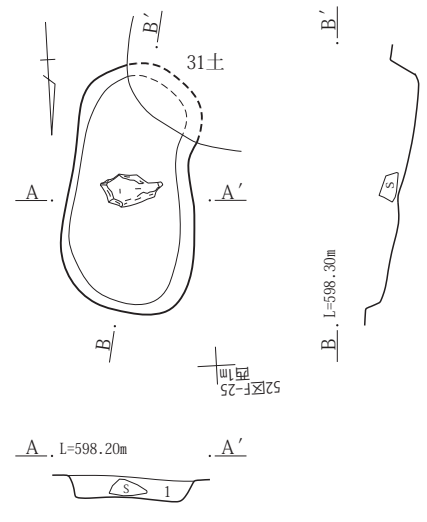


第36図 24～26号土坑

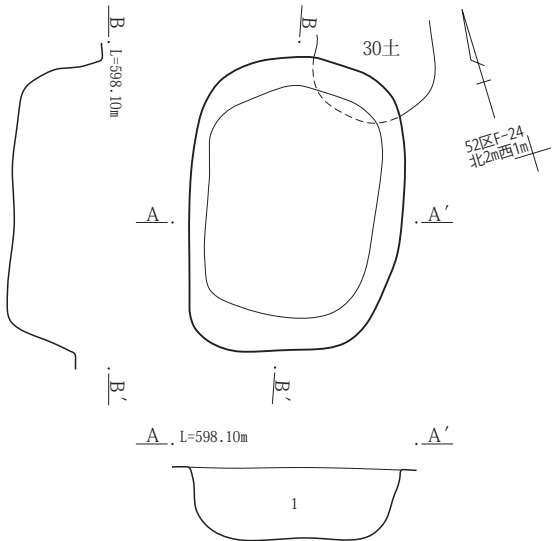
28・29号土坑



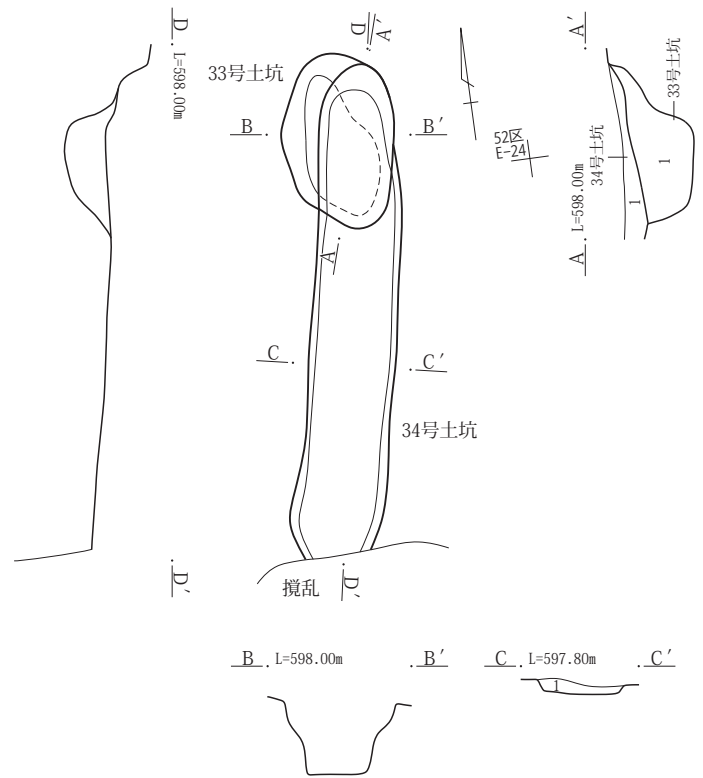
30号土坑



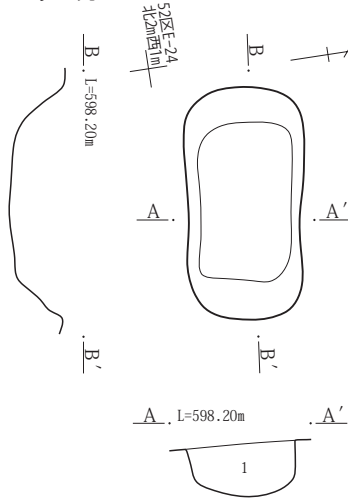
31号土坑



33・34号土坑



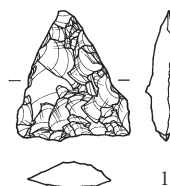
32号土坑



28~34号土坑

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締めりなし。

0 1:40 1m



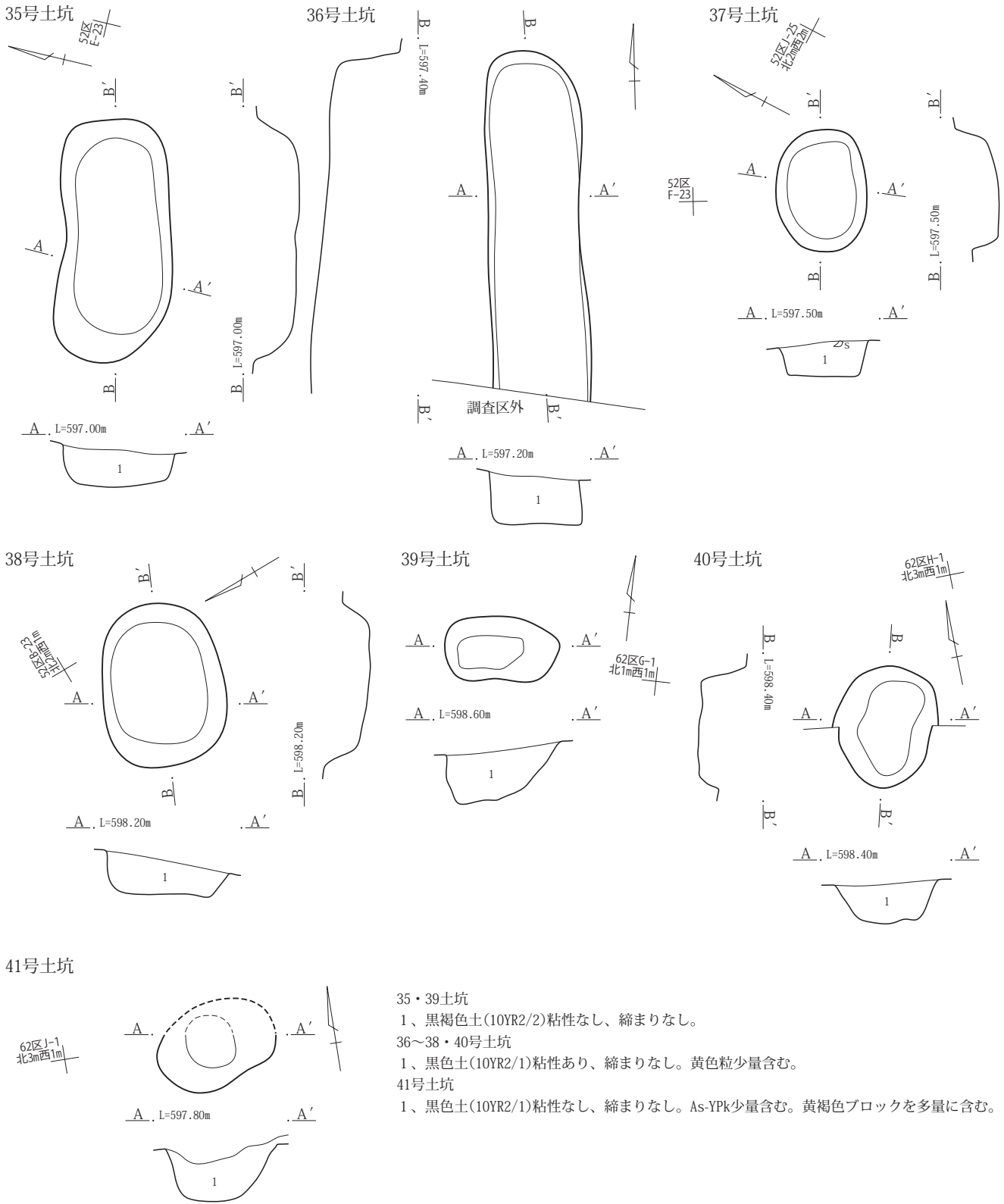
0 1:1 2cm

第37図 28~34号土坑・34号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

第13表 34号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚重			
第37図 PL.36	1	石鏃	完形	1.7 1.5	0.3 0.7	黒曜石	表裏面全体に面的な二次加工が認められる。	平基無茎鏃	



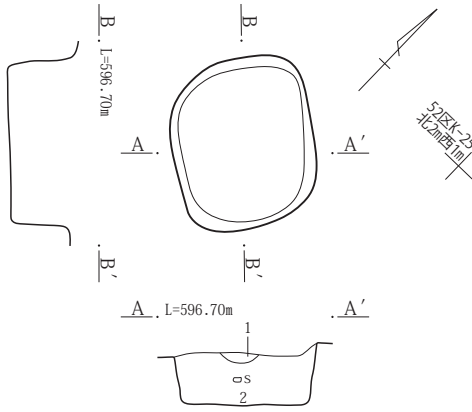
35・39土坑
1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、縮まりなし。

36～38・40号土坑
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、縮まりなし。黄色粒少量含む。

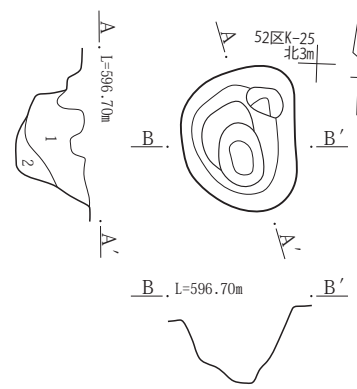
41号土坑
1、黒色土(10YR2/1)粘性なし、縮まりなし。As-YPk少量含む。黄褐色ブロックを多量に含む。

第38図 35～41号土坑

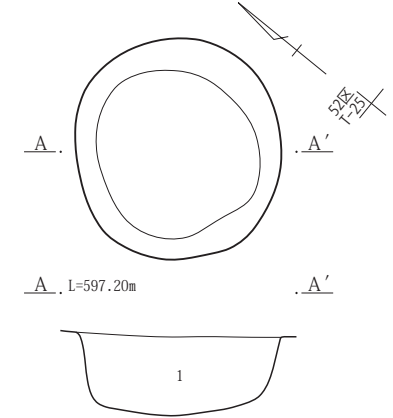
42号土坑



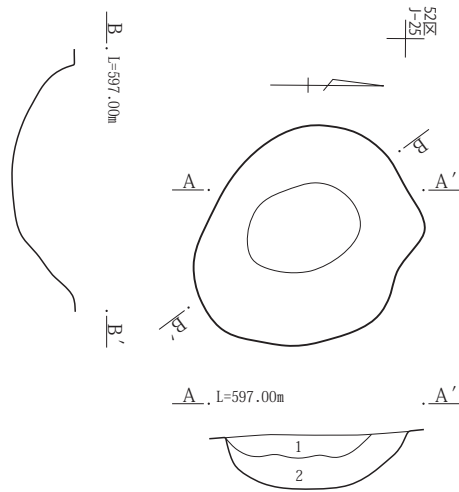
43号土坑



44号土坑



45号土坑



42号土坑

- 1、黒褐色土(10YR2/3)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 2、黒褐色土(10YR2/2)粘性あり、締まりあり。黄色粒少量含む。

43号土坑

- 1、黒褐色土(10YR2/2)締まりなし、粘性あり。
- 2、黒褐色土(10YR2/2)締まりあり、粘性あり。黄褐色土ブロックを少量含む。

44号土坑

- 1、黒褐色土(10YR2/2)締まりややあり、粘性ややあり。As-YPkを少量含む。

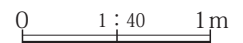
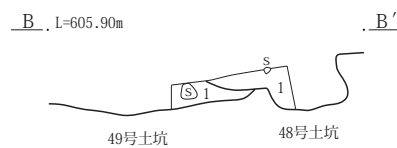
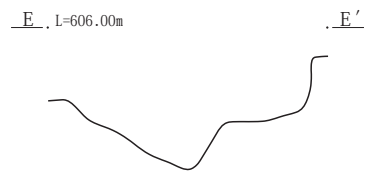
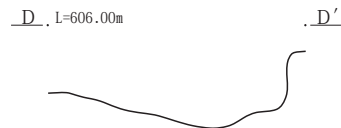
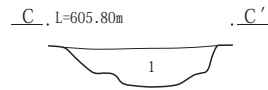
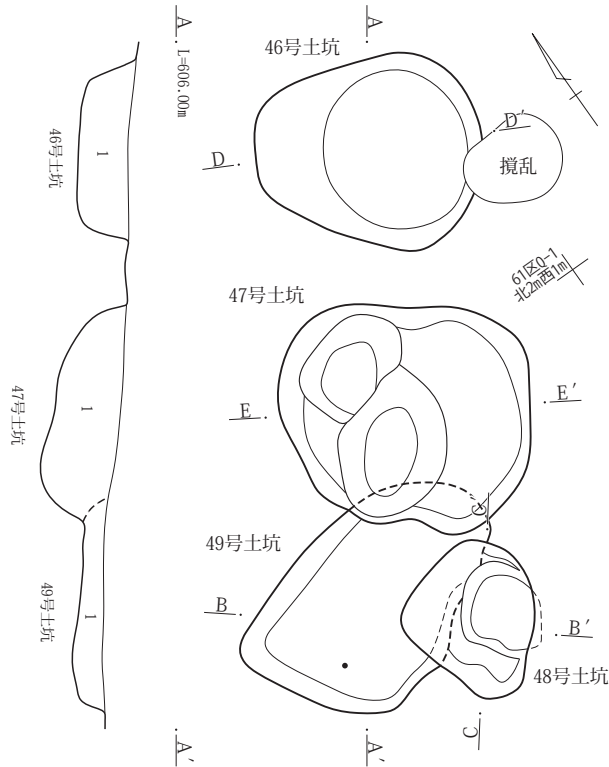
45号土坑

- 1、黒褐色土(10YR2/2)締まりあり、粘性あり。
- 2、黒褐色土(10YR2/2)締まりあり、粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

46～49号土坑

- 1、黒褐色土(10YR3/2) 締まりなし、粘性なし。

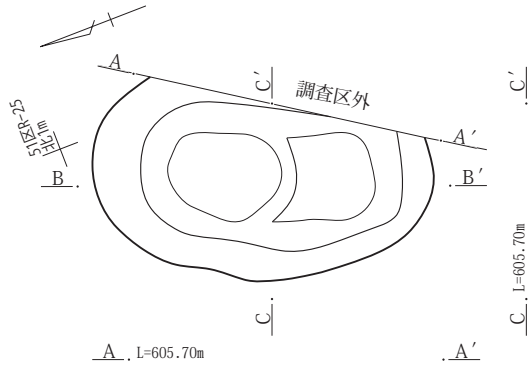
46～49号土坑



第39図 42～49号土坑

第3章 検出された遺構と遺物

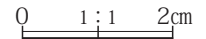
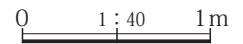
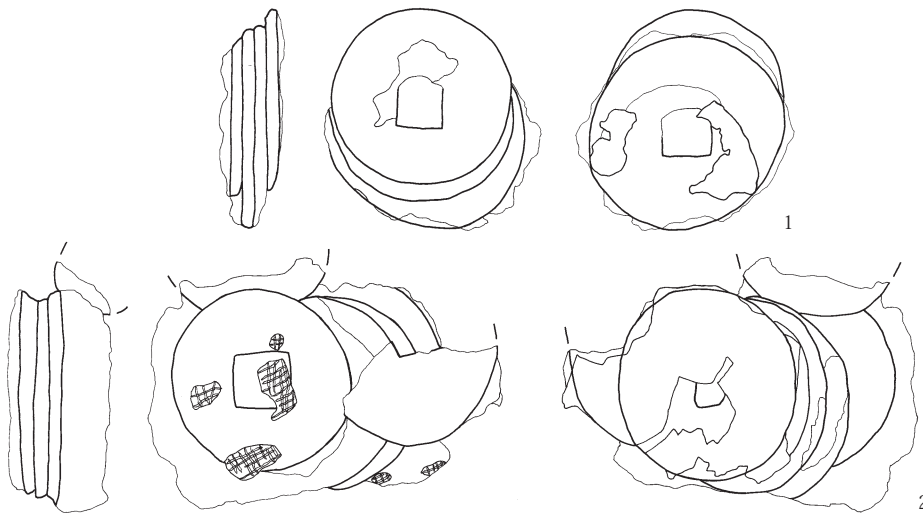
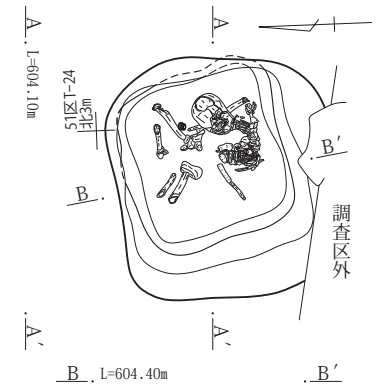
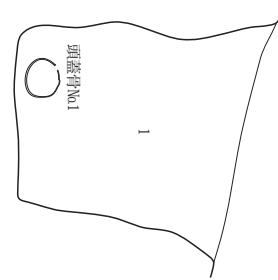
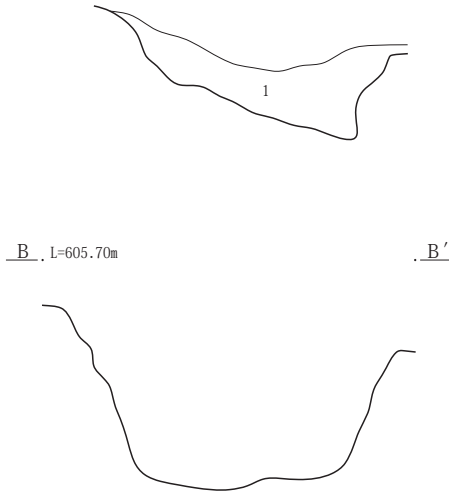
50号土坑



50・51号土坑

1、黒褐色土(10YR3/2)縮まりなし、粘性なし。黄褐色土ブロックを大量に含む。

51号土坑(墓壙)

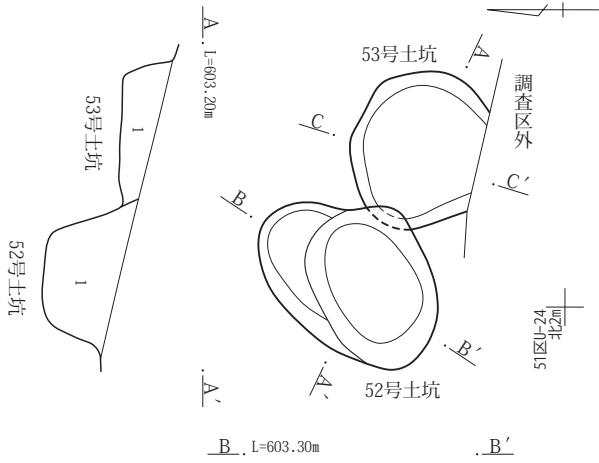


第40図 50・51号土坑・51号土坑出土遺物

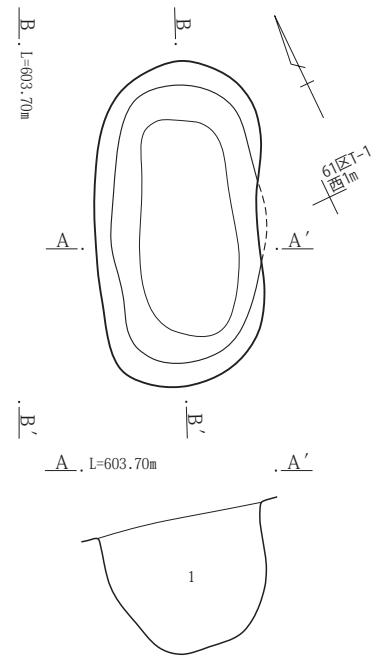
第14表 51号土坑(墓壙)出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚重			
第40図 PL.36	1	錢貨 不明	-	長 3.15	幅 3.15	厚重 1.335 21.0		4枚が確認できる。孔に紐が見られる。一面は鉄銭のため、さびがひどく詳細不明。もう一面は彫が深く輪、郭が明瞭。	
第40図 PL.36	2	錢貨 不明	-	長 3.0	幅 2.7	厚重 0.733 9.8		3枚は確認できる。一面から側面にかけて布痕が残存している。もう一面には細い植物痕が残存している。中心部に鉄銭が含まれており、全体にさびがみられる。銭種不明。	

52・53号土坑



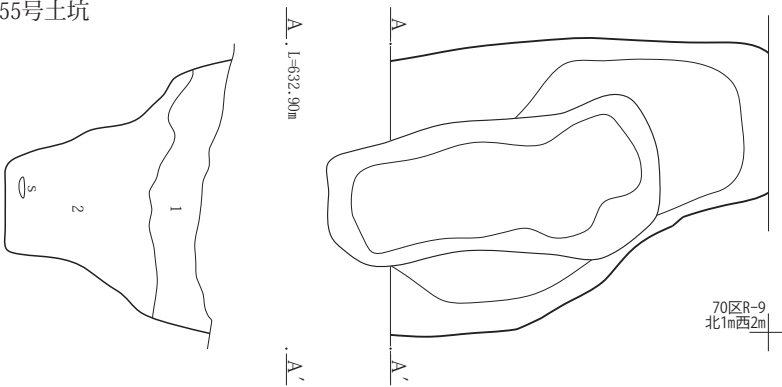
54号土坑



52・53・54号土坑

1、黒褐色土(10YR3/2) 締めりなし、粘性なし。黄褐色土ブロックを多量に含む。

55号土坑



55号土坑

1、黄褐色土(10YR5/6)締めりなし、粘性なし。2の土が多量に混じる。

2、黒褐色土(10YR2/3)締めりなし、粘性なし。

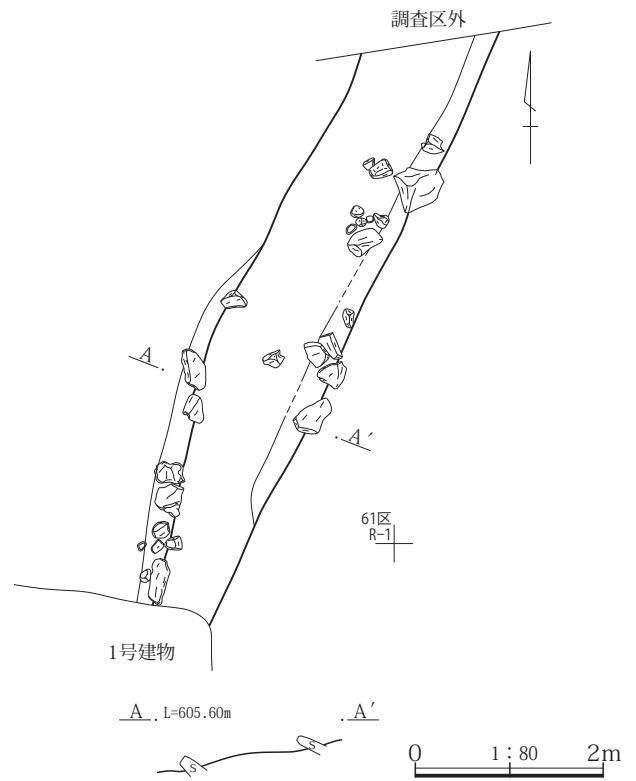


第41図 52～55号土坑

第5節 道

1号道(第42図、PL.16・17)

2区北側に南北に走る細い道が確認された。道の南は現在の建物に攪乱を受けている。道は南北に延び、河岸段丘上に続いている。両脇には石が置かれ道の範囲を示しているようである。かつては周囲に畝が広がっていた可能性もあるが、耕土や耕作痕は確認されていない。



第42図 1号道

第6節 小穴(第43～50図、PL.21～32)

小穴群

小穴は219基が確認されている。この中には中近世の建物の小穴と考えられるものもあるが、掘立柱建物跡と確認できたものはなかった。時期は覆土からの判断では土坑同様中近世にあたり、小穴の中から縄文土器が出土

しているが、土坑同様後世の山崩れの崩落土とともに混じってきたものと考えられる。219基の内53号小穴は欠番とした。遺構が小さいものも多く、図中では小穴ではなくPで表記した。

第15表 小穴一覧表

1区1面	P 1	52-C-25 北2m西3m	X=60598	Y=-104111	楕円形	0.38	0.30	0.34	N-57°-W	
1区1面	P 2	62-E-1 北1m西2m	X=60601	Y=-104118	楕円形	0.18	0.14	0.20	N-21°-E	
1区1面	P 3	62-E-1 北1m西3m	X=60601	Y=-104119	楕円形	0.26	0.24	0.40	N-20°-E	
1区1面	P 4	62-E-1 西3m	X=60600	Y=-104119	楕円形	0.36	0.28	0.54	N-80°-E	
1区1面	P 5	62-E-25 北2m西2m	X=60598	Y=-104118	楕円形	0.28	0.24	0.19	N-83°-W	
1区1面	P 6	52-E-25 北3m西3m	X=60599	Y=-104119	楕円形	0.21	0.18	0.34	N-13°-E	
1区1面	P 7	52-E-25 北3m西2m	X=60599	Y=-104118	楕円形	0.30	0.28	0.18	N-21°-E	
1区1面	P 8	52-E-25 北3m	X=60599	Y=-104116	円形	0.26	0.26	0.51	N-31°-E	
1区1面	P 9	52-E-25 北3m	X=60599	Y=-104116	円形	0.28	0.28	0.13	N-25°-E	
1区1面	P 10	52-D-25 北3m西2m	X=60599	Y=-104114	円形	0.28	0.28	0.53	N-19°-E	
1区1面	P 11	52-D-25 北1m西2m	X=60597	Y=-104114	円形	0.22	0.18	0.33	N-78°-W	
2区1面	P 12	62-T-5 北1m西2m	X=60617	Y=-104178	楕円形	0.38	0.34	0.39	N-30°-E	P 54
2区1面	P 13	62-T-5 北1m西2m	X=60617	Y=-104178	楕円形	0.38	0.28	0.22	N-65°-W	P 55
2区1面	P 14	62-T-5 北2m西2m	X=60618	Y=-104178	楕円形	0.42	0.38	0.16	N-42°-W	
2区1面	P 15	62-T-5 北2m西2m	X=60617	Y=-104178	楕円形	0.34	0.34	0.21	N-50°-W	
2区1面	P 16	62-T-5 北1m西2m	X=60616	Y=-104177	楕円形	0.20	0.22	0.19	N-13°-E	
2区1面	P 17	62-T-5 西1m	X=60615	Y=-104176	不整形	0.52	0.34	0.32	N-15°-E	
2区1面	P 18	62-T-4 北3m	X=60615	Y=-104176	楕円形	0.42	0.40	0.41	N-50°-E	
2区1面	P 19	62-S-5 北3m西3m	X=60615	Y=-104175	楕円形	0.28	0.28	0.13	N-31°-E	
2区1面	P 20	62-S-4 北3m西2m	X=60615	Y=-104174	楕円形	0.38	0.32	0.40	N-12°-W	
2区1面	P 21	62-S-4 北3m西2m	X=60615	Y=-104174	楕円形	0.28	0.28	0.31	N-31°-E	
2区1面	P 22	62-S-4 北1m西1m	X=60613	Y=-104173	不整形	0.62	0.36	0.33	N-34°-E	
2区1面	P 23	62-S-4 北2m西1m	X=60614	Y=-104173	円形	0.26	0.27	0.21	N-15°-W	
2区1面	P 24	62-K-4 西2m	X=60612	Y=-104170	楕円形	0.30	0.24	0.40	N-78°-E	P 25
2区1面	P 25	62-K-4 西2m	X=60612	Y=-104170	楕円形	0.26	0.20	0.22	N-14°-W	P 24
2区1面	P 26	62-Q-3 北2m西3m	X=60610	Y=-104167	楕円形	0.44	0.36	0.16	N-42°-E	
2区1面	P 27	62-R-4	X=60612	Y=-104168	楕円形	0.42	0.36	0.17	N-78°-W	
2区1面	P 28	62-V-5 北2m	X=60618	Y=-104184	円形	0.38	0.34	0.16	N-45°-W	
2区1面	P 29	62-U-5 西1m	X=60616	Y=-104181	円形	0.28	0.28	0.25	N-30°-E	
2区1面	P 30	62-S-4 北1m西1m	X=60613	Y=-104174	円形	0.36	0.36	0.27	N-57°-W	
2区1面	P 31	62-S-4 西1m	X=60612	Y=-104173	円形	0.34	0.36	0.19	N-57°-W	
2区1面	P 32	62-S-4 北1m西1m	X=60613	Y=-104173	楕円形	0.26	0.24	0.33	N-70°-E	
2区1面	P 33	62-S-4	X=60612	Y=-104172	楕円形	0.38	0.32	0.10	N-27°-E	
2区1面	P 34	62-T-5 北1m西3m	X=60617	Y=-104179	不整形	0.94	0.50	0.59	N-23°-W	P 35
2区1面	P 35	62-U-5 北2m	X=60618	Y=-104180	楕円形	0.52	0.45	0.31	N-65°-W	P 34
2区1面	P 36	62-Q-3 北1m西1m	X=60609	Y=-104165	不整形	0.41	(0.20)	0.36	N-71°-W	
2区1面	P 37	62-Q-3 西2m	X=60608	Y=-104166	楕円形	0.36	0.30	0.33	N-67°-E	
2区1面	P 38	62-U-4 北2m	X=60614	Y=-104180	楕円形	0.30	0.30	0.21	N-55°-E	
2区1面	P 39	62-Q-3 西3m	X=60608	Y=-104167	楕円形	0.28	0.20	0.17	N-17°-W	
2区1面	P 40	62-T-4 北3m西3m	X=60615	Y=-104179	楕円形	0.60	0.46	0.15	N-27°-E	
2区1面	P 41	62-T-4 北1m西1m	X=60613	Y=-104177	楕円形	0.36	0.28	0.25	N-35°-W	
2区1面	P 42	62-S-4 西3m	X=60612	Y=-104175	円形	0.34	0.32	0.14	N-35°-E	
2区1面	P 43	62-S-4 西2m	X=60612	Y=-104174	楕円形	0.36	0.34	0.21	N-17°-E	
2区1面	P 44	62-R-3 北1m西2m	X=60609	Y=-104170	楕円形	0.44	0.30	0.41	N-59°-W	
2区1面	P 45	62-T-4 西2m	X=60612	Y=-104178	楕円形	0.28	0.28	0.14	N-25°-W	
2区1面	P 46	62-T-3 北3m西2m	X=60611	Y=-104178	楕円形	0.44	0.36	0.16	N-25°-W	
2区1面	P 47	62-T-3 北2m西2m	X=60610	Y=-104178	楕円形	0.32	0.36	0.48	N-25°-W	
2区1面	P 48	62-T-3 北3m西1m	X=60611	Y=-104177	楕円形	0.44	0.38	0.32	N-3°-W	P 56
2区1面	P 49	62-T-3 北3m	X=60611	Y=-104176	楕円形	0.38	0.32	0.48	N-67°-W	
2区1面	P 50	62-T-3 北2m西1m	X=60610	Y=-104177	楕円形	0.30	0.28	0.18	N-3°-E	
2区1面	P 51	62-S-3 北2m西3m	X=60610	Y=-104175	楕円形	0.40	0.34	0.19	N-61°-E	

第3章 検出された遺構と遺物

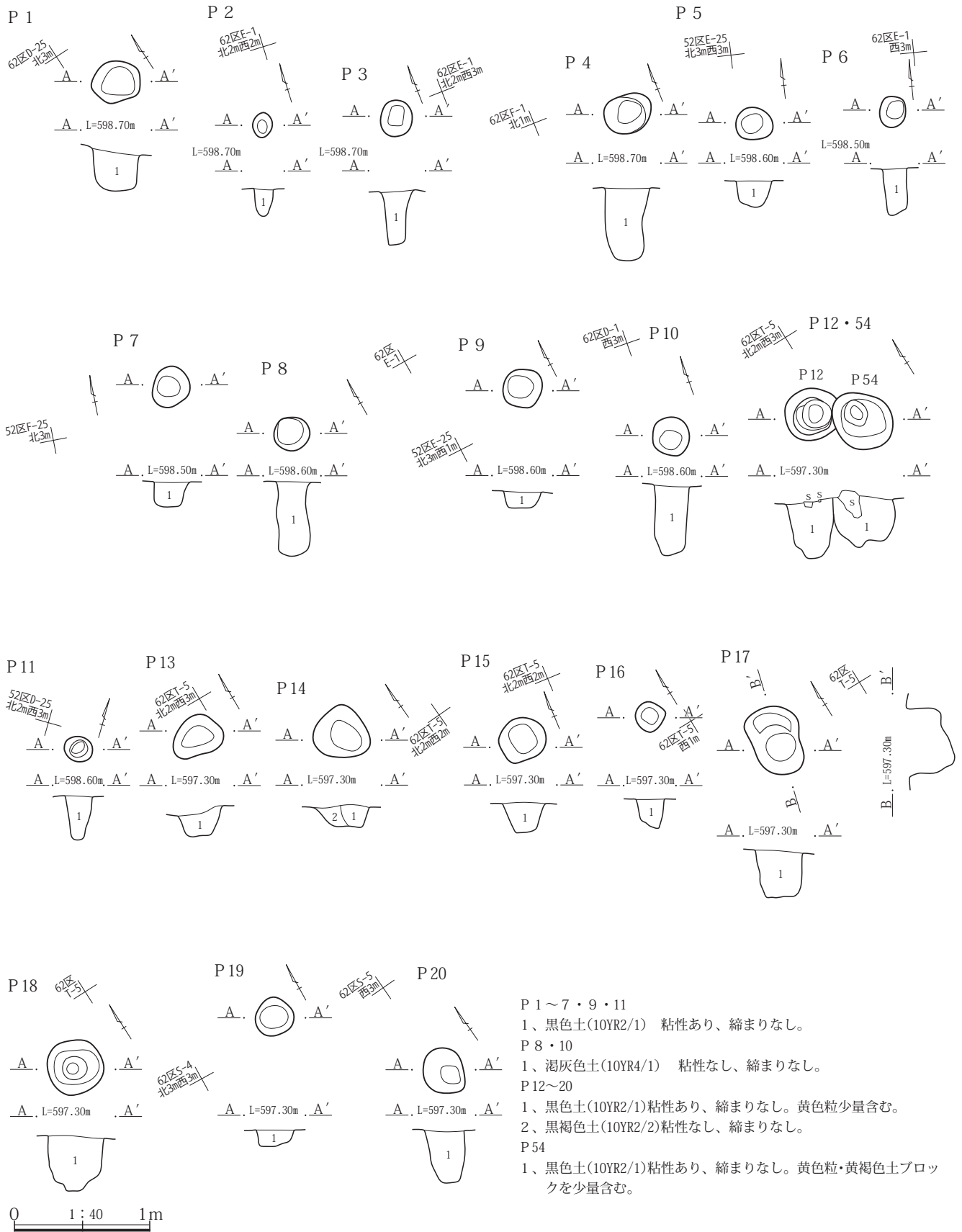
調査区	遺構名	位置			平面図形状	規模			長軸方位	重複関係	備考
		グリッド	座標値			長軸	短軸	深さ			
2区1面	P52	62-S-3 北1m西3m	X=60609	Y=-104175	円形	0.30	0.30	0.12	N-24°-W		
2区1面	P53										欠番
2区1面	P54	62-T-5 西2m	X=60616	Y=-104178	円形	0.46	0.40	0.38	N-62°-W	P12・P57	
2区1面	P55	62-T-3 北1m西3m	X=60617	Y=-104179	円形	0.46	0.42	0.27	N-56°-E	P13	
2区1面	P56	62-T-3 北3m西1m	X=60611	Y=-104177	不整形	0.70	0.40	0.21	N-74°-E	P48	
3区1面	P57	62-T-5 西2m	X=60616	Y=-104178	不整形	0.18	0.12	0.11	N-62°-W	P54	
3区1面	P58	62-Q-2 北1m西1m	X=60605	Y=-104165	楕円形	0.30	0.28	0.18	N-75°-W		
3区1面	P59	62-N-1 北2m西3m	X=60602	Y=-104156	円形	0.20	0.19	0.16	N-17°-W		
3区1面	P60	62-N-2 西1m	X=60604	Y=-104153	楕円形	0.31	0.28	0.34	N-41°-E		
3区1面	P61	52-N-24 北2m	X=60594	Y=-104152	楕円形	0.33	0.23	0.12	N-14°-W		
3区1面	P62	62-L-1 西3m	X=60600	Y=-104147	楕円形	0.43	0.40	0.14	N-18°-W		
3区1面	P63	62-L-1 西2m	X=60600	Y=-104146	楕円形	0.36	0.32	0.15	N-8°-E		
3区1面	P64	62-L-1 北2m西2m	X=60602	Y=-104146	楕円形	0.46	0.40	0.21	N-20°-E		
3区1面	P65	62-L-1 北2m西1m	X=60602	Y=-104145	楕円形	0.40	0.40	0.19	N-22°-E		
3区1面	P66	52-L-25 北2m	X=60598	Y=-104144	楕円形	0.36	0.30	0.16	N-53°-W		
3区1面	P67	52-L-25 北1m西2m	X=60597	Y=-104146	円形	0.36	0.38	0.45	N-11°-W		
3区1面	P68	52-L-25 北1m西1m	X=60597	Y=-104145	楕円形	0.38	0.32	0.15	N-75°-W		
3区1面	P69	52-M-24 北3m	X=60595	Y=-104148	楕円形	0.44	0.28	0.17	N-12°-E		
3区1面	P70	52-M-24 北1m	X=60593	Y=-104148	楕円形	0.30	0.26	0.12	N-59°-W		
3区1面	P71	52-M-25 北1m西1m	X=60597	Y=-104149	楕円形	0.48	0.30	0.21	N-78°-W		
3区1面	P72	52-M-24 北2m	X=60594	Y=-104148	楕円形	0.36	0.22	0.14	N-25°-W		
3区1面	P73	52-L-24 北3m	X=60595	Y=-104144	楕円形	0.30	0.28	0.15	N-71°-W		
3区1面	P74	52-K-25 北1m西3m	X=60597	Y=-104143	楕円形	(0.48)	0.30	0.12	N-9°-E	P75	
3区1面	P75	52-K-25 北3m西3m	X=60597	Y=-104143	楕円形	0.38	0.28	0.11	N-82°-E	P74	
3区1面	P76	52-K-25 北3m西3m	X=60599	Y=-104143	楕円形	0.36	0.30	0.17	N-4°-W		
3区1面	P77	62-K-1 北1m西2m	X=60601	Y=-104142	楕円形	0.36	0.34	0.47	N-33°-W	P136	
3区1面	P78	52-K-25 北2m西1m	X=60598	Y=-104141	楕円形	0.34	0.26	0.12	N-58°-W		3号掘立23柱穴
3区1面	P79	52-L-24 北1m西3m	X=60592	Y=-104144	楕円形	0.30	0.24	0.11	N-16°-W		
3区1面	P80	52-K-25 北3m西2m	X=60599	Y=-104142	楕円形	0.44	0.44	0.62	N-15°-E		3号掘立22柱穴
3区1面	P81	52-K-25 北1m西1m	X=60597	Y=-104141	楕円形	0.52	0.36	0.19	N-16°-E		
3区1面	P82	52-K-24 北2m西1m	X=60594	Y=-104141	楕円形	0.32	0.28	0.11	N-7°-E		
3区1面	P83	52-K-24 西1m	X=60592	Y=-104141	楕円形	0.38	0.32	0.15	N-58°-W		
3区1面	P84	52-J-24 北1m	X=60593	Y=-104136	楕円形	0.34	0.28	0.58	N-43°-W		4号掘立8柱穴
3区1面	P85	52-J-23 北2m	X=60590	Y=-104136	楕円形	0.50	0.44	0.65	N-29°-E		
3区1面	P86	52-I-2 北3m	X=60599	Y=-104132	楕円形	0.30	0.28	0.46	N-63°-W		
3区1面	P87	52-I-1	X=60600	Y=-104132	楕円形	0.26	0.26	0.39	N-63°-W		
3区1面	P88	62-I-25 北1m	X=60597	Y=-104133	楕円形	0.30	0.26	0.23	N-11°-E		
3区1面	P89	62-J-1 北1m	X=60601	Y=-104136	楕円形	0.32	0.30	0.18	N-49°-W		
3区1面	P90	52-H-24 北1m西3m	X=60594	Y=-104132	楕円形	0.48	0.42	0.35	N-74°-W		
3区1面	P91	52-I-23 北1m西2m	X=60589	Y=-104134	楕円形	0.25	0.23	0.53	N-50°-W		
3区1面	P92	52-H-25 北3m	X=60599	Y=-104128	楕円形	0.36	0.28	0.29	N-17°-W		
3区1面	P93	52-H-25 北2m西2m	X=60598	Y=-104130	楕円形	0.50	0.44	0.26	N-4°-E	P143	
3区1面	P94	52-H-25 西1m	X=60596	Y=-104129	楕円形	0.36	0.28	0.12	N-78°-W		
3区1面	P95	52-H-23 北1m	X=60589	Y=-104128	楕円形	0.35	0.30	0.48	N-10°-E		
3区1面	P96	52-G-25 北2m西2m	X=60598	Y=-104126	楕円形	0.48	0.40	0.17	N-74°-W		
3区1面	P97	52-G-24 北2m西3m	X=60595	Y=-104127	楕円形	0.40	0.36	0.66	N-36°-E		
3区1面	P98	52-G-24 北2m西3m	X=60594	Y=-104127	楕円形	0.30	0.30	0.13	N-8°-W		
3区1面	P99	52-G-25 北2m西1m	X=60598	Y=-104124	楕円形	0.36	0.28	0.17	N-4°-E		
3区1面	P100	52-G-25 西1m	X=60596	Y=-104125	楕円形	0.42	0.34	0.13	N-78°-W		
3区1面	P101	52-G-24 西2m	X=60592	Y=-104126	円形	0.30	0.30	0.75	N-11°-E		
3区1面	P102	52-F-24 北2m西2m	X=60594	Y=-104122	楕円形	0.30	0.28	0.14	N-17°-E		
3区1面	P103	52-G-23 北2m	X=60590	Y=-104124	楕円形	(0.44)	0.26	0.13	N-39°-E		
3区1面	P104	52-F-24 西2m	X=60592	Y=-104122	楕円形	0.48	0.38	0.15	N-75°-E		
3区1面	P105	52-F-23 北3m西1m	X=60591	Y=-104121	楕円形	0.38	0.28	0.08	N-12°-E		
3区1面	P106	52-F-24 北1m	X=60593	Y=-104120	楕円形	0.36	0.28	0.91	N-36°-W		
3区1面	P107	52-E-24 北1m西3m	X=60593	Y=-104119	楕円形	0.30	0.25	0.77	N-49°-W		
3区1面	P108	52-F-24 北3m西1m	X=60595	Y=-104121	楕円形	0.30	0.30	0.43	N-31°-W		
3区1面	P109	52-E-24 西2m	X=60592	Y=-104118	楕円形	0.32	0.30	0.67	N-23°-W		
3区1面	P110	52-E-24 北1m西1m	X=60593	Y=-104117	楕円形	0.28	0.28	0.10	N-23°-W		
3区1面	P111	52-C-24 北3m西1m	X=60595	Y=-104109	楕円形	0.46	0.30	0.22	N-70°-E		
3区1面	P112	52-J-24 北3m	X=60595	Y=-104136	楕円形	0.30	0.28	0.47	N-4°-W	18号土坑内	3号掘立30柱穴
3区1面	P113	52-I-25 西1m	X=60596	Y=-104133	楕円形	0.36	0.30	0.59	N-14°-E		3号掘立27柱穴
3区1面	P114	52-I-25 北1m西3m	X=60597	Y=-104135	楕円形	0.26	0.26	0.36	N-16°-E	3号住居	3号掘立26柱穴
3区1面	P115	52-J-25 北1m西1m	X=60597	Y=-104137	円形	0.31	0.31	0.65	N-16°-W		3号掘立25柱穴
3区1面	P116	52-K-25 北2m	X=60598	Y=-104140	楕円形	0.56	0.50	0.75	N-71°-E		
3区1面	P117	52-I-25 北2m	X=60598	Y=-104132	楕円形	0.34	0.32	0.51	N-72°-W		3号掘立5柱穴
3区1面	P118	52-I-25 北3m西3m	X=60599	Y=-104135	楕円形	0.32	0.30	0.25	N-51°-W	3号住居	3号掘立4柱穴
3区1面	P119	52-J-25 北3m西1m	X=60599	Y=-104137	楕円形	0.30	0.24	0.74	N-73°-W		3号掘立3柱穴

第6節 小穴

調査区	遺構名	位置		平面図形状	規模			長軸方位	重複関係	備考
		グリッド	座標値		長軸	短軸	深さ			
3区1面	P120	62-J-1 西3m	X=60600 Y=-104139	楕円形	0.36	0.28	0.60	N-38°-E	17号土坑	3号掘立2柱穴
3区1面	P121	52-I-23 北1m西3m	X=60589 Y=-104135	楕円形	0.38	0.32	0.49	N-69°-W		3号掘立14柱穴
3区1面	P122	52-J-23 北2m西1m	X=60590 Y=-104137	楕円形	0.38	0.34	0.57	N-69°-W		3号掘立15柱穴
3区1面	P123	52-K-25 北3m	X=60591 Y=-104140	楕円形	0.38	0.33	0.60	N-31°-E		3号掘立16柱穴
3区1面	P124	52-K-24 西2m	X=60592 Y=-104142	楕円形	0.44	0.40	0.49	N-79°-W		3号掘立18柱穴
3区1面	P125	52-I-23 北3m西3m	X=60591 Y=-104135	楕円形	0.46	0.42	0.57	N-53°-W	P187	
3区1面	P126	52-J-24 西1m	X=60592 Y=-104137	楕円形	0.43	0.38	0.68	N-47°-W		
3区1面	P127	52-J-24 北1m西3m	X=60593 Y=-104139	楕円形	0.41	0.40	0.40	N-31°-W		3号掘立34柱穴
3区1面	P128	52-K-24 北2m西1m	X=60594 Y=-104141	楕円形	0.30	0.28	0.18	N-7°-E	P173	3号掘立33柱穴
3区1面	P129	52-I-24 北2m西2m	X=60594 Y=-104134	方形	0.28	0.28	0.58	N-40°-E		3号掘立32柱穴
3区1面	P130	52-J-24 北2m	X=60594 Y=-104136	楕円形	0.42	0.38	0.58	N-7°-W		3号掘立31柱穴
3区1面	P131	52-J-24 北3m西2m	X=60595 Y=-104138	楕円形	0.36	0.38	0.59	N-26°-W		3号掘立29柱穴
3区1面	P132	52-K-25	X=60596 Y=-104140	楕円形	0.40	0.34	0.55	N-6°-W		3号掘立28柱穴
3区1面	P133	52-L-24	X=60592 Y=-104144	円形	0.48	0.48	0.43	N-15°-E		3号掘立19柱穴
3区1面	P134	52-K-24 北2m西3m	X=60594 Y=-104143	楕円形	0.52	0.40	0.59	N-7°-E		3号掘立20柱穴
3区1面	P135	52-K-25 北1m西3m	X=60597 Y=-104143	楕円形	0.40	0.36	0.69	N-16°-E		3号掘立21柱穴
3区1面	P136	52-K-1 北1m西1m	X=60601 Y=-104141	楕円形	0.40	0.36	0.52	N-72°-W	P77	3号掘立1柱穴
3区1面	P137	52-K-25 北2m	X=60598 Y=-104140	楕円形	0.28	0.26	0.69	N-21°-E		3号掘立24柱穴
3区1面	P138	52-K-24	X=60592 Y=-104140	楕円形	0.32	0.27	0.50	N-58°-W		4号掘立12柱穴
3区1面	P139	52-J-24 西2m	X=60592 Y=-104132	楕円形	0.42	0.42	0.53	N-18°-W		4号掘立10柱穴
3区1面	P140	62-I-1 西3m	X=60600 Y=-104135	隅丸方形	0.42	0.40	0.40	N-4°-W		
3区1面	P141	62-I-1 西1m	X=60600 Y=-104133	楕円形	0.42	0.42	0.43	N-44°-W		
3区1面	P142	62-I-1	X=60600 Y=-104132	楕円形	0.38	0.32	0.39	N-24°-E		
3区1面	P143	52-H-25 北2m西2m	X=60598 Y=-104130	円形	0.38	0.38	0.44	N-10°-E	P93	
3区1面	P144	52-J-24 西3m	X=60592 Y=-104139	楕円形	0.50	0.42	0.49	N-71°-E		4号掘立11柱穴
3区1面	P145	52-K-25 北1m西2m	X=60597 Y=-104142	楕円形	0.37	0.28	0.77	N-19°-E		4号掘立1柱穴
3区1面	P146	52-J-25	X=60596 Y=-104136	不整形	(0.68)	0.56	0.58	N-7°-E	P153	
3区1面	P147	52-J-24 北3m	X=60595 Y=-104136	不整形	0.60	0.54	0.28	N-35°-W	P153	4号掘立16柱穴
3区1面	P148	52-J-24 北3m西2m	X=60595 Y=-104138	楕円形	0.40	0.34	0.60	N-66°-W		4号掘立14柱穴
3区1面	P149	52-I-24 北1m西3m	X=60593 Y=-104135	楕円形	0.47	0.42	0.51	N-71°-E		4号掘立7柱穴
3区1面	P150	52-J-25 北1m西3m	X=60597 Y=-104139	円形	0.36	0.34	0.56	N-5°-E		4号掘立2柱穴
3区1面	P151	52-J-25 北2m西1m	X=60598 Y=-104137	楕円形	0.34	0.28	0.66	N-9°-E		4号掘立3柱穴
3区1面	P152	52-I-25 北3m西3m	X=60599 Y=-104135	楕円形	0.30	0.27	0.36	N-69°-E	3号住居	4号掘立4柱穴
3区1面	P153	52-J-25	X=60596 Y=-104136	不整形	(0.26)	0.44	0.52	N-35°-W	P146・P147	4号掘立15柱穴
3区1面	P154	52-I-24 北2m	X=60594 Y=-104132	楕円形	0.50	0.46	0.65	N-33°-E		4号掘立5柱穴
3区1面	P155	52-I-23 北3m西2m	X=60591 Y=-104134	円形	0.30	0.30	0.61	N-20°-W		
3区1面	P156	52-H-23 北3m西2m	X=60591 Y=-104130	楕円形	0.36	0.34	0.57	N-59°-W		
3区1面	P157	52-I-24 北1m	X=60593 Y=-104132	円形	0.32	0.32	0.52	N-23°-W		3号掘立9柱穴
3区1面	P158	52-H-25 北1m	X=60597 Y=-104128	円形	0.40	0.36	0.72	N-10°-W		
3区1面	P159	52-H-24 北3m西1m	X=60595 Y=-104129	楕円形	0.66	0.44	0.83	N-6°-W		
3区1面	P160	52-H-24 北2m西2m	X=60594 Y=-104130	楕円形	0.56	0.52	0.84	N-5°-E		
3区1面	P161	52-H-24 北3m西2m	X=60595 Y=-104130	楕円形	0.34	0.30	0.74	N-37°-W	20号土坑	
3区1面	P162	52-H-24 西1m	X=60592 Y=-104129	楕円形	0.40	0.32	0.67	N-12°-E		
3区1面	P163	52-H-24 北1m西2m	X=60593 Y=-104130	楕円形	0.36	0.32	0.62	N-77°-E		
3区1面	P164	52-H-23 北1m西2m	X=60589 Y=-104130	楕円形	0.33	0.32	0.38	N-6°-E		
3区1面	P165	52-G-25 北1m西3m	X=60589 Y=-104127	円形	0.28	0.26	0.63	N-77°-E		
3区1面	P166	52-G-25 北1m西1m	X=60597 Y=-104125	円形	0.40	0.40	0.59	N-4°-E		
3区1面	P167	52-G-25 北2m西2m	X=60598 Y=-104125	楕円形	0.45	0.40	0.59	N-4°-E		
3区1面	P168	52-J-24 西1m	X=60592 Y=-104137	楕円形	0.50	0.42	0.64	N-28°-W		3号掘立35柱穴・ 4号掘立9柱穴
3区1面	P169	52-I-25 西3m	X=60596 Y=-104135	楕円形	0.30	0.30	0.66	N-15°-E		4号掘立17柱穴
3区1面	P170	52-I-24 北1m西2m	X=60593 Y=-104134	楕円形	0.34	0.32	0.30	N-2°-E		
3区1面	P171	52-I-24 北1m西2m	X=60593 Y=-104134	円形	0.26	0.26	0.47	N-7°-W		4号掘立6柱穴
3区1面	P172	52-K-24	X=60594 Y=-104140	楕円形	0.33	0.26	0.64	N-71°-E		4号掘立13柱穴
3区1面	P173	52-K-25 北1m西1m	X=60593 Y=-104141	楕円形	0.36	0.30	0.15	N-23°-E	P128	
3区1面	P174	52-H-23 北3m西1m	X=60591 Y=-104129	円形	0.38	0.38	0.53	N-59°-W		
3区1面	P175	52-H-23 北3m西1m	X=60591 Y=-104129	楕円形	0.35	0.28	0.52	N-12°-E		
3区1面	P176	52-I-25 西2m	X=60596 Y=-104134	楕円形	0.28	0.28	0.47	N-10°-W		4号掘立18柱穴
3区1面	P177	62-H-1 西1m	X=60600 Y=-104129	楕円形	0.43	0.40	0.45	N-12°-E		
3区1面	P178	62-H-1	X=60600 Y=-104128	不整形	0.44	(0.26)	0.37	N-81°-W		
3区1面	P179	52-G-25 北3m西3m	X=60599 Y=-104127	楕円形	0.50	0.46	0.62	N-7°-E		
3区1面	P180	52-E-24 北3m	X=60595 Y=-104116	円形	0.28	0.26	0.15	N-8°-W		
3区1面	P181	52-H-25 北1m西2m	X=60597 Y=-104130	円形	0.30	0.30	0.64	N-17°-E		3号掘立6柱穴
3区1面	P182	52-H-24 北3m西3m	X=60595 Y=-104131	円形	0.36	0.36	0.60	N-71°-W		3号掘立8柱穴
3区1面	P183	52-I-23 北3m	X=60591 Y=-104132	楕円形	0.40	0.36	0.44	N-47°-W		3号掘立10柱穴
3区1面	P184	52-I-23 北2m西1m	X=60590 Y=-104133	楕円形	0.36	0.30	0.43	N-24°-W		3号掘立11柱穴
3区1面	P185	52-I-23 西1m	X=60588 Y=-104133	楕円形	(0.23)	(0.56)	0.30	N-16°-E		3号掘立12柱穴
3区1面	P186	52-I-23 北1m西2m	X=60589 Y=-104134	楕円形	0.30	0.34	0.35	N-16°-E		3号掘立13柱穴

第3章 検出された遺構と遺物

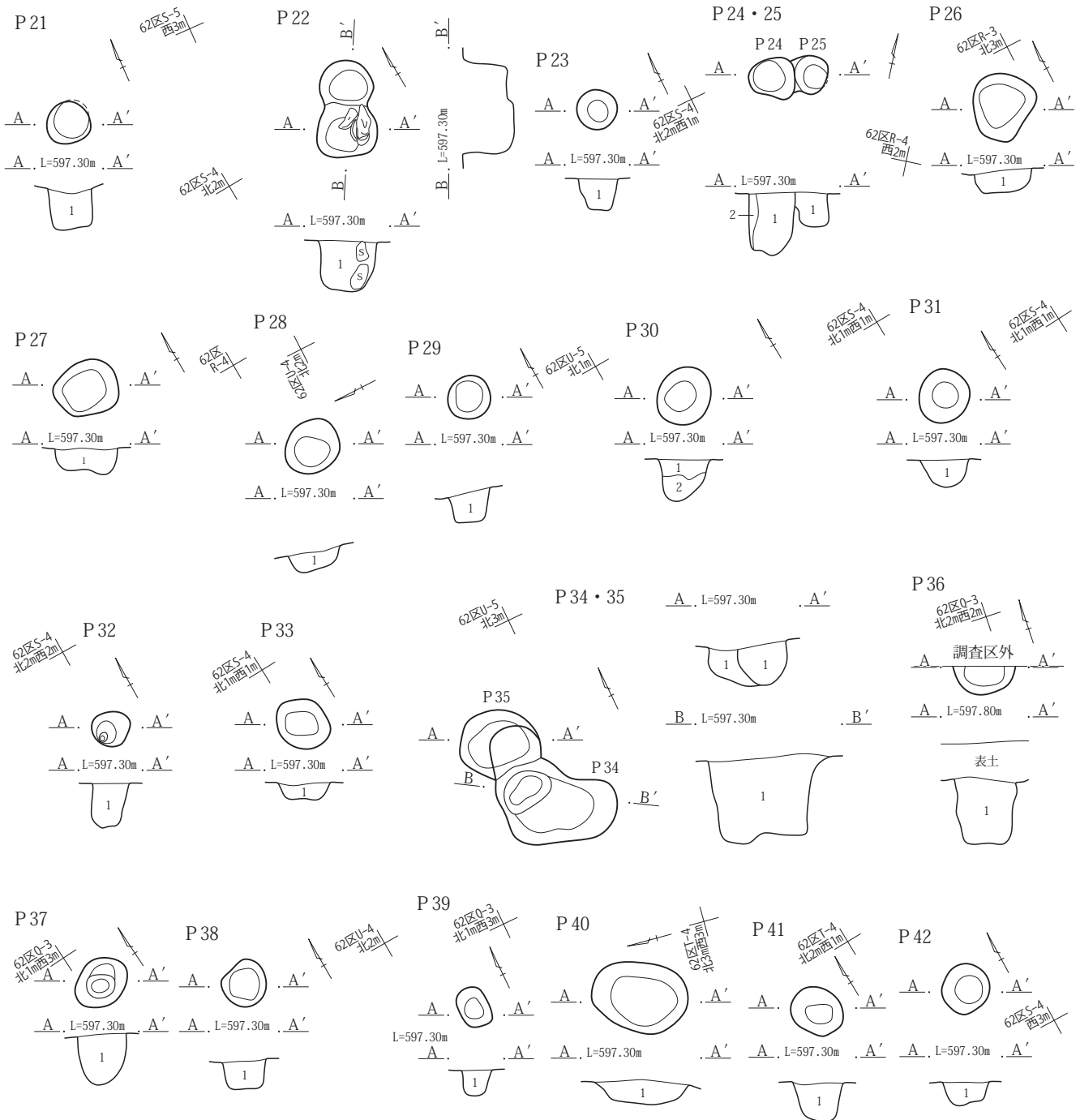
調査区	遺構名	位置			平面図形状	規模			長軸方位	重複関係	備考
		グリッド	座標値			長軸	短軸	深さ			
3区1面	P187	52-I-24 西3m	X=60592	Y=-104135	凹形	0.42	0.37	0.55	N-59°-E	P125	3号掘立36柱穴
3区1面	P188	52-H-25 西2m	X=60596	Y=-104131	不整形	0.70	0.48	0.34	N-31°-W	20号土坑	3号掘立7柱穴
3区1面	P189	62-S-3 北2m	X=60611	Y=-104172	楕円形	0.36	0.32	0.15	N-12°-W		
3区1面	P190	52-E-22 北2m西1m	X=60586	Y=-104117	楕円形	0.43	0.30	0.10	N-14°-E		
3区1面	P191	52-J-25	X=60596	Y=-104136	楕円形	0.34	0.30	0.58	N-21°-E	3号住居	
3区1面	P192	52-M-24 北1m西2m	X=60593	Y=-104150	楕円形	(0.64)	0.45	0.55	N-79°-E	4号住居	
3区1面	P193	62-O-2 西2m	X=60604	Y=-104158	楕円形	0.42	0.34	0.20	N-47°-W		
3区1面	P194	62-O-1 北3m西2m	X=60603	Y=-104158	不整形	0.28	0.30	0.21	N-34°-E		
3区1面	P195	62-P-2 北1m西1m	X=60605	Y=-104161	楕円形	0.36	0.26	0.29	N-13°-W		
3区1面	P196	62-P-2 北2m西2m	X=60606	Y=-104162	楕円形	0.28	0.24	0.31	N-15°-W		
3区1面	P197	62-P-2 西1m	X=60604	Y=-104161	楕円形	0.27	0.22	0.18	N-48°-E		
3区1面	P198	62-P-2 西2m	X=60604	Y=-104162	凹形	0.30	0.29	0.39	N-34°-E		
3区1面	P199	62-P-1 北3m西2m	X=60603	Y=-104162	楕円形	0.38	0.36	0.22	N-55°-W		
3区1面	P200	62-G-1 北1m西3m	X=60601	Y=-104127	楕円形	0.62	0.50	0.46	N-69°-E		
3区1面	P201	62-I-1 北2m	X=60602	Y=-104132	楕円形	0.56	0.52	0.25	N-4°-W		
3区1面	P202	62-I-1 北1m西2m	X=60601	Y=-104134	楕円形	0.26	0.22	0.39	N-20°-W		
3区1面	P203	62-I-1 北2m西2m	X=60602	Y=-104134	楕円形	0.50	0.46	0.46	N-9°-W		
3区1面	P204	62-J-1 北2m西2m	X=60602	Y=-104138	凹形	0.30	0.30	0.44	N-28°-W		
3区1面	P205	62-K-1 北2m西3m	X=60602	Y=-104143	楕円形	0.44	0.40	0.59	N-4°-W		
3区1面	P206	62-M-1 北3m	X=60603	Y=-104148	楕円形	0.35	(0.40)	0.26	N-59°-W		
3区1面	P207	62-M-2 西2m	X=60604	Y=-104150	不整形	0.54	0.44	0.77	N-12°-W		
3区1面	P208	62-O-2 北1m西2m	X=60605	Y=-104158	楕円形	0.38	0.32	0.35	N-36°-E		
3区1面	P209	62-O-2 北1m西2m	X=60605	Y=-104158	楕円形	0.42	0.36	0.28	N-10°-E		
3区1面	P210	62-O-2 北2m西2m	X=60606	Y=-104158	凹形	0.20	0.20	0.38	N-33°-E		
3区1面	P211	62-O-2 北2m西2m	X=60606	Y=-104158	凹形	0.30	0.30	0.27	N-35°-E		
3区1面	P212	62-P-2 北1m西2m	X=60605	Y=-104162	凹形	0.28	0.26	0.27	N-15°-W	P213	
3区1面	P213	62-P-2 北1m西2m	X=60605	Y=-104162	楕円形	0.28	0.25	0.21	N-15°-W	P212	
3区1面	P214	62-P-2 北3m西1m	X=60607	Y=-104161	凹形	0.20	0.20	0.23	N-12°-W		
3区1面	P215	62-P-2 北3m西1m	X=60607	Y=-104161	楕円形	0.38	(0.20)	0.12	N-12°-W	P216	
3区1面	P216	62-P-2 北3m西1m	X=60607	Y=-104161	楕円形	0.28	0.22	0.14	N-12°-W	P215	
3区2面	P217	52-H-25 北3m	X=60599	Y=-104128	不整形	0.45	0.36	0.35	N-59°-W		
3区2面	P218	52-I-25 北2m西2m	X=60598	Y=-104134	不整形	0.68	0.56	0.50	N-16°-W		
3区2面	P219	52-I-25 北3m西3m	X=60599	Y=-104135	楕円形	(0.33)	0.30	0.15	N-22°-E		



- P 1～7・9・11
1、黒色土(10YR2/1) 粘性あり、縮まりなし。
- P 8・10
1、褐灰色土(10YR4/1) 粘性なし、縮まりなし。
- P 12～20
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、縮まりなし。黄色粒少量含む。
2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、縮まりなし。
- P 54
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、縮まりなし。黄色粒・黄褐色土ブロックを少量含む。

第43図 小穴 1～20

第3章 検出された遺構と遺物



P22~25・P27~29・32・33・36~39・41・42

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 2、黄褐色土ブロックを若干含む。

P21

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。黄褐色土ブロックを若干含む。

P26

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。黄褐色土ブロックを少量含む。

P30

- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
- 2、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。

P31・35

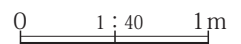
- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒・黄褐色土ブロックを少量含む。

P34

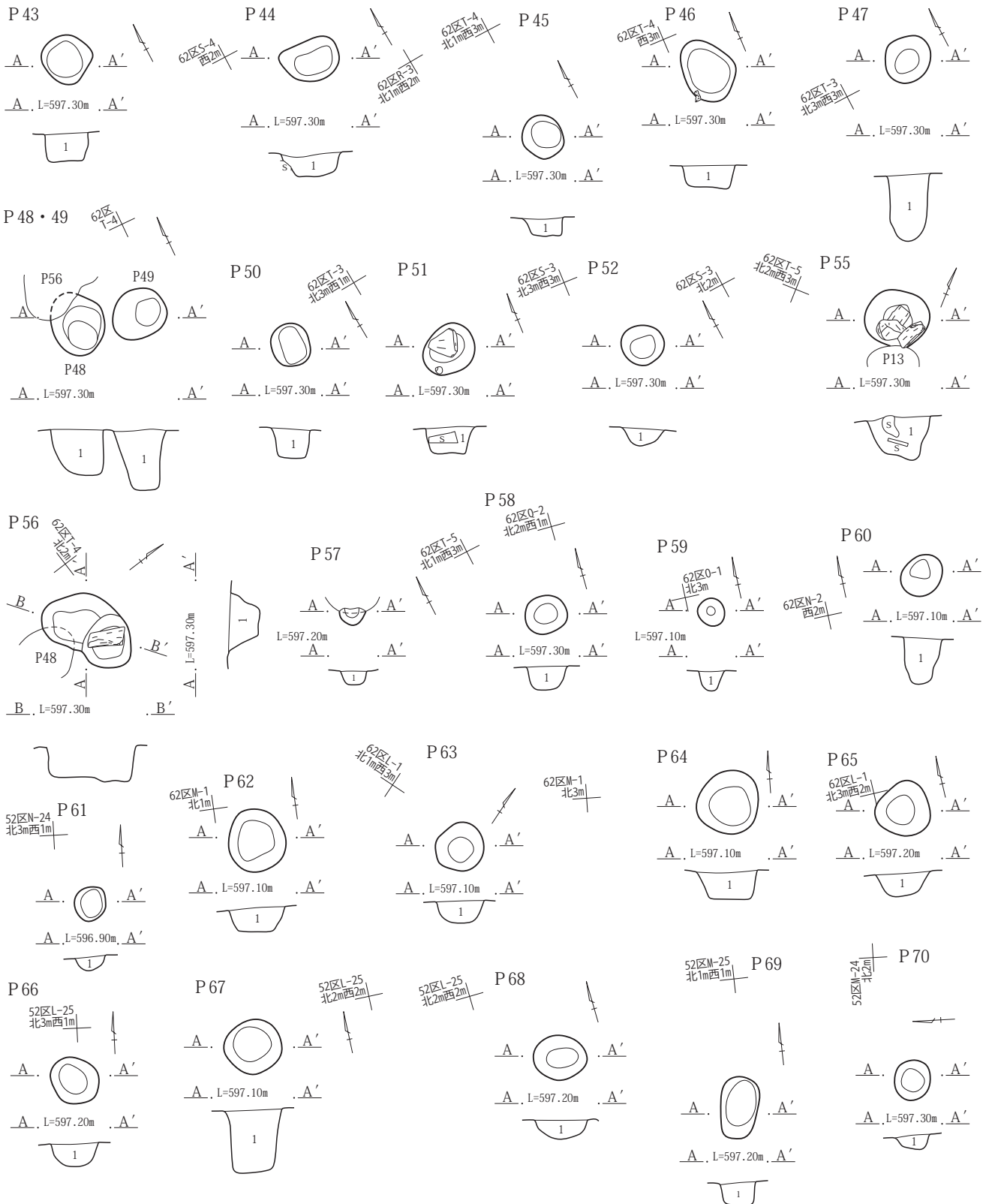
- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄褐色土ブロックを少量含む。

P40

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。



第44図 小穴21~42



P43~52・55・56・58・59・62~64・66~70

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒を少量含む。

P75

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

P57

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒・黄褐色土ブロックを少量含む。

P60

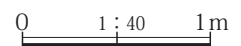
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。黒褐色土ブロックが1：1に混じる。

P61

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりあり。黄色粒を少量含む。

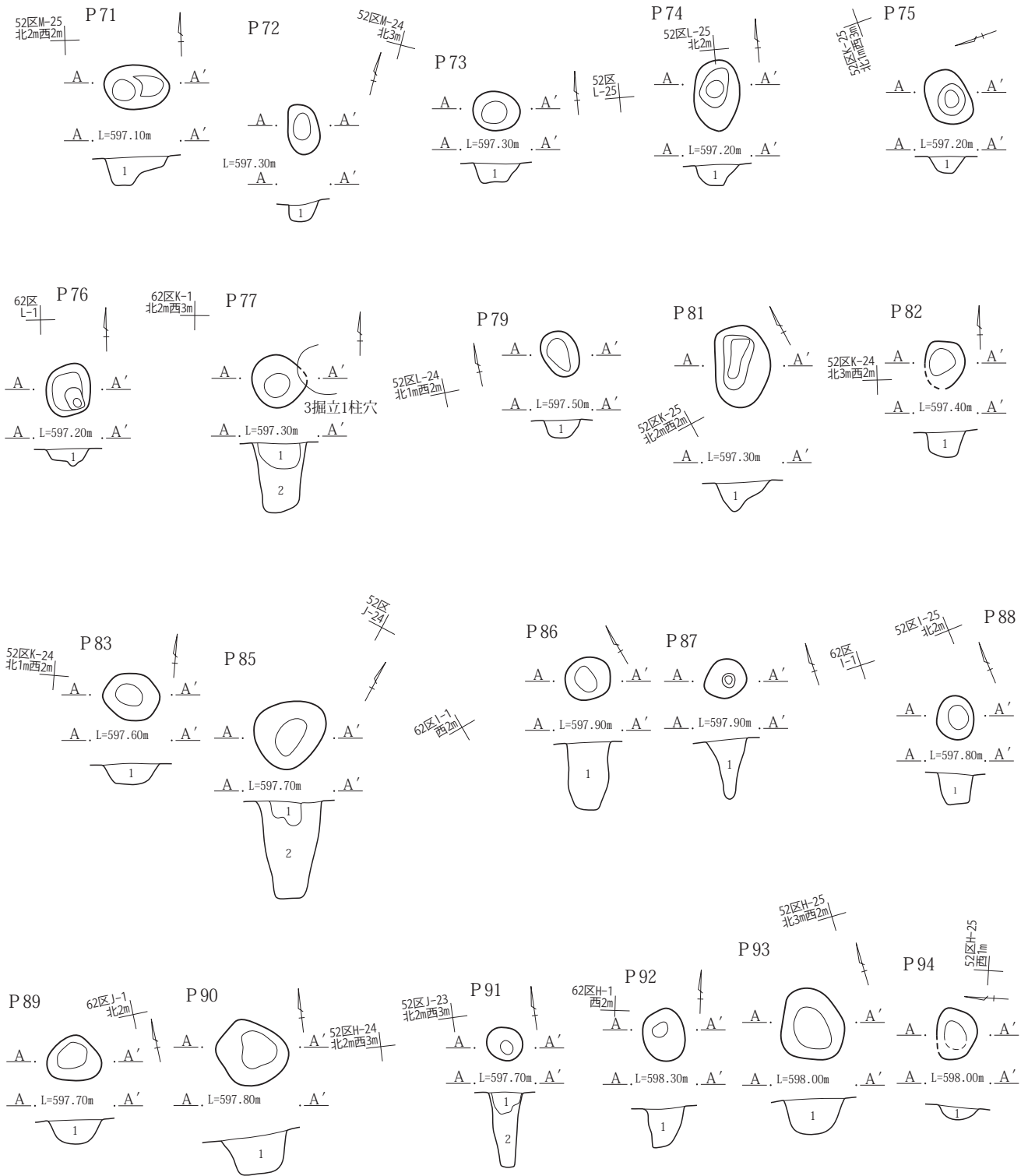
P65

1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒を少量含む。黒褐色土ブロックを若干含む。



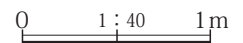
第45図 小穴43~70

第3章 検出された遺構と遺物

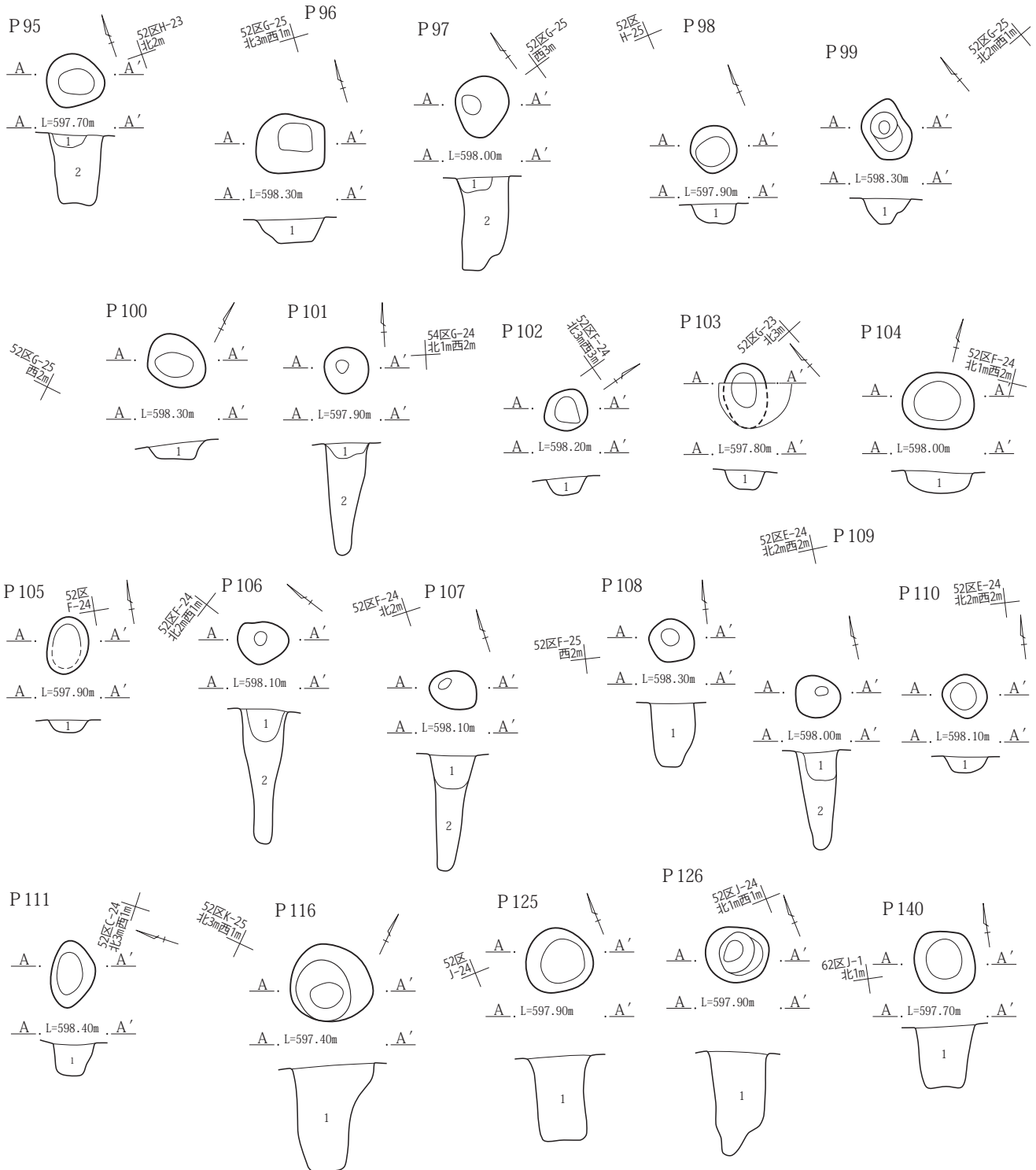


P71
 1、黒色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。黄褐色土ブロックを少量含む。
 P72・75・83・89・90・92~94
 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

P73・74・76・77・79・81・82・85~88・91
 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
 2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。



第46図 小穴71~94



P96~100・102・140

- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。
- P95・97・101・103~105・107・109・110・116
- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
 - 2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。
- P106
- 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む
 - 2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。黒褐色土ブロックが1：1に混じる。

P108

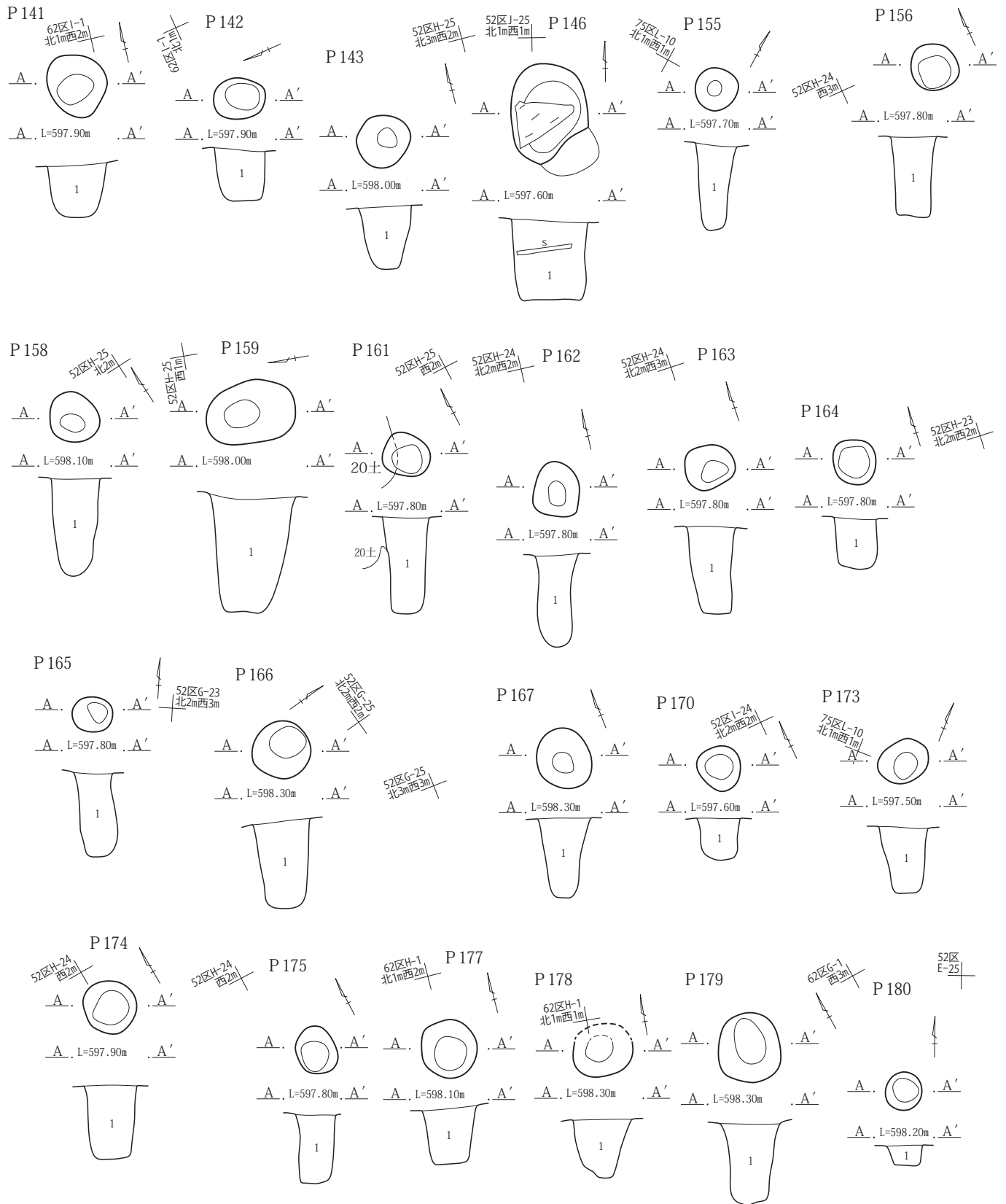
- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。炭化物粒を若干含む。

P111

- 1、黒褐色土(10YR2/3)粘性ややあり、締まりなし。5~10mm大の黄色粒、白色粒を少量含む。
- P125
- 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。黄色粒若干含む。白色粒若干含む。炭化物粒を若干含む。
- P126
- 1、黒色土(10YR2/1)粘性なし、締まりなし。黄色粒若干含む。炭化物粒を若干含む。

第47図 小穴95~140

第3章 検出された遺構と遺物



P141・143・146・155・159

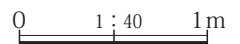
1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

P142・156・158・162・163・165

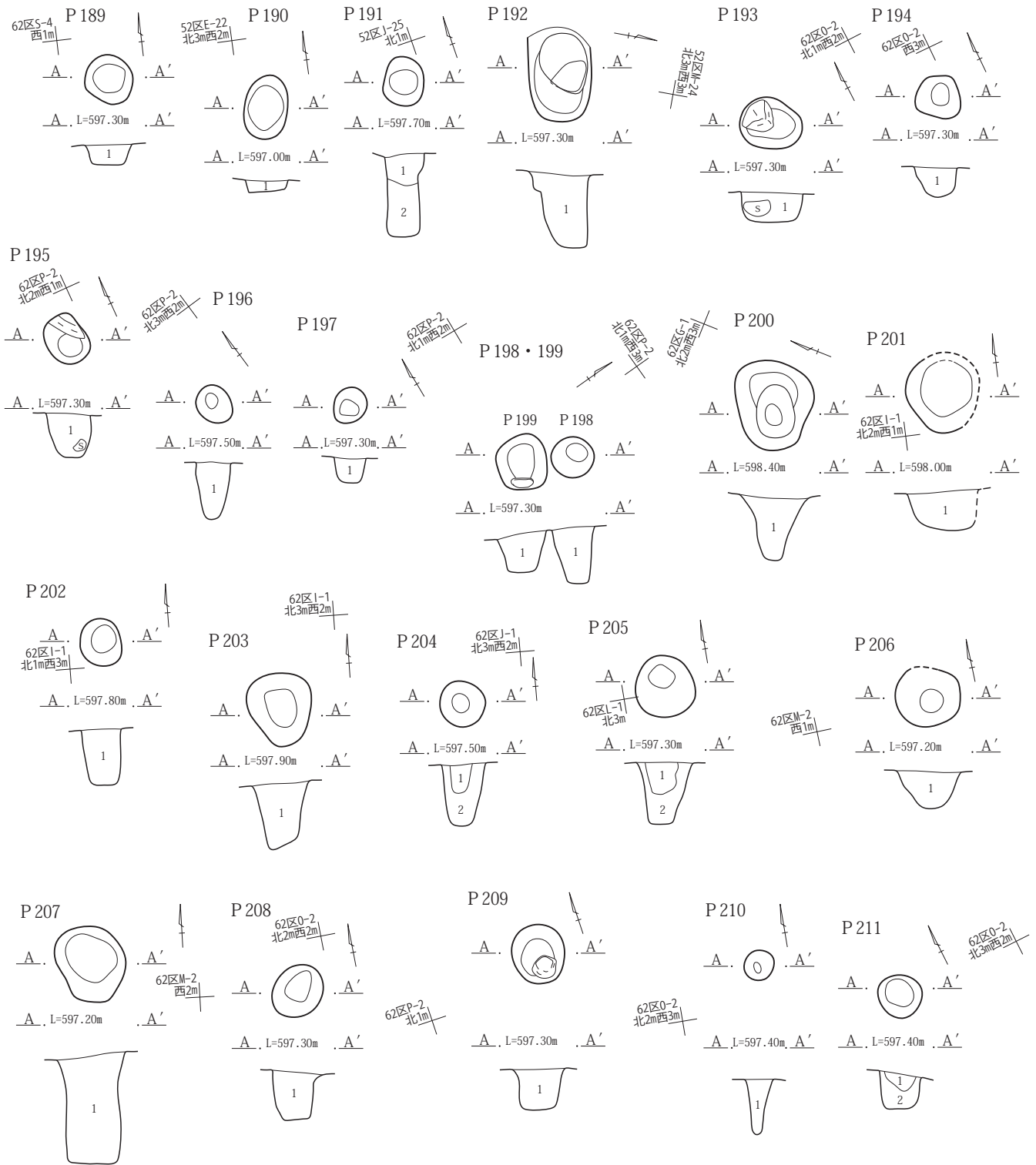
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。

P161・164・166・167・170・173~175・177~180

1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。黄褐色土ブロックを少量含む。

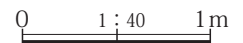


第48図 小穴141~180



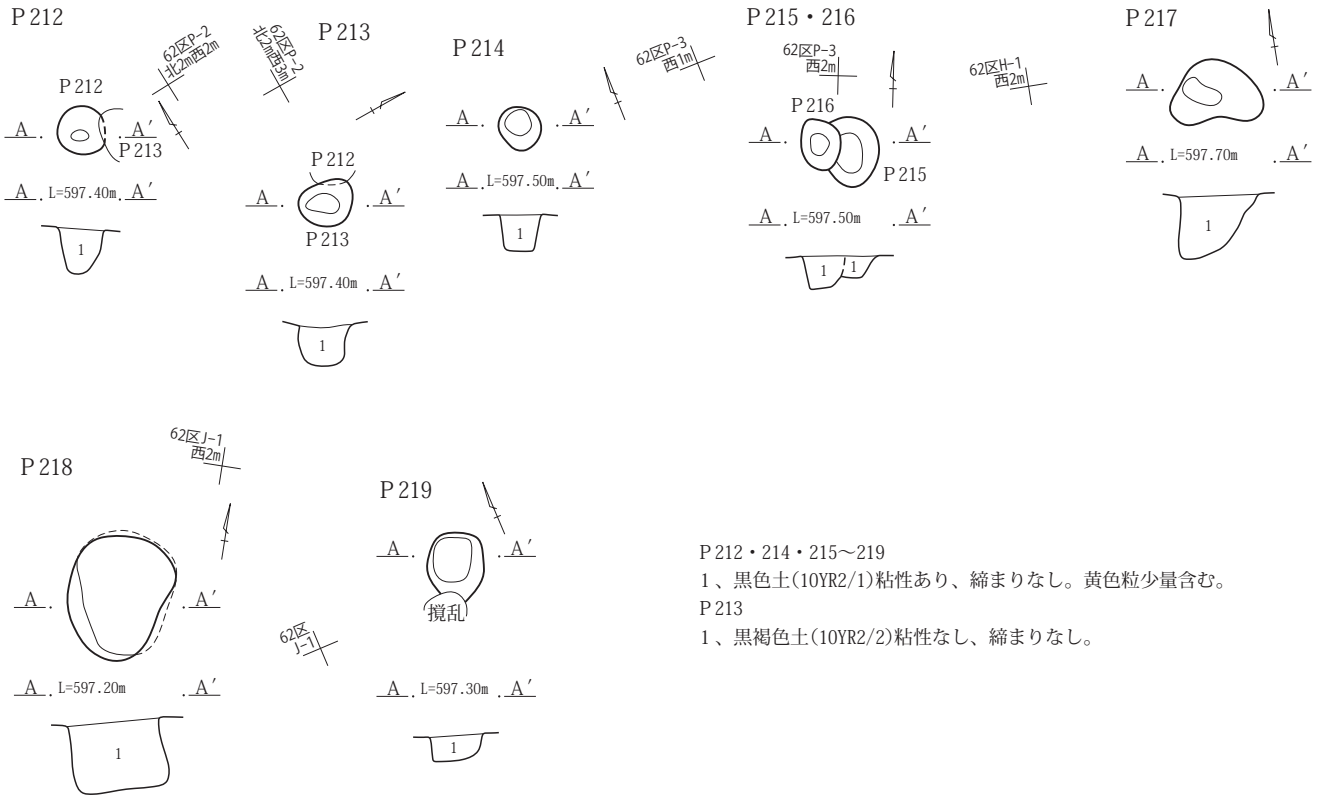
P189
1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。黄褐色土ブロックを少量含む。
P190・191・192・201~203・206~208
1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。
2、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。

P193~200・209・210
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
P204・205・211
1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、締まりなし。黄色粒少量含む。
2、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、締まりなし。

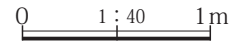


第49図 小穴189~211

第3章 検出された遺構と遺物



P212・214・215～219
 1、黒色土(10YR2/1)粘性あり、縮まりなし。黄色粒少量含む。
 P213
 1、黒褐色土(10YR2/2)粘性なし、縮まりなし。



第50図 小穴212～219

第7節 焼土(第51図、PL.32・33)

遺跡内では4基の焼土痕が確認されている。位置は3区で3基、5区で1基である。

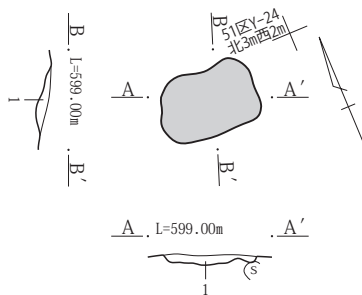
焼土痕は遺構に伴わず、竪穴建物あるいは掘立柱建物等との関係、関連は不明である。

規模は、3区2号焼土は50cm×45cm、厚さ5～6cm、3区3号焼土は60cm×50cm、厚さ5cm、3区4号焼土は

80cm×50cm、厚さ10cm、5区5号焼土は90cm×80cm、厚さ12cmを測る。4号焼土からは拳大から人頭大の石が出土するが焼土の縁、上からの確認である。

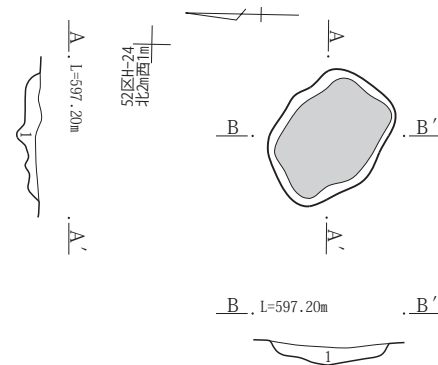
焼土の厚さから定期的、あるいは継続的に使われたとは考えにくく、用途等はわからない燃焼跡と考えられる。

出土遺物は皆無のため時代、年代の判断は難しいが、平安時代以前である。なお、全体図は他の遺構と煩雑になるのを避けるため、付図1に記載した。層位は黒色土中であることを記す。



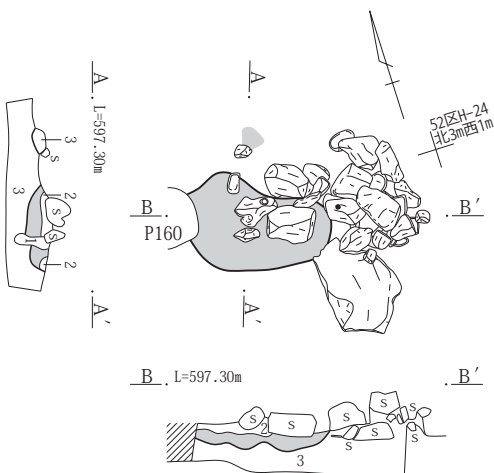
3区2号焼土

- 1、明褐色土(7.5YR5/8)粘性なし、縮りあり。暗褐色土ブロックを大量に含む。YPを若干含む。



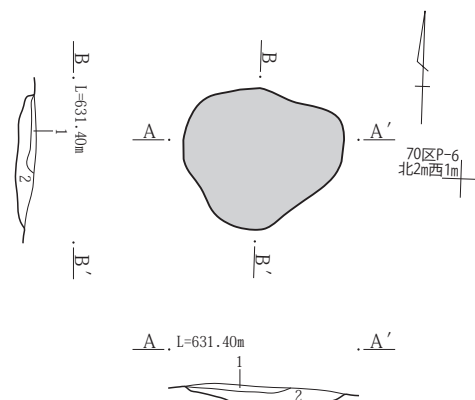
3区3号焼土

- 1、明赤褐色土(5YR5/8)縮まりややあり、粘性ややあり。



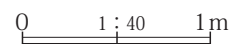
3区4号焼土

- 1、黒色土(10YR2/1)縮まりややあり、粘性ややあり。樹木根の跡か？
- 2、黒褐色土(10YR2/2)縮まりややあり、粘性ややあり。
- 3、黒褐色土(10YR2/2)縮まりややあり、粘性ややあり。As-YPkを少量含む。3の焼土を大量に含む。



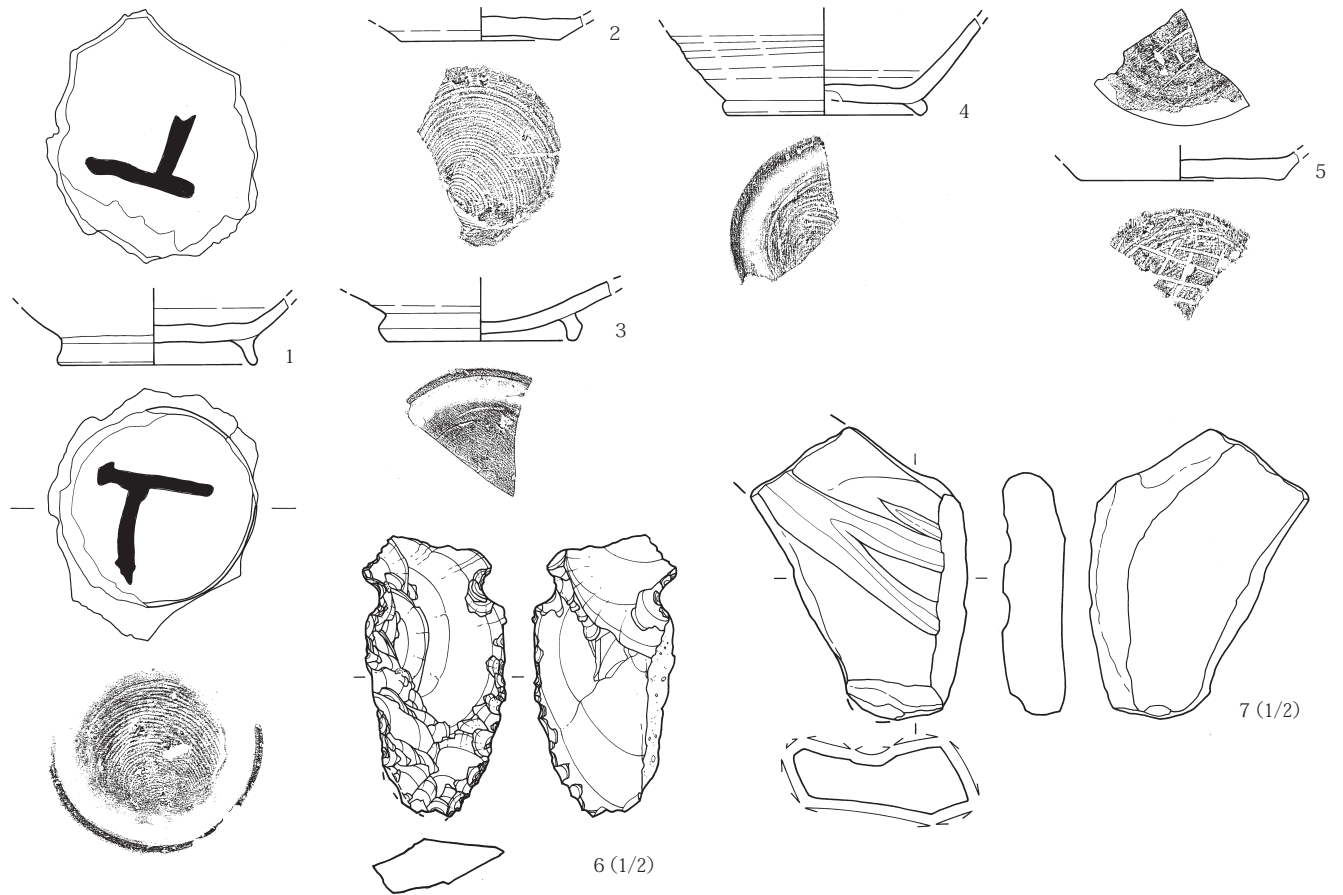
5区5号焼土

- 1、暗赤灰褐色土(2.5YR3/1)縮まりなし、粘性ややあり。短篇含む。
- 2、灰黄褐色土(2.5YR4/2)焼土灰を均質少量含む。

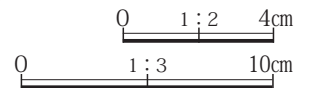
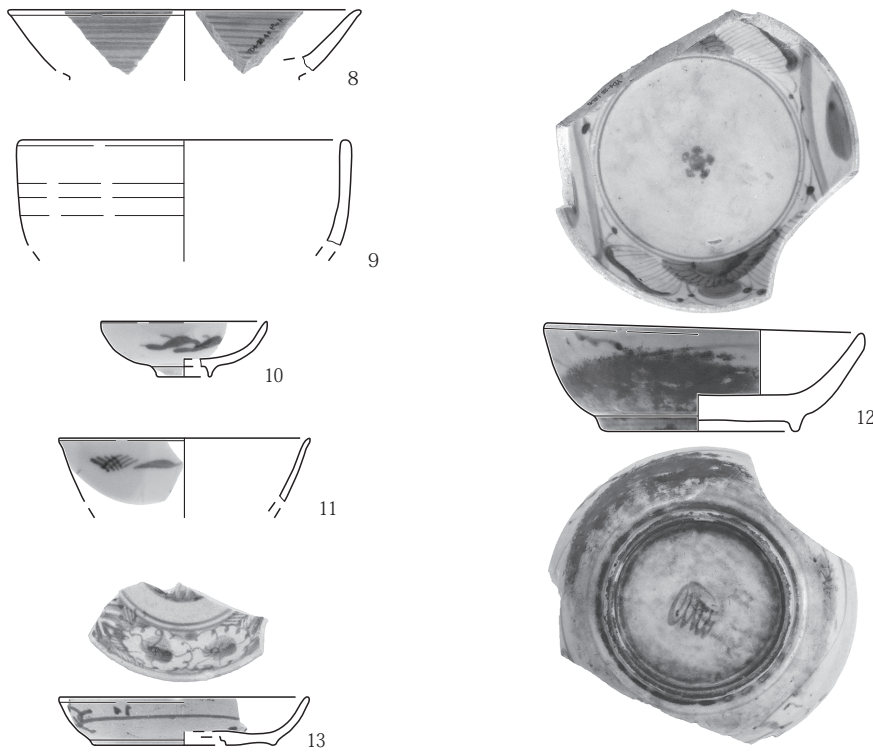


第51図 2～5号焼土

第8節 遺構外出土遺物(須恵器・陶磁器・石) (第53図、PL.36)



陶磁器



第52図 遺構外出土遺物(須恵器・陶磁器・石)

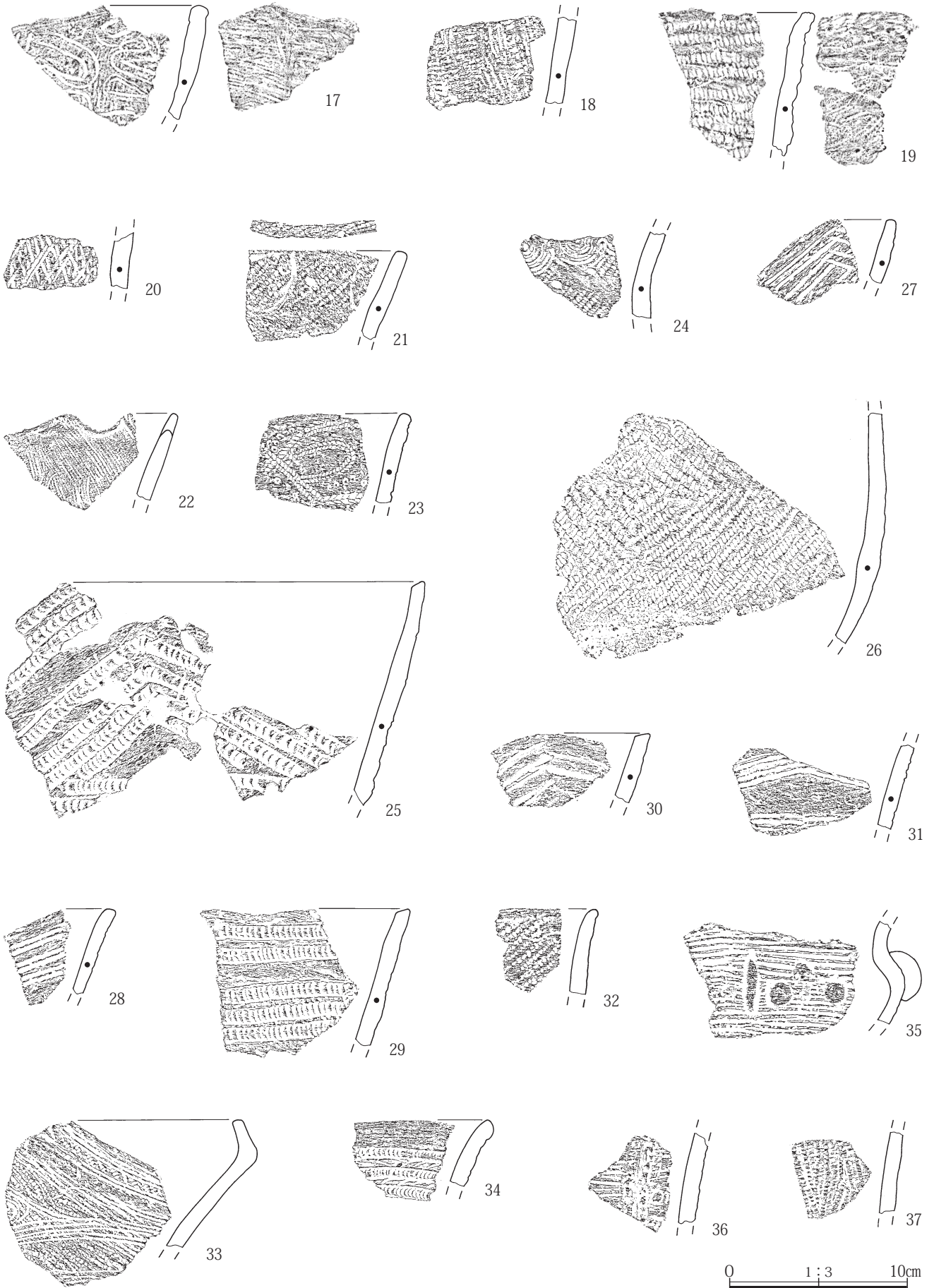
第16表 遺構外出土遺物観察表(須恵器・陶磁器・石)

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/色調/焼成 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚重			
第52図 PL.36	1	須恵器 碗	体部下位～底部	口底 7.8	高 -	-	白色鈹物、径大きく礫状を微量/灰白5Y8/1/還元炎	底部内面のロクロ目顕著。底部外面はやや雑な貼付高台。高台内に右回転糸切痕残る。体部外面の一部に墨書が残るか。石はざあり。	底部内外面に「入」墨書。
第52図 PL.36	2	須恵器 杯	底部	口底 6.4	高 -	-	白色鈹物、黒色鈹物微量/灰5Y6/1/還元炎	底部内面にロクロ目残る。底部外面は右回転糸切り無調整。	
第52図 PL.36	3	灰釉陶器 碗か皿	底部1/4	口底 7.4	高 -	-	白色鈹物微量、黒色物吹き出す/灰白10YR1/7/良好	残存部は無釉。貼付高台。高台は厚く、外面は面取り状で緩い稜をなす。高台端部はやや平坦。	
第52図 PL.36	4	須恵器 碗	体部中位～底部 1/3	口底 7.6	高 -	-	白色・黒色鈹物、礫少量/灰5Y6/1/還元炎	体部外面器表は灰色であるが、断面と底部外面、内面は灰白色。焼き締まりは弱い。高台の貼付はやや雑、高台内に回転糸切り痕残る。	
第52図 PL.36	5	須恵器 杯	底部1/4	口底 8.0	高 -	-	白色鈹物含む/灰7.5Y5/1/還元炎	底部内面に篋状工具で焼成前の条線。底部内面は摩滅して平滑。底部は右回転糸切り後に篋状工具で焼成前の格子状条線。	
第52図 PL.36	6	石匙	甕完形	長幅 (7.3) 3.8	厚重 1.4 37.1	-	黒色安山岩	上方のくびれ部から下方の縁辺部に二次加工が認められる。二次加工は表面への片面加工が主体的である。表面側に素材剥片の主要剥離面を大きく残し大形の横長剥片を素材とする。左側辺には自然面が認められその形状から溶岩露頭近郊で産出する石材を利用すると思われる。	
第52図 PL.36	7	砥石	不明	長幅 (7.7) (5.7)	厚重 1.9 67.0	-	牛伏砂岩	全体的に滑らかな面で構成され各面は砥面と判断される。表面の中央には断面U字状の浅い溝状痕跡があり内面は滑らかである。	
第52図 -	8	瀬戸・美濃 陶器 皿	口縁部片	口底 (14.0) -	高 -	-	灰白	内外面白土刷毛塗り後に透明釉。	19世紀前葉～中葉。
第52図 -	9	瀬戸・美濃 陶器 碗	口縁部片	口底 (13.4) -	高 -	-	黄灰	内外面に灰釉。内面から口縁端部の釉は二次的な受熱により発泡。破片が小さく、復元径がやや大きい可能性あり。	江戸時代。二次的被熱。
第52図 -	10	瀬戸・美濃 磁器 染付小碗	1/4	口底 (6.7) (2.1)	高 2.2	-	白	外面に不明文様。	19世紀中葉以降。
第52図 -	11	瀬戸・美濃 磁器 染付碗	口縁部片	口底 (10.0) -	高 -	-	白	外面に不明文様。内面は無文。	19世紀前葉～中葉か。
第52図 PL.36	12	肥前磁器 染付皿	口縁部1/2欠	口底 12.8 7.5	高 4.1	-	灰白	口縁部から体部内面に簡略化した染付。底部内面に小型化したコンニャク印判による五弁花。外面は唐草文。高台内に渦福字文か。器壁厚い。口縁部外面から高台内に黒色物付着し、表面は光沢を有する。底部内面の釉は擦れる。	18世紀末～19世紀前葉。
第52図 PL.36	13	肥前磁器か 染付皿	1/4	口底 (10.0) (7.0)	高 1.9	-	白	内面に花文、外面に唐草文。蛇の目凹型高台。釉が白濁し焼成不良。	18世紀。

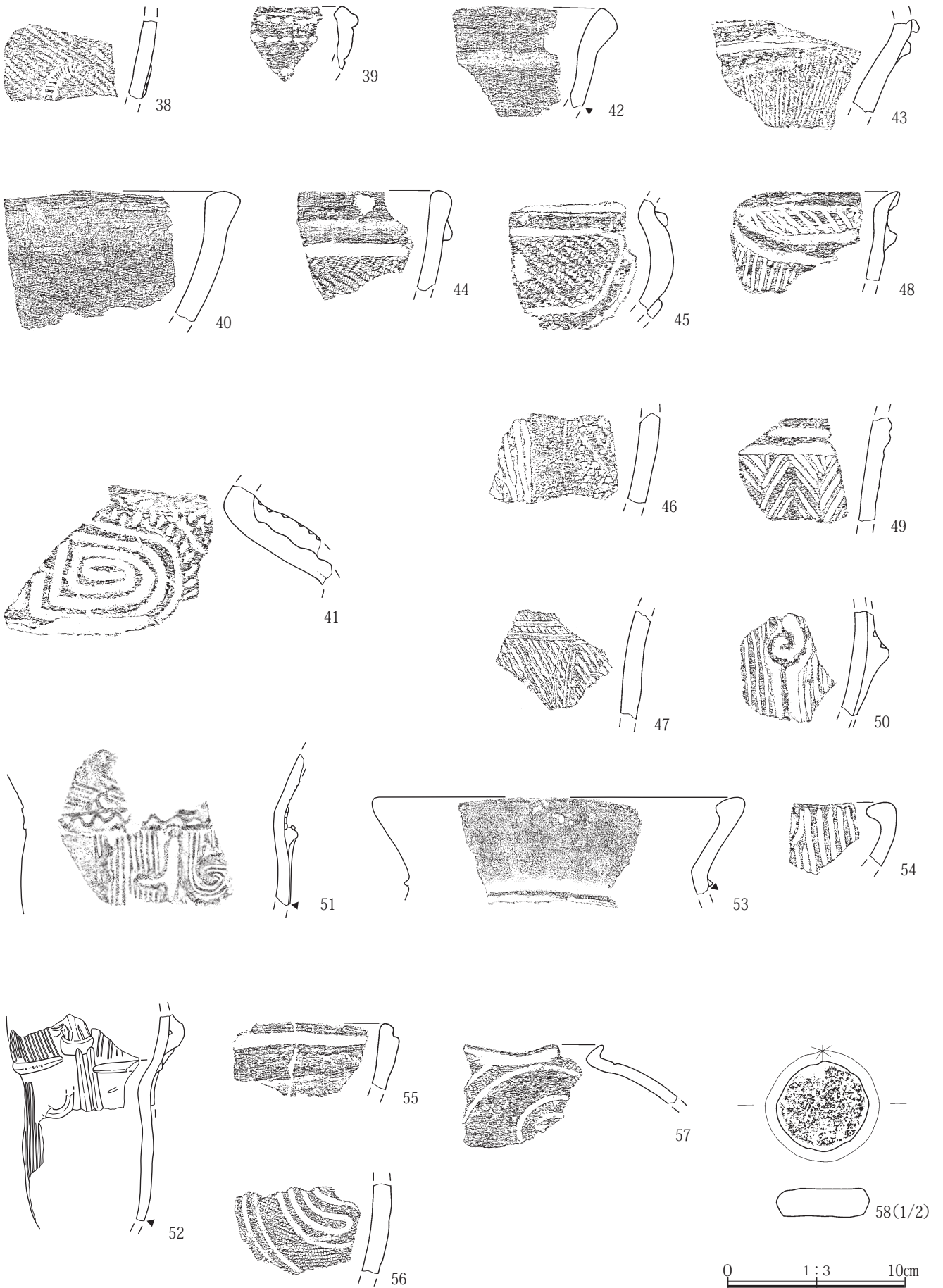
第9節 遺構外出土遺物(縄文土器) (第54～56図、PL.37・38)



第53図 遺構外出土遺物縄文土器(1)



第54図 遺構外出土遺物繩文土器(2)



第55図 遺構外出土遺物縄文土器(3)

第17表 縄文土器の胎土分類

A類	A1	少量の円磨度の進んだ輝石や珪質乳白色・灰白色・赤色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。	主として灰白色・珪質乳白色岩片や長石・輝石・石英・角閃石等を含有するグループ	胎土に繊維を含有する
	A2	少量の円磨度の進んだ赤色・灰白色岩片の礫・粗砂と珪質乳白色岩片・長石・石英・角閃石の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	A3	少量の円磨度の進んだ珪質乳白色・灰白色・赤色・黒色岩片や長石・石英・輝石の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	A4	中量の円磨度の進んだ長石・灰白色岩片や少量の赤色・黒色岩片の粗・細砂と少量の石英礫・粗砂を含むやや粗雑な胎土。		
	A5	中量の円磨度の進んだ珪質乳白色・灰白色岩片や少量の赤色岩片・輝石・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	A6	中量の円磨度の進んだ灰白色・赤色岩片の礫・粗砂と少量の長石・輝石・角閃石・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	A7	中量の円磨度の進んだ赤色岩片の礫・粗砂や長石粗・細砂と少量の石英・角閃石・輝石や珪質乳白色・灰白色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	A8	中量の円磨度の進んだ赤色岩片礫・粗砂や灰白色岩片粗・細砂と少量の珪質乳白色岩片・長石・輝石および微量の石英・角閃石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	A9	中量の円磨度の進んだ長石や少量の珪質乳白色・灰白色・赤色岩片と石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	A10	中量の円磨度の進んだ長石・珪質乳白色岩片と少量の灰白色・赤色岩片や石英および微量の角閃石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	A11	多量の円磨度の進んだ石英礫・粗砂や長石・灰白色岩片の粗・細砂と微量の角閃石粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	A12	多量の円磨度の進んだ長石粗・細砂や少量の灰白色・赤色岩片礫・粗砂と輝石・角閃石・石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
B類	B1	少量の円磨度の進んだ結晶片岩・珪質乳白色岩片の礫・粗砂や灰白色・赤色岩片と長石・石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。	結晶片岩を主体に含有するグループ	胎土に繊維を含有する
	B2	少量の円磨度の進んだ結晶片岩礫・粗砂や珪質乳白色・黒色岩片と角閃石の粗・細砂および中量の雲母細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	B3	中量の円磨度の進んだ結晶片岩・赤色岩片の礫・粗砂と少量の珪質乳白色・灰白色・黒色岩片や長石・輝石・石英の粗・細砂および多量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。		
	B4	中量の円磨度の進んだ結晶片岩礫・粗砂や少量の珪質乳白色・灰白色岩片と長石の粗・細砂および中量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。		
	B5	多量の円磨度の進んだ結晶片岩や中量の珪質乳白色岩片の礫・粗砂と中量の雲母および少量の黒色岩片・長石・輝石の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	B6	多量の円磨度の進んだ結晶片岩・珪質乳白色岩片や少量の灰白色岩片の礫・粗砂と多量の雲母および少量の赤色白色岩片・輝石の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	B7	多量の円磨度の進んだ結晶片岩・珪質乳白色岩片の礫・粗砂や少量の赤色白色・灰白色岩片と長石・角閃石の粗・細砂および中量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。		
C類	C1	少量の海綿骨針と円磨度の進んだ結晶片岩・珪質乳白色・赤色岩片の礫・粗砂や灰白色・黒色岩片・長石の粗・細砂および少量の雲母細砂を含むやや粗雑な胎土。	海綿骨針を主体に含有するグループ	胎土に繊維を含有しない
	C2	少量の海綿骨針と中量の円磨度の進んだ結晶片岩・珪質乳白色岩片の礫・粗砂や少量の灰白色・赤色・黒色岩片・長石・輝石の粗・細砂および中量の雲母細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	C3	中量の海綿骨針や少量の円磨度の進んだ珪質乳白色・赤色岩片の礫・粗砂と長石・石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
D類	D1	中量の円磨度の進んだ石英・赤色岩片の礫・粗砂と少量の雲母・長石・角閃石の粗・細砂を含む緻密な胎土。	雲母を主体に含有するグループ	胎土に繊維を含有しない
	D2	中量の円磨度の進んだ赤色岩片礫・粗砂や長石・輝石の粗・細砂と少量の灰白色・珪質灰白色岩片・角閃石および微量の雲母の粗・細砂を含む緻密な胎土。		
	D3	多量の円磨度の進んだ石英礫・粗砂や中量の長石と少量の雲母・角閃石・灰白色・赤色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。		
	D4	多量の円磨度の進んだ雲母・長石・石英や少量の角閃石・赤色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	D5	多量の円磨度の進んだ雲母・石英・長石と少量の珪質乳白色・赤色岩片や角閃石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	D6	多量の円磨度の進んだ雲母・石英・長石・角閃石と少量の珪質乳白色・赤色・黒色岩片や石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
E類	E1	少量の円磨度の進んだ結晶片岩や珪質乳白色・灰白色・赤色・黒色岩片と長石・輝石・石英の粗・細砂および中量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。	結晶片岩を主体に含有するグループ	胎土に繊維を含有しない
	E2	中量の円磨度の進んだ結晶片岩礫・粗砂や少量の珪質乳白色岩片・長石・石英の粗・細砂および中量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。		
	E3	中量の円磨度の進んだ珪質乳白色・黒色岩片の礫・粗砂や赤色岩片粗・細砂と少量の結晶片岩粗・細砂および微量の雲母細砂を含む緻密な胎土。		
	E4	多量の円磨度の進んだ結晶片岩や珪質乳白色岩片の礫・粗砂と少量の長石・灰白色岩片の粗・細砂および多量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。		
F類	F1	中量の円磨度の進んだ輝石や灰白色・赤色岩片と少量の珪質乳白色・黒色岩片および長石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	輝石や角閃石等を主体に含有するグループ	胎土に繊維を含有しない
	F2	中量の円磨度の進んだ輝石・長石や少量の珪質乳白色・灰白色・赤色・黒色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	F3	多量の円磨度の進んだ輝石や中量の長石と少量の灰白色・珪質乳白色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
G類	G1	少量の円磨度の進んだ赤色・灰白色・黒色岩片の礫・粗砂や角閃石・輝石・長石・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	主として灰白色・珪質乳白色・赤色岩片や長石・輝石・石英・角閃石等を含有するグループ	胎土に繊維を含有しない
	G2	少量の円磨度の進んだ灰白色・赤色・珪質乳白色岩片や輝石・長石・石英の粗・細砂を含む緻密な胎土。		
	G3	少量の円磨度の進んだ灰白色・珪質乳白色岩片の礫・粗砂や輝石・長石・赤色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		
	G4	中量の円磨度の進んだ灰白色岩片の礫・粗砂や長石・輝石の粗・細砂と少量の赤色岩片・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。		

第3章 検出された遺構と遺物

分類	夾雑物の特徴		備考
G類	G5	中量の円磨度の進んだ珪質乳白色・灰白色岩片や少量の赤色岩片・輝石・石英の粗・細砂を含む緻密な胎土。	主として灰白色・珪質乳白色・赤色岩片や長石・輝石・石英・角閃石等を含有するグループ
	G6	多量の円磨度の進んだ赤色・灰白色岩片の礫・粗砂と少量の長石・角閃石・輝石・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
H類	H1	中量の円磨度の進んだ長石・輝石・赤色岩片や少量の珪質灰白色・灰白色岩片の粗・細砂を含む緻密な胎土。	長石を主体に含有するグループ
	H2	中量の円磨度の進んだ長石・輝石や少量の灰白色・赤色岩片と石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
	H3	中量の円磨度の進んだ長石・角閃石・輝石や少量の灰白色岩片礫・粗砂と赤色岩片・石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。	
	H4	中量の円磨度の進んだ長石や少量の珪質乳白色・灰白色・赤色・黒色岩片と輝石の粗・細砂を含む緻密な胎土。	
	H5	多量の円磨度の進んだ長石・珪質乳白色岩片や少量の灰白色岩片・石英・輝石および微量の赤色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
	H6	多量の円磨度の進んだ長石・輝石・珪質乳白色岩片や少量の灰白色・赤色・黒色岩片と石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
	H7	多量の円磨度の進んだ長石・灰白色岩片や少量の赤色岩片・輝石・角閃石・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
J類	J1	中量の円磨度の進んだ黒鉛・珪質乳白色岩片の礫・粗砂や少量の長石と微量の雲母の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	黒鉛を主体に含有するグループ
	J2	多量の円磨度の進んだ黒鉛の粗・細砂と少量の珪質乳白色岩片の礫・粗砂や雲母・赤色岩片の粗・細砂を含む緻密な胎土。	

胎土に繊維を含有しない

凡例

- ※各分類はルーベ等を使用した肉眼観察による相対的なものである。
- ※夾雑物の粒径分類については「新版標準土色帳」の「土壌調査用チャート」に準拠した。

第18表 遺構外出土遺物(縄文土器)観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高			
第53図 PL.37	1	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	B3	貝殻条痕文を外面向斜位・内面横位に施す。	鶴ヶ島台式
第53図 PL.37	2	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	E1	やや大柄な山形押型文を縦位に施文。内面煤状炭化物付着。	押型文土器
第53図 PL.37	3	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	A4	外面にRLとLR縄文を横位・交互に施文し、内面にはLR縄文を横位に施す。広義の表裏縄文土器。内外面共に被熱風化、外面に煤状炭化物付着。	早期前半
第53図 PL.37	4	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	F1	LR縄文を横位・多段に施文。内面横位磨き。	諸磯b式
第53図 PL.37	5	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	D6	折返し状の口唇部上面や口縁部に横位の角押文を施す。内外面共に横位磨き。	阿玉台式Ib式
第53図 PL.37	6	縄文土器 浅鉢	口縁部破片	口底	高	G5	外面口唇部・内面口唇部～体部にかけて赤色塗彩が部分的に残存。内外面共に丁寧な横位磨き。	勝坂3式
第53図 PL.37	7	縄文土器 浅鉢	口縁部破片	口底	高	H6	口縁部が「く字状」に強く外折。括れ部に交互刺突隆線文、肩部に刻み隆帯の楕円文を施し、区画内に沈線の渦巻文を施文。	勝坂3式
第53図 PL.37	8	縄文土器 浅鉢	口縁部破片	口底	高	H5	口縁部が短く外反する。内外面共に丁寧な横位磨き。	勝坂3式
第53図 PL.37	9	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	H4	口縁部に隆帯の楕円区画文を施し、区画内に棒状具の短沈線文を充填的に施文。胴部は同様の沈線文を縦位に密集施文。内面口縁部横位・胴部縦位の磨き。	唐草文系土器
第53図 PL.37	10	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	D5	括れ部に2本の横位隆帯文を施し、下に棒状具の短沈線で綾杉文を施文。内面横位磨き。	唐草文系土器
第53図 PL.37	11	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	H1	棒状具の縦位沈線文を地文として腕骨文を施す。内面横位磨き、外面一部に煤状炭化物付着。	唐草文系土器
第53図 PL.37	12	縄文土器 深鉢	頸部-胴部上位 1/5	口底	高	D4	半截竹管状具の平行沈線文の地文を口縁部は斜位、胴部には縦位に施文。口頸部には縦位、括れ部には横位の波状隆線文を施し、胴部は隆線渦巻文を施文。	唐草文系土器
第53図 PL.37	13	縄文土器 深鉢	口頸部-胴部下 位2/3	口底	高	F3	半截竹管状具の平行沈線文の地文を口縁部は斜位、胴部には縦位に施文。口頸部に橋状の小把手を付し、胴部に懸垂状やクランク状の隆線文を施す。内面横位磨き、内外面共に煤状炭化物付着。	唐草文系土器
第53図 PL.37	14	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	D4	円筒形状を呈する深鉢土器。口唇部は折返して内側に肥厚。括れ部に横位の隆線文を施す。内外面共に横位磨き。	唐草文系土器
第53図 PL.37	15	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	G2	円筒形状の深鉢土器。口唇部は折返して内側に突出。口縁部に棒状具による地文の縦位沈線文を施す。内面横位磨き。	唐草文系土器
第53図 PL.37	16	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	F2	口縁部に0段多条のRL・LR縄文を横位施文し、横位隆帯文を施す。内面横位磨き、外面煤状炭化物付着。	加曾利E2式

第9節 遺構外出土遺物(縄文土器)

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第54図 PL.37	17	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	G3	口縁部にRL縄文を横位施文し、隆帯の楕円区画文を施す。内外面共にやや被熱風化、一部剥落。	加曾利E2式
第54図 PL.37	18	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	G2	頸部にR撚糸文を縦位施文し、口縁部下位に2本単位の横位隆帯文を施す。内面横位磨き、内外面共にやや被熱風化。	加曾利E1式
第54図 PL.37	19	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	D5	RLR縄文を縦位施文し、棒状具の沈線懸垂文を複数条施す。内面やや被熱風化、一部剥落。	加曾利E2式
第54図 PL.37	20	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	G2	L縄文を縦位施文し、篋状具の横位沈線文や沈線懸垂文を施す。内面横位磨き。	加曾利E2式
第54図 PL.37	21	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	D2	口端部に横位沈線文を施す。内外面共にやや粗い横位磨き。	堀之内1式
第54図 PL.37	22	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	G4	棒状具の単沈線により渦巻文を施し、区画内にやや細密なLR縄文を充填施文。内外面共に被熱風化・荒れ。	堀之内1式
第54図 PL.37	23	縄文土器 注口土器	口縁部破片	口 底	- -	高 -	E3	棒状具の単沈線により渦巻状の区画文を施し、区画内にやや細密なLR縄文を充填施文。外面丁寧な磨きと燻べ焼きで暗灰色の光沢を帯びる。内面剥落。	堀之内2式
第54図 PL.37	24	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	E4	丸頭状の口唇部がやや外反。口縁部から胴部にかけて篋状具の浅い沈線文を縦位・散漫に施文。内面指頭状の押圧痕を残す。内外面共にやや被熱風化。	稲荷台式
第54図 PL.37	25	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	E2	平頭状の口唇部。口唇直下よりR撚糸文を密集して縦位施文。内面やや粗い縦位磨き。	夏島式
第54図 PL.37	26	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	B4	条痕文を外面斜位、内面横位に施す。	鶴ヶ島台式
第54図 PL.37	27	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	J1	原体長19mmの山形押型文を縦位に1条施文する。内外面共に被熱風化・一部に煤状炭化物付着。断面は黒灰色を呈し、黒鉛の礫・粗砂を含む特徴的な胎土。	沢式
第54図 PL.38	28	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	A1	アナダラ属の貝殻縁文を横位に重畳施文。内面やや粗い横位撫で。内外面共にやや被熱風化、内面一部に煤状炭化物付着。	早期末葉
第54図 PL.38	29	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	B1	1段R縄の絡条体を口唇部上面に縦位、口縁部以下には横位に押圧施文。内面粗い横位篋撫で。外面一部に煤状炭化物付着。	早期末葉
第54図 PL.38	30	縄文土器 深鉢	口頸部破片	口 底	- -	高 -	A5	外面横位、内面斜位の条痕文。口縁部に横位隆帯文を施し、絡条体を押圧施文。内外面共にやや被熱風化、外面一部に煤状炭化物付着。	子母口式
第54図 PL.38	31	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	B7	波状口縁。絡条体圧痕文を口唇部上面は横位に、口縁部には鋸歯状に施す。内外面共に被熱風化。	子母口式
第54図 PL.38	32	縄文土器 深鉢	口頸部破片	口 底	- -	高 -	A9	口縁部に横位の貝殻条痕文や隆帯文を施し、0段縄の絡条体圧痕文を羽状に施文。内外面共に被熱風化。	子母口式?
第54図 PL.38	33	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	B6	内外面共に条痕文を横・斜位に施文。口縁部に横位隆帯文や2本単位の篋状具の蛇行沈線文を施す。内面被熱風化・荒れ。	茅山下層式
第54図 PL.38	34	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	A11	やや繊細な条痕文を内外面共に斜位に施す。	鶴ヶ島台式?
第54図 PL.38	35	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	A7	内外面共に条痕文を斜位に施す。	鶴ヶ島台式?
第54図 PL.38	36	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	A10	台形状の波状口縁で、口唇部上面に半截竹管状具の刺突を施す。条痕文を外面は横・斜位に、内面は横位に施文し、半截竹管状具の結節浮線文を縦位に密接施文。外面一部に煤状炭化物付着。	茅山上層式
第54図 PL.38	37	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	B4	波状口縁。内外面共に条痕文を縦・横位に施し、2本の篋状具で平行状の蛇行沈線文を施文。	茅山上層式
第55図 PL.38	38	縄文土器 深鉢	口頸部破片	口 底	- -	高 -	A8	外面に棒状具による斜格子状の沈線文を条痕文的に密集施文。内面被熱風化・荒れ。	早期末葉
第55図 PL.38	39	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	A2	1組のL・R縄側面圧痕文や細い円形竹管文を施す。内面指頭状の押圧痕を残す横位撫で。	二ツ木式
第55図 PL.38	40	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	A3	0段多条LR縄文を横位・多段に施文し、多截竹管状具のコンパス文を施す。内面横位磨き。	関山Ⅱ式
第55図 PL.38	41	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	C3	波状口縁で内削ぎ状の口唇部。半截竹管状具の連続爪形文で三角形の意匠を構成。内面丁寧な横位磨き。海綿骨針を含む特徴的な胎土。	有尾式
第55図 PL.38	42	縄文土器 深鉢	胴部破片	口 底	- -	高 -	C2	0段多条のLR・RL縄文を横位・交互に多段施文し、菱形意匠を構成。内面やや粗い横位磨き、外面煤状炭化物付着。海綿骨針を含む特徴的な胎土。	有尾式
第55図 PL.38	43	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口 底	- -	高 -	B5	口唇部上面にLR縄文を横位施文。口縁部にLR・RL縄文を横位・交互に施文して羽状の意匠を構成。内面横位撫で、外面一部に煤状炭化物付着。	早期末葉

第3章 検出された遺構と遺物

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第55図 PL.38	44	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	A3	波状口縁。半截竹管状具の平行沈線文により菱形意匠を構成か。内面横位磨き。内外面共にやや被熱風化、外面煤状炭化物付着。	有尾式
第55図 PL.38	45	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	A12	波状口縁。半截竹管状具の平行沈線文により菱形意匠を構成か。内外面共に被熱風化・荒れ。	有尾式
第55図 PL.38	46	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	C1	波状口縁で内折ぎ状の口唇部。半截竹管状具の連続爪形文で三角形の意匠を構成か。内面横位磨き。海綿骨針を含む特徴的な胎土。	有尾式
第55図 PL.38	47	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	B2	波状口縁で内折ぎ状の口唇部。幅広の半截竹管状具の平行沈線文で三角形の意匠を構成か。内面横位磨き。	有尾式
第55図 PL.38	48	縄文土器 深鉢	口頸部破片	口底	高	A12	半截竹管状具の平行沈線文により三角形の意匠を構成。内外面共にやや被熱風化、外面煤状炭化物付着。	有尾式
第55図 PL.38	49	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	G6	「く字状」に内折する波状口縁。口縁部から胴部にかけてLR縄文を横位・多段に施文し、半截竹管状具の集合沈線文を施す。内面丁寧な横位磨き、外面煤状炭化物付着。	諸磯b式
第55図 PL.38	50	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	高	G5	半截竹管状具の連続爪形文を複数条施し、各間隙に棒状具の斜位刻み文を施文。内面丁寧な横位磨き、外面一部に煤状炭化物付着。	諸磯b式
第55図 PL.38	51	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	15.0 高	H3	半截竹管状具の集合沈線文を横位に施文し、耳・円形状の貼付文を施す。内面撫で状の横位磨き、外面煤状炭化物付着。	諸磯c式
第55図 PL.38	52	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	G1	半截竹管状具の集合沈線文を横位に施文し、縦位の結節浮線文や円形貼付文を施す。内面砂粒移動痕を残す粗い横位磨き。	諸磯c式
第55図 PL.38	53	縄文土器 深鉢	口縁部破片	口底	20.4 高	D1	双頭状の波状口縁。外面に条痕文を斜位に施す。内面丁寧な横位磨き。	前期初頭
第55図 PL.38	54	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	A6	内外面共に条痕文を斜位に施し、やや被熱風化・一部剥落。	鶴ヶ島台式?
第55図 PL.38	55	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	H7	半截竹管状具の集合沈線文を横位に施文し、縦位の結節浮線文を施す。内外面共にやや被熱風化、内面煤状炭化物付着・一部剥落。	諸磯c式
第55図 PL.38	56	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	H2	RL縄文を横位・多段に施文し、結節浮線文を施す。内面横位磨き、外面煤状炭化物付着。	十三菩提式
第55図 PL.38	57	縄文土器 深鉢	胴部破片	口底	高	J2	原体長12mmの山形押型文を縦位に1条带状施文する。内面斜位磨き、外面一部に煤状炭化物付着。内外面および断面は黒灰色を呈し、多量の黒鉛の粗・細砂を含む特徴的な胎土。	沢式
第55図 PL.38	58	縄文土器 土器片加工 円板	完存	径	3.3 厚 1.0	D3	深鉢土器片を円形に打割整形し、全周縁部に磨耗根を持つ。	前期後半

第4章 分析・同定

分析・同定の目的

中棚 I 遺跡では多くの土坑を検出しているが、そのうち2基からは人骨が出土し、墓坑であった。これらの墓坑から出土した人骨は比較的残存状態の良好であった。こうしたことから埋葬された人物の性別、年齢などを解明することを目的に大妻女子大学 檜崎修一郎氏に同定を依頼した。

また、3区2号竪穴建物竈から出土した骨片についても同定も依頼したが、残存状態が不良のため同定には至っていない。

(1)中棚 I 遺跡出土人骨

はじめに

中棚 I 遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字林中棚に位置する。(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が、平成29(2017)年4月～同年12月まで実施された。

本遺跡の3区7号土坑墓及び4区51号土坑墓から人骨が出土したので以下に報告する。その他、3区2号竪穴建物の2号竈から焼骨片が出土しており、常識的に人骨ではなく調理した獣骨であると推定されるが、その種名等の判定は困難である。

1.3区7号土坑墓出土人骨(中世?)

(1)人骨の出土状況及び埋葬状態



写真1.3区7号土坑出土人骨状況[南]→

人骨は、長軸(南北)120cm・短軸(東西)80cm・深さ120cm～140cmの隅丸長方形土坑から検出されている。人骨の出土位置から、頭位を北にした仰臥屈葬で埋葬されたと推定される。

(2)副葬品

副葬品は、銭貨が2点検出されている。

(3)被葬者の個体数

人骨の残存状態はあまり良くないが、明らかな重複部位は認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

(4)被葬者の性別

下顎骨及び四肢骨は小さく華奢であるため、被葬者の性別は女性であると推定される。

(5)被葬者の死亡年齢



写真2.3区7号土坑出土人骨(下顎骨咬合面観)

出土遊離歯の咬耗度を観察すると、あまり咬耗が無い状態である。これは、特に上顎の大白歯が多い。しかしながら、下顎骨を観察すると、左右大白歯が生前脱落し、歯槽も閉鎖した状態である。したがって、上顎大白歯は、下顎大白歯と咬合しなかったために咬耗が進まなかったと推定される。何らかの理由で、下顎大白歯が早い時期に喪失したと推定される。上顎小白歯は、象牙質が点状に露出している状態のマルティンの2度の状態である。したがって、被葬者の死亡年齢は約30歳代～40歳代であると推定される。



写真3. 4区51号土坑墓出土人骨出土状況

2. 4区51号土坑墓出土人骨(近世)

(1) 人骨の出土状況及び埋葬状態

人骨は長軸90cm・短軸70cm・深さ200cm～300cmの方形土坑から検出されている。人骨の出土位置から、坐葬で埋葬されたと推定される。また、坐葬でも、あぐらをかいた状態ではなく、両膝を立てた状態である。なお、顔面部は北に向いていたと推定される。



写真4. 4区51号土坑出土人骨(頭蓋骨前面観)



写真5. 4区51号土坑出土人骨(左側面観)

(2) 副葬品

副葬品は、銭貨が数点まとめて検出されている。

(3) 被葬者の個体数

出土人骨には重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

(4) 被葬者の性別

頭蓋骨及び四肢骨は頑丈であるため、被葬者の性別は男性であると推定される。残念ながら、性別推定に一番有用な寛骨は破損していたが、頭蓋骨では眉弓及び乳様突起が発達しており、このことから被葬者の性別は男性であると推定される。

(5) 被葬者の死亡年齢

出土人骨の内、上顎骨の歯は左右のI1(第1切歯)及びI2(第2切歯)が生前脱落し、歯槽も閉鎖した状態である。また、大白歯はすべて生前脱落して歯槽も閉鎖した状態である。

さらに、下顎骨を観察すると、ほとんどの歯が生前脱落して歯槽も閉鎖した状態である。但し、下顎右M3(第3大白歯)のみ残存している。この第3大白歯の咬耗度を観察すると、エナメル質のみのマルティンの1度の状態である。これは、この歯が萌出した18歳前後の頃には、上顎右第3大白歯が生前脱落していたか、あるいは先天的欠如で萌出しなかったために咬合せず、咬耗が進まなかったと考えたとすると矛盾しない。総合的に、被葬者の死亡年齢は、老齢であると推定される。



写真6. 4区51号土坑出土人骨(下顎骨咬合面観)

まとめ

群馬県長野原町の中棚に所在する、中棚I遺跡の3区7号土坑墓から中世の30歳代～40歳代の女性1体が、また4区51号土坑墓から近世の老齢男性1体が出土した。

第5章 調査成果のまとめ

中棚Ⅰ遺跡は群馬県長野原町内の高台に当たり、町内遺跡群の中でも天明泥流の被害を受けていない数少ない遺跡である。遺構の時期は平安時代の竪穴建物、中近世の掘立柱建物、土坑、小穴群である。縄文土器も出土しているが、縄文時代の遺構は確認されていない。縄文土器は中近世の土坑、小穴の覆土に混入したものである。長野原町は歴史的環境からみて、信濃や越後との関係が密接であったことがわかっている。

旧くは縄文時代に始まり、弥生時代は日本海ルートで北九州とつながっており、貴重な鉄素材の入手ルートとして朝鮮半島ともつながっていたことがわかっている。鉄の来た道は北九州から日本海ルートを抜けやがて新潟上越市から南に下り、長野県中野市を経由し、長野原町を抜け、吾妻川沿いにつながっている。吾妻川ルートはやがて渋川市に入り、弥生時代から鉄製品や、農具等が集中して出土する。10世紀になると『延喜式』には「貢馬」という言葉が記載されている。これは宮中に貢納する馬のことである。信濃国と上野国は50匹取めると記載され、馬が渡ってきて以来、馬匹生産が続いていたことが考えられる。10世紀とは平安時代である。中棚Ⅰ遺跡で確認された竪穴建物の時期に重なる。国同士が行き来していることを示している。馬は吾妻川の尾根を歩き、やがて越後や信濃東山道に向かったのである。中棚Ⅰ遺跡の交流、交易の存在は土器の面からも指摘することができる。長野県の弥生時代中期の土器栗林式土器が、群馬県内で多く出土する。また県内のみなかみ町の羽釜が中棚Ⅰ遺跡で出土している。平安時代の土器も長野原町を経由していたことが今回の報告書で確認することができた。土器からみると中棚Ⅰ遺跡の竪穴建物から出土した土器群は須恵器、灰釉陶器、在地産陶磁器類が多く出土している。2号竪穴建物から3個体の羽釜が出土し、3個体ともに鏝から下に縦にへら削りが施されている。県内の窯の中でも月夜野でつくられたとされる、月夜野型羽釜と呼ばれているものである。さらに3号竪穴建物から在地産の須恵器と灰釉陶器が共伴して出土している。灰釉陶器は9～11世紀、東海地方や静岡県西部で

焼かれたものである。県内から遠く離れた地域から中棚Ⅰ遺跡に運ばれたわけである。近世になると18世紀から19世紀の陶磁器が出土し、産地は瀬戸・美濃焼、更に肥前産の磁器が出土している。このように月夜野型羽釜が出土することは月夜野にある須恵器窯の交易の通り道として機能していたことがわかり、瀬戸・美濃・肥前と出土遺物から中棚Ⅰ遺跡がつながっていたことがわかる。須恵器の出土が多いことは県内外の窯とも交通路としてつながっていたことがわかる。この結果は平安時代や中近世の時期にも流通網の中に中棚Ⅰ遺跡を含む長野原町があったことと理解してもよいと考える。弥生時代から交易の通過点であったことが長い間経過しても、その機能を失うことなく続いてきたのである。近世では立地的に上質な畑や水田が少ない農民は、もの運びに従事していた記載がある文書も残っている。やはり近世に至るまで長野原町は交通の要所であったことが理解でき、交易の道として機能していた。遺跡内5区の尾根上にはごく最近までの道が南北に走っている。中棚Ⅰ遺跡は林村にあり、林村から、尾根を南に下れば吾妻川に降りる道になっている。尾根の上を林村の北に入り、北西に向かえば嬭恋村、六合村(現中之条町)の道を取れば越後へ向かい、西に向かえば信濃に抜けることができる。肥前や瀬戸・美濃の陶磁器もこの道を通って運ばれたと考えられる。近年では日本海のものが高速度等で直接首都圏に運ばれるが、かつてはこの吾妻川ルートが近世まで機能していたことがわかってきた。中棚Ⅰ遺跡の集落の人は肥前にまで行くことなく、運ばれてきたものを入手していたはずである。長野原町は八ッ場ダムの調査で馬の行き来も確認され、長い間運送の道として機能していたことがわかっている。このような交易の道は数百年も続き長野原町を活性させてきたのである。越後、信濃の近距離間のものの移動は、馬等で長野原町を経由していたと考えることが出来る。馬匹生産は渋川市で確認されている。牧の跡が5～6世紀代に想定されている。近世に至っても吾妻川の道には荷を背負って物の移動に使われた馬がいた。中棚Ⅰ遺跡の中近世の2基の土壌墓から人骨、銭

が出土している。

中棚 I 遺跡では縄文時代の遺構は確認できなかったが、平安時代以降中近世の村に至る、交通路としての村落・村の性格が色濃く認めることが出来た遺跡であることが理解できた。

写真図版



1 2区1号竖穴建物竈全景(東から)



2 2区1号竖穴建物竈正面(西から)



3 2区1号竖穴建物竈貯蔵穴全景(北から)



4 2区1号竖穴建物竈貯蔵穴東側(北から)



5 2区1号竖穴建物竈貯蔵穴全景(西から)



6 2区1号竖穴建物竈セクションA-A'(北から)



7 2区1号竖穴建物掘り方(西から)



8 3区2号竖穴建物全景(南から)



1 3区2号竪穴建物東壁セクションB-B'(西から)



2 3区2号竪穴建物遺物出土状態(西から)



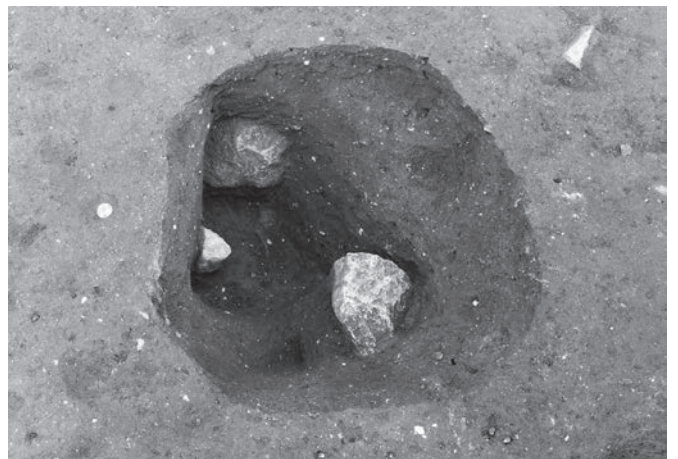
3 3区2号竪穴建物1・2号竈貯蔵穴(西から)



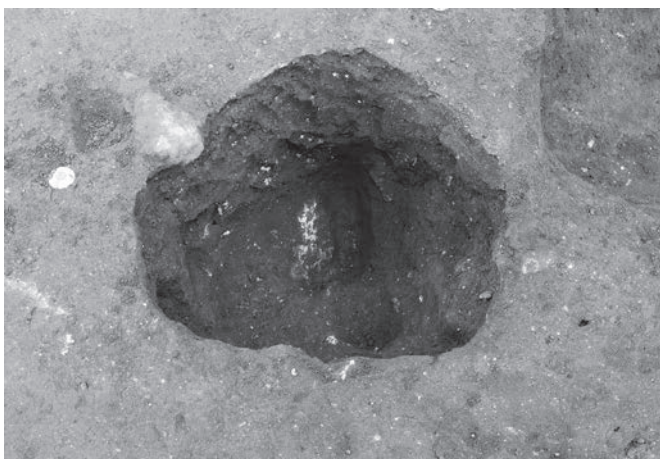
4 3区2号竪穴建物1号竈全景(西から)



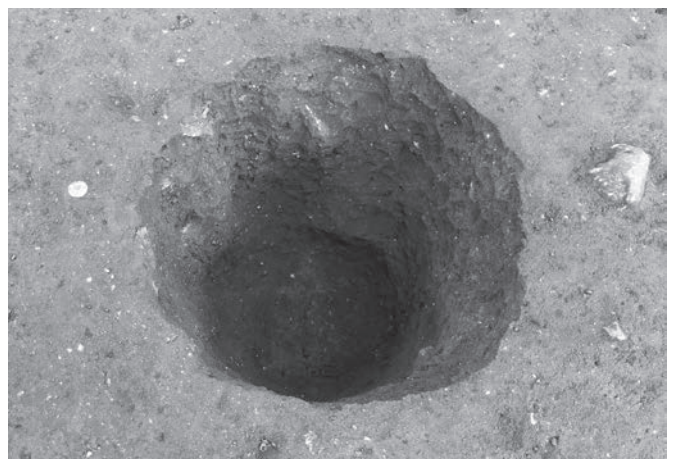
5 3区2号竪穴建物2号竈全景(西から)



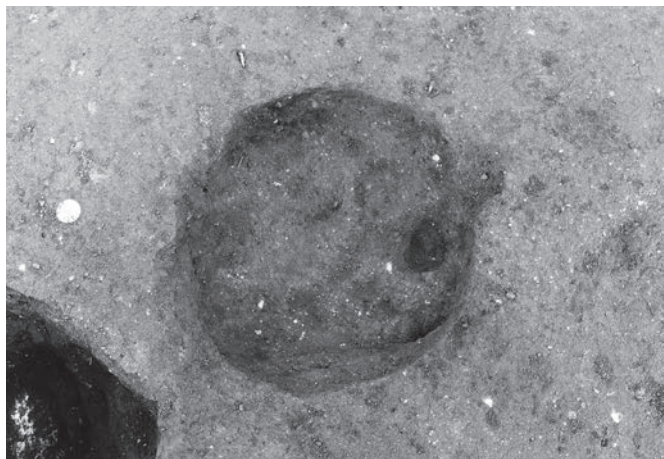
6 3区2号竪穴建物1号床下土坑全景(西から)



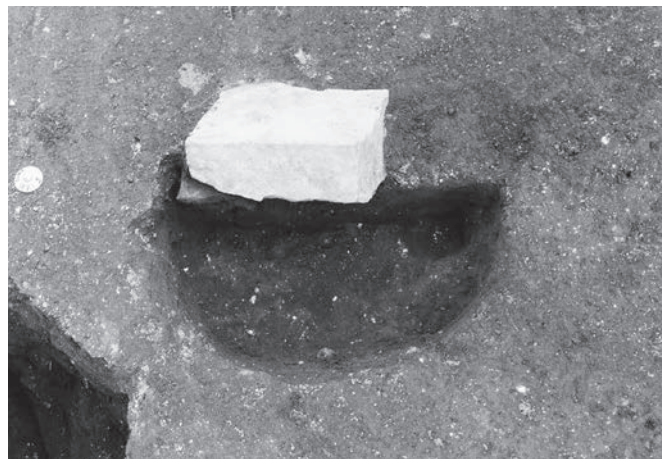
7 3区2号竪穴建物1号床下ピット全景(西から)



8 3区2号竪穴建物2号床下ピット全景(西から)



1 3区2号竪穴建物3号床下ピット全景(西から)



2 3区2号竪穴建物3号床下ピットセクションI-I'(西から)



3 3区2号竪穴建物掘り方セクションB-B'(西から)



4 3区2号竪穴建物全景(西から)



5 3区2号竪穴建物全景(南から)



6 3区2号竪穴建物掘り方(西から)



7 3区3号竪穴建物遺物出土状態(西から)



8 3区3号竪穴建物遺物出土状態(西から)



1 3区3号竪穴建物竈全景(西から)



2 3区3号竪穴建物竈遺物出土状態(西から)



3 3区3号竪穴建物全景(南から)



4 3区3号竪穴建物全景(西から)



5 3区4号竪穴建物竈掘り方セクションA-A'(東から)



6 3区4号竪穴建物床下3号ピットセクション(北から)



7 3区4号竪穴建物貯蔵穴掘り方(北西から)



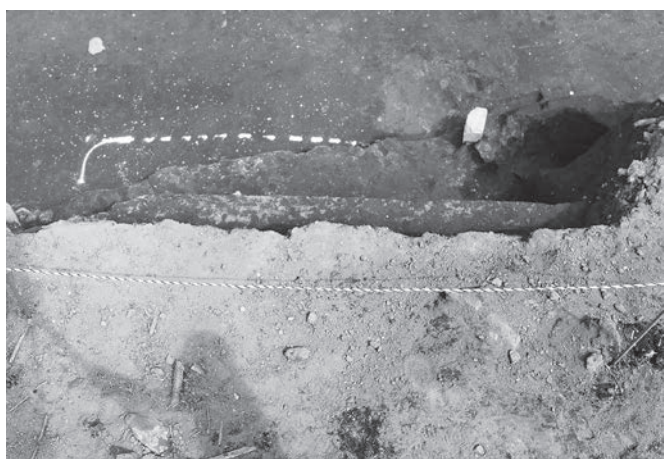
8 3区4号竪穴建物南壁(北から)



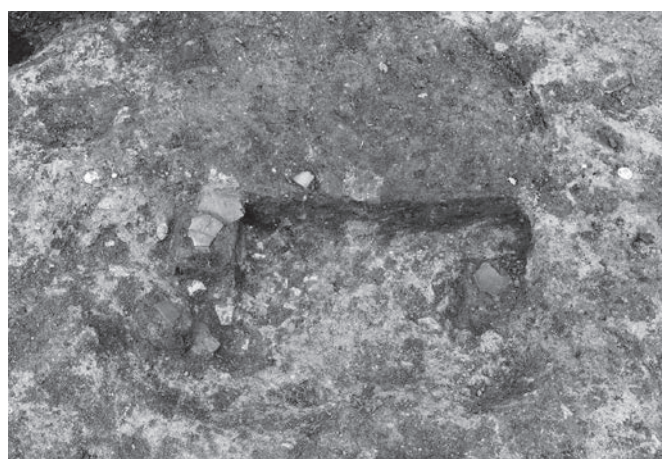
1 3区4号竪穴建物調査風景(東から)



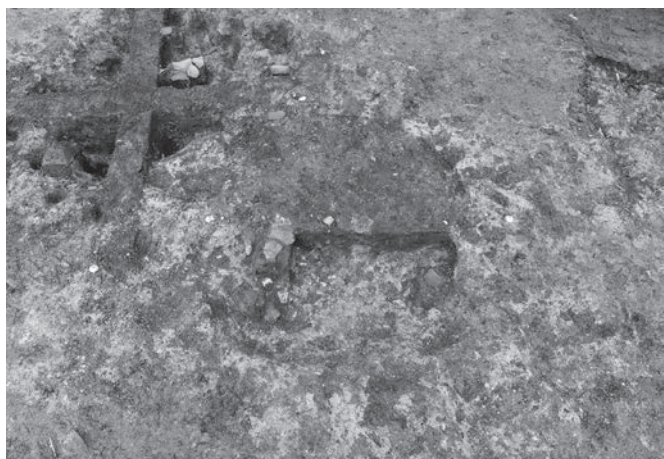
2 3区4号竪穴建物全景(北東から)



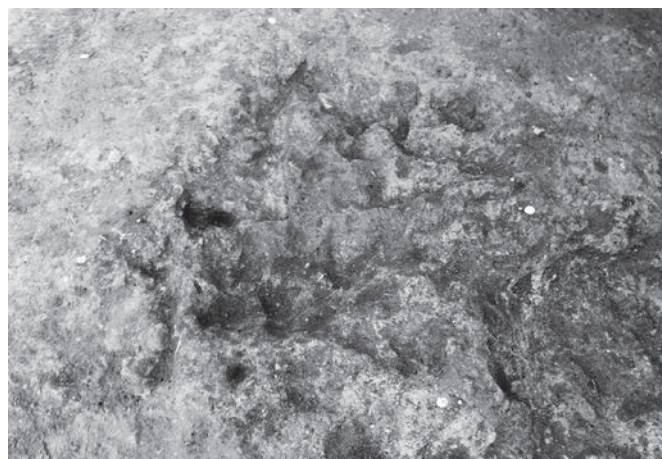
3 3区4号竪穴建物全景(南西から)



4 4区5号竪穴建物全景(西から)



5 4区5号竪穴建物竈貯蔵穴セクションA-A'(西から)



6 4区5号竪穴建物竈焼土(西から)

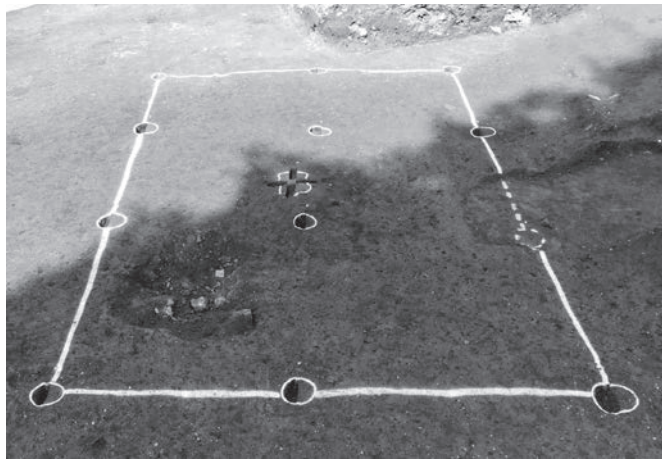


7 4区5号竪穴建物全景(西から)



8 3区3号竪穴建物調査風景(南から)

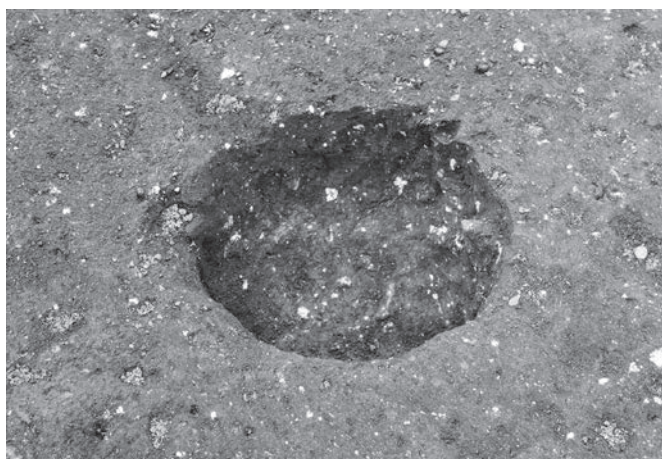
PL.6



1 3区1号掘立柱建物全景(東から)



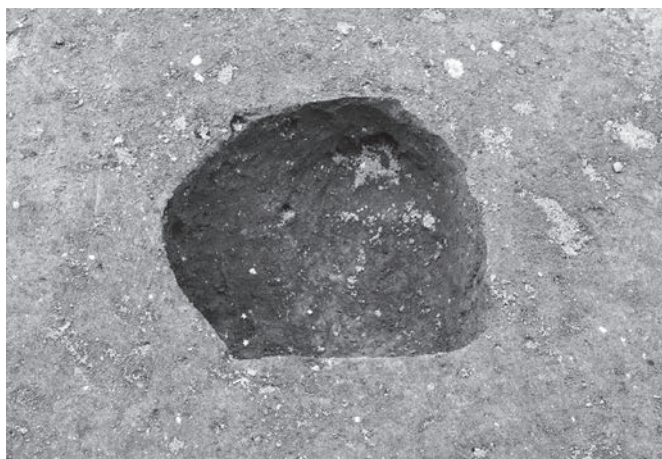
2 3区1号掘立柱建物全景(南から)



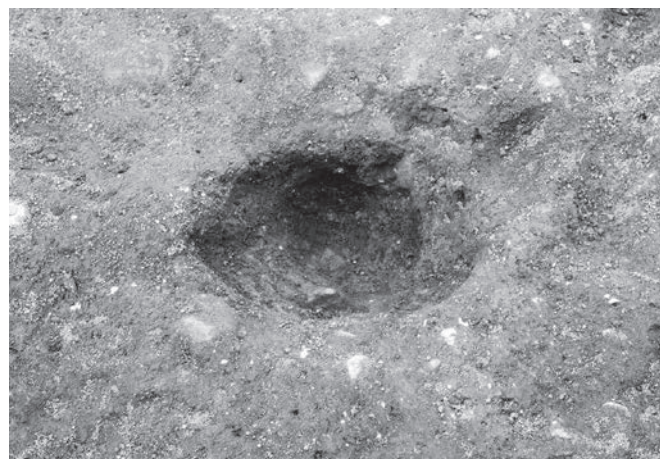
3 3区1号掘立柱建物1柱穴全景(南から)



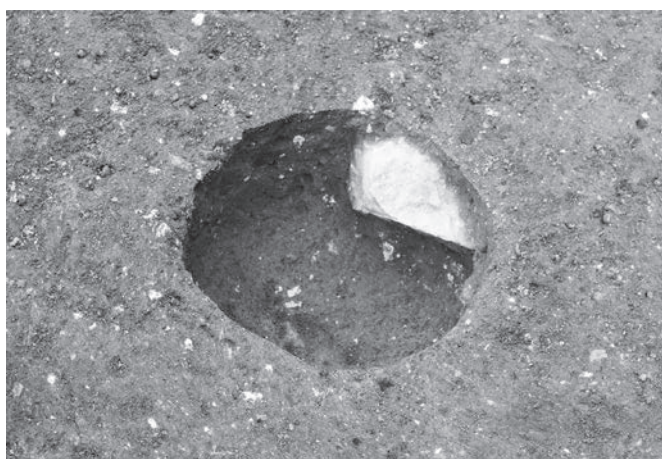
4 3区1号掘立柱建物2柱穴全景(南から)



5 3区1号掘立柱建物4柱穴全景(南から)



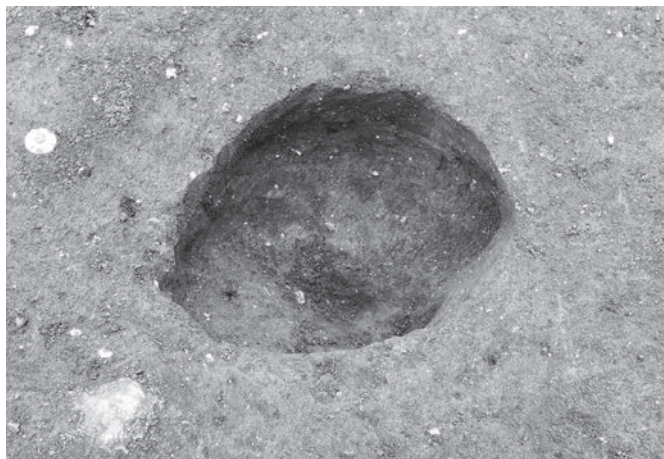
6 3区1号掘立柱建物3柱穴全景(南から)



7 3区1号掘立柱建物5柱穴全景(南から)



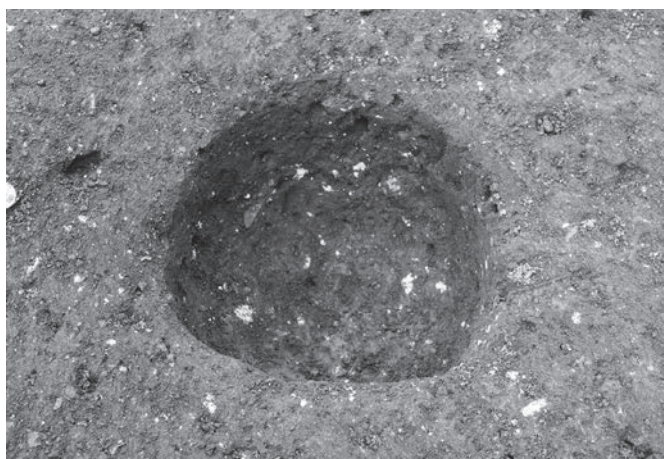
8 3区1号掘立柱建物6柱穴全景(南から)



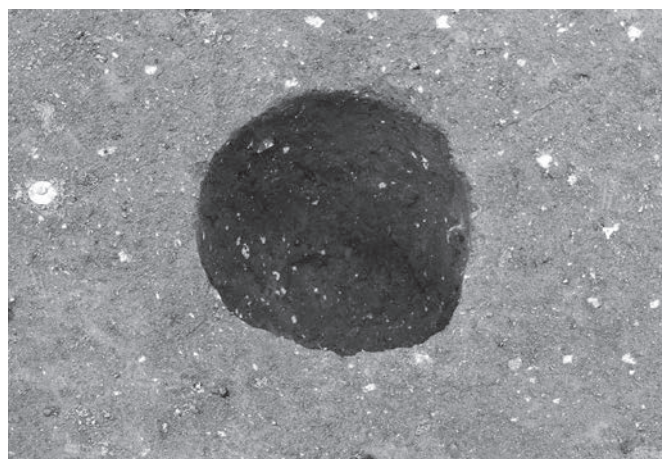
1 3区1号掘立柱建物7柱穴全景(南から)



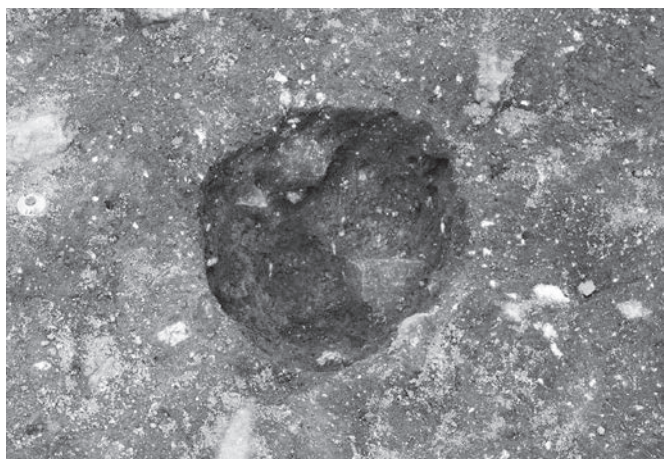
2 3区1号掘立柱建物8柱穴全景(南から)



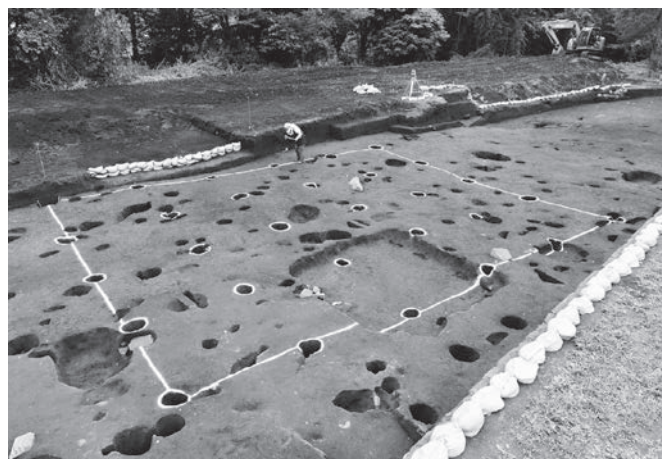
3 3区1号掘立柱建物9柱穴全景(南から)



4 3区1号掘立柱建物11柱穴全景(南から)



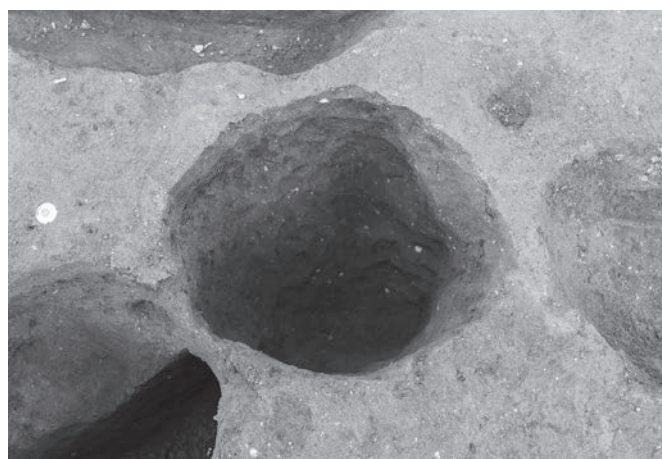
5 3区1号掘立柱建物12柱穴全景(南から)



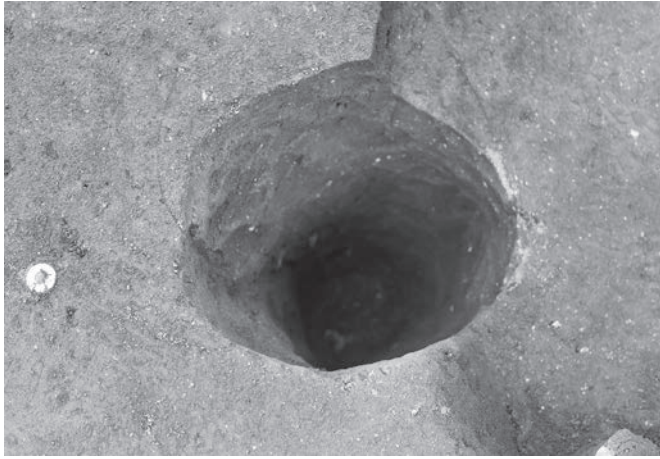
6 3区3号掘立柱建物全景(北東から)



7 3区3号掘立柱建物全景(南東から)



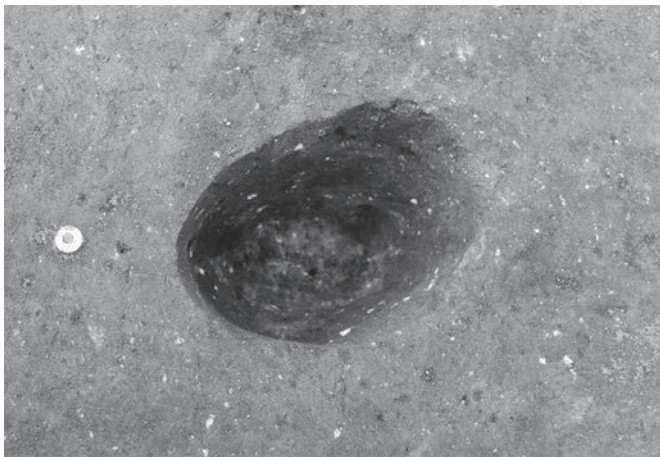
8 3区3号掘立柱建物1柱穴全景(南から)



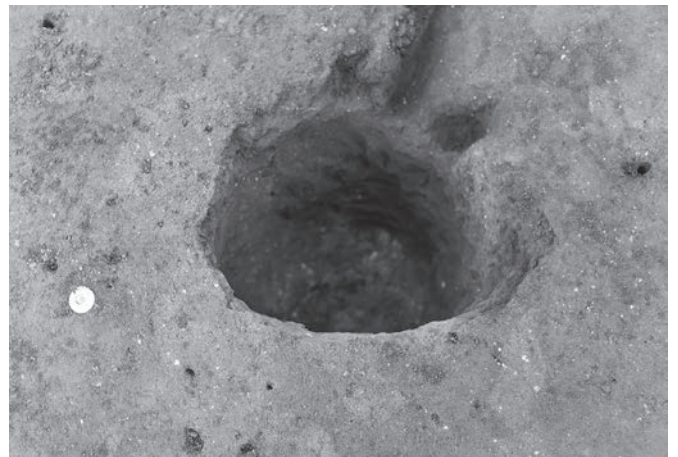
1 3区3号掘立柱建物2柱穴全景(南から)



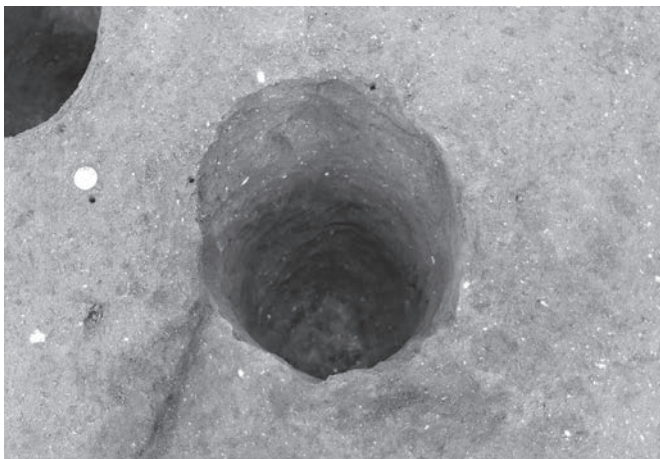
2 3区3号掘立柱建物3柱穴全景(南から)



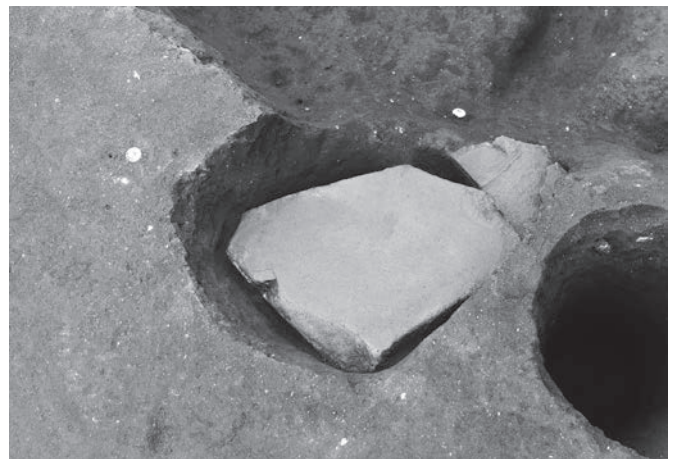
3 3区3号掘立柱建物4柱穴全景(南から)



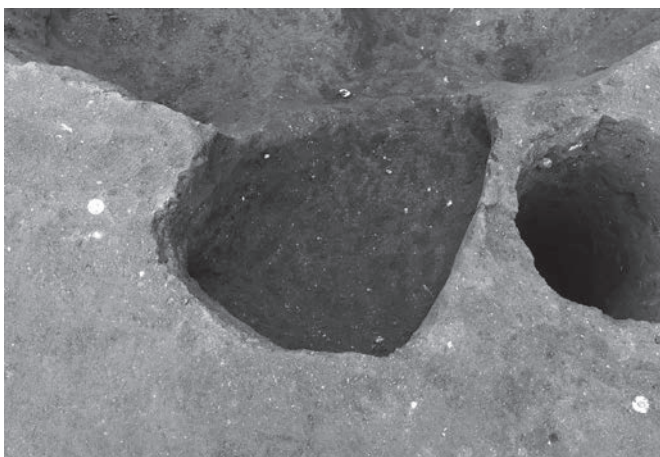
4 3区3号掘立柱建物5柱穴全景(南から)



5 3区3号掘立柱建物6柱穴全景(西から)



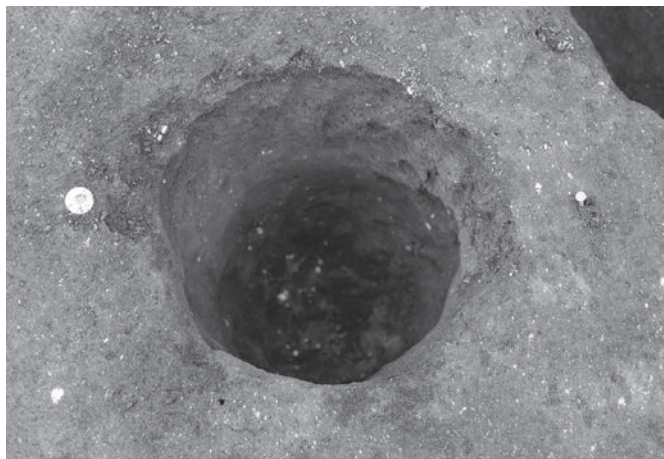
6 3区3号掘立柱建物7柱穴遺物出土状態(西から)



7 3区3号掘立柱建物7柱穴全景(西から)



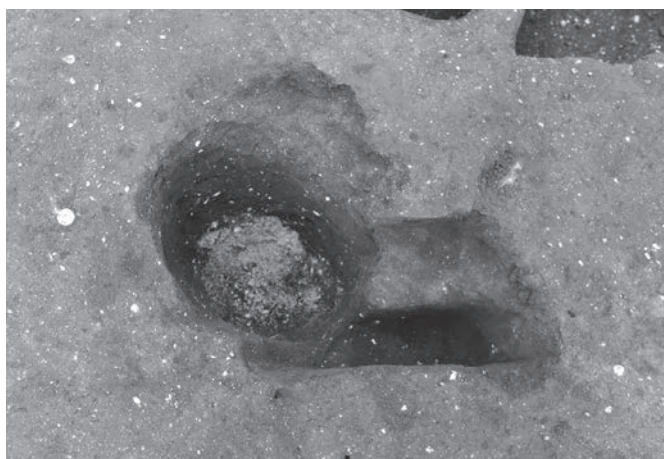
8 3区3号掘立柱建物8柱穴遺物出土状態(南から)



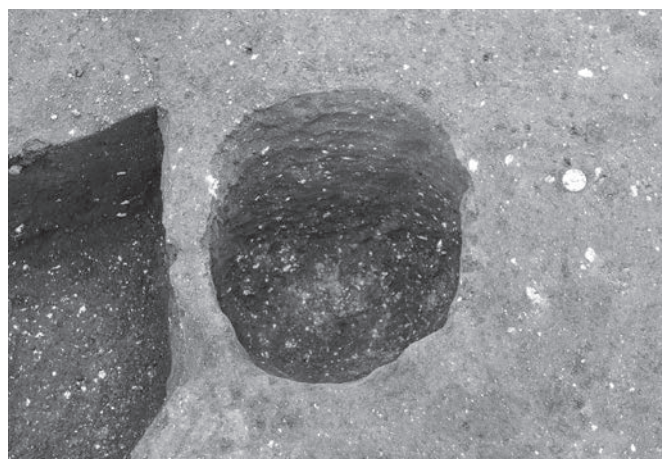
1 3区3号掘立柱建物8柱穴全景(南から)



2 3区3号掘立柱建物9柱穴全景(南から)



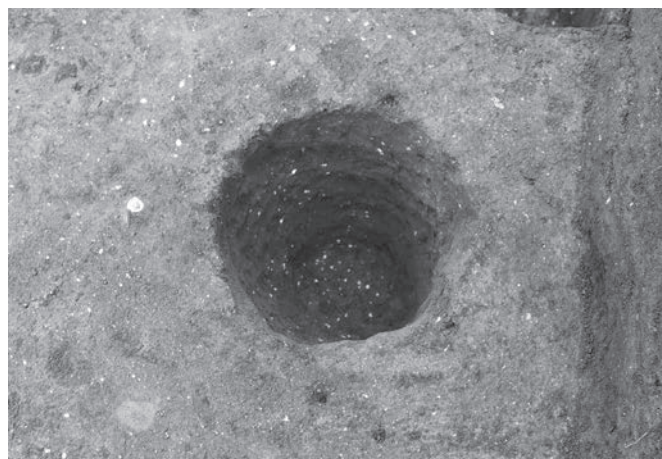
3 3区3号掘立柱建物10柱穴全景(北から)



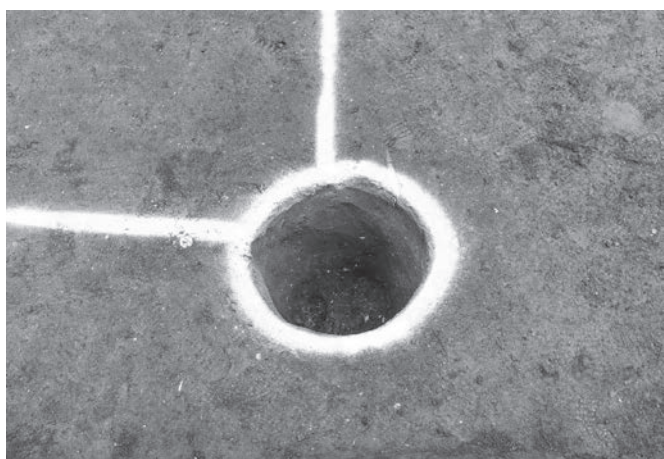
4 3区3号掘立柱建物11柱穴全景(南から)



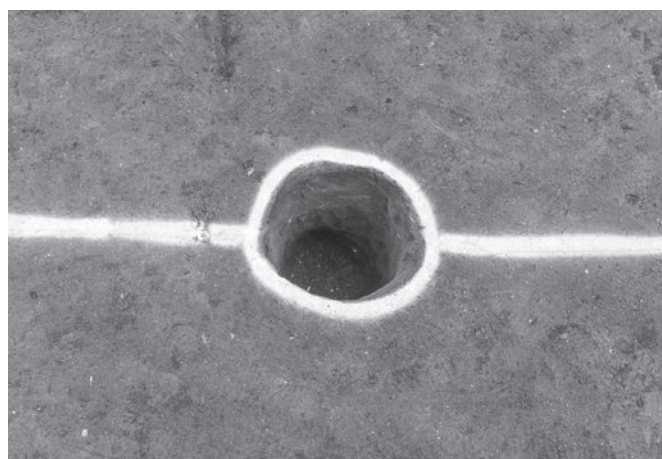
5 3区3号掘立柱建物12柱穴セクション(北から)



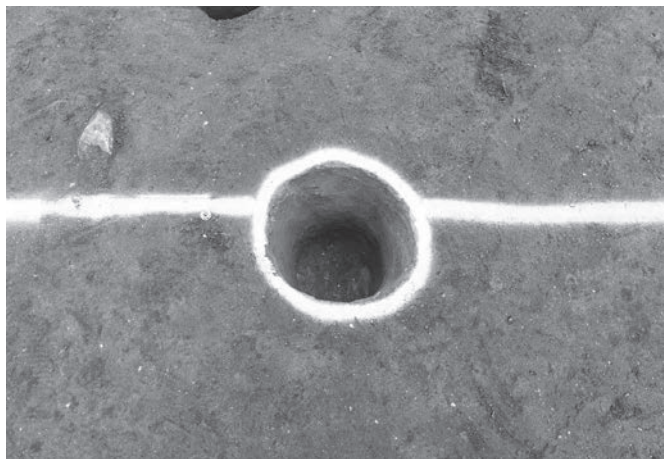
6 3区3号掘立柱建物13柱穴全景(西から)



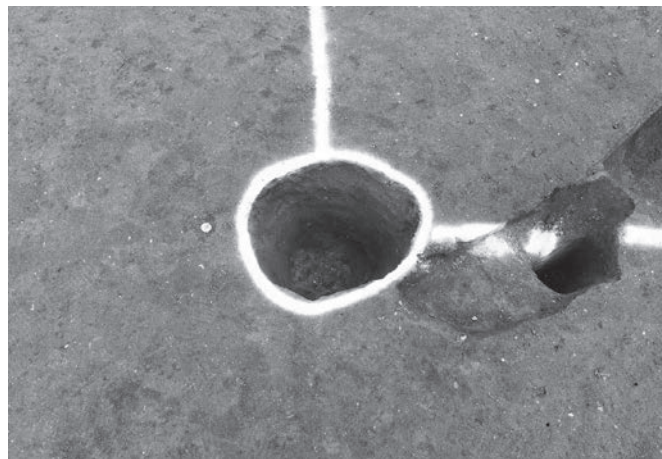
7 3区3号掘立柱建物14柱穴全景(南から)



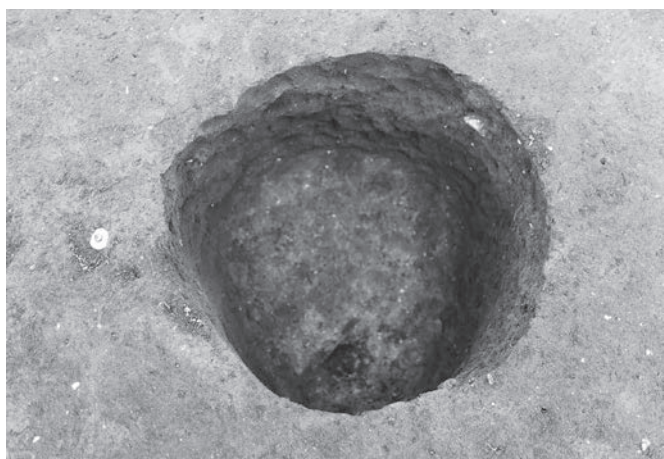
8 3区3号掘立柱建物15柱穴全景(南から)



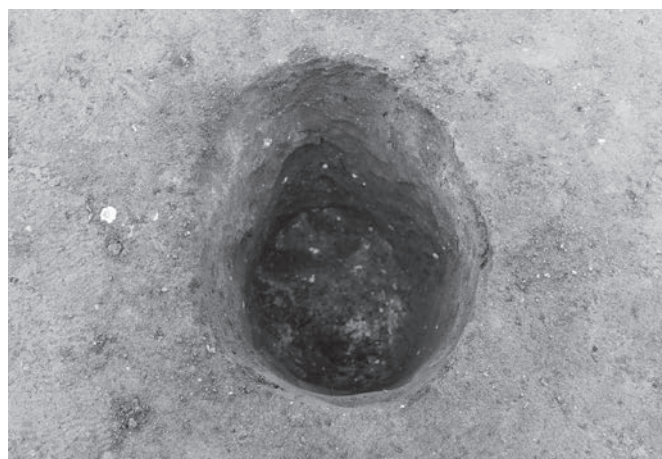
1 3区3号掘立柱建物16柱穴全景(南から)



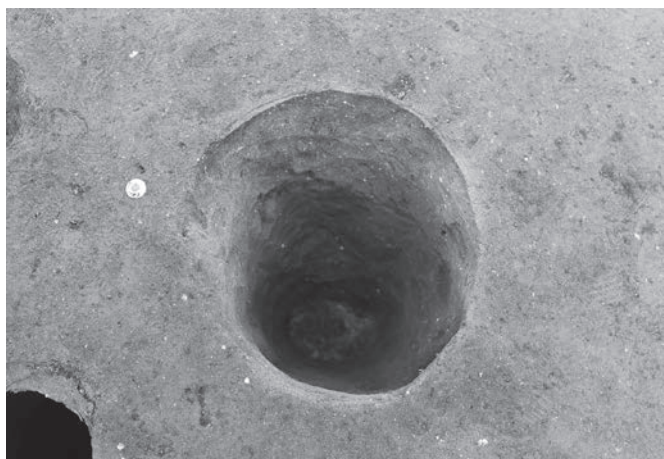
2 3区3号掘立柱建物18柱穴全景(南から)



3 3区3号掘立柱建物19柱穴全景(南から)



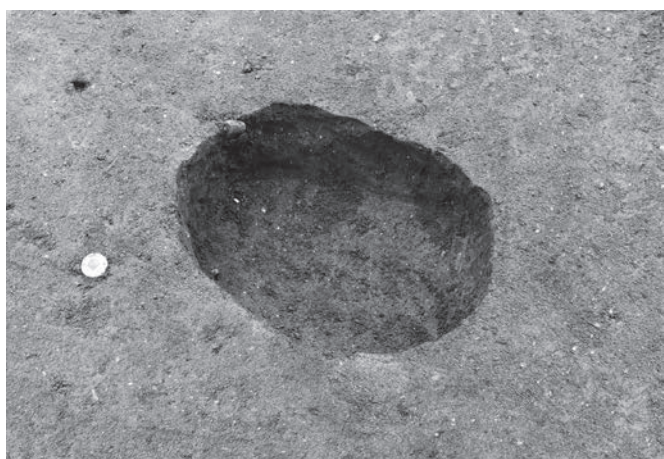
4 3区3号掘立柱建物20柱穴全景(南から)



5 3区3号掘立柱建物21柱穴全景(南から)



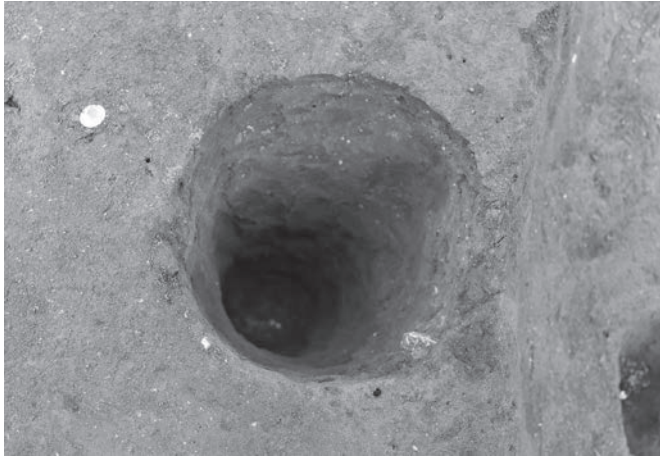
6 3区3号掘立柱建物22柱穴全景(南から)



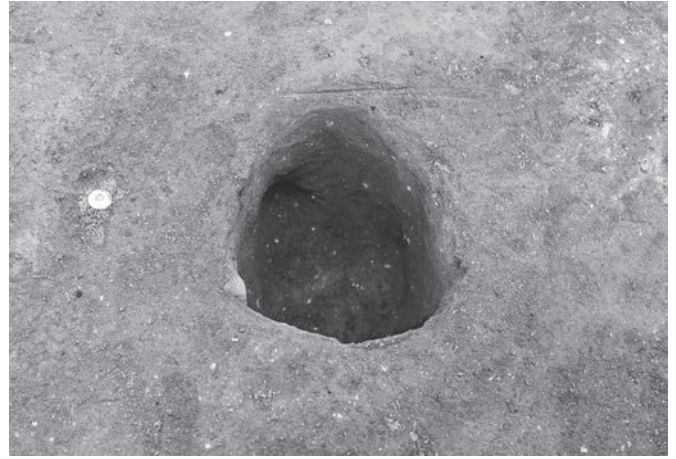
7 3区3号掘立柱建物23柱穴全景(南から)



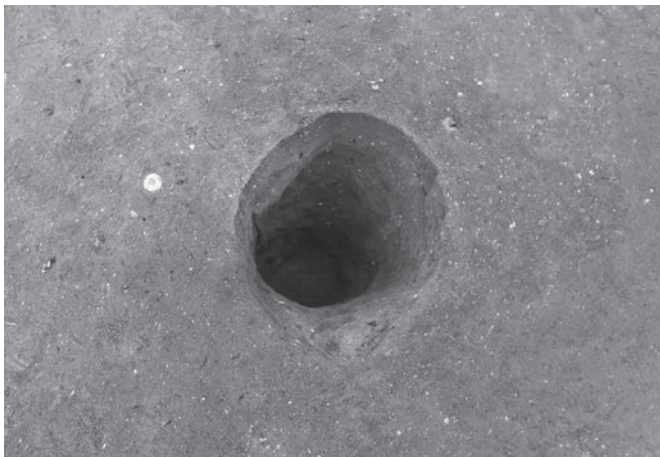
8 3区3号掘立柱建物24柱穴全景(東から)



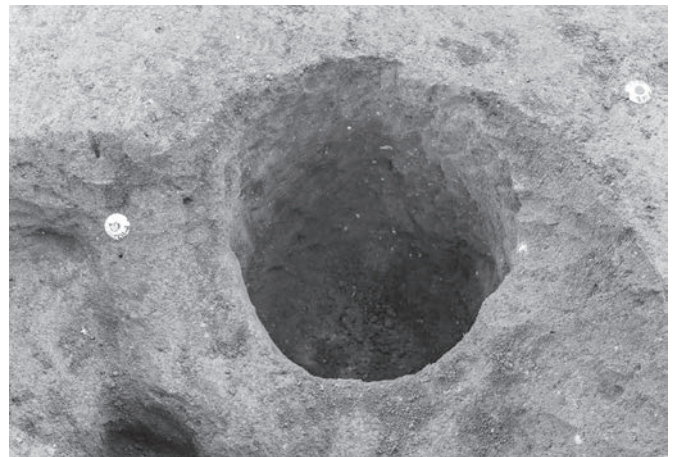
1 3区3号掘立柱建物25柱穴全景(南から)



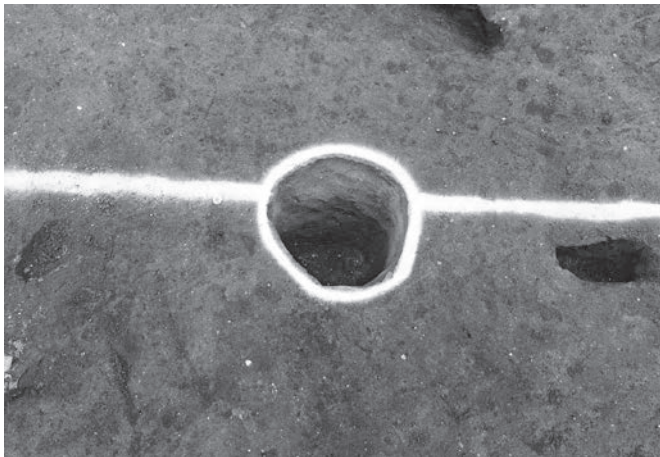
2 3区3号掘立柱建物26柱穴全景(南から)



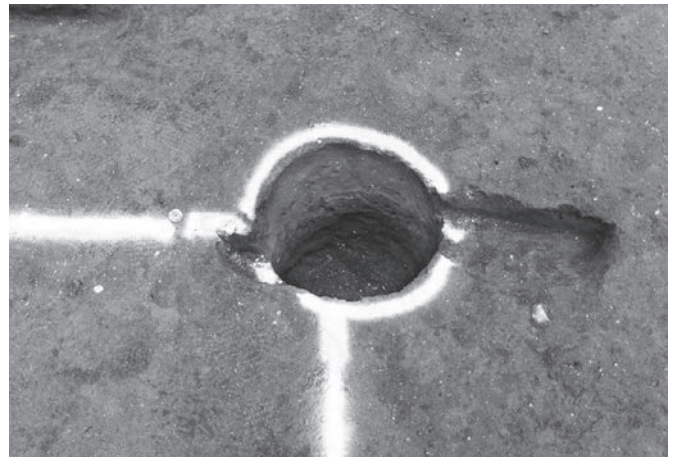
3 3区3号掘立柱建物27柱穴全景(南から)



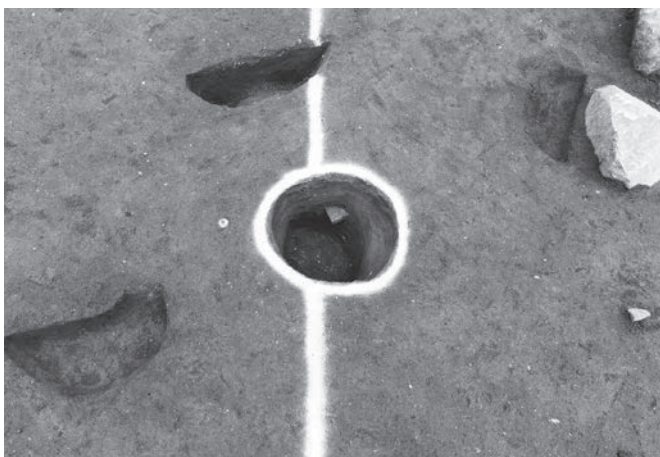
4 3区3号掘立柱建物30柱穴全景(南から)



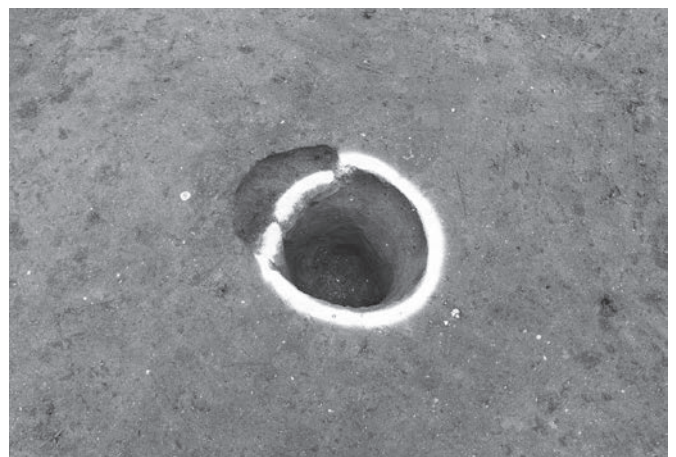
5 3区3号掘立柱建物31柱穴全景(南から)



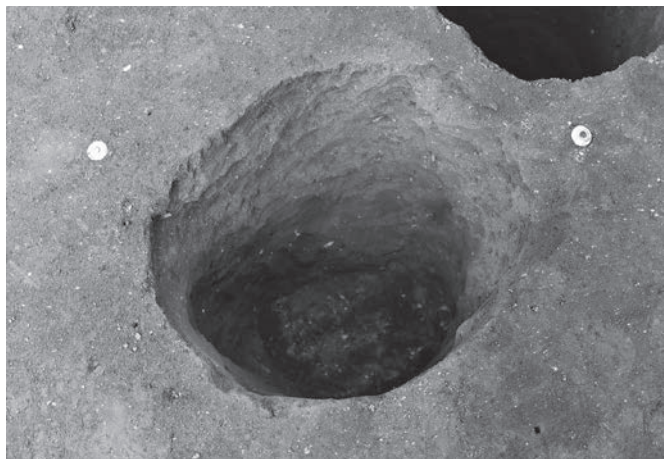
6 3区3号掘立柱建物32柱穴全景(南から)



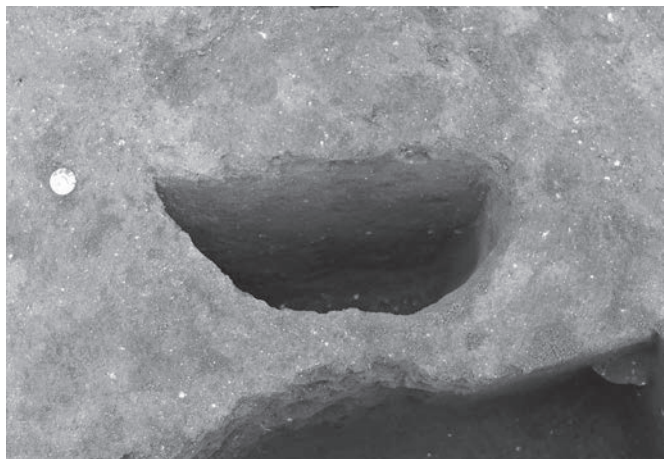
7 3区3号掘立柱建物33柱穴全景(南から)



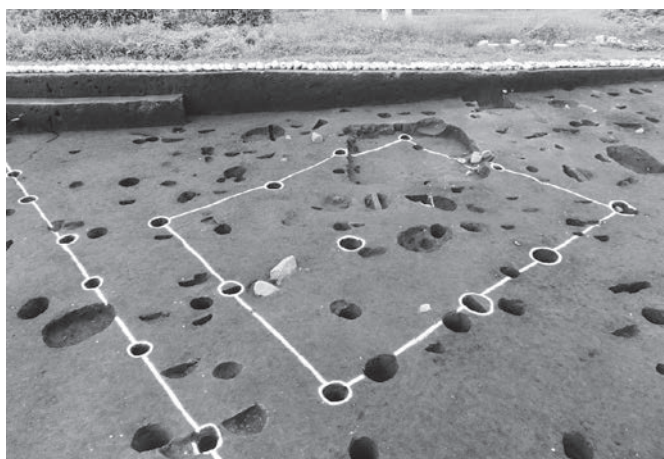
8 3区3号掘立柱建物34柱穴全景(南から)



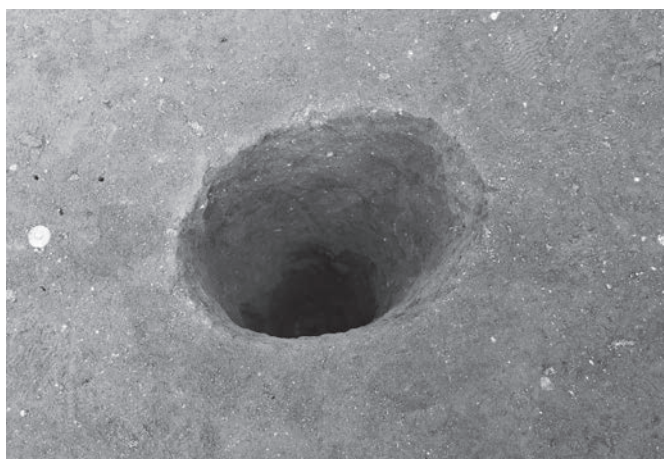
1 3区3号掘立柱建物35柱穴全景(西から)



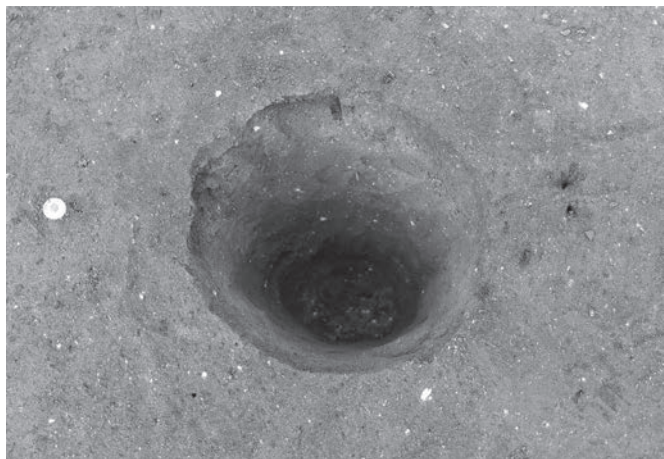
2 3区3号掘立柱建物36柱穴全景(北から)



3 3区4号掘立柱建物・1柵全景(南西から)



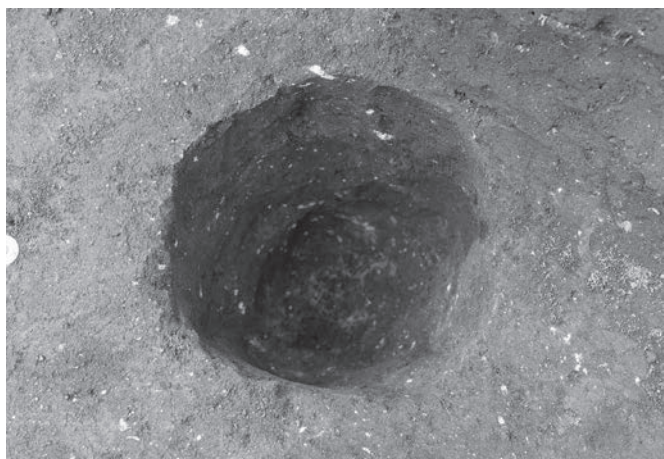
4 3区4号掘立柱建物1柱穴全景(東から)



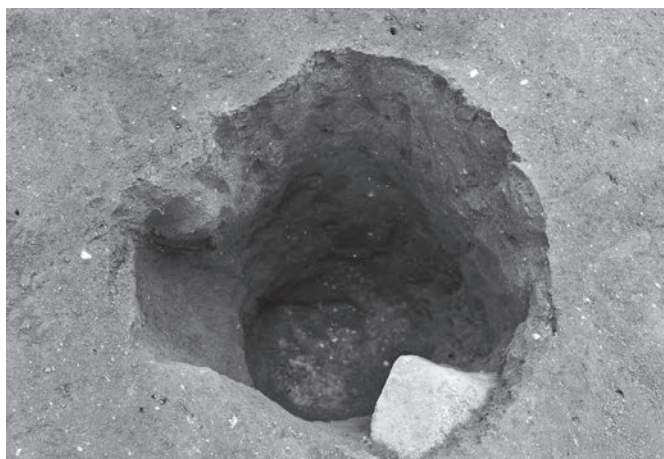
5 3区4号掘立柱建物2柱穴全景(南から)



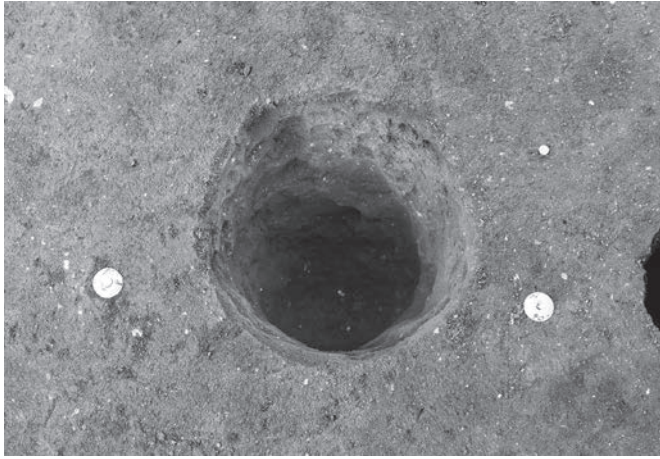
6 3区4号掘立柱建物3柱穴全景(南から)



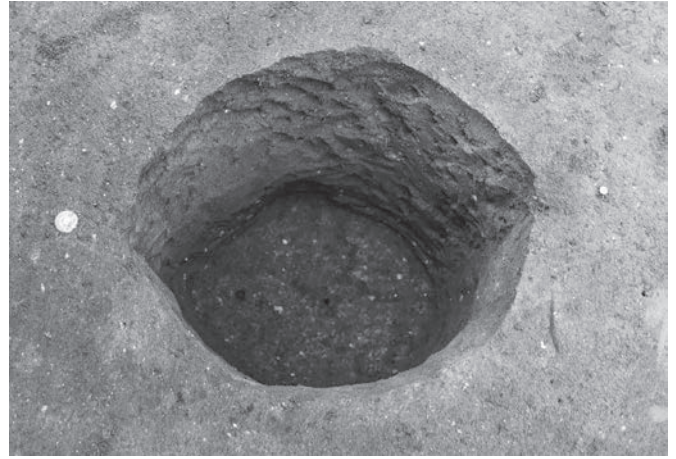
7 3区4号掘立柱建物4柱穴全景(南から)



8 3区4号掘立柱建物5柱穴全景(東から)



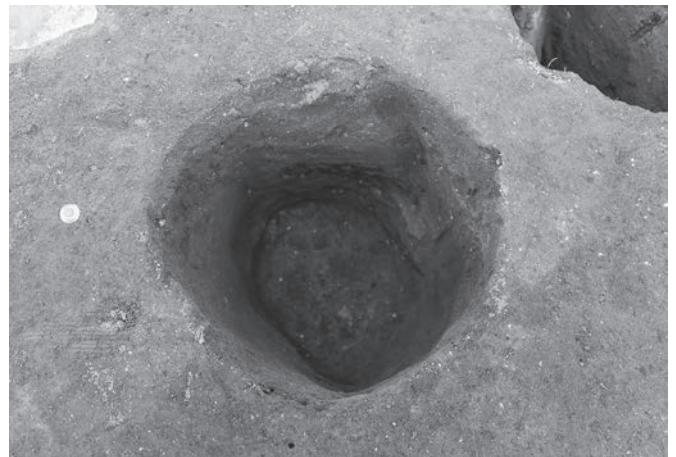
1 3区4号掘立柱建物6柱穴全景(南から)



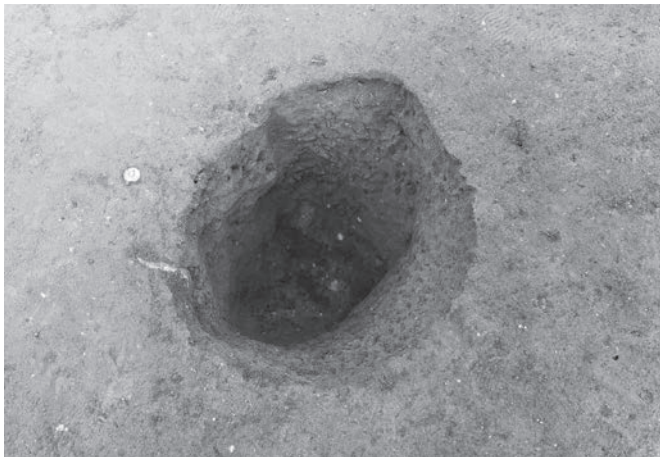
2 3区4号掘立柱建物7柱穴全景(南から)



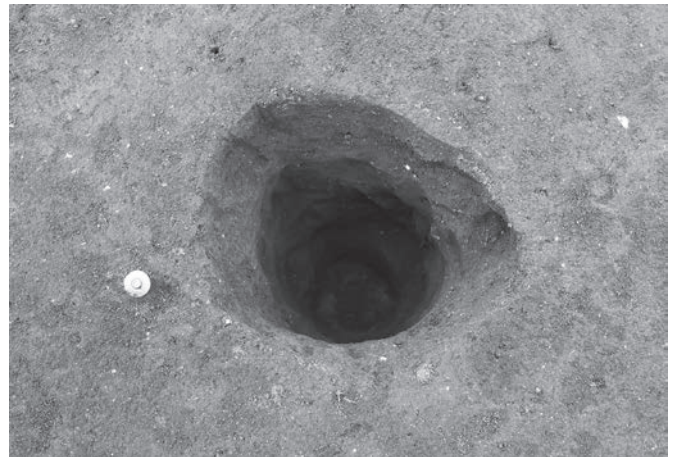
3 3区4号掘立柱建物8柱穴全景(南から)



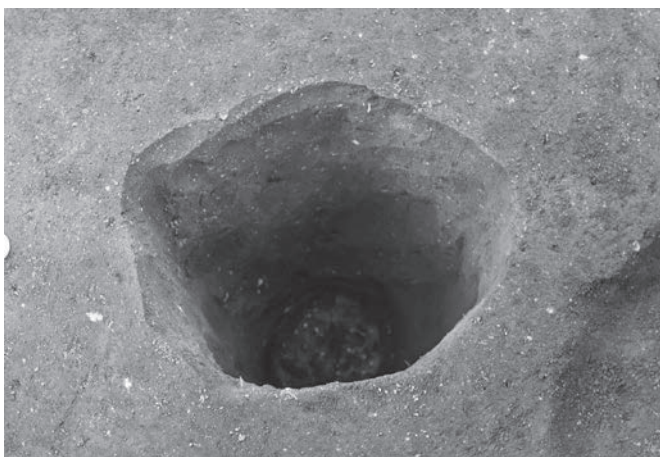
4 3区4号掘立柱建物10柱穴全景(南から)



5 3区4号掘立柱建物11柱穴全景(南から)



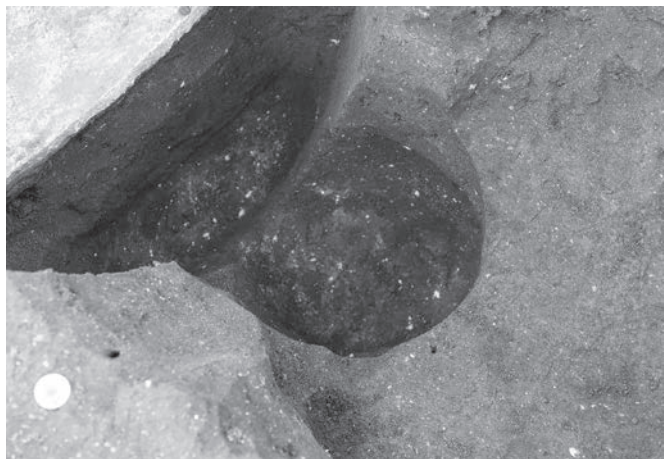
6 3区4号掘立柱建物12柱穴全景(南から)



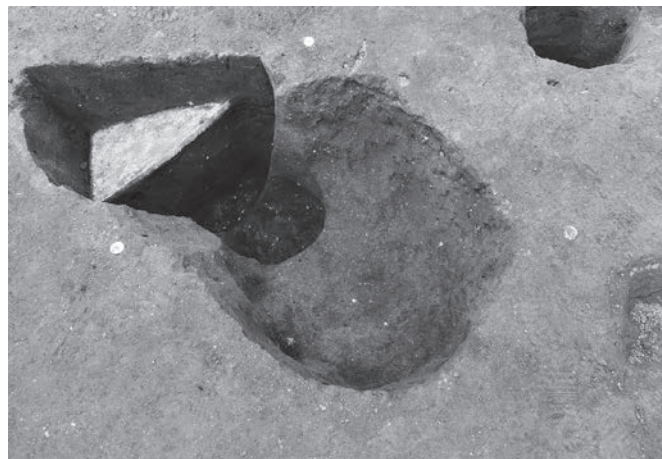
7 3区4号掘立柱建物13柱穴全景(南から)



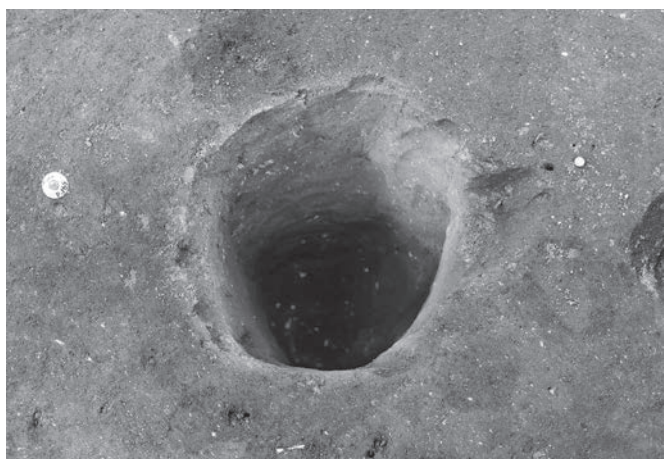
8 3区4号掘立柱建物14柱穴全景(南から)



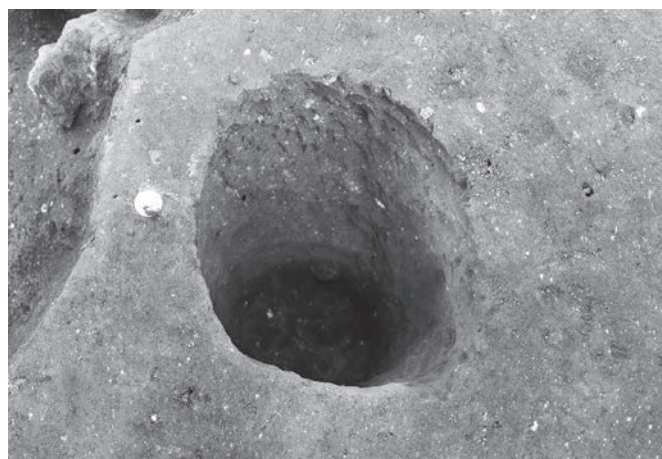
1 3区4号掘立柱建物15柱穴全景(南から)



2 3区4号掘立柱建物16柱穴全景(南から)



3 3区4号掘立柱建物17柱穴全景(南から)



4 3区4号掘立柱建物18柱穴全景(南から)



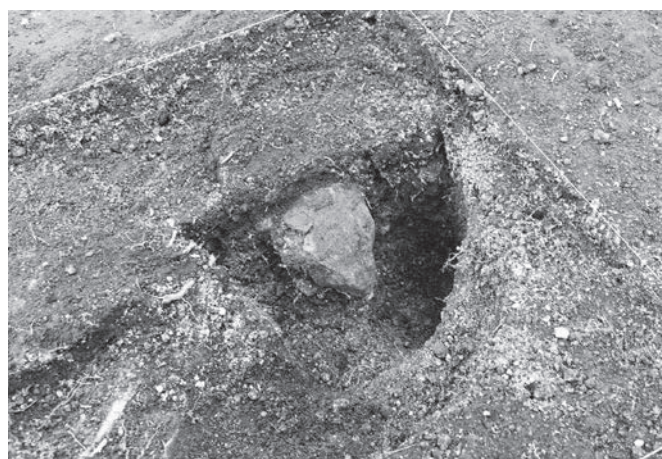
5 5区5号掘立柱建物全景(南から)



6 5区5号掘立柱建物全景(北から)



7 5区5号掘立柱建物1柱穴セクション(南から)



8 5区5号掘立柱建物2柱穴セクション(南から)



1 5区5号掘立柱建物3柱穴全景(南から)



2 5区5号掘立柱建物4柱穴全景(南から)



3 5区5号掘立柱建物5柱穴全景(南から)



4 5区5号掘立柱建物6柱穴全景(南から)



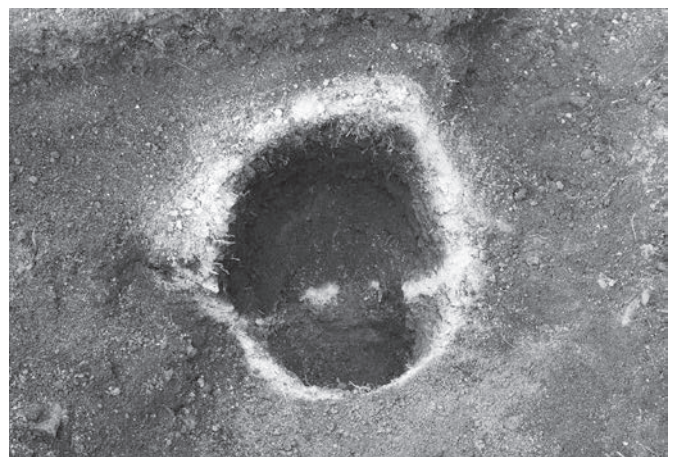
5 5区5号掘立柱建物7柱穴全景(南から)



6 5区5号掘立柱建物8柱穴全景(南から)



7 5区5号掘立柱建物9柱穴全景(南から)



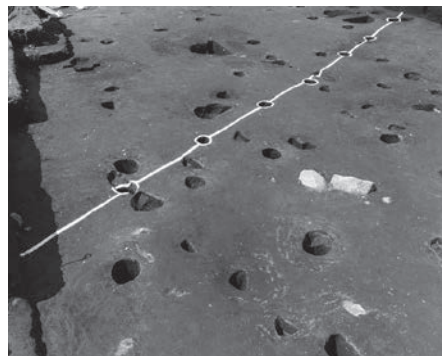
8 5区5号掘立柱建物10柱穴全景(南から)



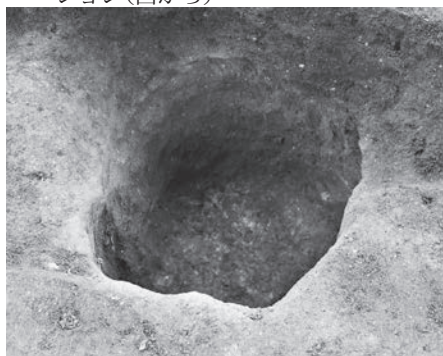
1 5区5号掘立柱建物周溝中テラスセクション(西から)



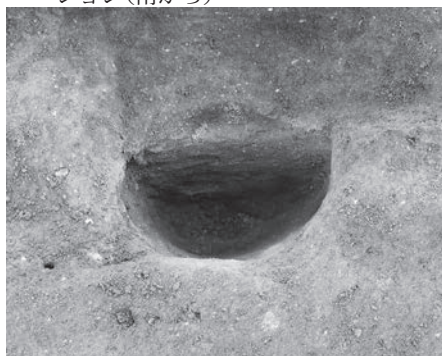
2 5区5号掘立柱建物周溝中テラスセクション(南から)



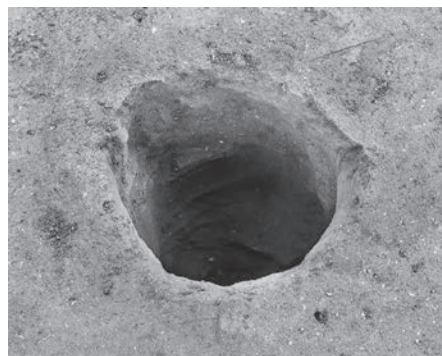
3 5区1号柵全景(東から)



4 5区1号柵1全景(南から)



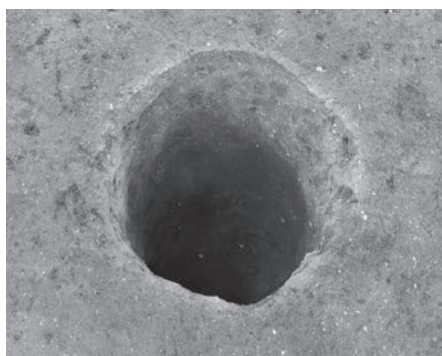
5 5区1号柵1セクション(南から)



6 5区1号柵2全景(南から)



7 5区1号柵2セクション(西から)



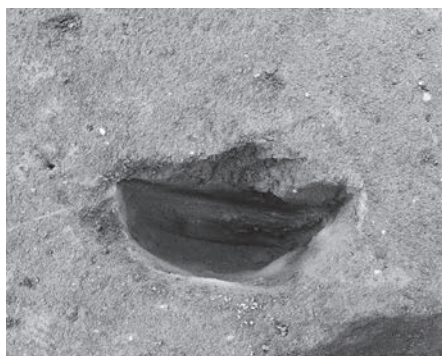
8 5区1号柵4全景(西から)



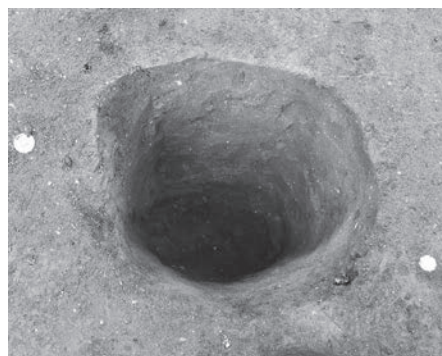
9 5区1号柵5全景(東から)



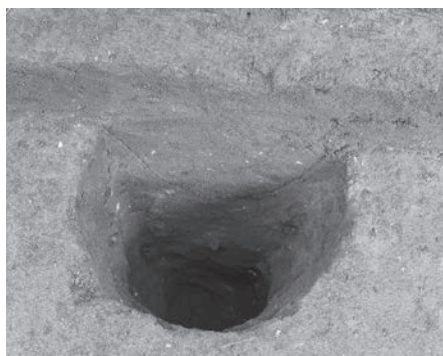
10 5区1号柵6全景(東から)



11 5区1号柵7セクション(東から)



12 5区1号柵7全景(東から)



13 5区1号柵8全景(南から)



14 2区1号集石全景(北から)



15 4区1号道全景(北から)



1 4区1号道全景(南から)



2 1区1号土坑全景(南から)



3 3区2・3号土坑掘り方(北から)



4 3区2号土坑全景(北から)



5 3区3号土坑全景(北から)



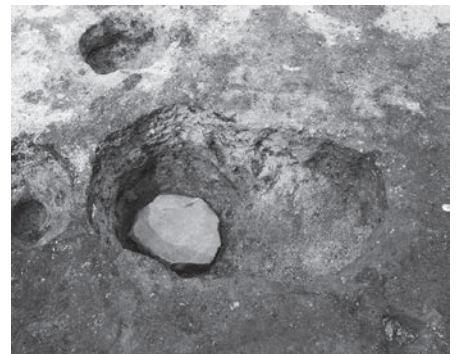
6 3区3号土坑遺物出土状態(北から)



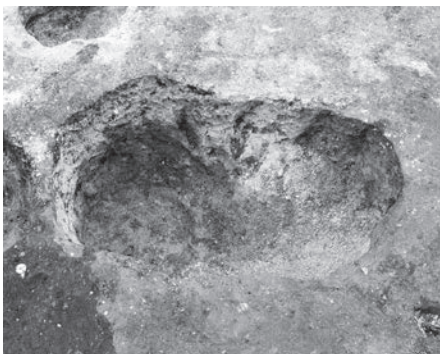
7 3区3号土坑南壁セクション(北から)



8 3区4号土坑全景(北から)



9 3区5号土坑遺物出土状態(南から)



10 3区5号土坑全景(南から)



11 3区6号土坑全景(南から)



12 3区7号土坑(墓壙)遺物出土状態(南から)



13 3区7号土坑(墓壙)全景(南から)



14 3区8号土坑全景(南から)



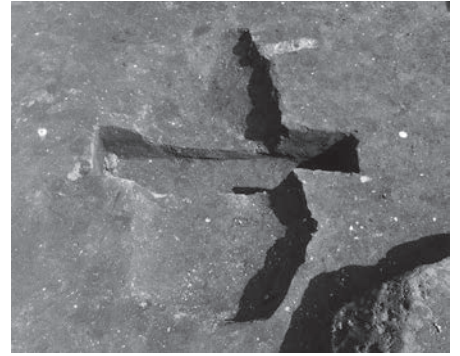
15 3区10号土坑全景(南から)



1 3区9・10号土坑全景(南から)



2 3区11号土坑全景(南から)



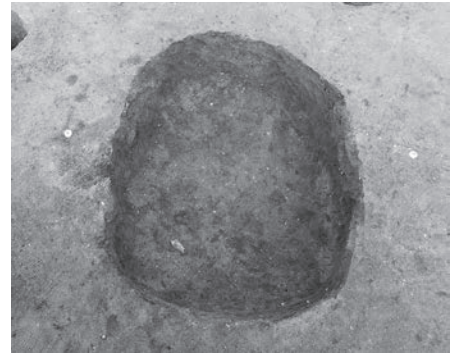
3 3区12号土坑全景(西から)



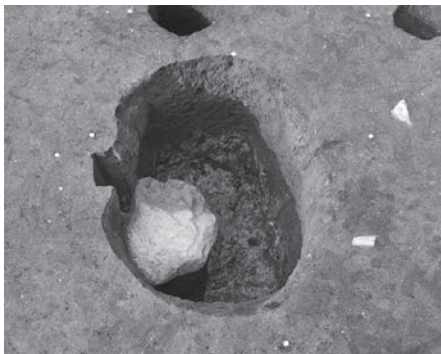
4 3区13号土坑全景(西から)



5 3区14号土坑全景(南から)



6 3区15号土坑全景(南から)



7 3区16号土坑全景(南から)



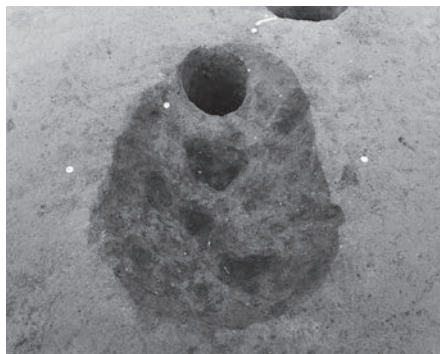
8 3区17号土坑出土遺物(西から)



9 3区17号土坑遺物出土状態(西から)



10 3区17号土坑全景(西から)



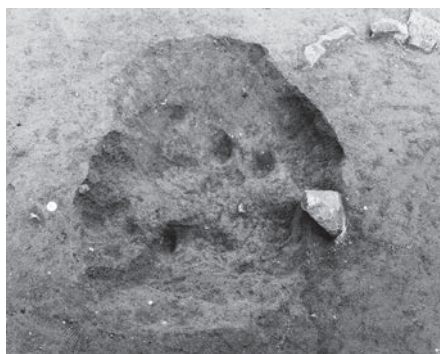
11 3区18号土坑全景(西から)



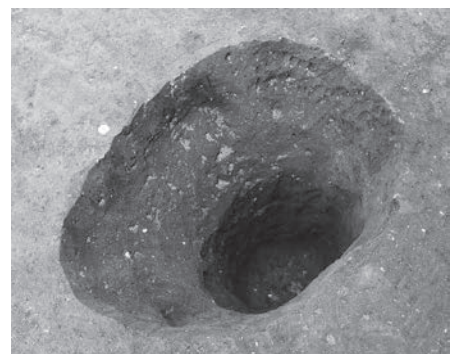
12 3区19号土坑全景(南から)



13 3区20号土坑全景(南から)



14 3区21号土坑全景(西から)



15 3区22号土坑全景(南から)



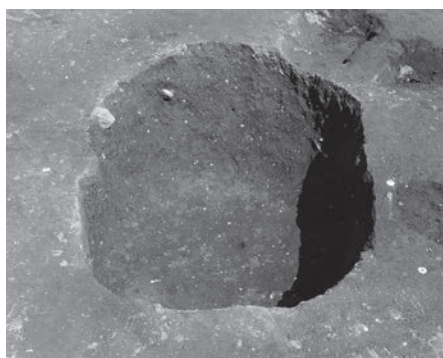
1 3区23号土坑全景(南から)



2 3区24号土坑全景(南から)



3 3区25号土坑全景(南から)



4 3区26号土坑全景(南から)



5 3区27号土坑セクション(南から)



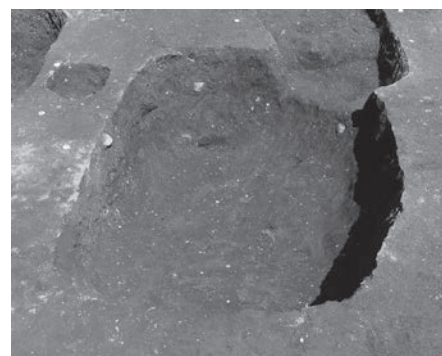
6 3区28号土坑全景(南から)



7 3区29号土坑全景(南から)



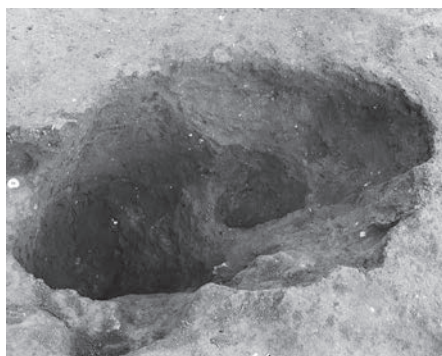
8 3区30号土坑全景(南から)



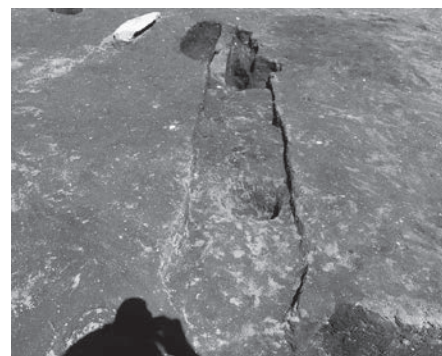
9 3区31号土坑全景(南から)



10 3区32号土坑全景(東から)



11 3区33号土坑全景(東から)



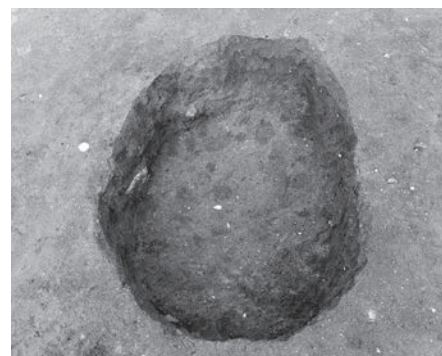
12 3区33・34号土坑全景(南から)



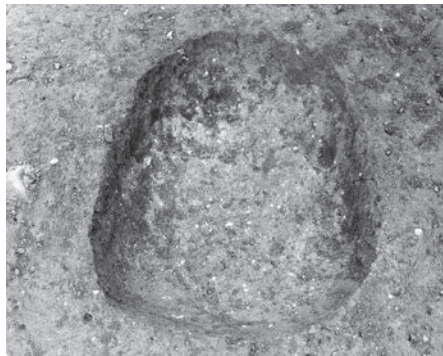
13 3区35号土坑全景(東から)



14 3区36号土坑全景(東から)



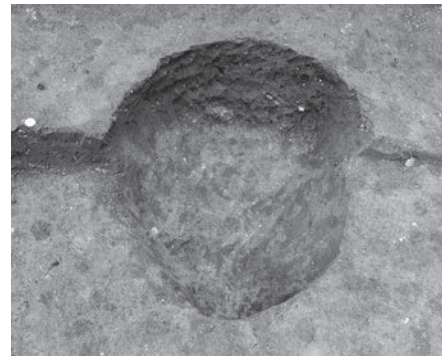
15 3区37号土坑全景(南から)



1 3区38号土坑全景(西から)



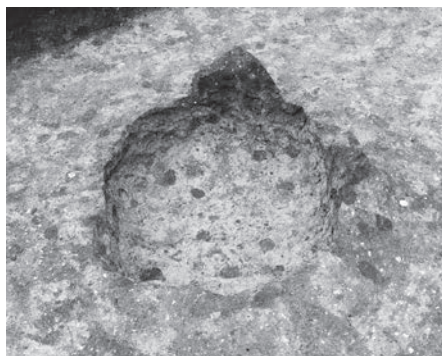
2 3区39号土坑全景(南から)



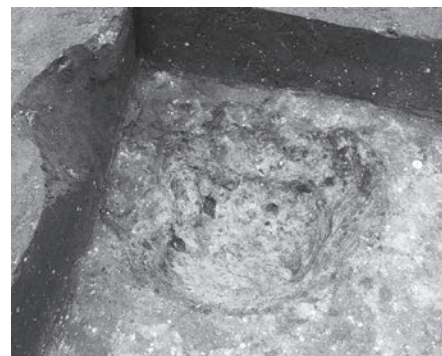
3 3区40号土坑全景(南から)



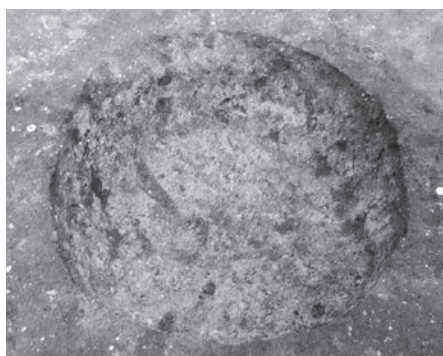
4 3区41号土坑全景(南から)



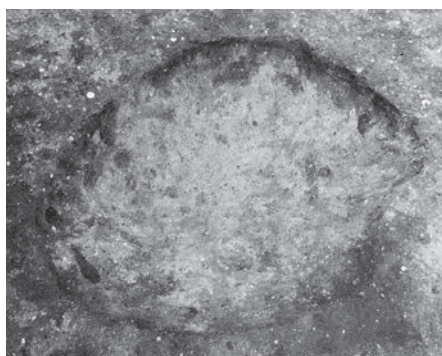
5 3区42号土坑全景(南東から)



6 3区43号土坑全景(東から)



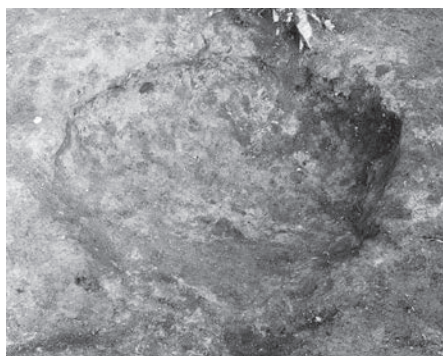
7 3区44号土坑全景(南西から)



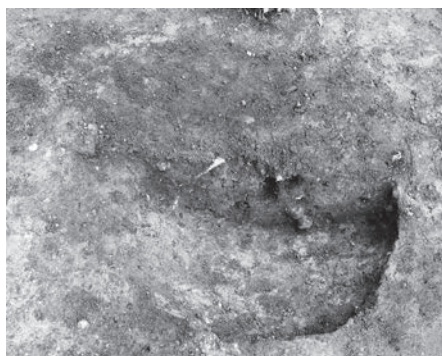
8 3区45号土坑全景(東から)



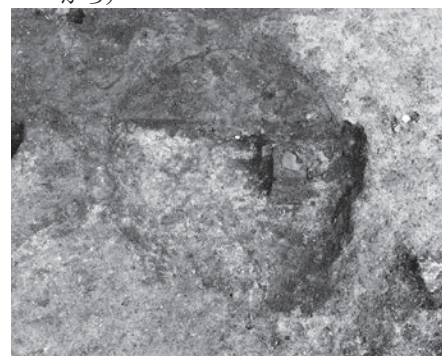
9 4区46・47・48・49号土坑全景(北西から)



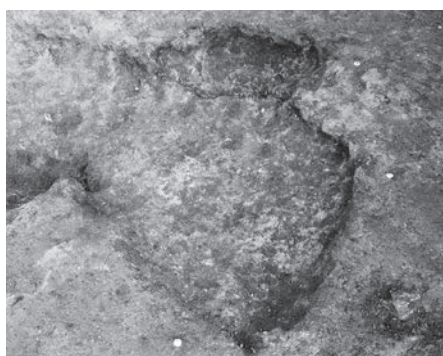
10 4区46号土坑全景(西から)



11 4区46号土坑セクション(西から)



12 4区47号土坑セクション(西から)



13 4区48・49号土坑全景(北から)



14 4区50号土坑全景(南から)



15 4区51号土坑(墓壙)全景(東から)



1 4区51号土坑(墓壙)全景(北から)



2 4区51号土坑(墓壙)出土人骨(東から)



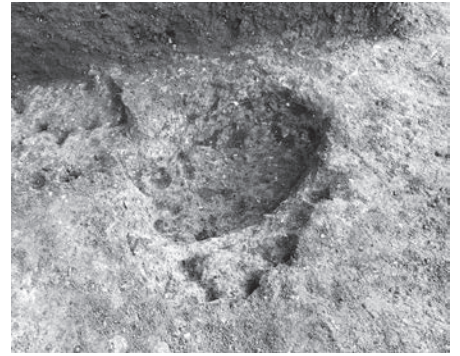
3 4区51号土坑(墓壙)出土人骨(北から)



4 4区51号土坑(墓壙)出土人骨(北から)



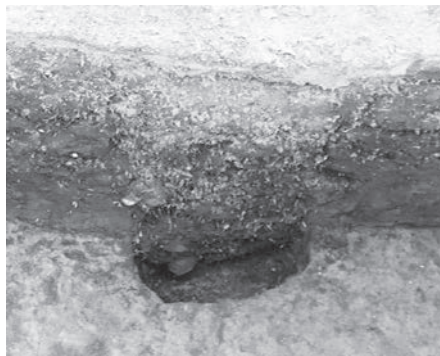
5 4区52号土坑全景(北から)



6 4区53号土坑全景(北から)



7 4区54号土坑全景(南から)



8 4区55号土坑セクション(西から)



9 4区55号土坑セクション上面(西から)



10 5区2号集石全景(南西から)



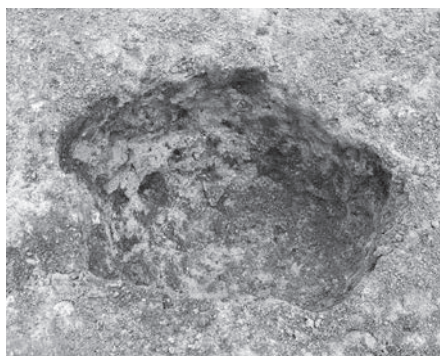
11 5区2号集石全景(南西から)



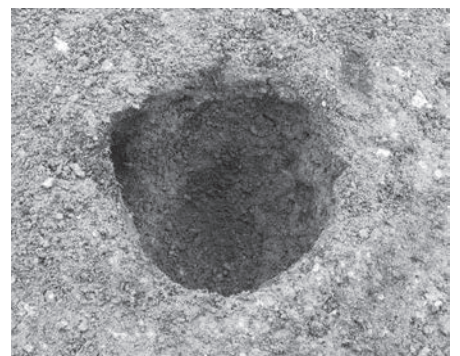
12 5区2号集石墓石(南西から)



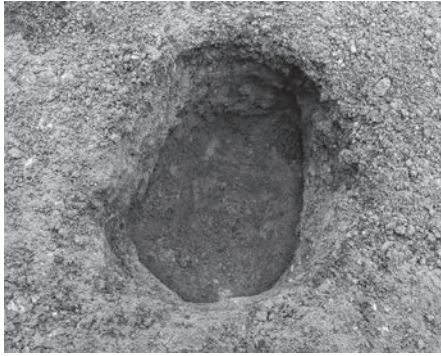
13 5区3号集石全景(南西から)



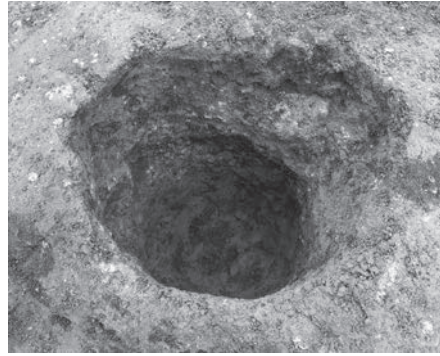
14 1区P 1全景(南から)



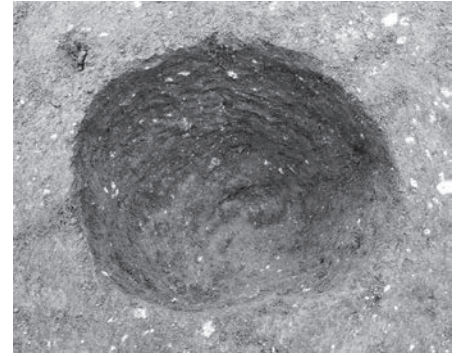
15 1区P 2全景(南から)



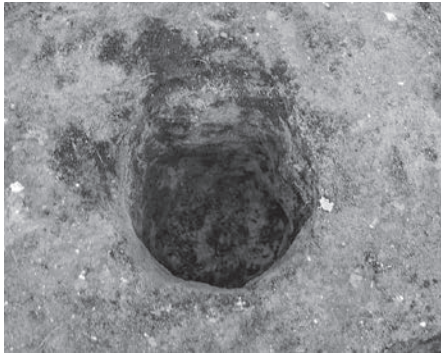
1 1区P 3全景(南から)



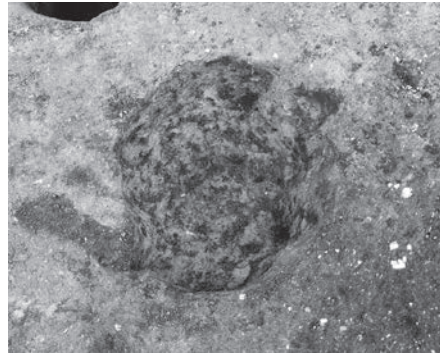
2 1区P 4全景(南から)



3 1区P 5全景(南から)



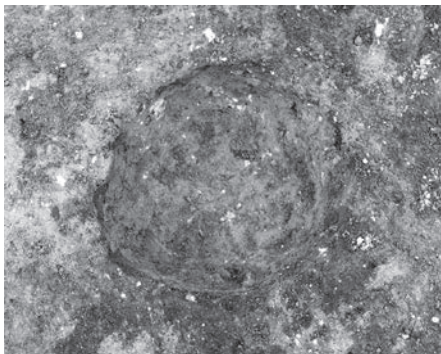
4 1区P 6全景(南から)



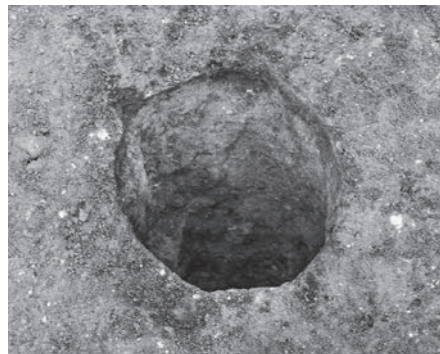
5 1区P 7全景(南から)



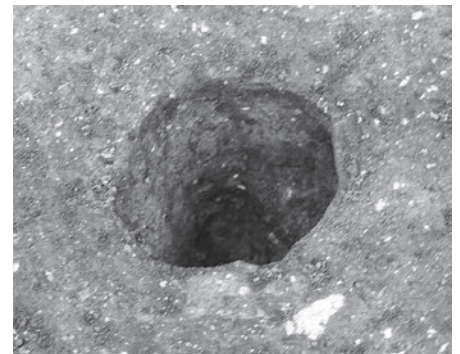
6 1区P 8全景(南から)



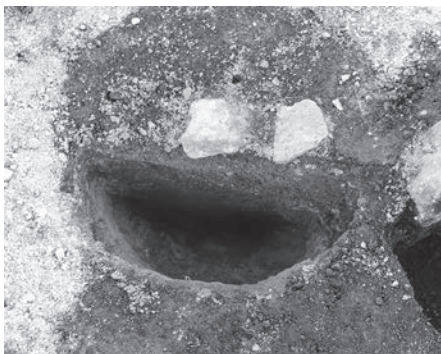
7 1区P 9全景(南から)



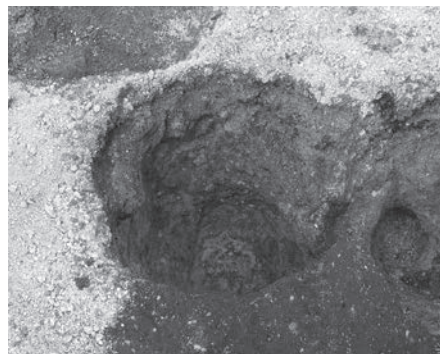
8 1区P 10全景(南から)



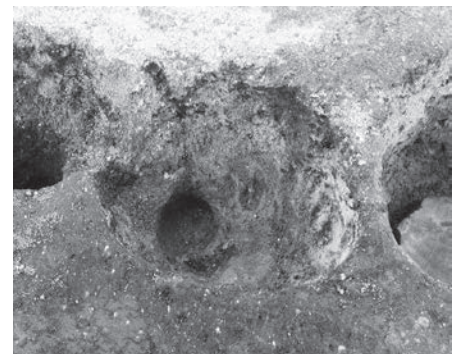
9 1区P 11全景(南から)



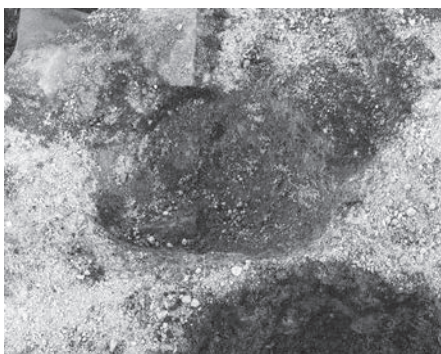
10 2区P 12セクションA-A'(南から)



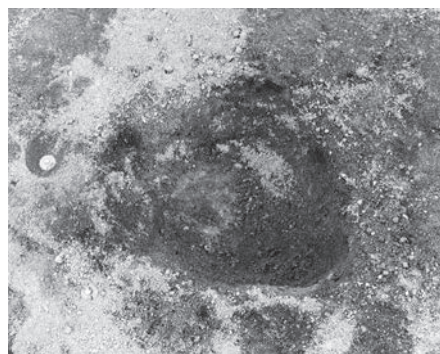
11 2区P 12全景(南西から)



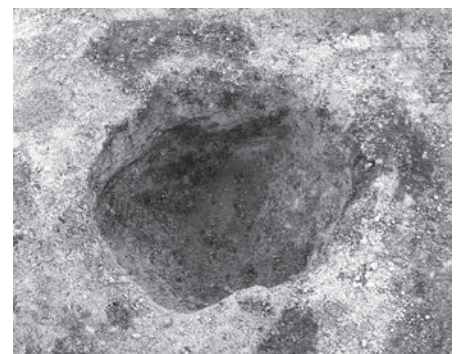
12 2区P 54全景(南西から)



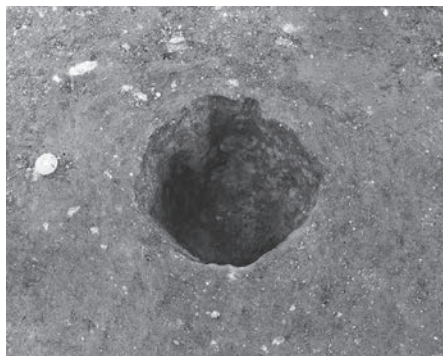
13 2区P 13全景(南から)



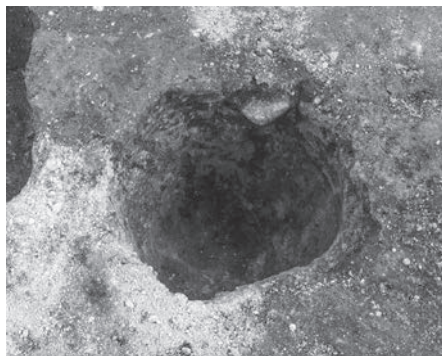
14 2区P 14全景(南西から)



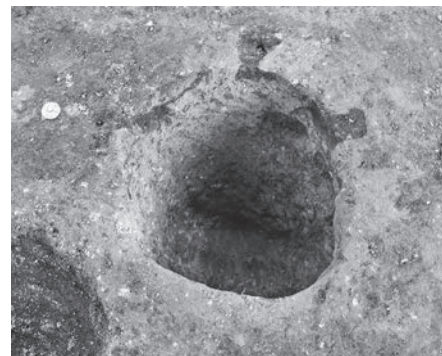
15 2区P 15全景(南から)



1 2区P16全景(南西から)



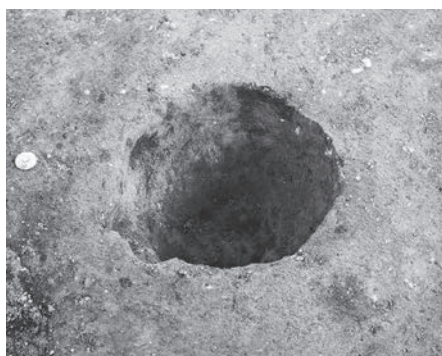
2 2区P18全景(南西から)



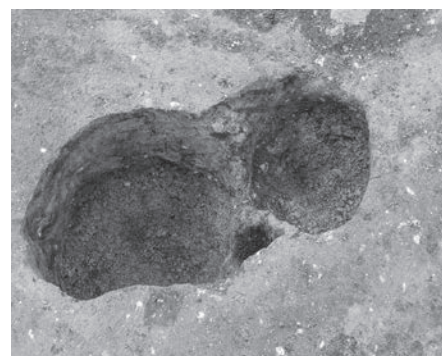
3 2区P20全景(南から)



4 2区P22全景(南から)



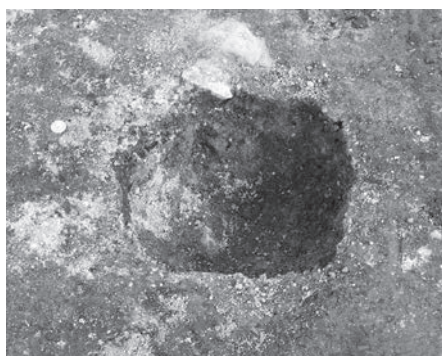
5 2区P23全景(南から)



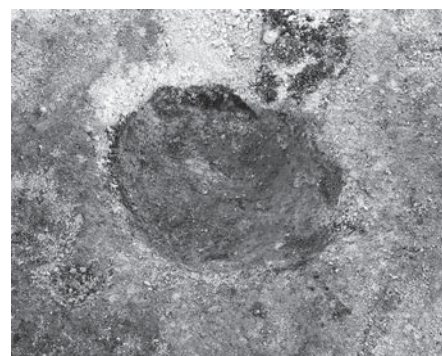
6 2区P24・25全景(南から)



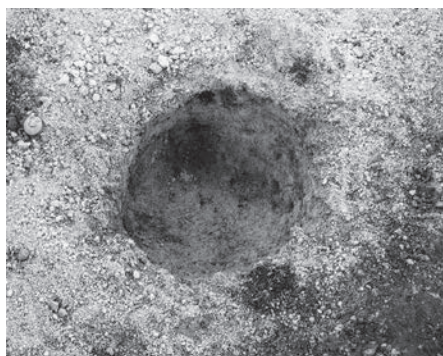
7 2区P26全景(南から)



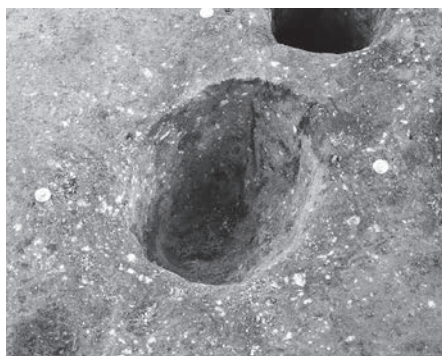
8 2区P27全景(南から)



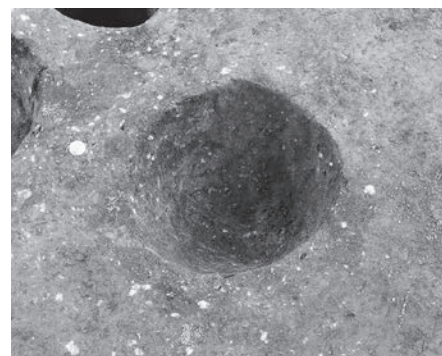
9 2区P28全景(南から)



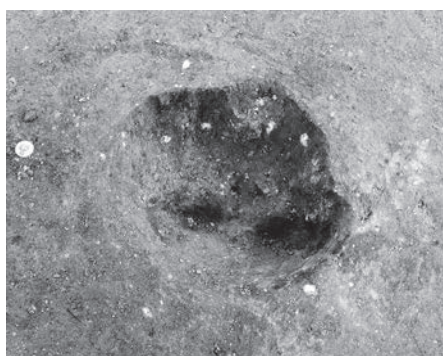
10 2区P29全景(南から)



11 2区P30全景(南から)



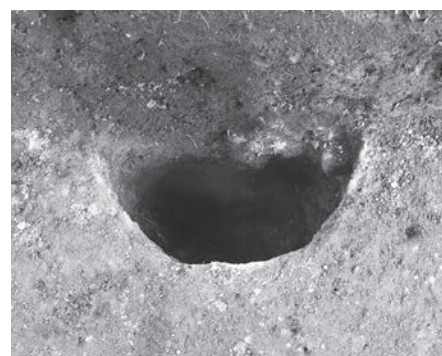
12 2区P31全景(南西から)



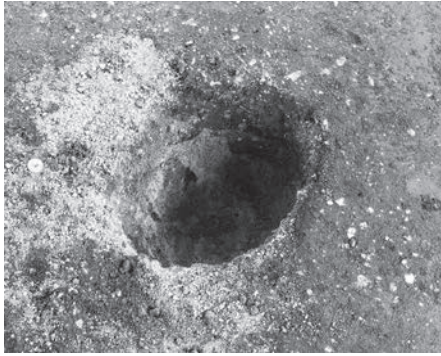
13 2区P33全景(南西から)



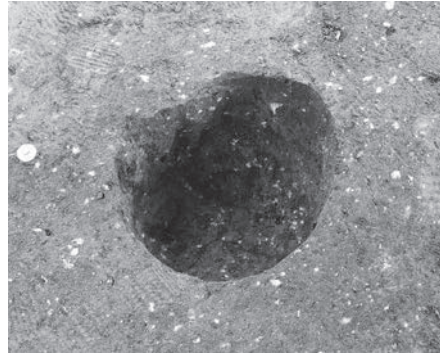
14 2区P34・35全景(南から)



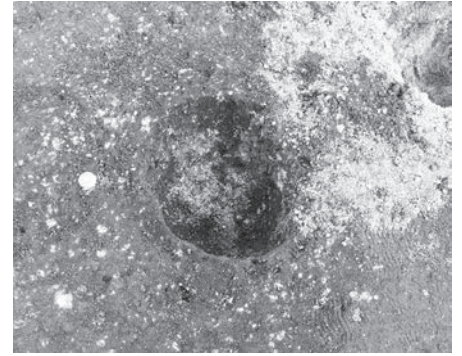
15 2区P36全景(南から)



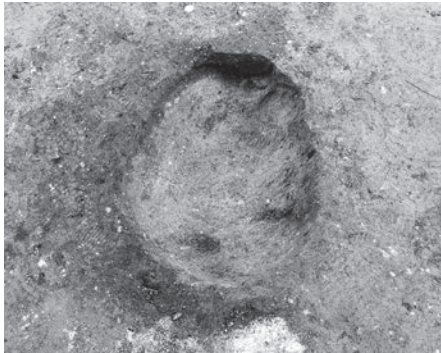
1 2区P37全景(南から)



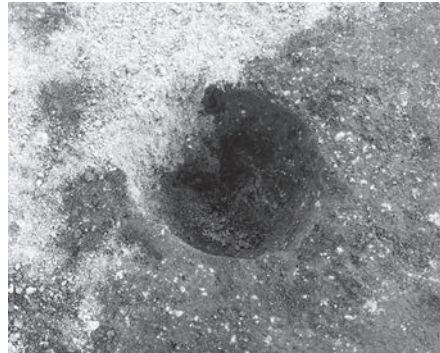
2 2区P38全景(南から)



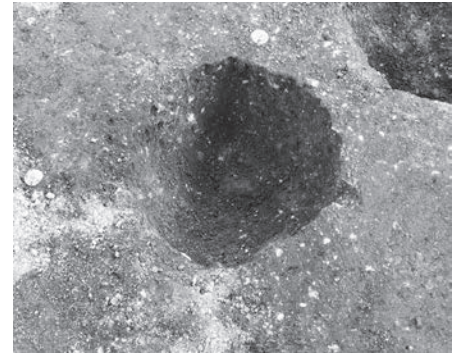
3 2区P39全景(南から)



4 2区P40全景(南から)



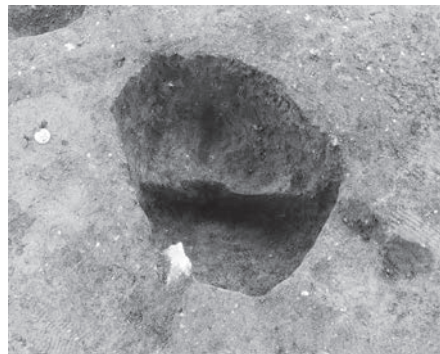
5 2区P41全景(南から)



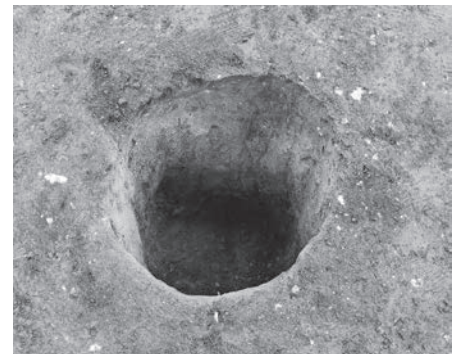
6 2区P42全景(南から)



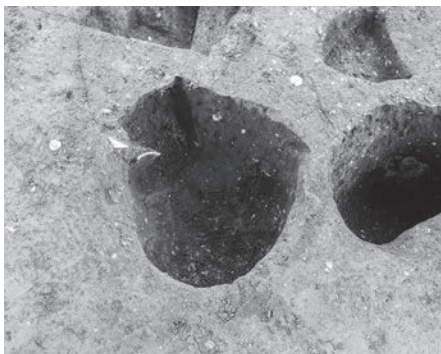
7 2区P44全景(南から)



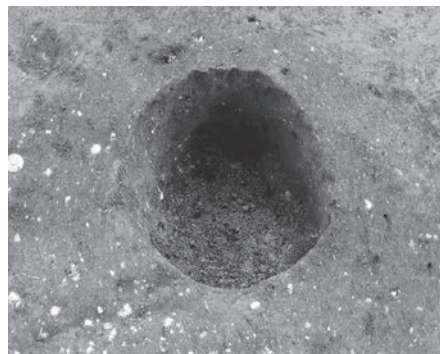
8 2区P46全景(南西から)



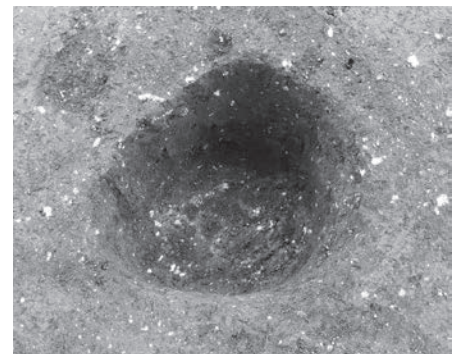
9 2区P47全景(南西から)



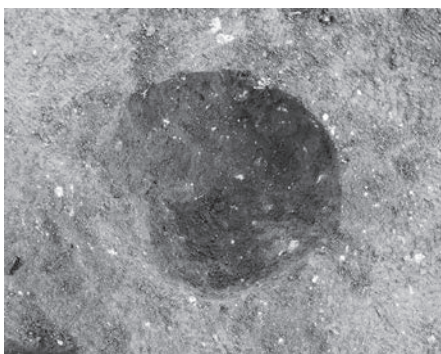
10 2区P48・49全景(南から)



11 2区P50全景(南西から)



12 2区P51全景(南西から)



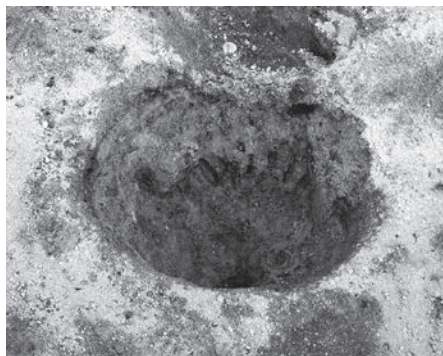
13 2区P52全景(南西から)



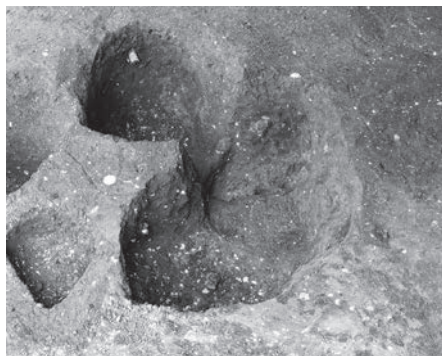
14 2区P53セクション(南から)



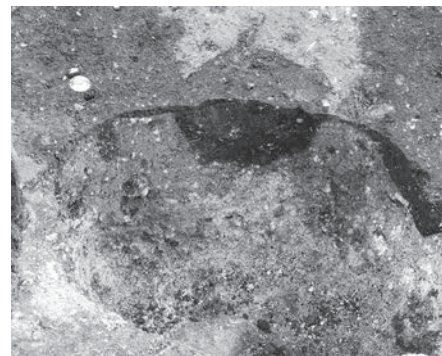
15 2区P55遺物出土状態(南西から)



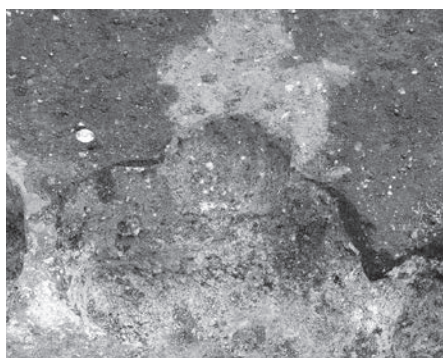
1 2区P55全景(南から)



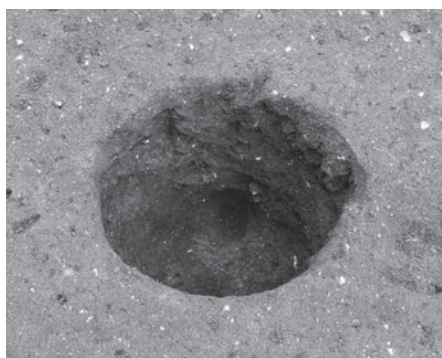
2 2区P56全景(南から)



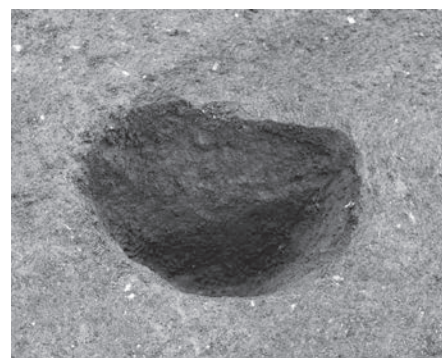
3 2区P54全景(南から)



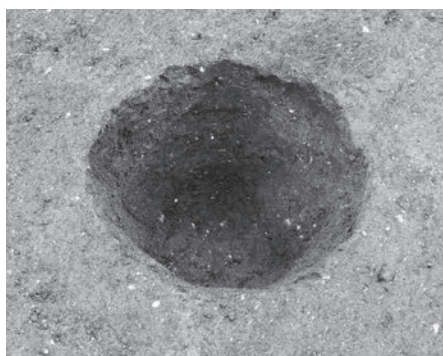
4 2区P54・57全景(北西から)



5 3区P58全景(南から)



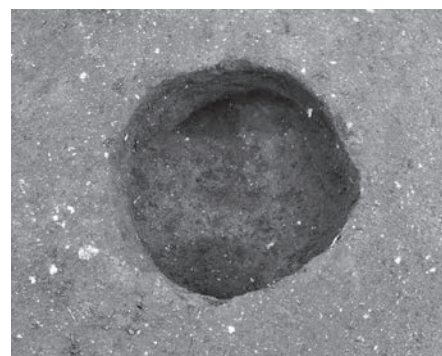
6 3区P59セクション(南から)



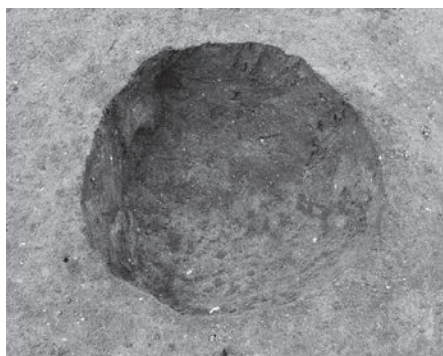
7 3区P59全景(南から)



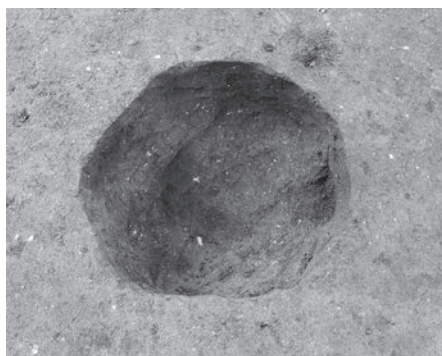
8 3区P60全景(南から)



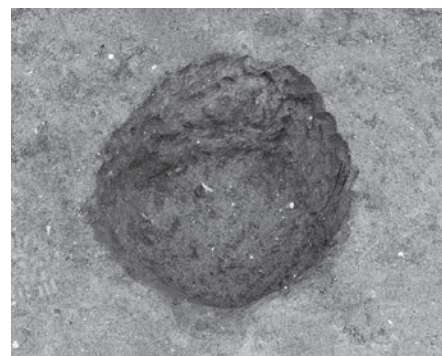
9 3区P61全景(南から)



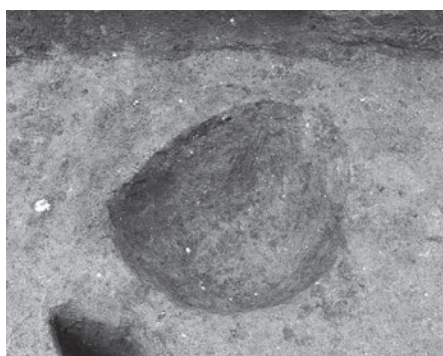
10 3区P62全景(南から)



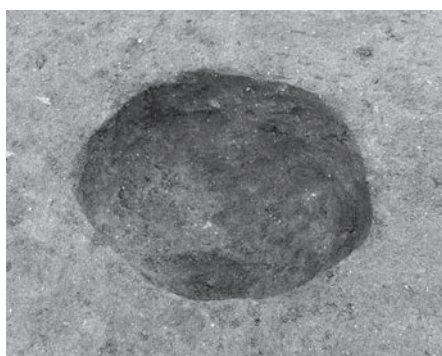
11 3区P63全景(南から)



12 3区P64全景(南から)



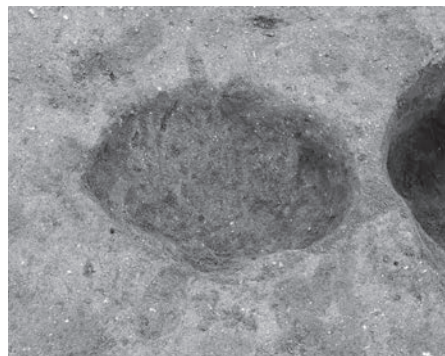
13 3区P65全景(南から)



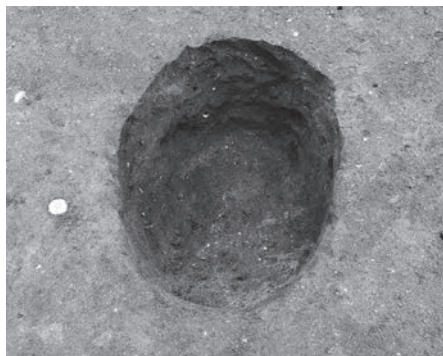
14 3区P66全景(南から)



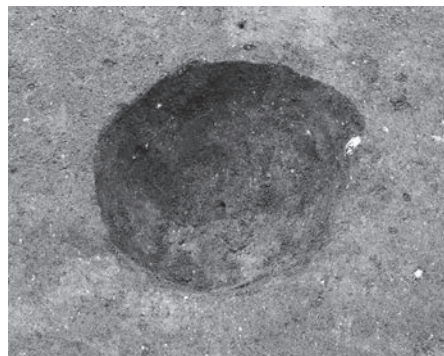
15 3区P67全景(南から)



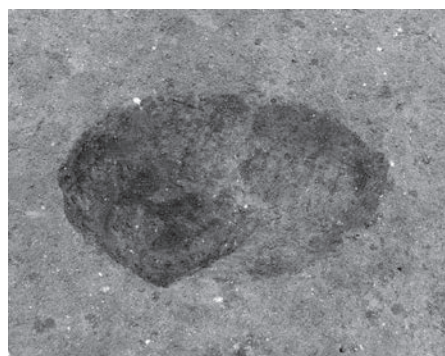
1 3区P68全景(南から)



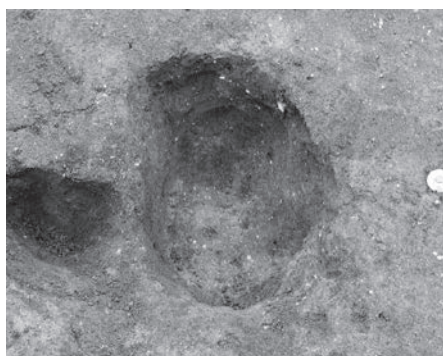
2 3区P69全景(南から)



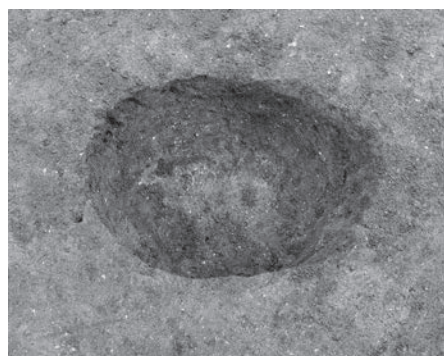
3 3区P70全景(南から)



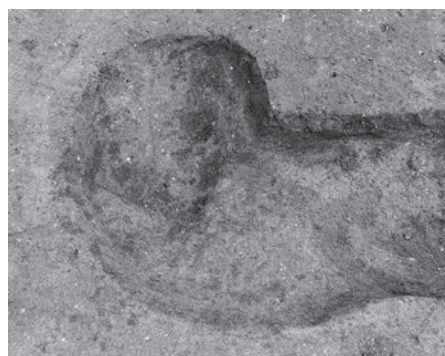
4 3区P71全景(南から)



5 3区P72・3掘立1柱穴全景(南から)



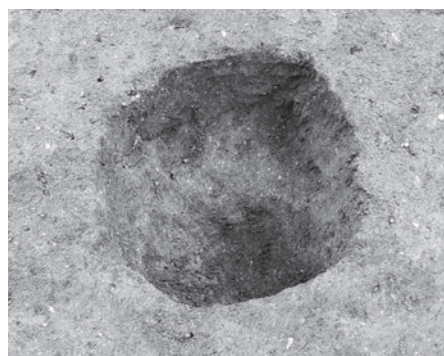
6 3区P73全景(南から)



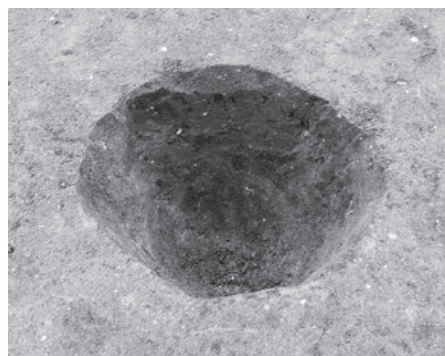
7 3区P74全景(東から)



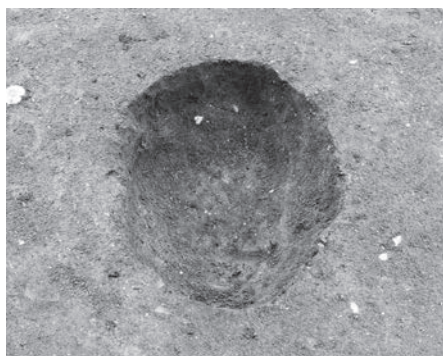
8 3区P74・75全景(南から)



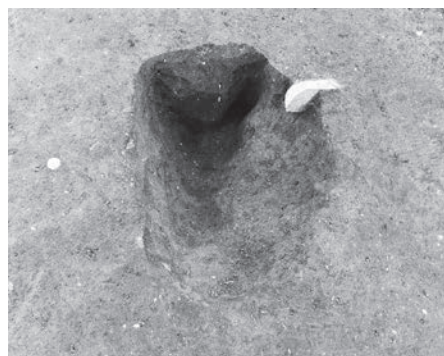
9 3区P76全景(南から)



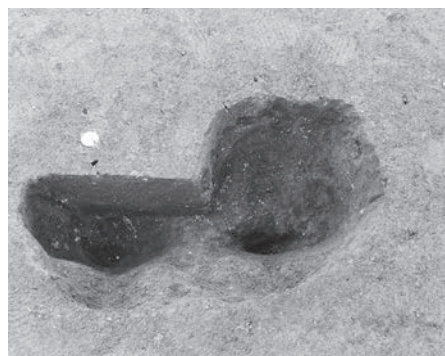
10 3区P77全景(南から)



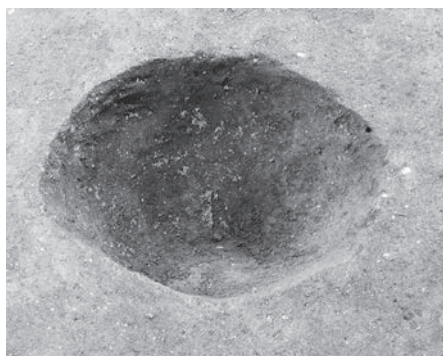
11 3区P79全景(南から)



12 3区P81全景(南から)



13 3区P82全景(南から)



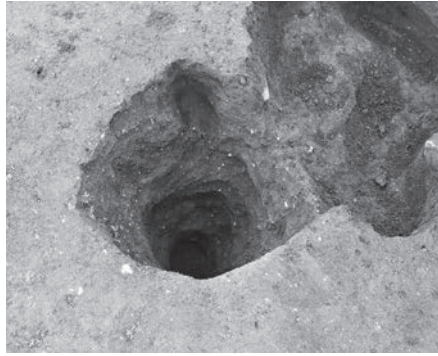
14 3区P83全景(南から)



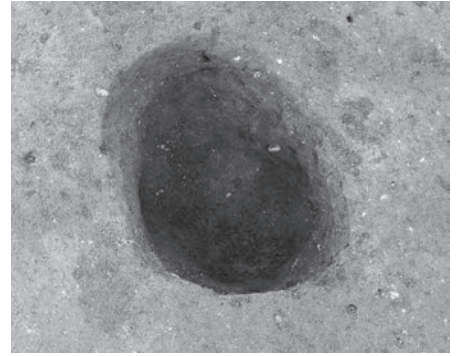
15 3区P85全景(南から)



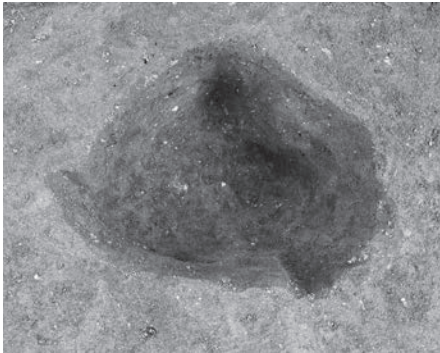
1 3区P86全景(南から)



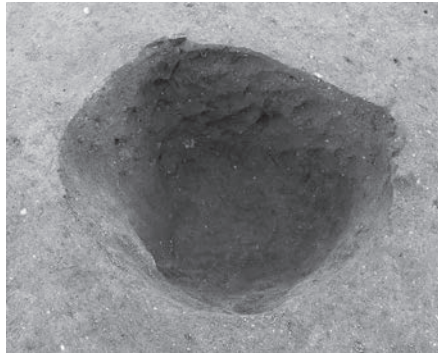
2 3区P87全景(南から)



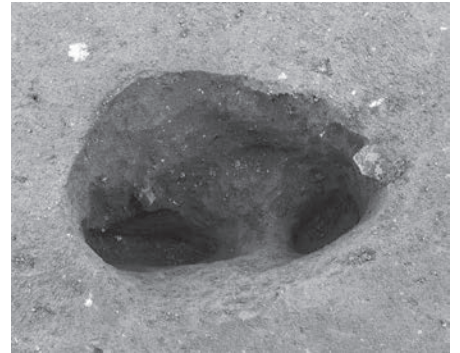
3 3区P88全景(南から)



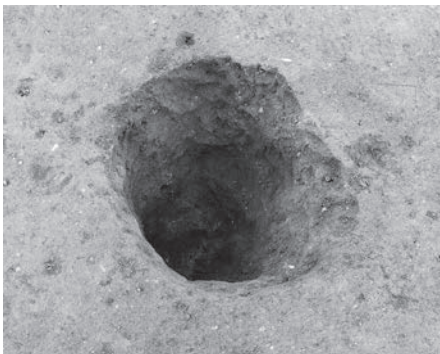
4 3区P89全景(南から)



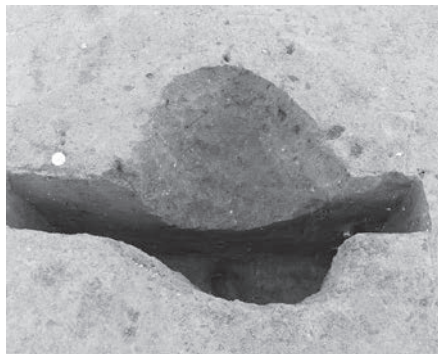
5 3区P90全景(南から)



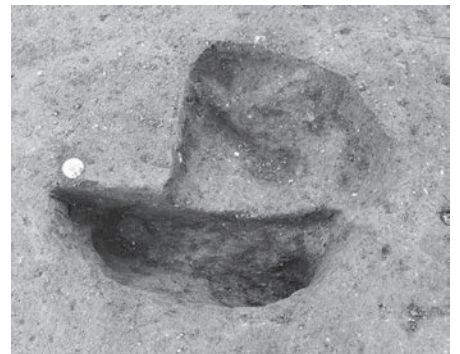
6 3区P91全景(南から)



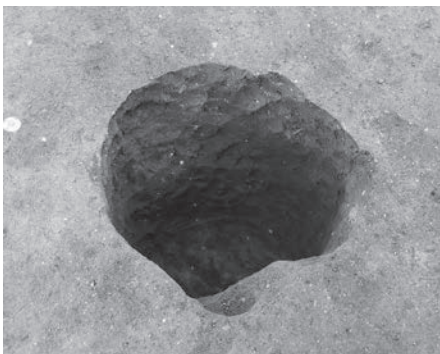
7 3区P92全景(南から)



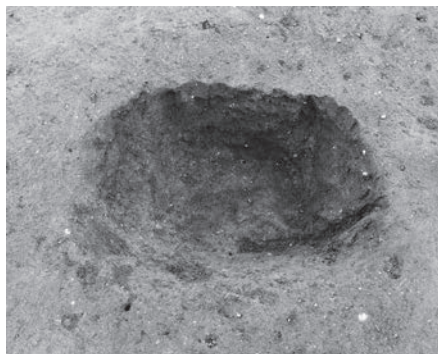
8 3区P93全景(南から)



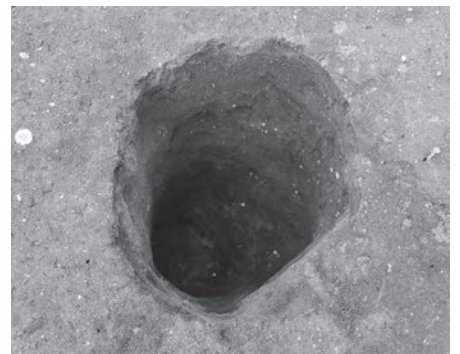
9 3区P94全景(西から)



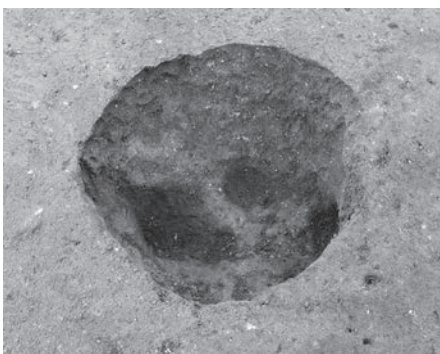
10 3区P95全景(南から)



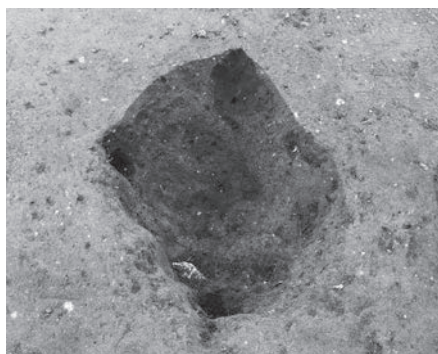
11 3区P96全景(西から)



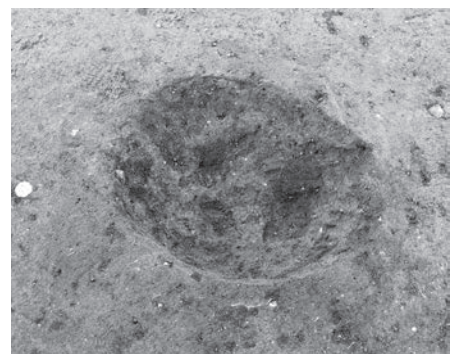
12 3区P97全景(南から)



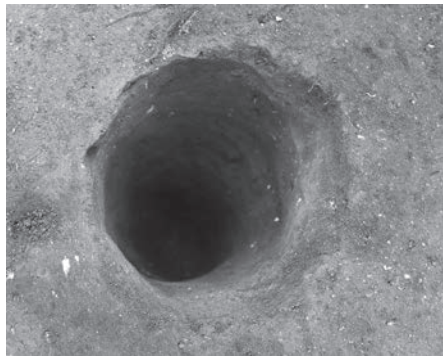
13 3区P98全景(西から)



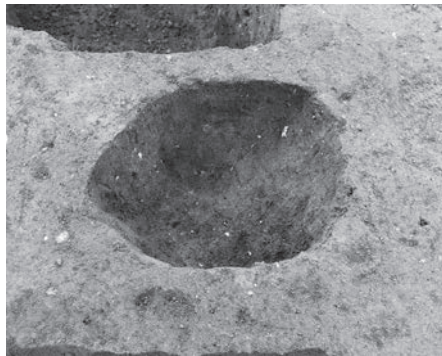
14 3区P99全景(西から)



15 3区P100全景(西から)



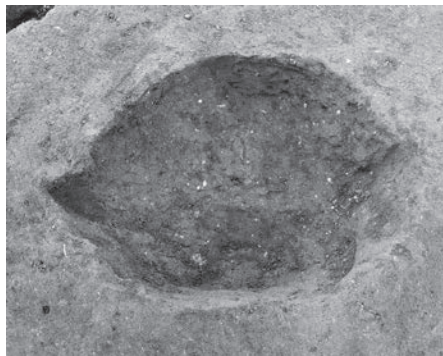
1 3区P101全景(南から)



2 3区P102全景(西から)



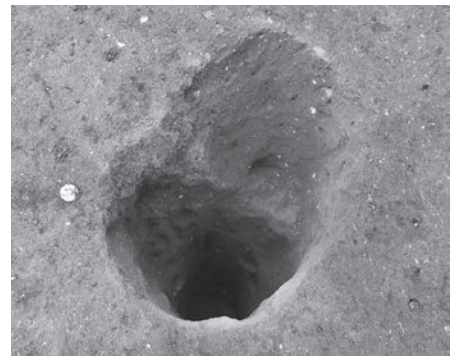
3 3区P103全景(南から)



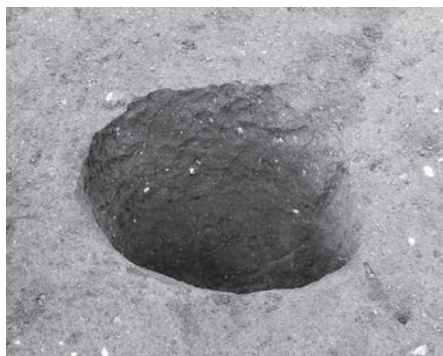
4 3区P104全景(南から)



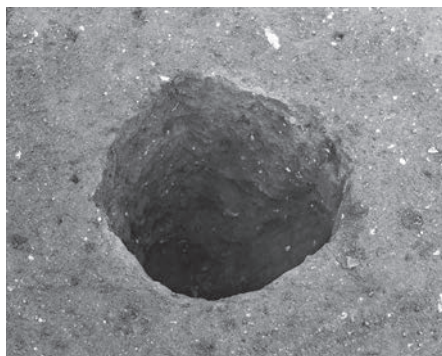
5 3区P105全景(南から)



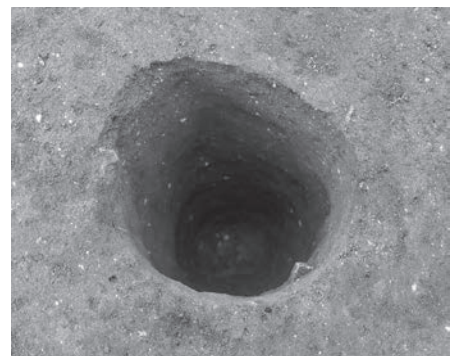
6 3区P106全景(南から)



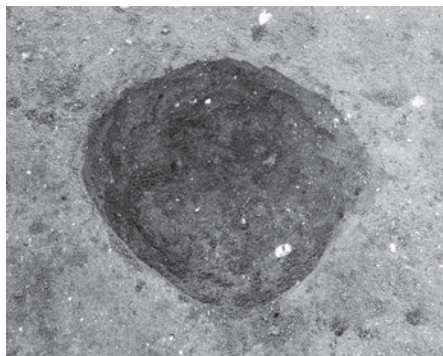
7 3区P107全景(南から)



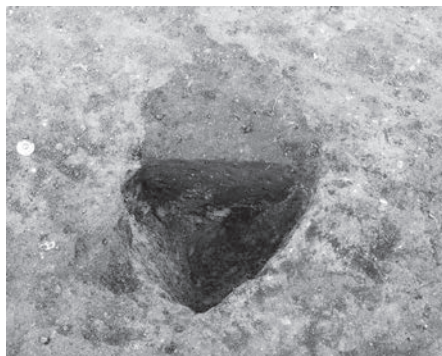
8 3区P108全景(南から)



9 3区P109全景(南から)



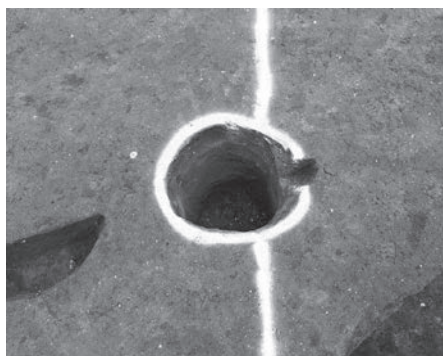
10 3区P110全景(南から)



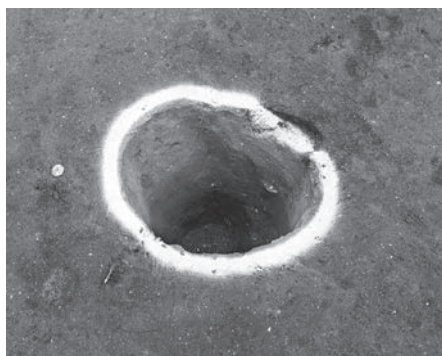
11 3区P111セクション(西から)



12 3区P116全景(南から)



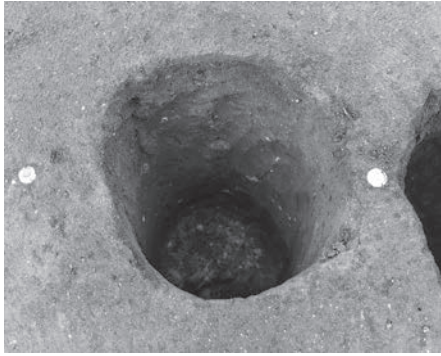
13 3区P125全景(南から)



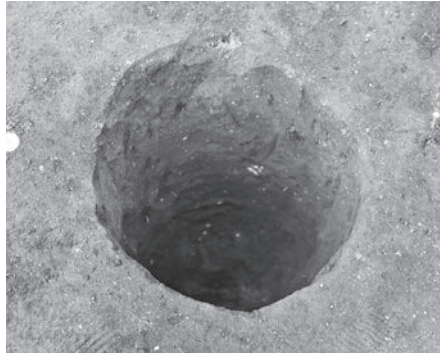
14 3区P126全景(南から)



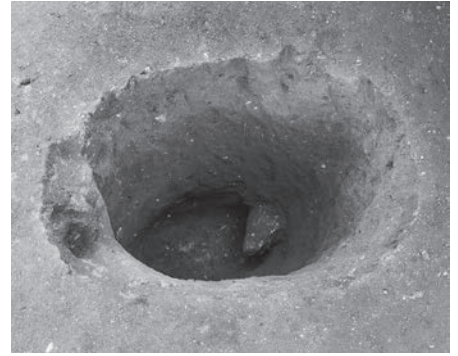
15 3区P155全景(北から)



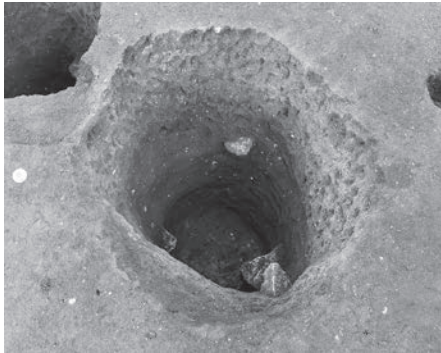
1 3区P156全景(南から)



2 3区P158全景(南から)



3 3区P159全景(西から)



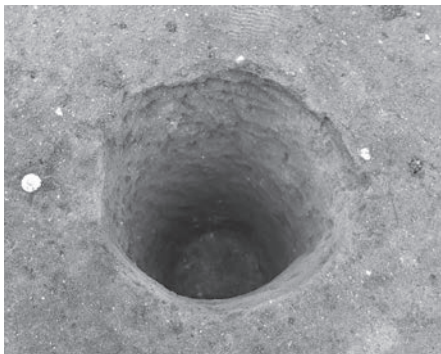
4 3区P160全景(南から)



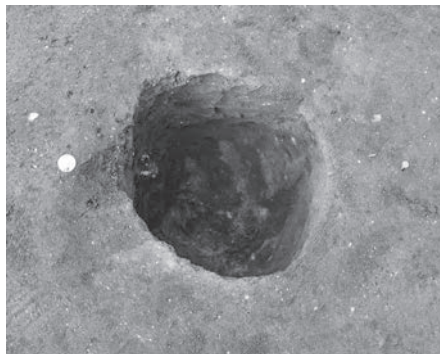
5 3区P161全景(南から)



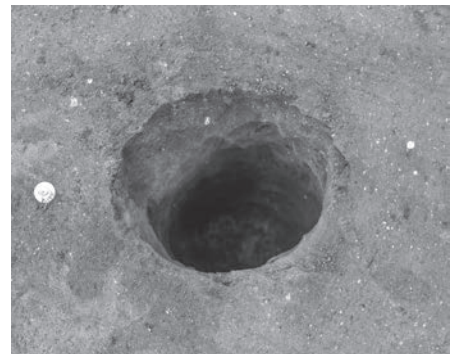
6 3区P162セクション(南から)



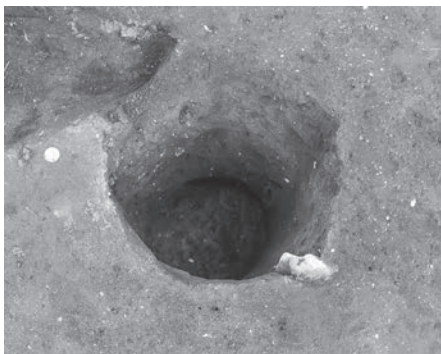
7 3区P163全景(南から)



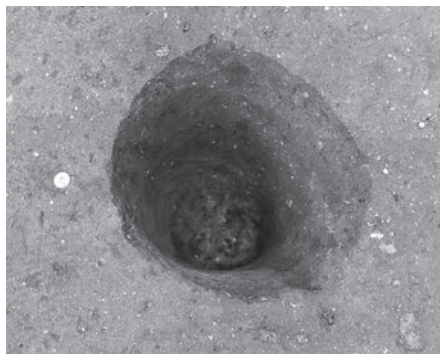
8 3区P164全景(南から)



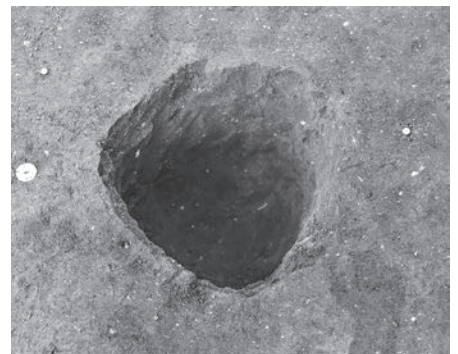
9 3区P165全景(南から)



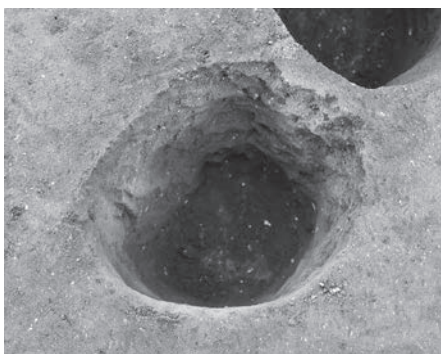
10 3区P166全景(西から)



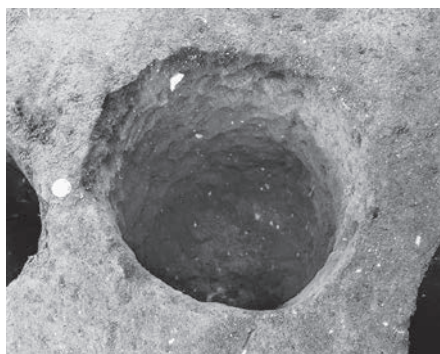
11 3区P167全景(南から)



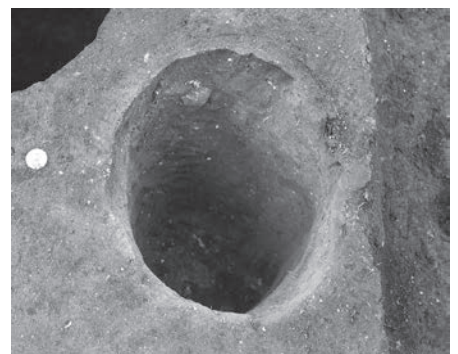
12 3区P170全景(南から)



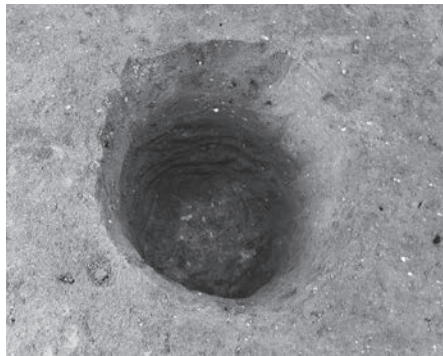
13 3区P173全景(南から)



14 3区P174全景(南から)



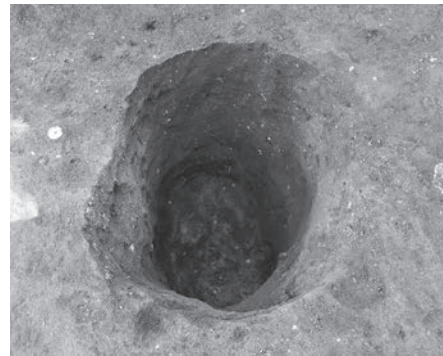
15 3区P175全景(南から)



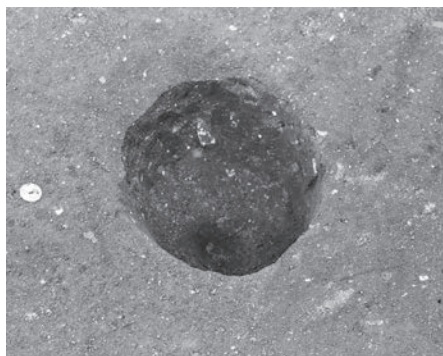
1 3区P177全景(南から)



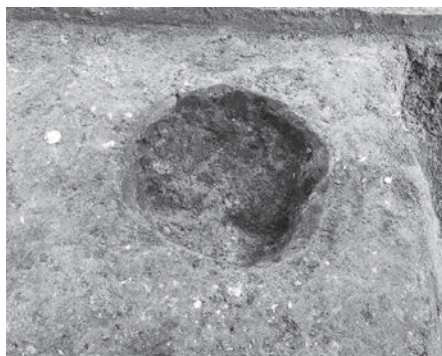
2 3区P178全景(南から)



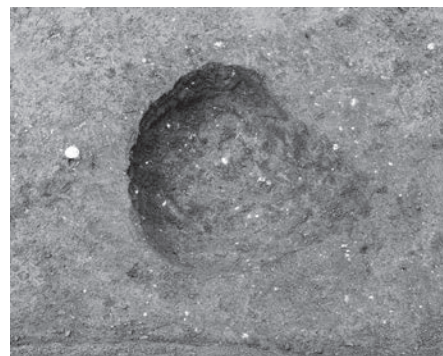
3 3区P179全景(南から)



4 3区P180全景(南から)



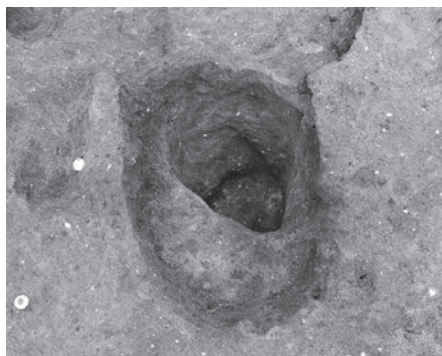
5 3区P189全景(南から)



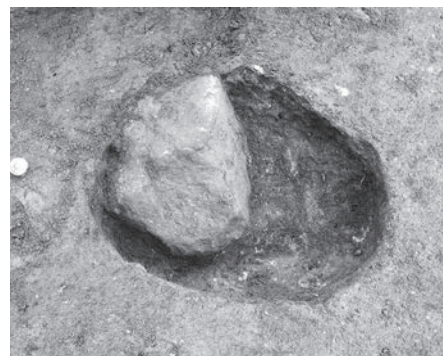
6 3区P190全景(南から)



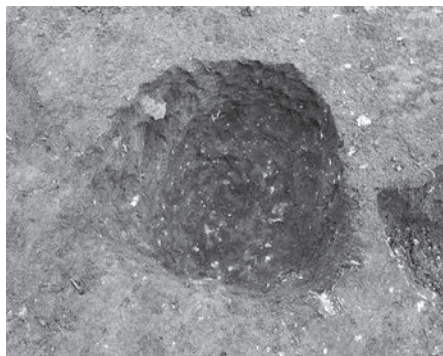
7 3区P191全景(南から)



8 3区P192全景(南から)



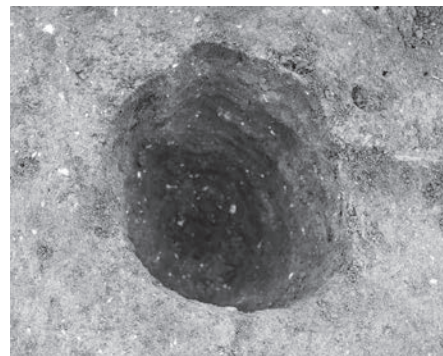
9 3区P193全景(南から)



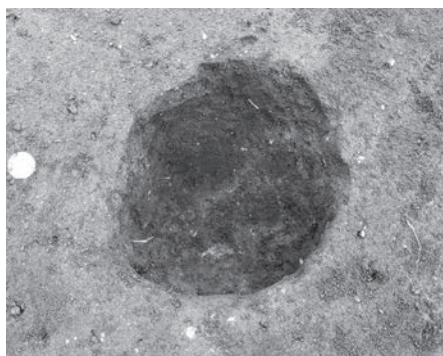
10 3区P194全景(南から)



11 3区P195全景(南から)



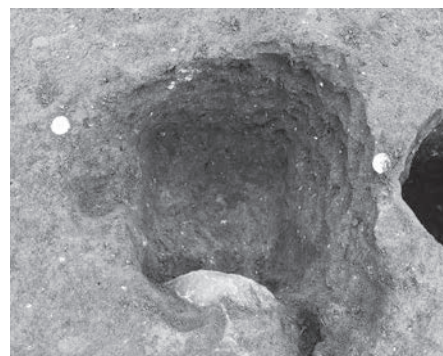
12 3区P196全景(南から)



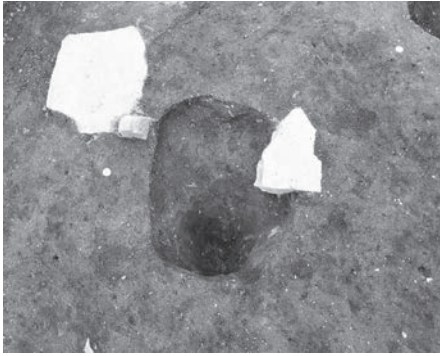
13 3区P197全景(南から)



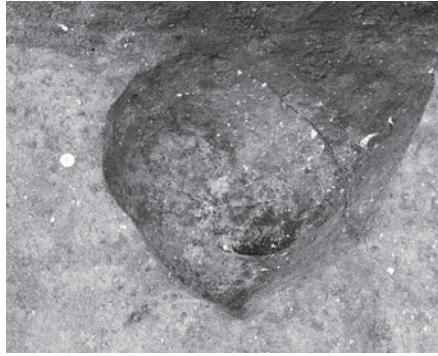
14 3区P198全景(東から)



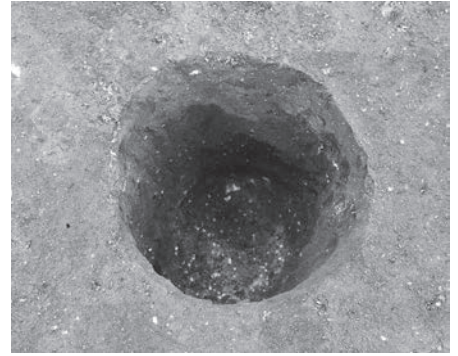
15 3区P199全景(東から)



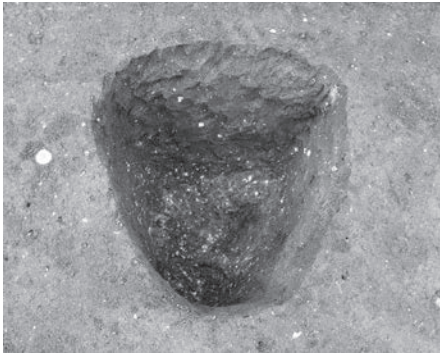
1 3区P200全景(南から)



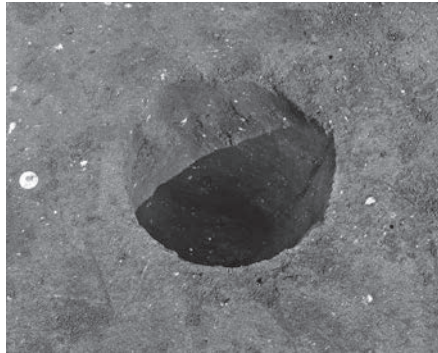
2 3区P201全景(南から)



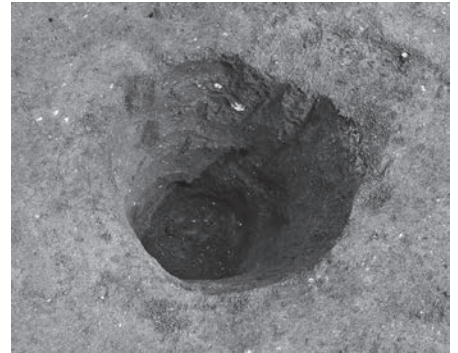
3 3区P202全景(北から)



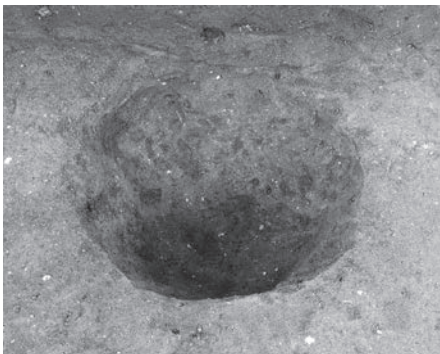
4 3区P203全景(南から)



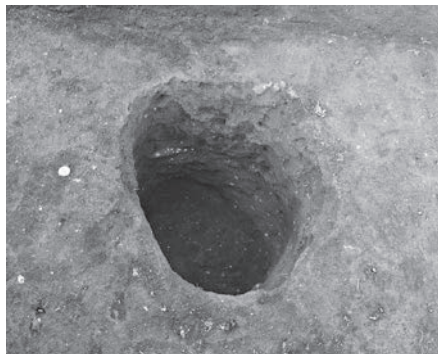
5 3区P204全景(南から)



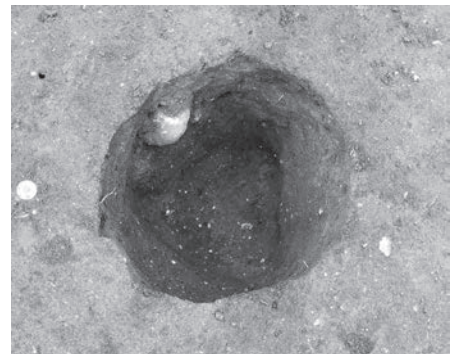
6 3区P205全景(南から)



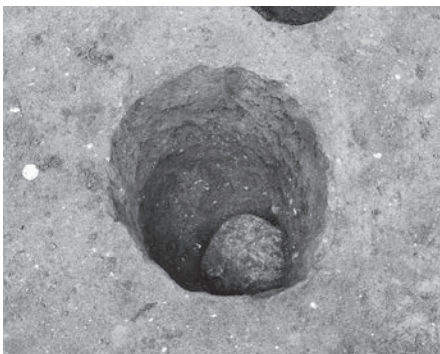
7 3区P206全景(南から)



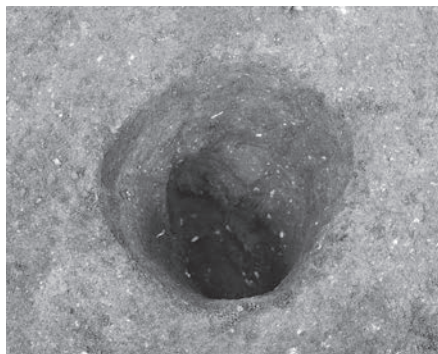
8 3区P207全景(南から)



9 3区P208全景(南から)



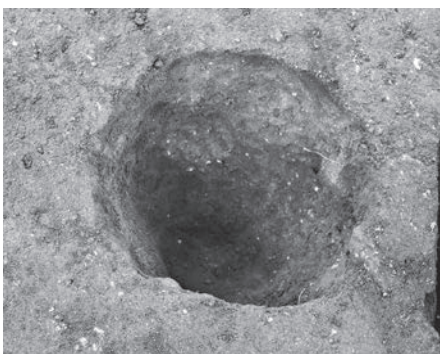
10 3区P209全景(南から)



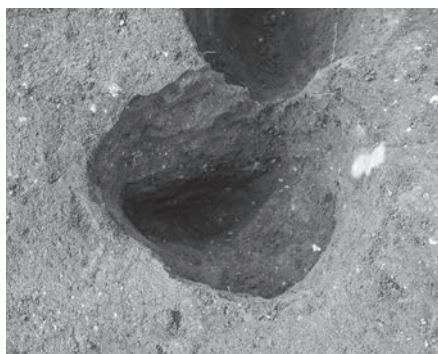
11 3区P210全景(南から)



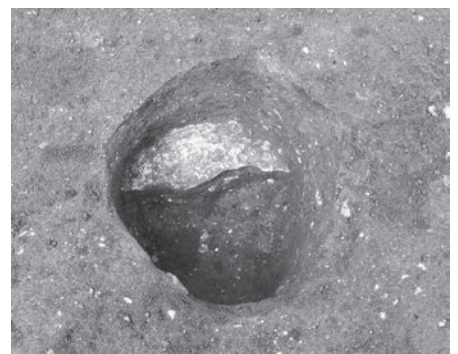
12 3区P211全景(南から)



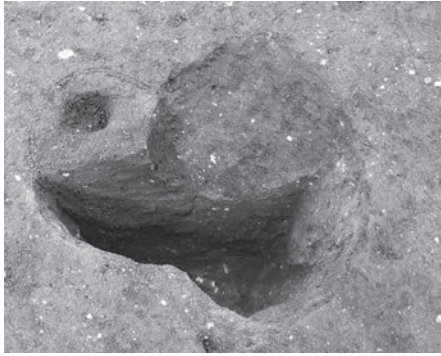
13 3区P212全景(南から)



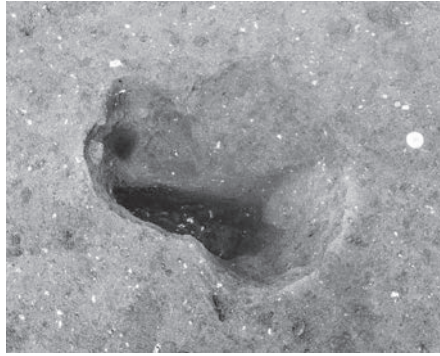
14 3区P213全景(南から)



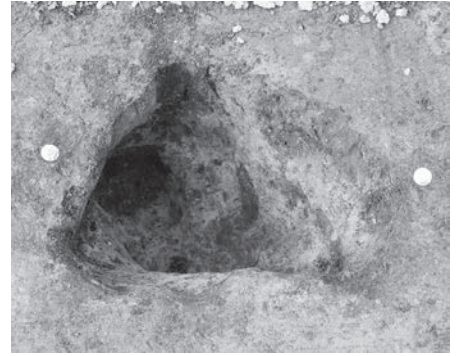
15 3区P214全景(南から)



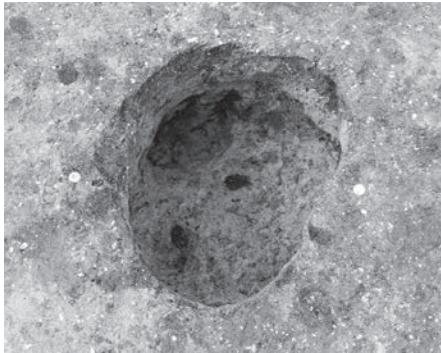
1 3区P215全景(南から)



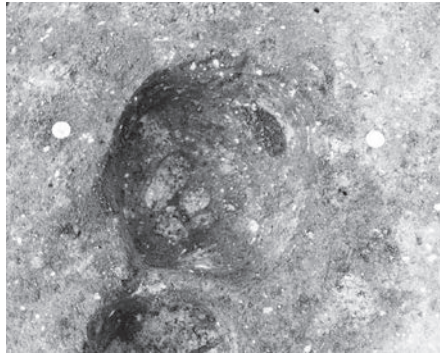
2 3区P215・216全景(南から)



3 3区P217全景(南から)



4 3区P218全景(南から)



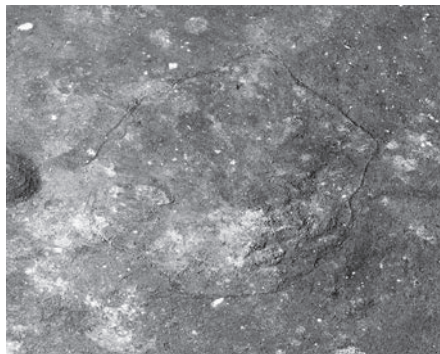
5 3区P219全景(南から)



6 3区2号焼土全景(南東から)



7 3区2号焼土セクション(南東から)



8 3区3号焼土(南から)



9 3区3号焼土掘り方(南から)



10 3区3号焼土掘り方(西から)



11 3区4号焼土東壁セクション(西から)



12 3区4号焼土西壁セクション(北から)



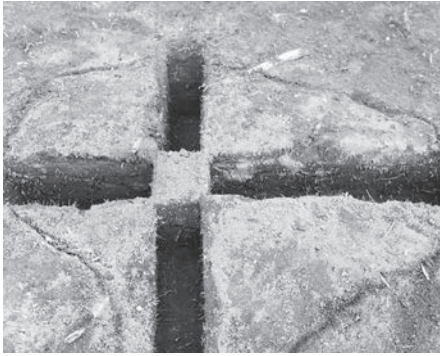
13 3区4号焼土北壁セクション(南から)



14 3区4号焼土北壁石除去後セクション(南から)



15 3区4号焼土遺物出土状況(西から)



1 5区5号焼土セクション(南から)



2 4区から5区を望む(西から)



3 1区調査区全景(南から)



4 2区調査区小穴、柱穴全景(東から)



5 2区調査区小穴、柱穴全景(北から)



6 3区調査区北部全景(北から)



7 3区2面調査区東部全景(南から)



8 3区2面調査区全景(東から)



9 3区調査区追加部分全景(北東から)



10 3区2面調査区全景(南から)



11 3区調査区追加部分全景(北東から)



12 3区2面調査区全景(南西から)



13 3区調査区追加部分全景(南東から)



14 3区調査区北西全景(南から)



15 3区調査区北部全景(南西から)



1 4区調査区全景(東から)



2 4区調査区全景(南東から)



3 4区調査区全景(南西から)



4 4区調査区全景(西から)



5 5区調査区中テラス現況(北から)



6 5区2面調査風景(北から)



7 5区調査区中テラス全景(北から)



8 5区調査区中テラス盛土部分(南から)



9 5区調査区中テラス全景(東から)



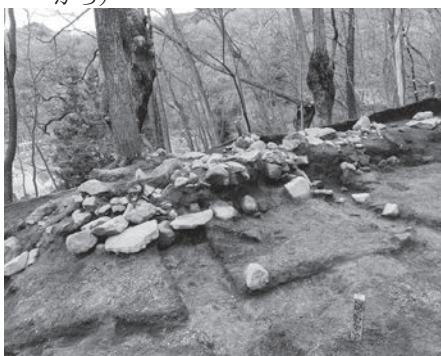
10 5区調査区中テラス盛土掘り方(北東から)



11 5区調査区中テラス尾根上南壁セクション(西から)



12 5区調査区中テラス尾根上南壁セクション(西から)



13 5区調査区中テラス3号集石(東から)



14 5区調査区中テラス盛土掘り方(東から)



15 5区調査区中テラス南壁セクション(南から)

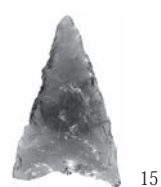
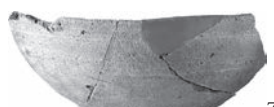
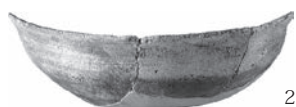
1号竖穴建物出土遺物



2号竖穴建物出土遺物



3号竖穴建物出土遺物



4号竖穴建物竈・出土遺物



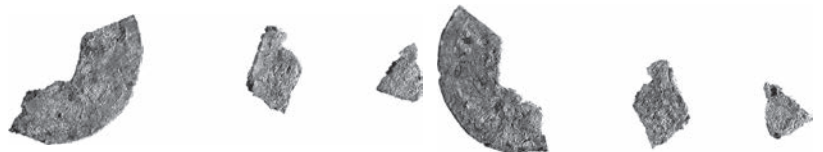
5号竖穴建物出土遺物



2号土坑出土遺物



7号土坑(墓壙)出土遺物



PL.36

13号土坑出土遺物



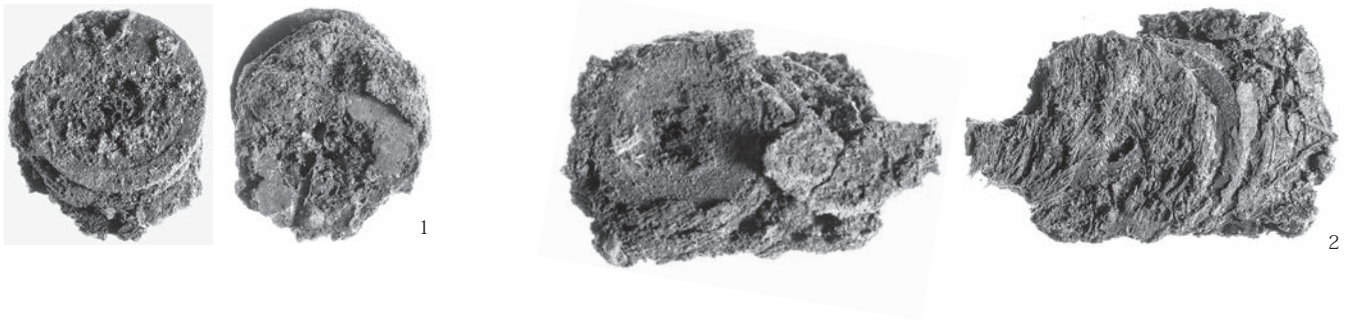
17号土坑出土遺物



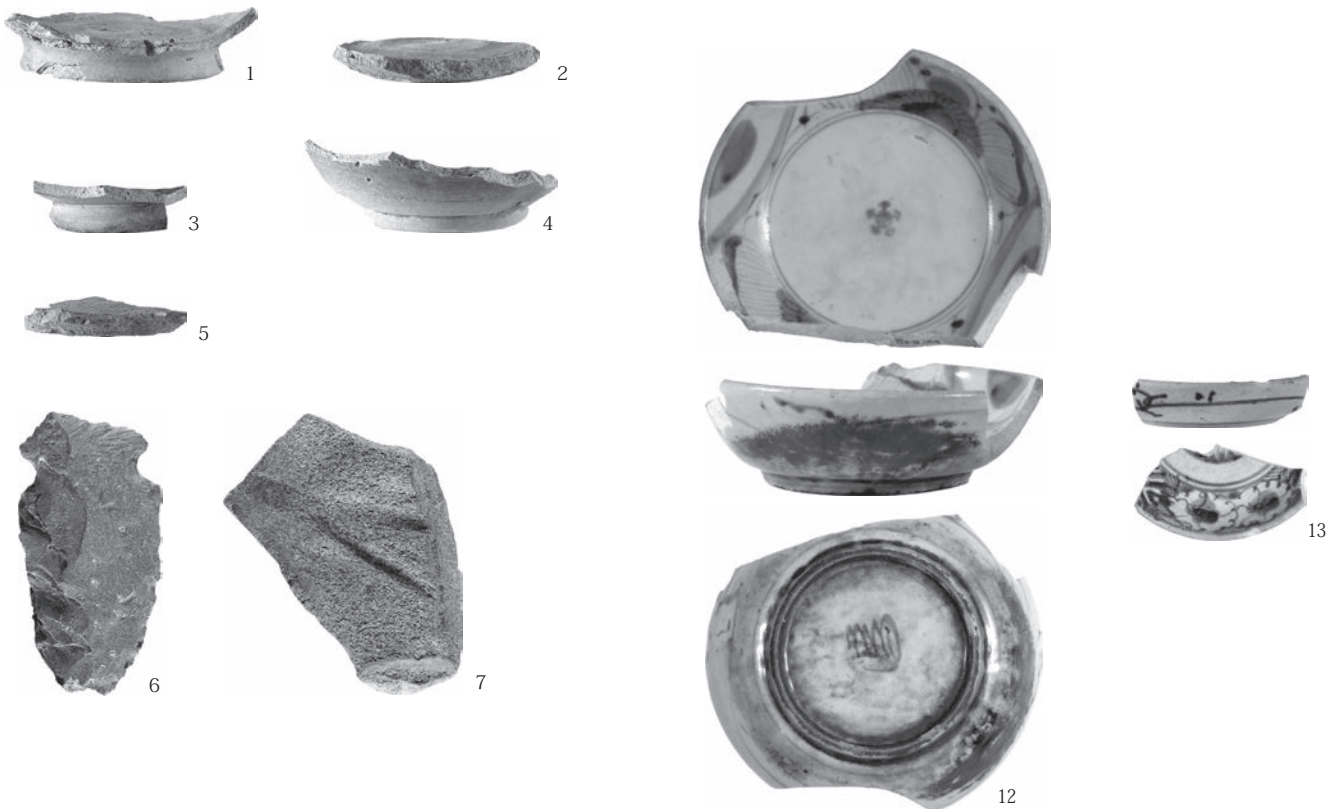
34号土坑出土遺物

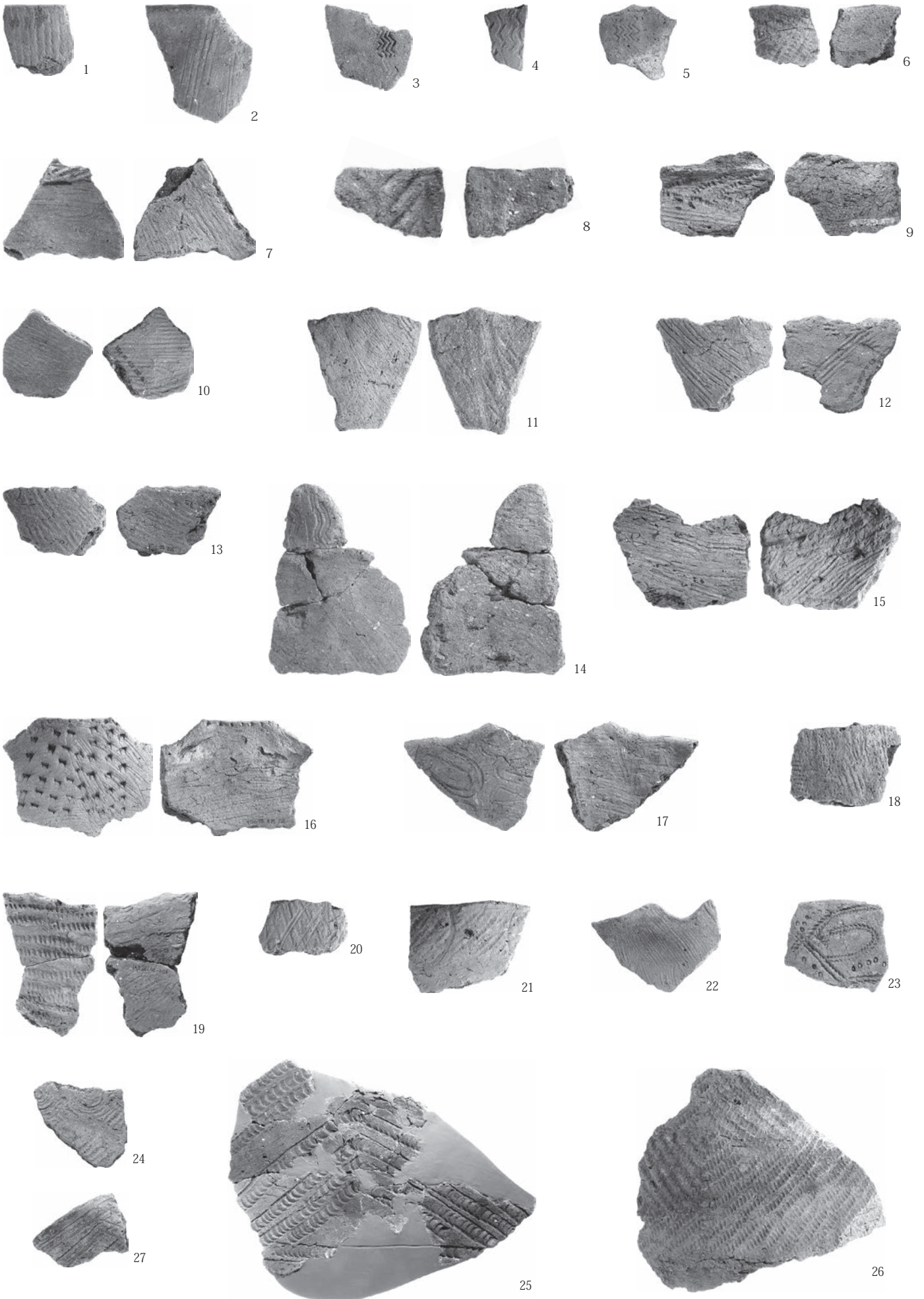


51号土坑(墓壙)出土遺物



遺構外出土遺物

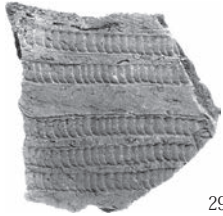




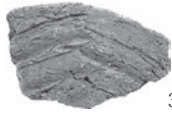
PL.38



28



29



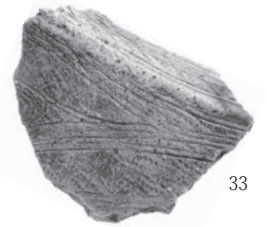
30



31



32



33



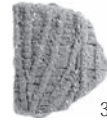
34



35



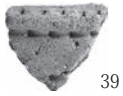
36



37



38



39



40



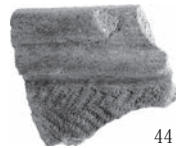
41



42



43



44



45



46



47



48



49



50



51



52



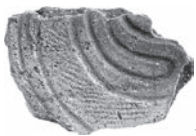
53



54



55



56



57



58

報告書抄録

書名ふりがな	なかだないちいせき
書名	中棚 I 遺跡
副書名	八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	62
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	648
編著者名	友廣哲也
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20192015
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	なかだないちいせき
遺跡名	中棚 I 遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあざはやしあざなかだな
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字林字中棚
市町村コード	10424
遺跡番号	49
北緯（世界測地系）	363307
東経（世界測地系）	1384206
調査期間	20150601-20150630,20160401-20161231
調査面積	8,176
調査原因	ダム建設
種別	包蔵地/集落/墳墓
主な時代	縄文/平安/中近世
遺跡概要	包蔵地－縄文時代＋土器＋石器／集落－平安－竪穴建物5中近世＋掘立柱建物4＋柵1＋溝1＋集石3＋土坑53＋小穴218＋焼土4＋土器＋陶磁器＋銭/墳墓－中近世－墓坑2＋陶磁器＋金属器/近世－陶磁器
特記事項	八ッ場ダム関連の遺跡では数少ない天明泥流が被覆していない。
要約	本遺跡は旧合の川の流路内に位置している。堤防の外側にある区画から、土坑、溝、畠が検出された。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第648集

中棚 I 遺跡

ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第62集

平成31(2019)年2月8日 印刷

平成31(2019)年2月15日 発行

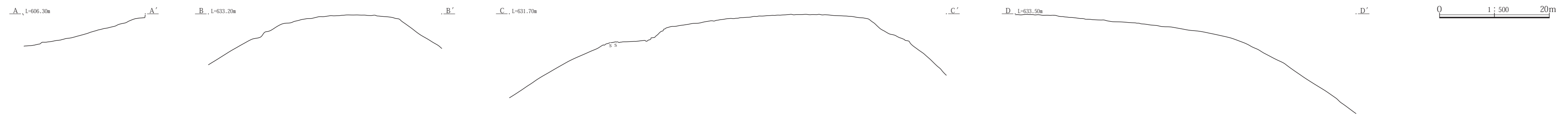
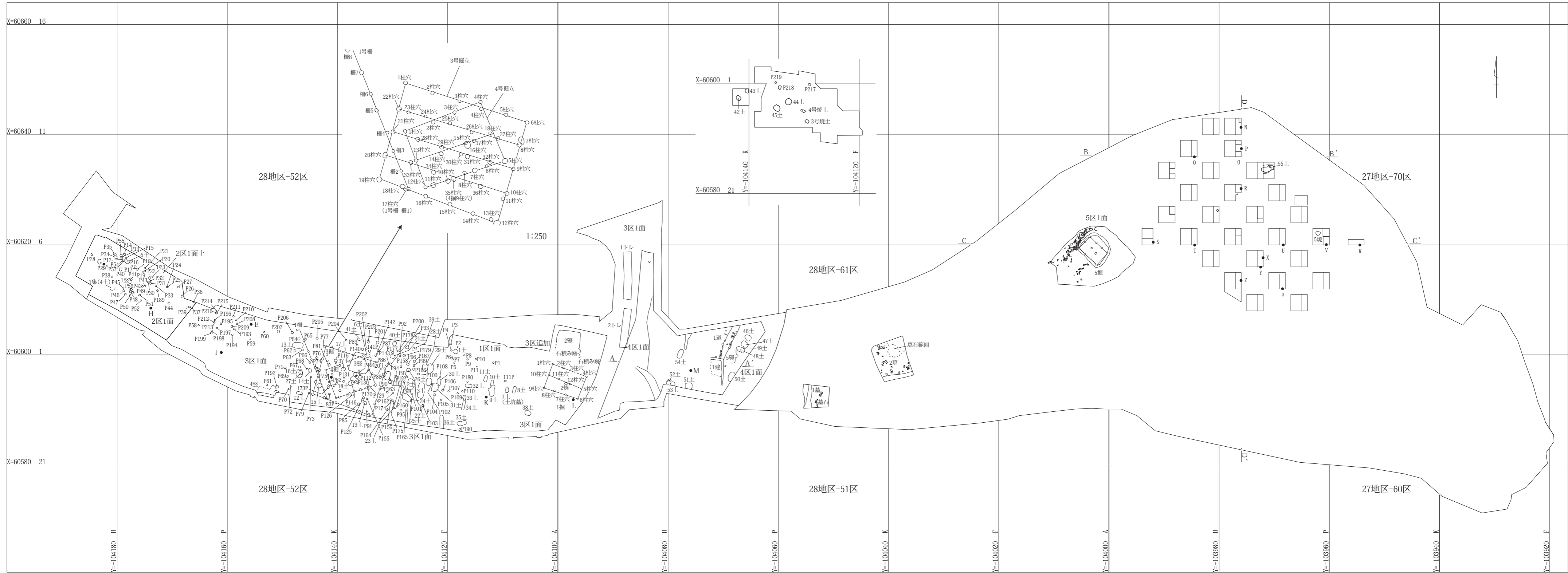
編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／株式会社開文社印刷所



付図1 中棚 I 遺跡全体図



付図2 中棚 I 遺跡旧石器試掘配置図

中棚 I 遺跡 付図

付図 1 中棚 I 遺跡全体図

付図 2 中棚 I 遺跡旧石器試掘配置図